

「中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響
評価書【岐阜県】平成26年8月」に基づく
事後調査報告書（2025年度）

2026年6月

東海旅客鉄道株式会社

ま え が き

本書は、「中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響評価書【岐阜県】平成26年8月」（以下、「評価書【岐阜県】」という。）に基づき2025年度に実施した事後調査について取りまとめ、岐阜県環境影響評価条例（最終改正平成24年12月26日条例第73号）第38条第1項の規定に基づき、事後調査報告書として作成したものである。

目 次

	頁
第1章 事業者の氏名及び住所	1-1
第2章 対象事業の名称及び種類	2-1
第3章 対象事業に係る工事の進捗状況及び供用等の状況	3-1
3-1 工事の実施状況	3-1
3-2 瑞浪市大湫町における地下水位低下とこれに伴う地表面低下について ..	3-11
3-3 中津川市瀬戸残土処理場における搬入土砂への産業廃棄物 （コンクリート殻）の混入について	3-15
第4章 実施した調査項目、調査方法、調査地域及び調査結果	4-1-1
4-1 水資源	4-1-1
4-1-1 調査方法	4-1-1
4-1-2 調査地点	4-1-1
4-1-3 調査期間	4-1-14
4-1-4 調査結果	4-1-15
4-2 地盤沈下	4-2-1
4-2-1 調査項目	4-2-1
4-2-2 調査方法	4-2-1
4-2-3 調査地域	4-2-1
4-2-4 調査結果	4-2-4
4-3 動物、生態系	4-3-1
4-3-1 調査項目	4-3-1
4-3-2 調査方法	4-3-1
4-3-3 調査地域	4-3-1
4-3-4 調査期間	4-3-2
4-3-5 調査結果	4-3-2
4-4 植物、生態系	4-4-1
4-4-1 調査項目	4-4-1
4-4-2 調査方法	4-4-1
4-4-3 調査地域	4-4-1
4-4-4 調査期間	4-4-2
4-4-5 調査結果	4-4-2
4-5 その他（発生土置き場等）	4-5-1

第5章	調査結果の検討内容	5-1
5-1	水資源	5-1
5-2	地盤沈下	5-1
5-3	動物、生態系	5-1
5-4	植物、生態系	5-2
5-5	その他（発生土置き場等）	5-5
第6章	調査結果の検討に基づき必要な措置を講じた場合にあっては、 その措置の内容	6-1
非公開資料		（別冊）

第1章 事業者の氏名及び住所

名 称：東海旅客鉄道株式会社

代 表 者 の 氏 名：代表取締役社長 丹羽 俊介

主たる事務所の所在地：愛知県名古屋市中村区名駅一丁目1番4号

第2章 対象事業の名称及び種類

名 称：中央新幹線 品川・名古屋間※

種 類：新幹線鉄道の建設（環境影響評価法第一種事業）

※ 対象事業の名称については、評価書【岐阜県】において「中央新幹線（東京都・名古屋市間）」と記載していたものを、工事実施計画の認可申請に合わせて変更した。

第3章 対象事業に係る工事の進捗状況及び供用等の状況

2025年度における、岐阜県内の工事の進捗状況等を以下に示す。

3-1 工事の実施状況

中津川市の中央アルプストンネル（山口）において、本線トンネルの掘削工（品川方）を引き続き進めた。第一木曽川橋りょうほかにおいて、準備工、橋りょう工（下部工）を進めた。瀬戸トンネルにおいて、本線トンネルの掘削工（品川方）を引き続き進めた。第二木曽川橋りょうほかにおいて、準備工、橋りょう工（下部工）を引き続き進めた。駒場トンネルにおいて、名古屋方坑口から本線トンネルの掘削工（品川方）、駒場非常口の工事施工ヤード造成工を引き続き進めた。中部総合車両基地ほかにおいて、工事施工ヤード造成工、先行盛土工等を引き続き進めたほか、2025年8月以降順次建物工事（基地管理棟、中央変換器棟）に着手した。岐阜県駅（仮称）において、主に、高架橋工事に必要となる道路付替えや高架橋工（下部工）を実施した。千旦林川の最終付替え位置付近においては高架橋工（上部工）にも着手した。回送線（駅部）においては、工事施工ヤード造成工を実施し、2025年10月からは一部高架橋工（下部工）にも着手した。

恵那市の第二大井トンネルほかにおいて、2026年1月から品川方工事施工ヤードの準備工に着手した。長島トンネルにおいて、大井非常口の工事施工ヤード造成工、名古屋方坑口から本線トンネルの掘削工（品川方）を引き続き進めた。日吉トンネル（武並工区）ほかにおいて、工事施工ヤードにおいて造成工を引き続き進め、2025年8月からは本線トンネルの掘削工に着手した。2025年9月から藤川高架橋（上部工）にも着手した。

瑞浪市の日吉トンネル（南垣外工区）において、本線トンネルの掘削工（品川方、名古屋方）を引き続き進め、2026年2月に本線トンネル（名古屋方）の掘削が完了した。

可児郡御嵩町の美佐野トンネルほかにおいて、工事施工ヤード造成工等を引き続き進めた。

可児市の第一中京圏トンネル（大森工区）において、本線トンネルの掘削工（品川方）を引き続き進めた。

多治見市の第一中京圏トンネル（大針工区）において、本線トンネルの掘削工（品川方、名古屋方）を引き続き進めた。

建設発生土は、中部総合車両基地等の自社事業内で活用したほか、公共事業や民間事業造成地等に活用した。また、当社が計画・設置する中津川市内千旦林発生土仮置き場Aに存置している。

区分土[※]については、工事施工ヤードに設置した遮水型土砂ピットでの保管や、当社が計画・設置する可児市内大森発生土仮置き場に運搬し、適切に保管しているほか、要対策土^{※2}については、行政から許可を受けた専門業者への持ち込み等により、適切に対応した。

2025年度の工事の実施状況は表 3-1-1 に示すとおりである。また、工事の実施箇所は図 3-1-1 に示すとおりである。

※ 本書において、土壤汚染対策法で定める土壤溶出量基準値を超える自然由来の重金属等を含む建設発生土、酸性化可能性試験により長期的な酸性化の可能性があると判明した建設発生土または短期溶出試験の検液の pH 試験により基準不適合の酸性を示す建設発生土で、当面発生土仮置き場（遮水型）や工事施工ヤードに設置した遮水型土砂ピットで管理する発生土を「区分土」、土壤汚染対策法に準じて最終的な対策をとる発生土を「要対策土」という。

表 3-1-1 (1) 2025 年度の工事の実施状況

実施箇所	実施状況
中央アルプストンネル (山口)	・2019年度に非常口トンネル（斜坑）（約300m）の掘削が完了した。 ・本線トンネル及び先進坑において、2020年度から引き続き、掘削工（品川方）を実施した。2022年度に先進坑（約1,500m）の掘削が完了した。本線トンネルは、約3,050m（約7割）掘削し、覆工を約1,700m（約4割）実施した。
第一木曽川橋りょうほか	・2023年度から引き続き準備工（ヤード整備）を実施した。 ・2024年度から引き続き橋りょう工（下部工）を実施した。
瀬戸トンネル	・2023年3月に非常口トンネル（斜坑）（約600m）の掘削が完了した。 ・本線トンネルにおいて、2023年度から引き続き、掘削工（品川方）を実施した。本線トンネルは、約1,750m（約4割）掘削した。
第二木曽川橋りょうほか	・2021年度から引き続き、準備工（ヤード整備）を実施した。 ・2023年度から引き続き、準備工（仮栈橋工）を実施した。 ・2024年度から引き続き、橋りょう工（下部工）を実施した。
駒場トンネル	・工事施工ヤード（駒場非常口）において、2022年度から引き続き、造成工（切土・盛土作業、擁壁工）を実施した。 ・本線トンネルの名古屋方において、2023年度から引き続き、掘削工（品川方）を実施した。本線トンネルは、約700m（約2割）掘削した。
中部総合車両基地ほか	・2021年度から引き続き、工事施工ヤード造成工、先行盛土工、道水路付替え工を実施した。 ・2021年度から引き続き、山口非常口等からの発生土の搬入を行い、造成工に活用した。 ・2024年から引き続き、回送線（車両基地部）工事を実施した。 ・2025年8月に建物工事（基地管理棟、中央変換器棟）に着手した。
岐阜県駅（仮称）ほか	・駅部において、2023年度から引き続き、高架橋工事に必要となる道路付替えや高架橋工（下部工）を実施し、2025年8月からは、一部高架橋工（上部工）にも着手した。 ・回送線（駅部）において、工事施工ヤード造成工を実施し、2025年10月からは一部高架橋工（下部工）にも着手した。

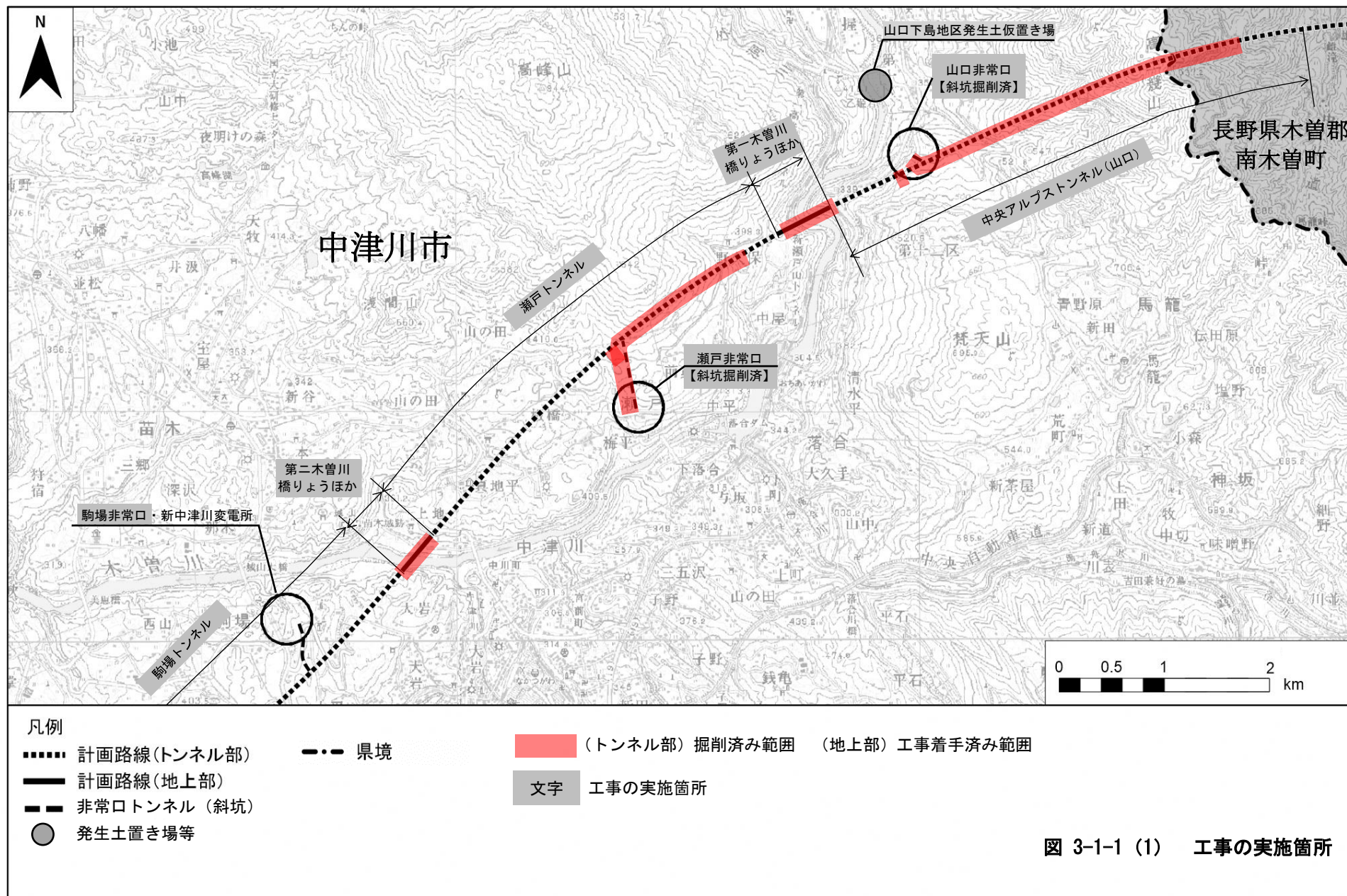
表 3-1-1 (2) 2025 年度の工事の実施状況

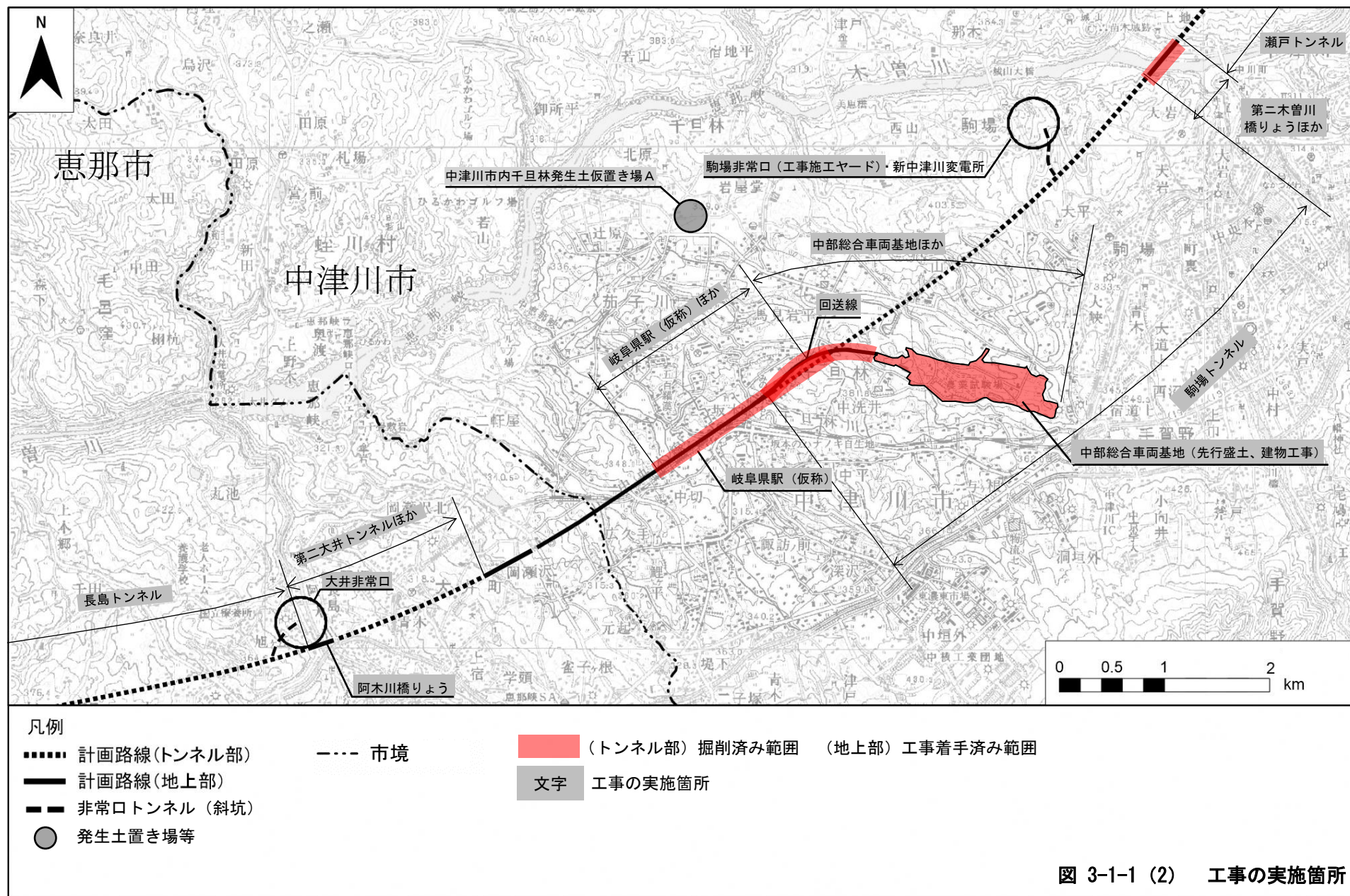
実施箇所	実施状況
第二大井トンネルほか	・品川方工事施工ヤードにおいて、1月に準備工（樹木伐採、仮囲い設置等）を開始した。
長島トンネル	・工事施工ヤード（大井非常口）において、2022年度から引き続き造成工（伐採、ヤード整備）を実施した。 ・本線トンネルの名古屋方において、2022年度から引き続き、掘削工（品川方）を実施した。本線トンネルは、約2,600m（約4割）掘削した。
日吉トンネル （武並工区）ほか	・藤川高架橋において、2022年度から引き続き、高架橋工（下部工）を実施し、2025年9月から高架橋工（上部工）に着手した。 ・工事施工ヤードにおいて、2023年度から引き続き造成工（ヤード整備）を実施し、2025年8月からは本線トンネルの掘削工に着手した。
日吉トンネル （南垣外工区）	・2018年度に非常口トンネル（斜坑）（約400m）の掘削が完了した。 ・本線トンネルにおいて、2020年度から引き続き、掘削工（名古屋方）を実施し、2026年2月に本線トンネル（名古屋方）の掘削が完了した。本線トンネルは、約6,900m（約9割）掘削し、覆工を約3,600m（約5割）実施した。
美佐野トンネルほか	・工事施工ヤードにおいて、2020年度から引き続き、造成工（ヤード整備）を実施した。
第一中京圏トンネル （大森工区）	・2023年2月に非常口トンネル（斜坑）（約1,000m）の掘削が完了した。 ・本線トンネルにおいて、2022年度から引き続き、掘削工（品川方）を実施した。本線トンネルは、約1,500m（約3割）掘削した。
第一中京圏トンネル （大針工区）	・2025年2月に非常口トンネル（斜坑）（約1,000m）の掘削が完了した。 ・本線トンネルにおいて、2024年度から引き続き、掘削工（品川方、名古屋方）を実施した。本線トンネルは、約600m（約1割）掘削した。

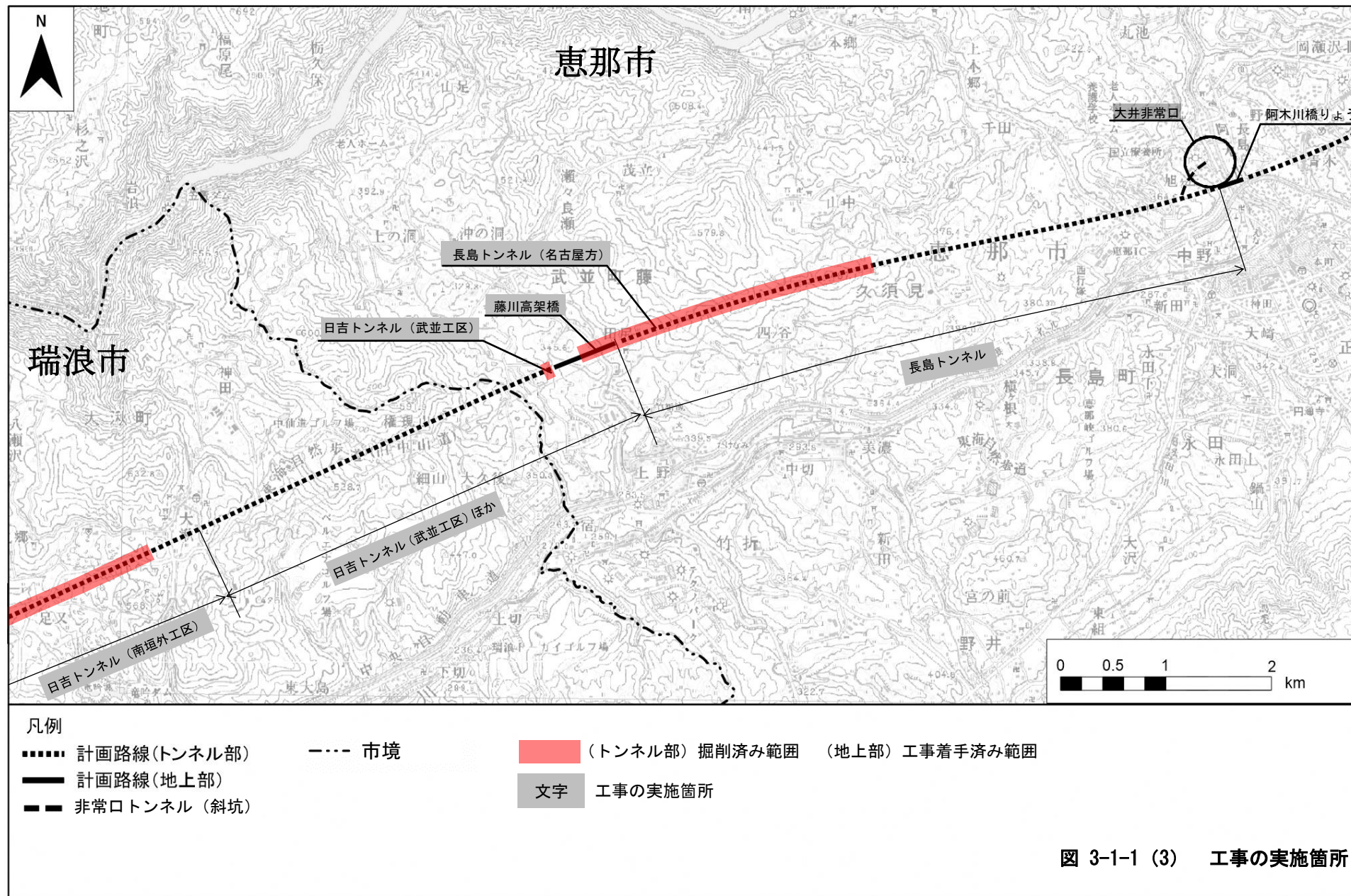
表 3-1-1 (3) 2025 年度の工事の施工状況（発生土仮置き場）

実施箇所	施工状況
中津川市内山口下島地区 発生土仮置き場	・主に山口非常口から搬出する発生土の仮置き場（遮水型）である。 ・2019年度に準備工が完了した。 ・2025年度までに区分土の搬入はなかった。
中津川市内千旦林 発生土仮置き場A	・山口非常口からの発生土を運搬し、盛土完了後はガイドウェイ製作・保管ヤードとして一時的に使用する。 ・2023年度に準備工が完了した。 ・2021年度から山口非常口からの発生土の搬入を行い、盛土工の整地等に活用した。2025年度に搬入は完了した。
可児市内大森 発生土仮置き場	・大森非常口から搬出する発生土の仮置き場（遮水型）である。 ・2021年4月に準備工が完了した。 ・2023年度から大森非常口からの区分土の仮置きを行った。

・瑞浪市土岐町発生土仮置き場は2024年度に原形復旧を行い、2025年度は工事後のモニタリングのみを実施した。

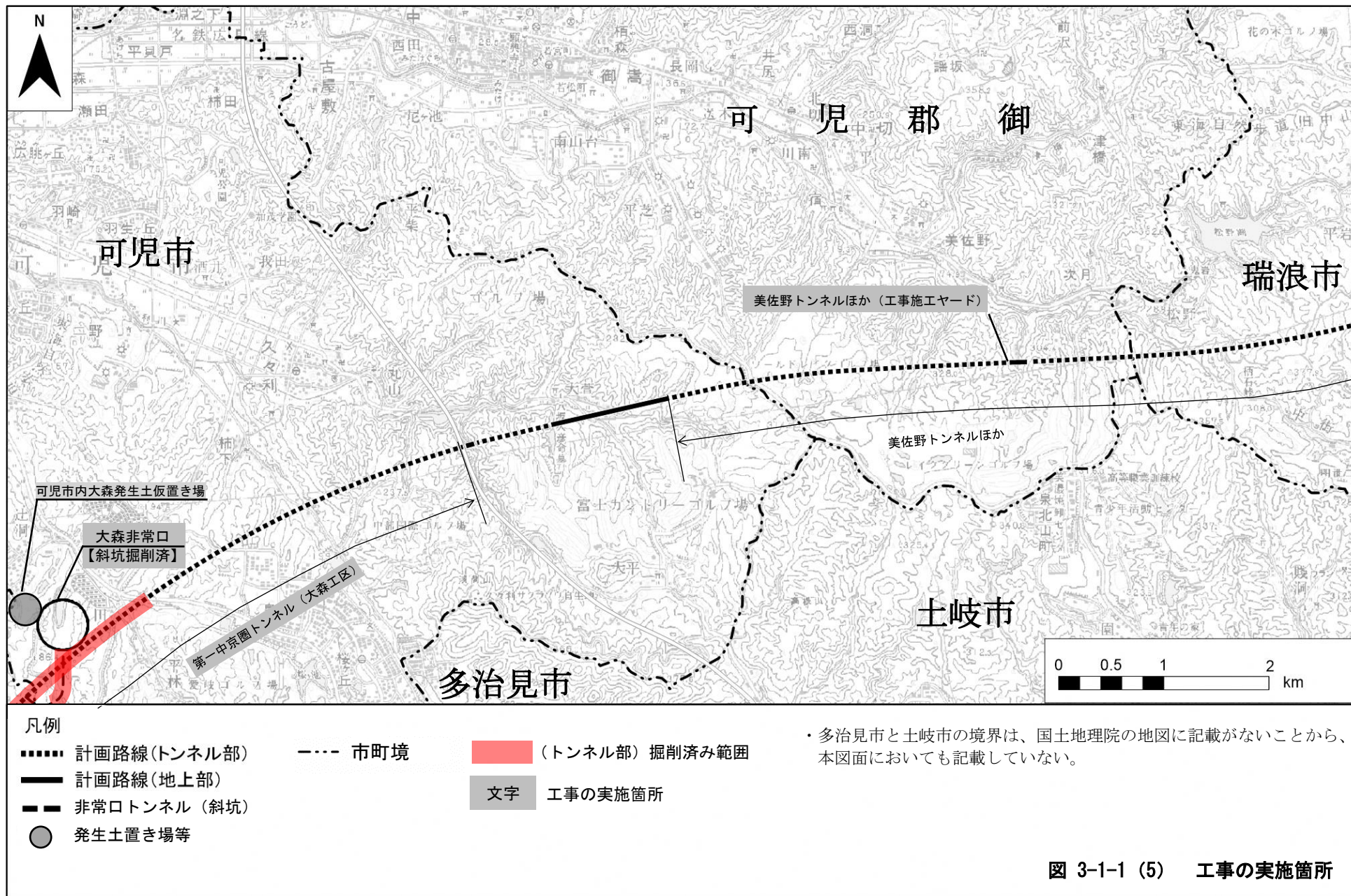




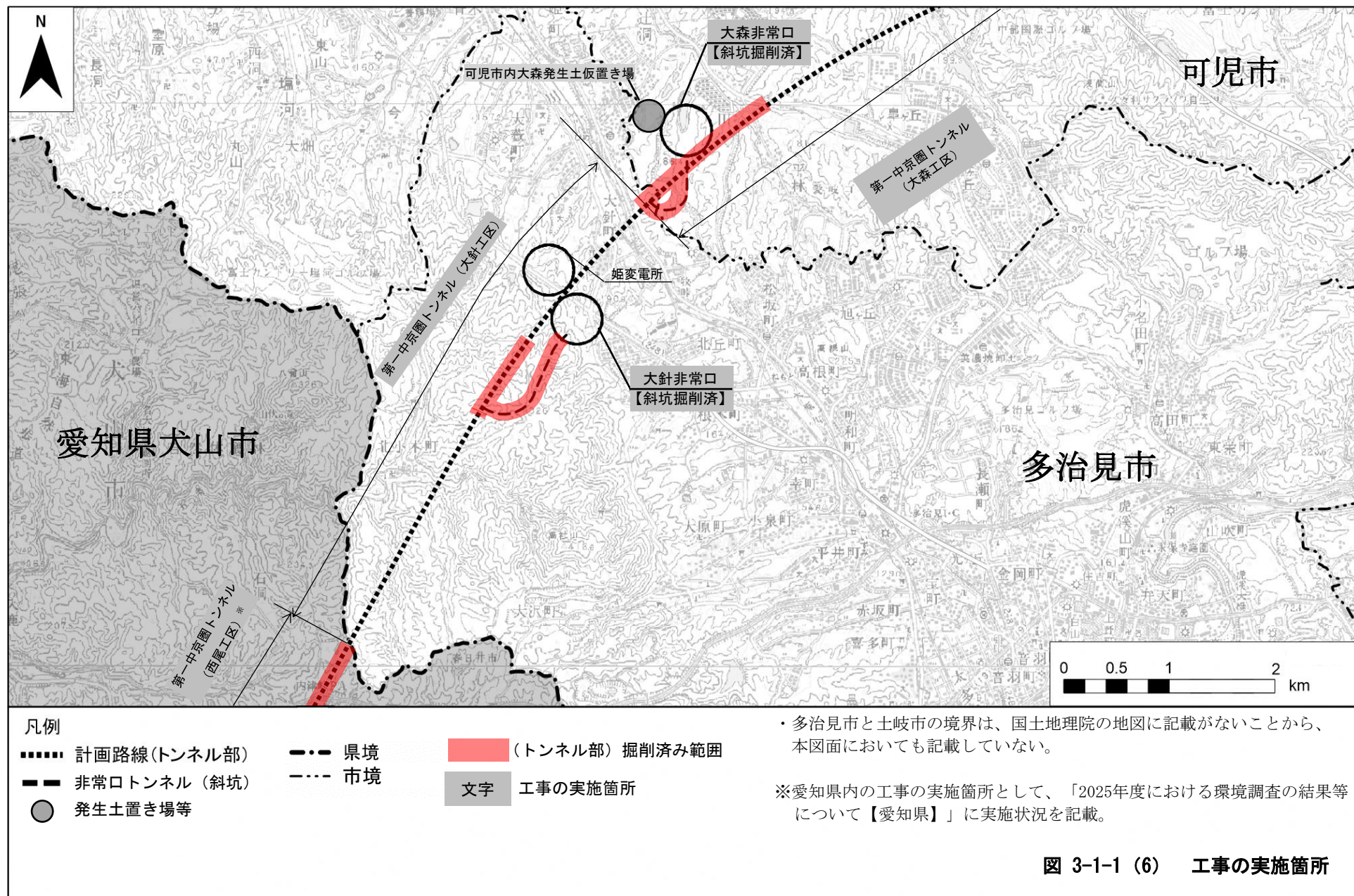


● 発生土置き場等

図 3-1-1 (4) 工事の実施箇所



・多治見市と土岐市の境界は、国土地理院の地図に記載がないことから、本図面においても記載していない。



3-2 瑞浪市大湫町における地下水位低下とこれに伴う地表面低下について

中央新幹線日吉トンネル南垣外工区のトンネル掘削工事現場付近である瑞浪市大湫町（おおくてちょう）において、井戸等の水位低下、地表面の低下が発生しており、地域にお住まいの皆様には、大変なご心配とご迷惑をおかけしている。

本件については、井戸等を使用して生活されている皆様への影響を最小限に抑えるための応急措置として、上水道をご利用いただくための工事を順次実施してきたほか、代替となる水源としての新しい井戸については掘削が完了し、2026年3月2日より供用を開始している。

また、地表面の低下については、2024年9月から地域の皆様のご協力のもと、家屋調査を実施し、状況把握に努めており、近傍で地表面が低下しているなど、当社工事による影響と考えられる場合については、補償基準に則り、応急措置を実施している。

今後は、先進ボーリングをはじめとする調査等についての計画の深度化を図るとともに、水資源確保や応急措置等に取り組みながら、これからの進め方について、引き続き自治体や地域の皆様ときめ細かくコミュニケーションを取っていく。

なお、本事象の経緯は下記に示すとおりである。また、岐阜県環境影響評価審査会地盤委員会への報告状況は、表 3-2-1に示すとおりである。2025年9月12日（2025年度第2回）において、これまで岐阜県環境影響評価審査会地盤委員会に報告してきた内容を踏まえ、地下水位の低下及び地表面の低下の発生状況の整理、これまでに実施してきたモニタリングや現地調査の結果を踏まえた原因の考え方、これまでに対応してきた対策とその効果等を取りまとめて報告した。さらに、2026年2月18日（2025年度第3回）において、委員等からの意見をもとに更新し、報告した。

《経緯》

- 2024年 -

- 2月20日 当社設置の観測用井戸3箇所にて水位の低下傾向を確認。
- 2月26日 地元の方々の立会の下、共同水源5箇所（井戸4箇所、湧水1箇所）を確認したところ、井戸1箇所（モニタリング対象としているM-106）の枯渇を確認。
- 3月10日 地元総会にて地元の方々に対し、各共同水源の状況説明及び共同水源（M-106以外の井戸3箇所）に水位計を設置したい旨を説明。
- 3月12日 定期調査（M-106）において水位の回復は見られず。（以降、回復は見られず）
- 3月14日～ 地元の方々に対し、井戸や上水道の利用状況を把握するためのアンケートを実施。
- 3月25日 共同水源（井戸3箇所）の計測開始。
- 4月14日 共同水源（井戸3箇所）のうち、北組（井戸）にて水位の低下傾向を確認。
- 4月18日～ 個人所有の井戸についても一部で水位低下を確認。
応急措置として上水道への切替工事を早急に対応させていただく旨を所有者に説明し、その後、随時工事を実施。
- 4月29日 共同水源（井戸3箇所）のうち、山の神でも水位の低下傾向を確認。
- 5月13日 地元の方々に対し、今後の対応等の説明会（大湫北区・西区）を開催。
- 5月17日 水田への影響を確認する目的で、観測井を1箇所追加。
- 5月20日 共同水源の水量確保を目的に、応急措置としての代替井戸の設置作業を開始。
トンネル掘削を一時中断し、湧水低減対策として薬液注入（一次注入）を開始。
- 5月31日 盆地における地表面の計測開始。
- 6月6日 薬液注入（一次注入）が完了。
- 6月10日 地元の方々に対し、各種対策の進捗状況等の全体説明会（大湫町）を開催。
- 6月11日 トンネル湧水低減対策として、薬液注入（二次注入（カバーロック））を開始。
- 8月6日 地表面の計測範囲を西方・北方に拡大。

- 9月9日 原因究明のための各種地質調査（ボーリング、電気探査）に着手。
 - 9月18日 盆地内の家屋調査に着手。
 - 10月25日 共同水源用の給水槽増設を実施。
 - 11月12日 地表面の計測範囲を南方へも拡大。
 - 12月16日 地表踏査・水質調査に着手。
 - 12月27日 薬液注入（二次注入（カバーロック））が完了。
 - 2025年 -
 - 1月18日 地元の方々に対し、各種調査結果と今後の方針等の全体説明会を開催。
 - 2月10日 農業用水確保を目的とした神田川堰堤浚渫工事着手。
 - 3月14日 神田川堰堤浚渫工事完了。
 - 5月8日 原因究明のための各種地質調査が完了。
 - 6月3日 地元の方々に対し、本注入取りやめと代替水源確保等の全体説明会を開催。
 - 6月30日 共同水源の応急措置としての代替井戸の掘削作業を開始。その後、8月初に井戸の孔壁の一部が崩れたことから、隣接箇所において再度掘削し11月上旬に完了。
 - 10月～12月 工事事務所の社員が大湫北区・西区の住民の皆様のご自宅にお伺いし、これまでの経緯や対応についてご説明のうえ、ご意見やご質問をお受けする個別訪問を実施。
 - 2026年 -
 - 1月10日 代替井戸をご使用になる方々に対し、設備や使用方法を説明。
 - 2月1日 地元の方々に対し、個別訪問で伺ったご意見や当社の取組み等の全体説明会を開催。
 - 2月17日 水田の修繕作業に着手。
 - 3月2日 代替井戸の供用を開始。
 - 4月14日 水田の修繕作業が完了。
- ・ 地元への全体説明会のほか、よりきめ細やかな対応を目的に、地元の方のご懸念やご要望をお聞きする場として個別説明を随時開催。

表 3-2-1 (1) 岐阜県環境影響評価審査会地盤委員会への報告状況

開催日	主な報告内容
2024年5月29日 (2024年度第1回)	・ 本事象の概要、これまでの経緯、原因、現在行っている対応について ・ 観測井や共同水源、個人井戸及びため池等の情報と減水や水位低下の状況 ・ 2023年12月以降のトンネル湧水量の推移及び切羽の状態 ・ トンネル湧水が発生した際の環境保全措置の実施状況
2024年6月4日 (第2回)	・ 薬液注入（一次注入）の施工概要、施工手順、進捗状況について ・ 二次注入のイメージ、施工手順、監視体制案、今後のスケジュールについて ・ 対応を求める事項についての回答
2024年6月24日 (第3回)	・ 応急対応（井戸の掘削等）について ・ 被害拡大防止（他事例等）について ・ 他工区での湧水量、地下水位の変動等の事象と対応について
2024年7月16日 (第4回)	・ 応急対応（深井戸の進捗状況等）について ・ 被害拡大防止（二次注入の進捗状況等）について ・ 原因究明について（電気探査、観測井追加による追加調査を計画）
2024年8月27日 (第5回)	・ 被害拡大防止について（参考事例の事象発生によるスケジュール変更） ・ 原因究明（追加調査の状況）について ・ 地表面測定結果について

表 3-2-1 (2) 岐阜県環境影響評価審査会地盤委員会への報告状況

開催日	主な報告内容
2024年9月25日 (第6回)	・被害拡大防止（止水対策）について ・影響範囲の把握、原因究明の調査内容の目的とスケジュール ・応急対策（深井戸・浅井戸）の進捗、給水槽の進捗、神田川浚渫計画
2024年10月29日 (第7回)	・被害拡大防止（止水対策）について ・影響範囲の把握・原因究明について（地質調査の進捗、湿地の状況） ・応急対策（井戸の掘削等）について
2024年11月27日 (第8回)	・影響範囲の把握、原因究明、被害拡大防止（止水対策）について（家屋調査の実施状況、水田調査、地質調査の進捗） ・応急対策（井戸の掘削等）について（井戸掘削による影響範囲）
2025年1月22日 (第9回)	・影響範囲の把握について応急対応（深井戸の進捗状況等）について ・原因究明について（地下水位低下の今後の見込み（暫定）、地下水と地表面の関連） ・被害拡大防止について（カバーロック施工後の状況、今後の対応方針、代替水源案） ・応急対策（井戸の掘削等）について
2025年6月6日 (2025年度第1回)	・原因究明と影響の予測について（現時点での影響予測） ・本注入の実施可否について（本注入後の回復量想定、本注入時のリスク） ・水資源確保の対応案について（深井戸計画、代替水源候補地の選定と状況）
2025年9月12日 (第2回)	・環境保全措置の実施状況について ・「中央新幹線日吉トンネル南垣外工区における井戸の水位低下等に関する報告書」について 【主な報告内容】 ・工事概要と経緯 ・影響範囲の把握について ・原因究明について ・応急対策について ・被害拡大防止について ・水環境の保全に向けた検討について 【参照先】岐阜県環境影響評価審査会地盤委員会（令和7年9月12日） 資料2 中央新幹線日吉トンネル南垣外工区における井戸の水位低下等に関する報告書（2025年9月） https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/464106.pdf 資料2 報告書別紙（1-1から3-3） https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/464987.pdf 資料2 報告書別紙（3-4から6-10） https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/464988.pdf    （報告書） （別紙3-3まで） （別紙3-4以降）

表 3-2-1 (3) 岐阜県環境影響評価審査会地盤委員会への報告状況

開催日	主な報告内容
2026年2月18日 (第3回)	・再発防止に向けた取組、環境保全措置の実施状況について ・「中央新幹線日吉トンネル南垣外工区における井戸の水位低下等に関する報告書」の更新 【主な更新点】 ・本事象の振り返り及び今後の取り組みを追記 ・地下水位の今後の見込みを追記 ・二次注入（カバーロック）の効果を追記 【参照先】岐阜県環境影響評価審査会地盤委員会（令和8年2月18日） 資料3 中央新幹線日吉トンネル南垣外工区における井戸の水位低下等に関する報告書（2026年2月一部更新） https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/485929.pdf 

3-3 中津川市瀬戸残土処理場における搬入土砂への産業廃棄物（コンクリート殻）の混入について

2025年5月、瀬戸トンネル新設工事の発生土運搬先である中津川市瀬戸残土処理場（設置者：中津川市）において、大規模工事からの発生土に係る「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」の運用に基づき、岐阜県が搬入された土砂の検査を実施したところ、産業廃棄物であるコンクリート殻が混入していたことが確認された。

これを受けて当社は、瀬戸トンネル新設工事請負業者に対して、搬入土砂へのコンクリート殻混入について、原因究明と対応策の報告を求めるとともに、産業廃棄物の分別及び処理について適切に対応するよう指導を行った。その後、岐阜県内全ての工区に対して事象の概要、原因・対策等について周知し、同様の事象が発生しないよう指導した。

【原因と対策】

原因については、コンクリート殻が確認された場所から搬入時期を確認したところ、当該期間においては、土砂ピット（判定用）内の土砂の量が多く、分別したコンクリート殻と近接していたため、誤って一部のコンクリート殻と一緒に運搬車両に積み込んだことが原因であると推定している。

そこで、工事請負業者は、産業廃棄物に係る管理体制の強化（分別作業状況の確認強化、廃棄物集積場の堅固化）などの対策を行うこととした。また、発注者である当社は、これまでも確認を行ってきたが、さらなる徹底を図ることとした。

第4章 実施した調査項目、調査方法、調査地域及び調査結果

2025年度は、水資源、地盤沈下、動物、植物、生態系について事後調査を実施した。また、評価書公告以降に新たに当社が計画した発生土置き場等について、環境保全措置の内容を詳細にするための調査及び影響検討※を実施した。加えて、影響検討において検討結果や環境保全措置の効果等に不確実性がある環境要素についても、事後調査を実施した。なお、動物、植物、生態系については、希少種の保護の観点から、生息・生育箇所の特定に繋がるような調査結果等の一部の資料については非公開とした。

※ 評価書【岐阜県】において、事後調査として位置付けている。

4-1 水資源

地下水を利用した水資源に与える影響の予測には不確実性があることから事後調査を実施した。なお、本報告に関わる事後調査計画については、工事計画や評価書における地下水の予測検討範囲、既存文献資料、自治体並びに予測検討範囲に係る地区の自治会等への聞き取り調査の結果を踏まえ策定している。

4-1-1 調査方法

調査項目及び調査方法は、表 4-1-1-1 に示すとおりである。

表 4-1-1-1 調査方法

調査項目		調査方法
井戸の水位 湧水の水量	井戸の水位及び湧水の水量、 水温、水素イオン濃度（pH）、 電気伝導率、透視度	「地下水調査および観測指針（案）」 （1993年3月、建設省河川局監修）に準拠 する。
地表水の 流量	流量、水温、 水素イオン濃度（pH）、 電気伝導率	「水質調査方法」 （昭和46年環水管30号）に準拠する。

4-1-2 調査地点

表 4-1-2-1 及び図 4-1-2-1 に示すとおりである。

表 4-1-2-1 (1) 調査地点（水資源（井戸・湧水））

地点 番号	市町村名	地区	調査地点	調査項目
N-01	中津川市	山口	共同水源（井戸の深さ約 6 m）	・ 井戸の水位、湧水の水量 ・ 水温 ・ pH ・ 電気伝導率 ・ 透視度
N-02			個人井戸（井戸の深さ約 5 m）	
N-03			個人水源（湧水）	
N-04			個人水源（湧水）	
N-09		瀬戸	個人井戸（井戸の深さ約 12 m）	
N-10			個人井戸（井戸の深さ約 100 m）※ 1	
N-11			個人井戸（井戸の深さ約 3 m）	
N-12			個人井戸（井戸の深さ約 5 m）	
N-13			個人井戸（井戸の深さ約 10 m）	
N-15			個人井戸（井戸の深さ約 4 m）	
N-16			個人井戸（井戸の深さ約 7 m）	
N-17			個人水源（湧水）	
N-21		駒場	個人井戸（井戸の深さ約 118 m）※ 2	
N-22			個人井戸（井戸の深さ約 4 m）	
N-24			個人井戸（井戸の深さ約 8 m）	
N-25			個人井戸（井戸の深さ約 8 m）	
N-26			個人水源（湧水）	
N-27			個人井戸（井戸の深さ約 5 m）	
N-28			個人水源（湧水）	
N-29			個人水源（湧水）※ 3	
N-30			個人井戸（井戸の深さ約 8 m）	

※ 1 評価書【岐阜県】p. 8-2-3-10における現地調査地点番号02に対応

※ 2 評価書【岐阜県】p. 8-2-3-10における現地調査地点番号03に対応

※ 3 2025年2月に水利用の実態がないことを確認したため、2025年度以降は調査地点から除くこととした。

表 4-1-2-1 (2) 調査地点（水資源（井戸・湧水））

地点 番号	市町村名	地区	調査地点	調査項目
E-13	恵那市	大井町	観測孔（井戸の深さ約60m）	・井戸の水位、湧水の水量 ・水温 ・pH ・電気伝導率 ・透視度
E-14			個人井戸（井戸の深さ約4.5m）	
E-15			個人井戸（井戸の深さ約10m）	
E-16			個人水源（湧水）	
E-17			個人井戸（井戸の深さ約5m）	
E-01			個人井戸（井戸の深さ約4m）	
E-02			個人水源（湧水）	
E-03		長島町	個人水源（湧水）	
E-04			個人井戸（井戸の深さ約4m）※1	
E-05			個人井戸（井戸の深さ約2.5m）	
E-06			個人井戸（井戸の深さ約1m）	
E-07			個人井戸（井戸の深さ約3m）	
E-08		武並町	行政井戸（井戸の深さ約3m）※2	
M-02	瑞浪市	大湫町	個人井戸（井戸の深さ約6m）	
M-19			個人井戸（井戸の深さ約4m）	
M-03		日吉町	個人井戸（井戸の深さ約4m）	
M-04			個人水源（湧水）	
M-05			個人井戸（井戸の深さ約3m）	
M-06			個人水源（湧水）	
M-07			個人井戸（井戸の深さ約110m）※3	
M-08			個人井戸（井戸の深さ約6m）	
M-09			個人井戸（井戸の深さ約2m）	
K-01	可児市	柿下	個人井戸（井戸の深さ約5m）	
K-07		大森	個人井戸（井戸の深さ約8m）	
K-03			個人井戸（井戸の深さ約4m）	

※1 評価書【岐阜県】p.8-2-3-10における現地調査地点番号07に対応

※2 評価書【岐阜県】p.8-2-3-10における現地調査地点番号06に対応

※3 評価書【岐阜県】p.8-2-3-10における現地調査地点番号09に対応

表 4-1-2-1 (3) 調査地点（水資源（井戸・湧水））

地点 番号	市町村名	地区	調査地点	調査項目
T-01	多治見市	北丘町	個人井戸（井戸の深さ約120m）※1	
T-02		大針町	個人井戸（井戸の深さ約 6 m）	
T-03		北小木町	個人井戸（井戸の深さ約 5 m）	

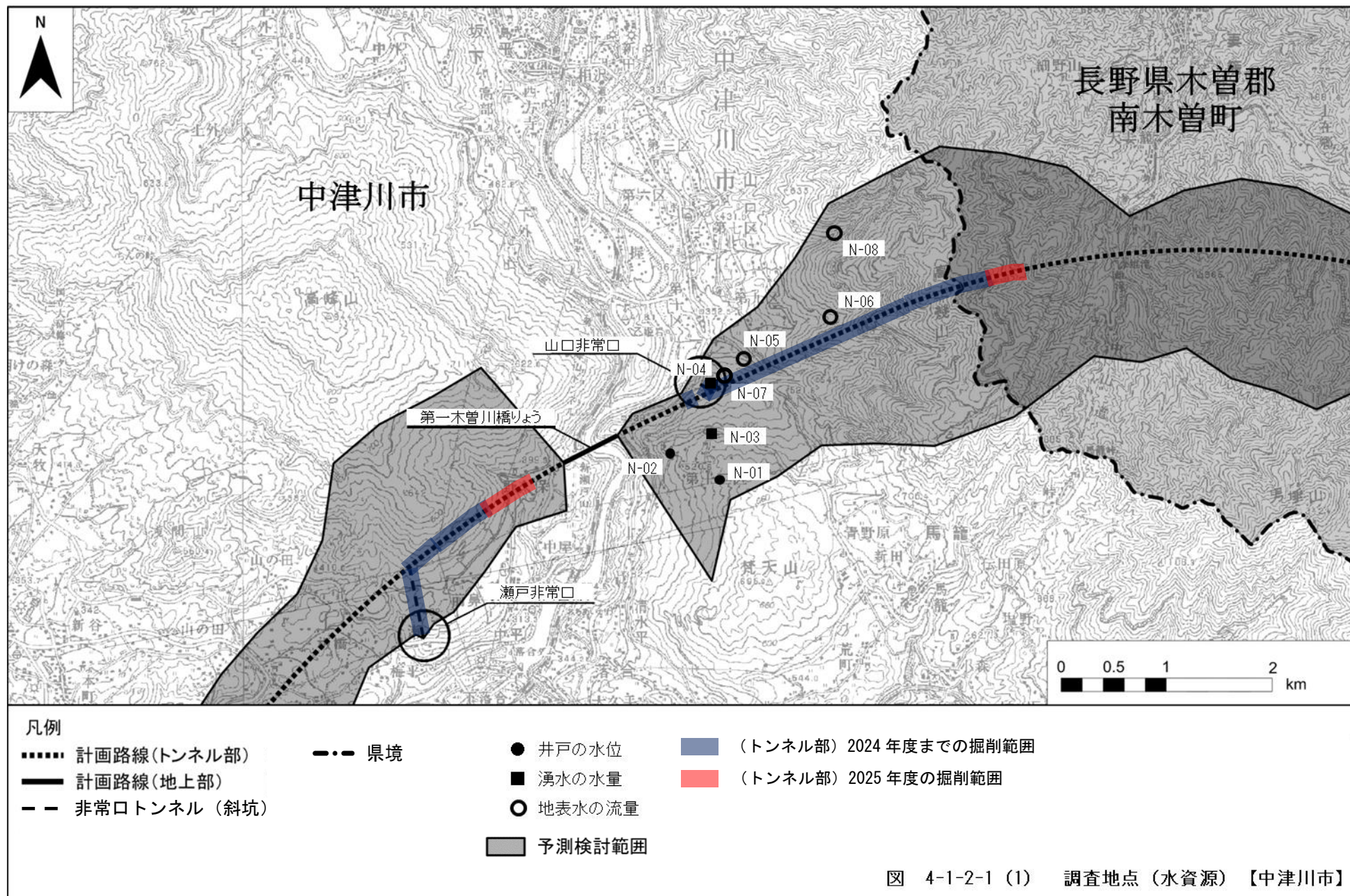
※ 1 評価書【岐阜県】p. 8-2-3-10における現地調査地点番号16に対応

表 4-1-2-1 (4) 調査地点（水資源（地表水））

地点 番号	市町村名	地区	調査地点	調査項目
N-05	中津川市	山口	大沢川（下流）	・ 地表水の流量 ・ 水温 ・ pH ・ 電気伝導率
N-06			新梨川（上流）	
N-07			前野川（下流）	
N-08			深沢川（上流）	
N-18		瀬戸	土場川下流	
N-19			くらがり沢下流	
N-20			山の田川下流	
N-31		駒場	茶臼川	
N-32			辻原川	
N-33			馬見川	
E-18	恵那市	大井町	大林川	
E-19			黒岩川	
E-09		長島町	千田川	
E-10			新田川	
E-11			一之沢川	
E-12		武並町	紅坂川	
M-10	瑞浪市	釜戸町	藤道川	
M-11		大湫町	細久川（上流）	
M-12			御湯川（上流）	
M-13			足又川（下流）	
M-14		日吉町	宿洞川（下流）	
M-15			社別当川	
M-16			南垣外川（下流）	
M-17			白倉川（下流）	
M-18			常道川（中流）	
K-04	可児市	柿下	柿下川	
K-05			柿下川支川	
K-06		大森	大森川	

表 4-1-2-1 (5) 調査地点（水資源（地表水））

地点 番号	市町村名	地区	調査地点	調査項目
T-04	多治見市	大針町	姫川	
T-05		北小木町	神明洞川	



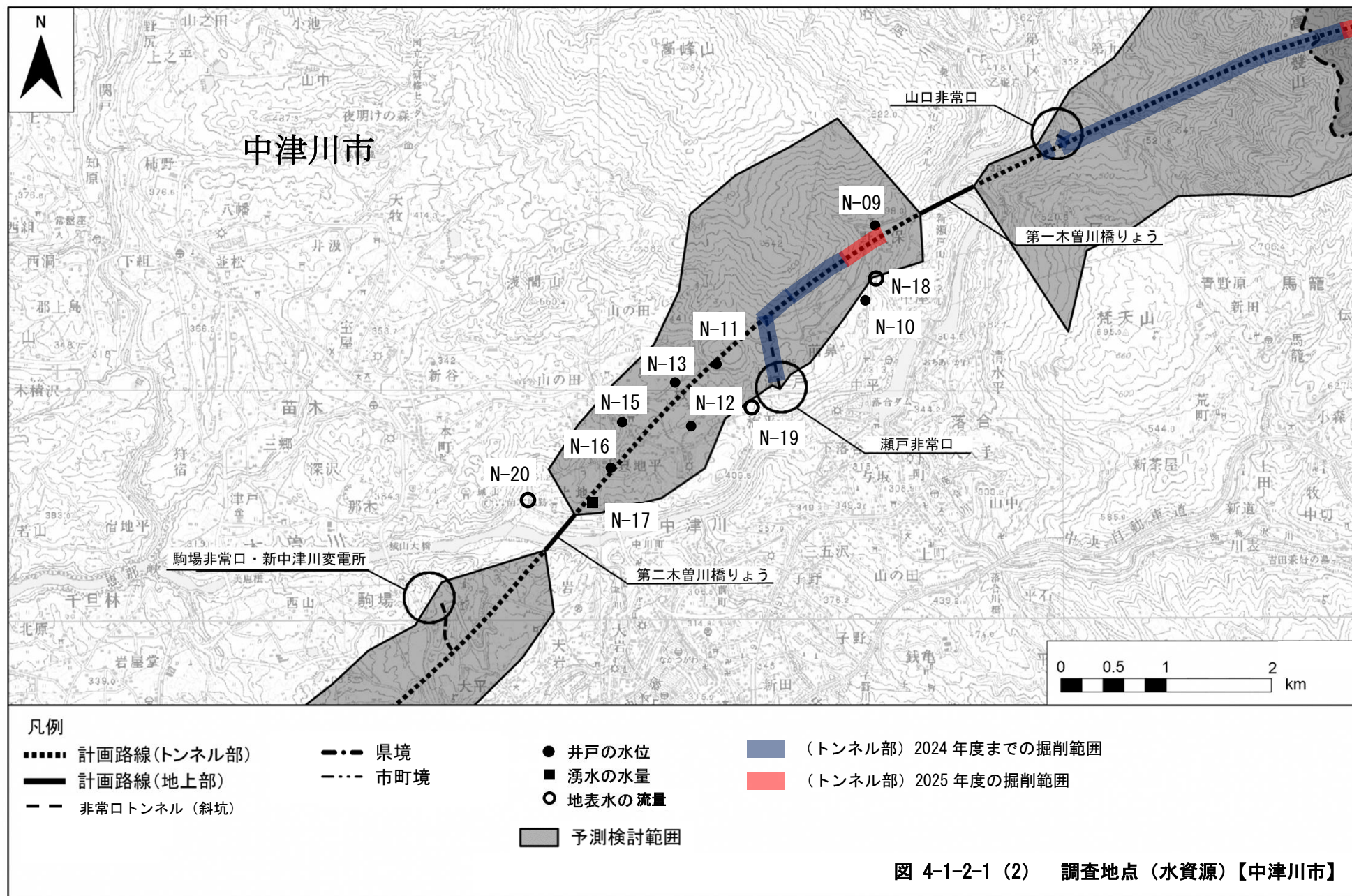
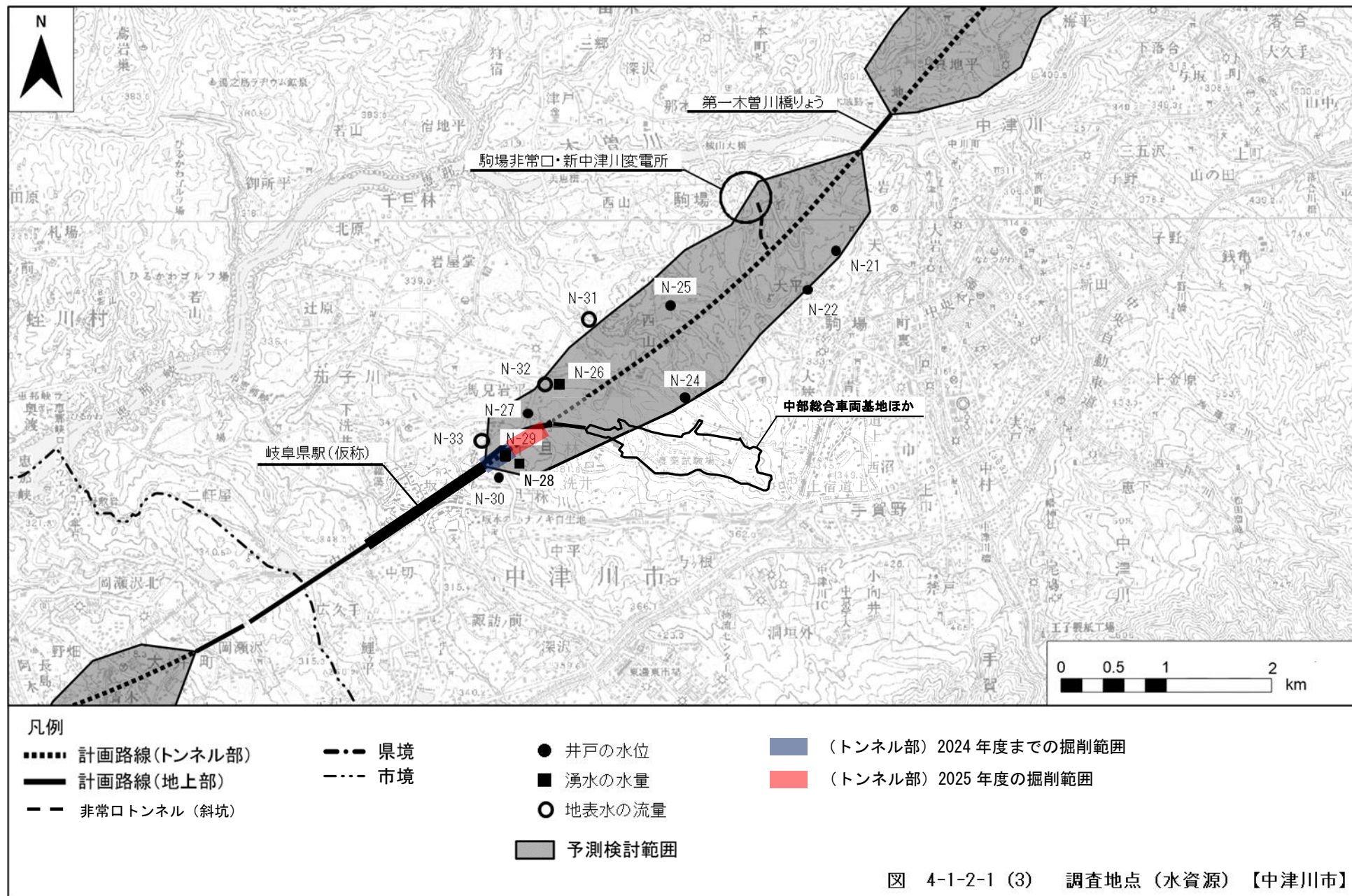
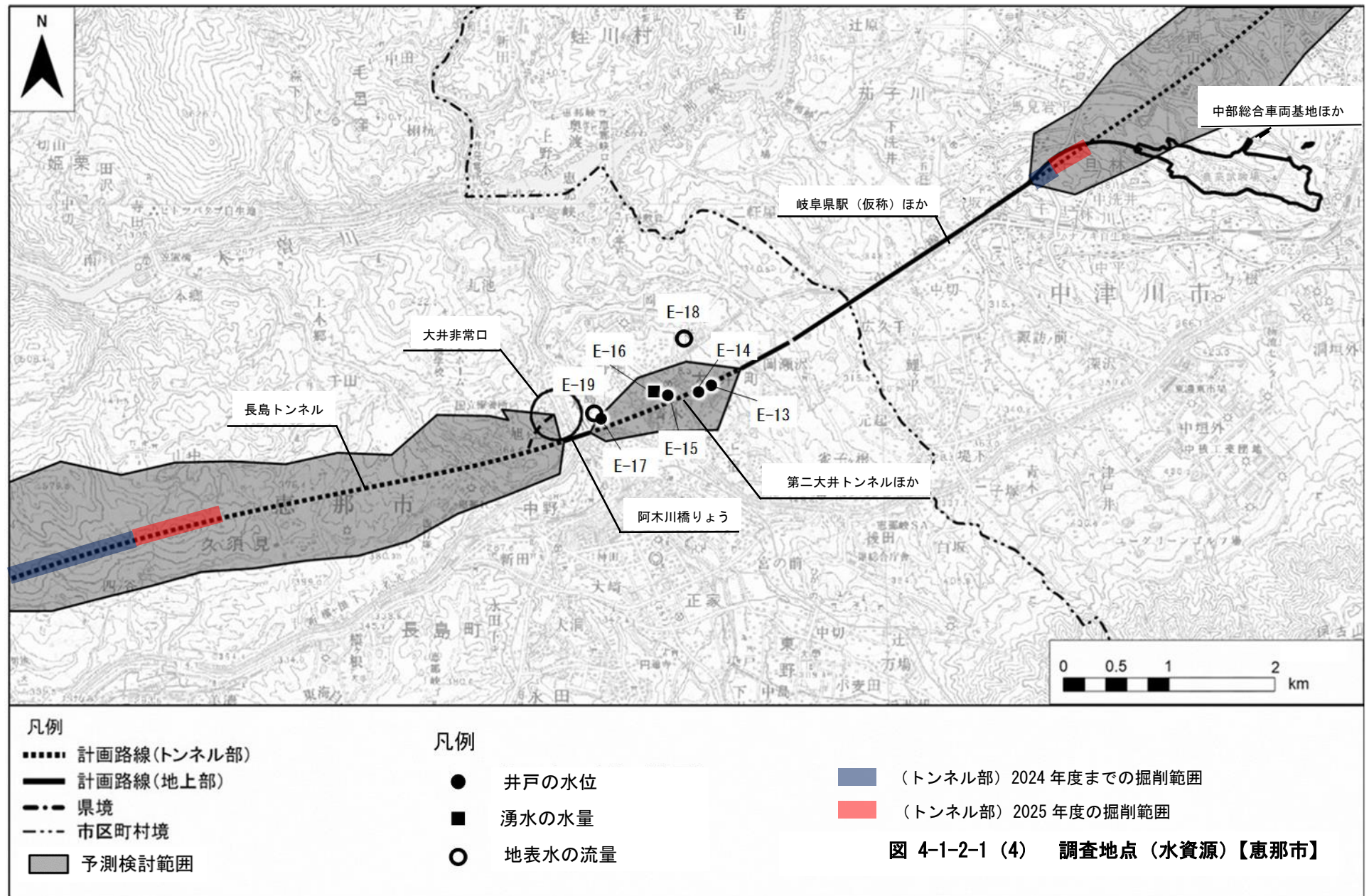
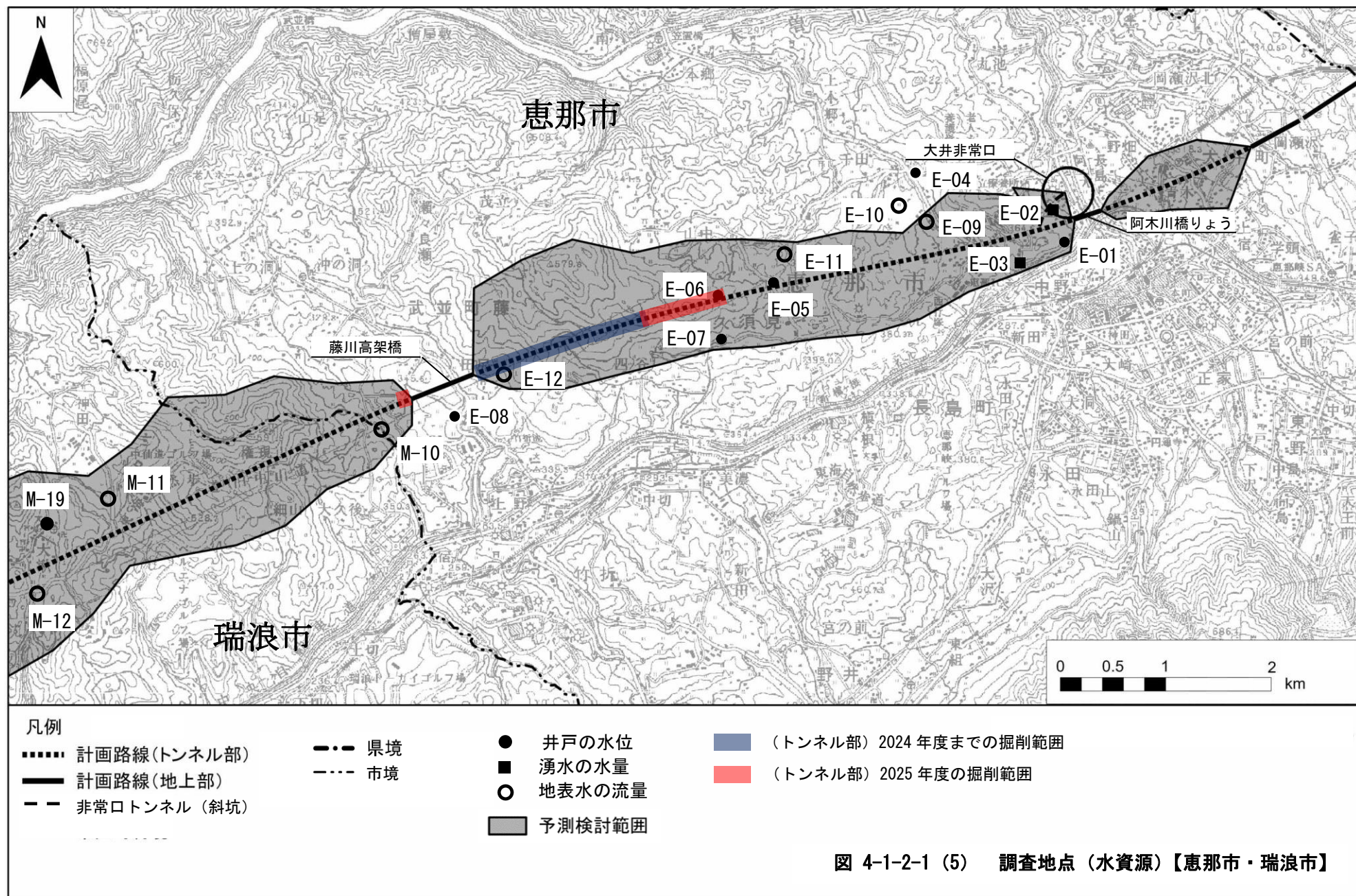


図 4-1-2-1 (2) 調査地点(水資源)【中津川市】







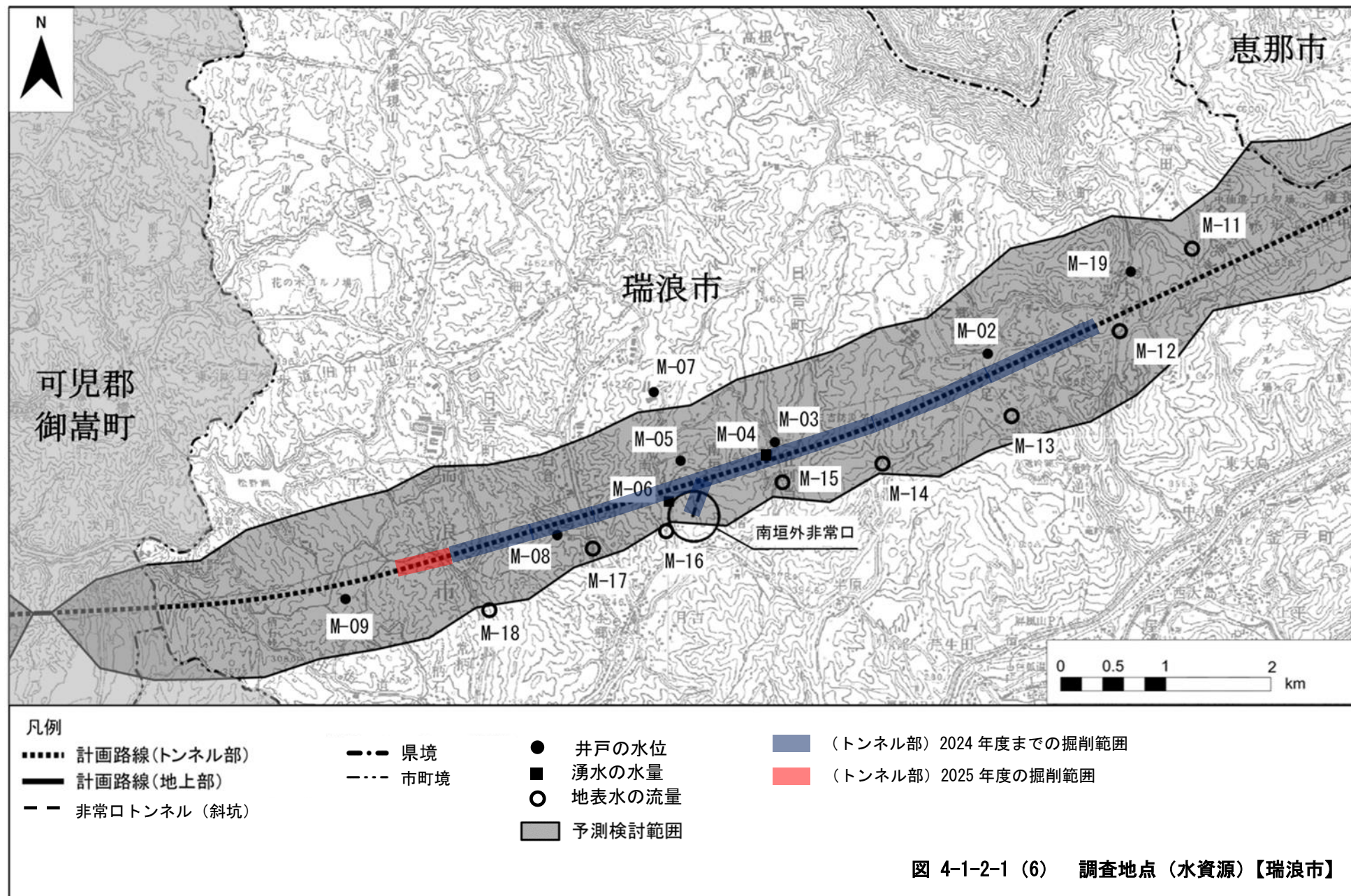
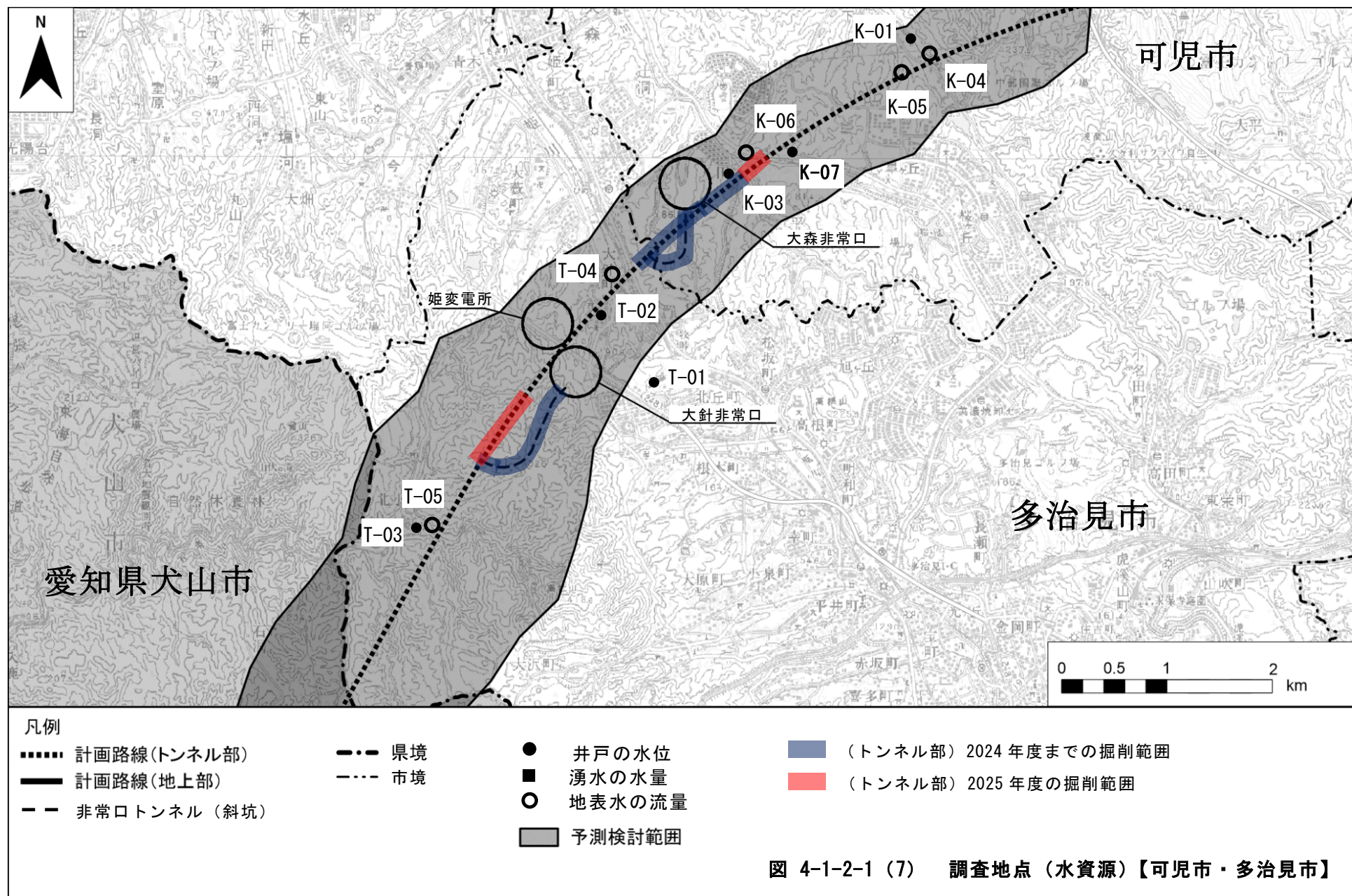


図 4-1-2-1 (6) 調査地点（水資源）【瑞浪市】



4-1-3 調査期間

現地調査の期間は表 4-1-3-1 に示すとおりである。

表 4-1-3-1 (1) 調査期間（井戸・湧水）

調査項目	調査日	調査頻度
水位又は水量、 水温、 水素イオン 濃度（pH）、 電気伝導率、 透視度	2025 年 4 月 3 日、4 日、8 日、9 日、14 日、15 日、16 日、17 日、18 日	月 1 回/ 地点
	2025 年 5 月 8 日、9 日、12 日、13 日、15 日、16 日、20 日、21 日、27 日	
	2025 年 6 月 3 日、4 日、10 日、13 日、16 日、17 日、18 日、19 日、20 日、 24 日	
	2025 年 7 月 2 日、3 日、4 日、7 日、9 日、14 日、15 日、16 日、17 日、 18 日、22 日	
	2025 年 8 月 5 日、6 日、7 日、18 日、19 日、20 日、21 日、22 日、26 日	
	2025 年 9 月 3 日、4 日、5 日、8 日、9 日、16 日、17 日、18 日、19 日、 24 日	
	2025 年 10 月 1 日、2 日、8 日、9 日、14 日、15 日、16 日、17 日、21 日、 22 日	
	2025 年 11 月 6 日、7 日、15 日、17 日、18 日、19 日、20 日、21 日、26 日	
	2025 年 12 月 3 日、4 日、5 日、8 日、15 日、16 日、17 日、18 日、19 日、 23 日、24 日、25 日	
	2026 年 1 月 7 日、8 日、13 日、14 日、15 日、16 日、20 日、21 日、28 日、 29 日	
	2026 年 2 月 3 日、4 日、5 日、11 日、16 日、17 日、18 日、19 日、20 日、 25 日、26 日	
	2026 年 3 月 3 日、4 日、5 日、16 日、17 日、18 日、19 日、23 日、25 日、 26 日	

表 4-1-3-1 (2) 調査期間（地表水）

調査項目	調査日	調査頻度
流量、水温、 水素イオン 濃度（pH）、 電気伝導率	2025 年 4 月 1 日、2 日、7 日、8 日、9 日、14 日、15 日、16 日、17 日、 19 日	月 1 回/ 地点
	2025 年 5 月 8 日、12 日、13 日、14 日、15 日、16 日、19 日、20 日、 21 日、22 日、28 日	
	2025 年 6 月 4 日、10 日、11 日、12 日、13 日、16 日、17 日、18 日、 19 日、20 日、25 日	
	2025 年 7 月 2 日、7 日、8 日、9 日、10 日、11 日、14 日、15 日、16 日、 17 日、18 日、23 日、25 日	
	2025 年 8 月 4 日、5 日、6 日、8 日、18 日、19 日、20 日、21 日、22 日、 25 日、28 日	
	2025 年 9 月 3 日、9 日、10 日、11 日、12 日、15 日、16 日、17 日、 18 日、23 日、26 日	
	2025 年 10 月 5 日、6 日、7 日、8 日、10 日、13 日、14 日、15 日、16 日、 21 日、22 日、23 日、31 日	
	2025 年 11 月 4 日、5 日、13 日、14 日、17 日、18 日、19 日、20 日、 27 日、28 日	
	2025 年 12 月 1 日、2 日、3 日、5 日、10 日、11 日、12 日、15 日、16 日、 17 日、18 日、22 日、24 日、25 日、26 日	
	2026 年 1 月 5 日、7 日、13 日、14 日、15 日、16 日、19 日、20 日、 21 日、22 日、23 日、27 日、29 日、30 日	
	2026 年 2 月 2 日、3 日、9 日、11 日、13 日、16 日、17 日、18 日、19 日、 24 日、26 日、27 日	
	2026 年 3 月 2 日、3 日、4 日、13 日、16 日、17 日、18 日、19 日、24 日、 25 日、26 日、27 日	

4-1-4 調査結果

2025 年度の調査結果は表 4-1-4-1 に示すとおりである。また、水位又は水量、流量の調査結果については、図 4-1-4-1 に示すとおり、過去 5 年分のデータを記載している。

井戸の水位、湧水の水量及び地表水の流量について、トンネルの工事に伴う減水・湧水等の兆候は認められなかった。

表 4-1-4-1 (1) 調査結果（井戸・湧水）

事後調査（井戸・湧水）			2025 年度											
市町村名	調査地点	項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
中津川市	N-01※ ¹	水位（-m）	1.80	1.84	1.87	0.73	2.48	1.74	3.99	2.52	3.51	3.07	2.14	1.78
		水温(℃)	12.9	12.4	13.8	16.4	16.5	17.8	17.0	17.0	14.6	12.9	10.8	11.9
		pH	6.0	5.9	6.2	6.5	7.0	5.8	6.0	5.6	5.7	6.7	5.8	5.8
		電気伝導率（mS/m）	3.6	3.6	3.4	3.8	3.7	4.4	5.0	4.0	5.0	3.7	3.8	3.8
		透視度(cm)	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	N-02※ ¹	水位（-m）	2.94	3.35	3.03	1.54	2.47	1.85	2.54	2.91	4.11	―※ ³	―※ ³	4.45
		水温(℃)	12.6	12.9	13.9	21.4	17.4	23.6	20.2	12.6	12.7	―※ ³	―※ ³	11.9
		pH	6.1	6.1	6.0	5.7	5.8	5.8	5.7	5.2	5.8	―※ ³	―※ ³	6.0
		電気伝導率（mS/m）	4.8	4.4	4.5	4.5	4.7	5.1	4.9	4.7	4.8	―※ ³	―※ ³	5.7
		透視度(cm)	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	―※ ³	―※ ³	>100
	N-03	水量（m ³ /min）	0.0096	0.0186	0.016	0.0168	0.0396	0.0018	0.0138	0.0042	0.0012	0.006	0.0018	0.0096
		水温(℃)	9.6	11.5	13.3	16.7	19.3	21.3	18.6	13.8	12.3	10.0	8.2	9.1
		pH	6.8	6.6	5.9	6.3	6.1	6.4	6.1	7.1	6.9	7.0	6.1	6.2
		電気伝導率（mS/m）	2.3	2.5	2.4	2.0	2.0	2.3	2.3	2.5	2.5	2.4	2.5	2.2
		透視度(cm)	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	N-04	水量（m ³ /min）	0.0619	0.0891	0.194	0.2547	0.0726	0.0095	0.0414	0.0381	0.0202	0.0226	0.0158	0.0397
		水温(℃)	8.6	13.7	15.3	19.0	21.7	24.8	19.2	16.4	12.8	8.2	7.5	7.4
		pH	6.6	6.3	6.5	6.2	6.4	6.7	6.7	6.5	7.3	7.7	7.7	7.1
		電気伝導率（mS/m）	4.2	4.8	4.2	4.3	4.7	6.7	5.0	4.5	4.4	4.3	3.9	5.1
		透視度(cm)	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	N-09※ ²	水位（-m）	2.91	3.13	2.38	2.96	3.38	3.13	3.12	3.45	3.65	4.18	3.71	3.57
		水温(℃)	12.2	14.7	18.6	21.1	21.2	21.6	19.2	15.9	14.1	11.7	13.1	12.5
		pH	6.9	7.2	7.6	8.0	6.9	7.1	6.9	6.9	6.8	6.9	6.5	6.8
		電気伝導率（mS/m）	4.1	4.0	5.3	4.5	4.5	4.8	4.6	3.8	3.5	5.6	3.6	3.7
		透視度(cm)	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50

- ・ 地点番号は表 4-1-2-1 及び図 4-1-2-1 を参照。
- ・ 透視度の「>50」「>100」は、測定機器の計測限界値である50cmもしくは100cmを超過したことを示す。

※1 水位は地表面（GL）からの深さを示す。

※2 水位は孔口からの深さを示す。

※3 水位が確認できなかったため、測定不可。

表 4-1-4-1 (2) 調査結果 (井戸・湧水)

事後調査 (井戸・湧水)			2025 年度											
市町村名	調査地点	項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
中津川市	N-10※ ¹	水位 (‐m)	9.06	9.14	8.71	7.37	8.28	8.15	8.38	9.88	9.42	9.58	9.83	9.22
		水温 (℃)	16.6	20.8	25.5	32.5	32.7	27.3	21.2	13.5	12.1	6.4	13.5	13.8
		pH	6.9	7.3	7.5	7.2	7.1	7.1	7.0	6.7	6.8	6.8	6.2	6.4
		電気伝導率 (mS/m)	6.9	7.1	7.5	7.0	6.9	6.9	7.0	6.9	6.9	7.5	7.0	7.0
		透視度 (cm)	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
	N-11※ ¹	水位 (‐m)	1.45	1.35	1.38	1.32	1.55	1.36	1.41	1.56	1.55	1.56	1.45	1.47
		水温 (℃)	11.2	14.3	16.2	19.8	20.5	20.8	18.7	15.2	13.5	10.7	10.7	11.1
		pH	5.7	5.5	5.6	5.5	5.3	5.4	5.5	6.0	5.9	5.8	5.8	6.3
		電気伝導率 (mS/m)	1.7	2.4	2.3	2.2	2.4	2.4	2.2	1.6	1.8	1.7	1.8	2.0
		透視度 (cm)	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
	N-12※ ¹	水位 (‐m)	2.56	2.52	2.38	2.45	2.83	2.54	2.61	3.07	2.86	3.14	2.68	2.69
		水温 (℃)	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²
		pH	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²
		電気伝導率 (mS/m)	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²
		透視度 (cm)	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²	‐※ ²
	N-13※ ¹	水位 (‐m)	1.28	1.34	0.99	0.59	0.82	0.71	0.83	1.15	1.16	1.37	1.31	1.38
		水温 (℃)	11.5	17.3	22.6	25.9	26.7	23.4	17.3	12.4	9.7	3.4	9.3	10.8
		pH	6.0	6.3	6.1	6.1	6.2	6.1	5.9	6.0	6.1	5.7	6.0	6.2
		電気伝導率 (mS/m)	1.9	2.4	2.4	2.6	2.2	2.2	2.2	2.0	2.2	2.1	1.9	1.9
		透視度 (cm)	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
	N-15※ ¹	水位 (‐m)	3.34	3.32	3.27	3.23	3.36	3.26	3.31	3.51	3.49	3.56	3.38	3.42
		水温 (℃)	10.9	13.5	17.1	21.0	22.1	22.0	19.4	16.6	15.3	13.2	12.6	12.2
		pH	6.4	6.4	6.6	6.8	6.6	6.6	7.0	6.7	6.5	6.4	6.8	6.6
		電気伝導率 (mS/m)	5.2	5.2	5.4	5.8	5.6	5.4	5.4	5.0	4.7	4.8	4.8	4.9
		透視度 (cm)	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50

- ・ 地点番号は表 4-1-2-1 及び図 4-1-2-1 を参照。
- ・ 透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示す。

※1 水位は孔口からの深さを示す。

※2 採水口から水が出なかったため測定不可。

表 4-1-4-1 (3) 調査結果 (井戸・湧水)

事後調査 (井戸・湧水)			2025 年度											
市町村名	調査地点	項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
中津川市	N-16※	水位 (‐m)	1.01	1.03	0.97	1.02	1.32	1.01	1.03	1.52	2.15	2.32	2.18	1.42
		水温 (℃)	12.7	17.0	21.1	24.5	25.2	24.1	19.9	17.7	16.5	13.9	13.6	13.4
		pH	6.4	6.4	6.6	7.2	6.4	6.5	6.7	6.4	6.5	6.0	6.1	6.0
		電気伝導率 (mS/m)	7.5	5.8	6.0	6.8	5.8	6.0	6.6	7.5	10.2	12.2	12.6	9.4
		透視度 (cm)	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
	N-17	水量 (m ³ /min)	0.0145	0.0078	0.0411	0.0417	0.0035	0.0049	0.0087	0.0104	0.0035	0.0042	0.0042	0.0115
		水温 (℃)	10.4	16.3	20.1	18.3	21.5	18.5	15.6	11.0	9.4	5.2	9.8	10.8
		pH	6.9	7.2	7.7	6.6	7.3	7.2	7.0	7.1	6.9	7.3	7.1	7.1
		電気伝導率 (mS/m)	2.6	2.3	2.0	9.8	9.6	9.5	2.1	2.3	2.2	3.1	2.3	2.2
		透視度 (cm)	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
	N-21※	水位 (‐m)	55.24	55.43	54.03	53.70	52.61	52.69	52.56	53.57	53.19	53.83	54.32	54.46
		水温 (℃)	14.1	17.5	20.6	18.7	22.6	20.2	17.0	15.6	12.7	12.1	13.6	12.3
		pH	5.9	5.8	5.9	6.3	6.9	5.8	5.9	5.9	5.6	6.0	6.0	6.0
		電気伝導率 (mS/m)	10.43	8.72	9.52	8.72	10.03	8.97	8.96	9.40	8.86	9.89	8.35	8.21
		透視度 (cm)	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	N-22※	水位 (‐m)	0.99	0.96	0.64	0.27	0.40	0.44	0.52	0.64	0.81	1.05	1.21	2.10
		水温 (℃)	12.7	14.0	20.2	18.7	25.2	21.7	17.9	14.4	9.4	9.0	10.4	12.1
		pH	5.7	5.7	5.9	6.1	5.7	5.8	5.9	5.9	5.8	5.9	5.9	6.3
		電気伝導率 (mS/m)	2.99	2.65	2.68	2.57	3.17	3.19	3.02	2.74	2.34	2.30	2.42	3.10
		透視度 (cm)	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	N-24※	水位 (‐m)	5.77	5.08	3.31	1.72	2.68	2.41	2.79	3.16	4.09	4.86	6.15	5.51
		水温 (℃)	15.3	17.4	27.2	22.9	25.7	24.3	21.8	12.1	12.4	16.8	12.5	17.0
		pH	6.4	6.5	6.4	5.9	6.4	6.6	6.7	6.6	6.6	6.8	6.9	6.3
		電気伝導率 (mS/m)	11.24	8.23	8.79	6.37	6.65	8.75	6.94	8.54	8.07	13.60	12.49	14.11
		透視度 (cm)	>100	61	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	75

- ・ 地点番号は表 4-1-2-1 及び図 4-1-2-1 を参照。
- ・ 透視度の「>50」「>100」は、測定機器の計測限界値である 50cm もしくは 100cm を超過したことを示す。

※ 水位は孔口からの深さを示す。

表 4-1-4-1 (4) 調査結果 (井戸・湧水)

事後調査 (井戸・湧水)			2025 年度											
市町村名	調査地点	項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
中津川市	N-25※ ¹	水位 (m)	5.45	5.25	2.01	1.56	2.82	2.72	5.24	5.38	6.03	6.30	6.65	6.06
		水温 (℃)	13.1	15.6	21.2	20.9	24.0	21.7	18.9	17.7	16.2	14.0	13.7	16.6
		pH	5.4	5.4	5.7	6.2	5.7	5.5	5.4	5.6	5.3	5.5	5.5	4.9
		電気伝導率 (mS/m)	15.7	15.7	19.4	21.0	24.7	21.1	18.9	15.1	13.5	14.3	12.6	13.98
		透視度 (cm)	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	N-26	水量 (m ³ /min)	0※ ²	0※ ²	0.0005	0.0161	0※ ²	―※ ³	0※ ²	0※ ²	0※ ²	0※ ²	0※ ²	0※ ²
		水温 (℃)	13.8	17.6	21.1	22.1	26.2	―※ ³	18.4	7.3	4.5	2.3	3.9	10.1
		pH	6.3	6.3	5.7	5.3	5.5	―※ ³	5.8	5.9	6.0	6.2	5.7	5.7
		電気伝導率 (mS/m)	2.41	2.01	1.89	1.95	1.81	―※ ³	2.52	2.42	2.77	2.66	2.56	2.03
		透視度 (cm)	39	41	40	72	40	―※ ³	83	64	35	40	72	67
	N-27※ ¹	水位 (m)	1.41	1.49	1.52	1.21	1.64	1.52	1.22	1.68	1.67	1.61	1.58	1.47
		水温 (℃)	13.4	17.1	20.8	24.6	25.4	25.0	22.3	16.7	7.3	4.8	10.0	12.2
		pH	6.6	6.4	6.3	6.4	6.2	6.4	6.0	6.6	6.1	6.2	6.3	6.3
		電気伝導率 (mS/m)	5.12	4.45	6.99	5.61	7.20	5.63	5.08	4.37	6.28	5.69	3.48	3.52
		透視度 (cm)	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	N-28	水量 (m ³ /min)	0.001	0.002	0.012	0.114	0.008	0.019	0.035	0.002	0.001	0.002	0.001	0.001
		水温 (℃)	11.1	14.6	20.6	20.5	24.3	22.0	18.2	7.8	5.5	4.2	1.9	8.8
		pH	6.7	6.4	5.1	5.0	5.5	6.4	5.7	6.3	6.5	6.5	6.6	6.7
		電気伝導率 (mS/m)	2.47	1.36	1.76	2.87	2.69	1.88	2.15	1.94	2.42	2.15	1.80	1.91
		透視度 (cm)	>100	44	35	>100	>100	60	>100	82	28	48	>100	55
	N-30※ ¹	水量 (m ³ /min)	3.70	4.22	3.34	2.35	3.78	3.47	3.37	4.17	4.65	4.51	4.63	4.03
		水温 (℃)	15.2	17.0	20.1	25.2	20.7	22.3	22.1	17.7	8.1	5.3	15.2	11.1
		pH	5.8	5.9	5.9	5.7	5.6	5.6	5.8	5.9	5.8	6.1	5.8	5.9
		電気伝導率 (mS/m)	5.50	5.28	5.28	5.71	5.50	5.33	5.40	5.89	6.46	6.59	5.57	5.62
		透視度 (cm)	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100

- ・ 地点番号は表 4-1-2-1 及び図 4-1-2-1 を参照。
- ・ 透視度の「>100」は、測定可能な最大値である 100cm を超過したことを示す。

※1 水位は孔口からの深さを示す。

※2 確認された水量が極めて少ないため「0」と表記した。

※3 水量 0 のため測定不可。

表 4-1-4-1 (5) 調査結果 (井戸・湧水)

事後調査 (井戸・湧水)			2025 年度											
市町村名	調査地点	項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
恵那市	E-13※	水位 (ーm)									4. 47	4. 76	4. 56	4. 96
		水温 (℃)									16. 6	13. 8	13. 3	15. 6
		pH									5. 5	5. 6	5. 5	5. 6
		電気伝導率 (mS/m)									9. 3	11. 0	10. 3	9. 9
		透視度 (cm)									>100	81	>100	>100
	E-14※	水位 (ーm)									3. 11	3. 26	3. 15	2. 59
		水温 (℃)									15. 2	11. 6	12. 5	14. 3
		pH									5. 8	5. 9	5. 9	5. 9
		電気伝導率 (mS/m)									3. 7	3. 7	3. 6	5. 6
		透視度 (cm)									>100	>100	>100	>100
	E-15※	水位 (ーm)									1. 58	1. 63	1. 47	1. 61
		水温 (℃)									14. 4	12. 1	13. 2	13. 7
		pH									6. 4	6. 3	6. 5	6. 5
		電気伝導率 (mS/m)									15. 3	14. 5	14. 8	15. 7
		透視度 (cm)									39	60	37	83
	E-16	水量 (m ³ /min)									0. 0006	0. 000003	0. 0017	0. 000002
		水温 (℃)									10. 4	5. 3	10. 1	12. 8
		pH									6. 3	6. 59	6. 2	6. 0
		電気伝導率 (mS/m)									7. 1	7. 9	6. 2	4. 3
		透視度 (cm)									74	>100	75	>100

- ・ 地点番号は表 4-1-2-1 及び図 4-1-2-1 を参照。
- ・ 透視度の「>100」は、測定機器の計測限界値である 100cm を超過したことを示す。
- ・ 2025 年 12 月より調査開始。

※ 水位は孔口からの深さを示す。

表 4-1-4-1 (6) 調査結果 (井戸・湧水)

事後調査 (井戸・湧水)			2025 年度											
市町村名	調査地点	項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
恵那市	E-17※1※2	水位 (‐m)									2.93	3.48	3.14	2.94
		水温 (℃)									9.5	3.1	11.3	12.6
		pH									6.2	6.3	6.0	6.2
		電気伝導率 (mS/m)									18.0	18.8	18.8	17.2
		透視度 (cm)									>100	>100	>100	>100
	E-01※1	水位 (‐m)	0.95	1.12	0.86	0.52	2.19	1.04	2.49	1.77	2.36	1.97	2.34	2.11
		水温 (℃)	11.7	13.8	20.7	22.8	23.4	23.3	20.3	16.5	14.0	11.7	12.7	15.4
		pH	6.8	6.3	5.7	5.3	6.2	5.5	6.7	6.3	6.0	6.4	6.4	6.1
		電気伝導率 (mS/m)	4.0	3.3	2.5	3.1	3.2	2.5	4.0	4.4	3.9	3.2	3.8	2.7
		透視度 (cm)	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	E-02	水量 (m ³ /min)	0.086	0.049	0.125	0.433	0.019	0.023	0.022	0.025	0.018	0.035	0.017	0.031
		水温 (℃)	13.6	20.0	20.8	24.9	26.8	24.9	21.1	15.7	10.8	9.1	10.6	14.3
		pH	7.1	6.9	6.8	6.5	6.9	6.3	6.5	6.7	6.6	7.0	6.8	6.6
		電気伝導率 (mS/m)	6.5	7.2	6.3	6.1	10.2	7.0	8.1	7.6	7.5	6.8	6.9	6.3
		透視度 (cm)	>100	>100	>100	62	85	>100	82	>100	>100	>100	>100	>100
	E-03	水量 (m ³ /min)	0.011	0.003	0.018	0.042	0.002	0.010	0.004	0.006	0.005	0.006	0.006	0.008
		水温 (℃)	12.4	16.1	20.3	23.3	24.4	23.0	20.8	15.8	11.2	9.7	9.8	11.8
		pH	6.6	6.7	6.6	6.1	7.0	6.2	6.7	7.0	6.3	6.5	6.5	6.5
		電気伝導率 (mS/m)	11.2	10.4	11.1	7.4	10.6	9.9	9.8	9.5	8.2	9.3	7.5	7.7
		透視度 (cm)	>100	>100	>100	51	>100	>100	68	>100	>100	>100	>100	>100
	E-04※1	水位 (‐m)	0.47	0.57	0.55	0.24	0.85	0.57	0.45	0.87	1.08	0.87	0.95	0.76
		水温 (℃)	13.6	18.2	21.7	25.1	27.2	27.0	22.9	17.5	14.5	12.0	12.3	14.5
		pH	7.0	7.5	7.5	7.0	7.1	7.0	7.1	6.9	6.7	6.9	6.8	6.8
		電気伝導率 (mS/m)	18.8	15.9	8.1	8.0	16.5	10.2	17.7	24.0	21.9	22.4	20.6	21.1
		透視度 (cm)	35	>100	45	82	73	45	35	48	>100	>100	>100	65

- ・ 地点番号は表 4-1-2-1 及び図 4-1-2-1 を参照。
- ・ 透視度の「>100」は、測定機器の計測限界値である 100cm を超過したことを示す。

※1 水位は孔口からの深さを示す。

※2 2025年12月より調査開始。

表 4-1-4-1 (7) 調査結果 (井戸・湧水)

事後調査 (井戸・湧水)			2025 年度											
市町村名	調査地点	項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
恵那市	E-05※ ¹	水位 (‐m)	1.86	1.89	1.85	1.82	1.86	1.91	1.91	1.84	1.91	1.93	1.91	1.92
		水温 (℃)	11.1	14.5	21.3	24.9	27.1	23.7	19.9	13.3	6.6	5.2	5.9	9.5
		pH	5.6	5.8	5.8	5.6	5.6	5.7	5.6	6.0	5.9	6.0	6.8	5.5
		電気伝導率 (mS/m)	3.2	3.5	2.3	2.3	1.9	2.0	1.8	2.0	2.0	1.9	1.8	2.3
		透視度 (cm)	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	E-06※ ¹	水位 (‐m)	0.45	0.67	0.30	0.17	0.21	0.29	0.29	0.28	0.32	0.33	0.49	0.79
		水温 (℃)	11.2	14.3	19.1	17.4	18.2	17.4	16.1	12.5	9.5	7.3	7.5	9.9
		pH	6.2	6.2	6.1	6.2	6.1	6.1	5.8	6.4	6.7	7.0	7.2	7.1
		電気伝導率 (mS/m)	7.2	3.0	2.7	2.5	3.0	2.6	2.2	2.5	2.7	2.6	3.4	2.4
		透視度 (cm)	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	E-07※ ¹	水位 (‐m)	1.68	1.53	1.18	1.56	1.51	1.37	1.46	1.79	1.81	1.85	1.79	1.79
		水温 (℃)	14.0	15.7	18.4	25.9	27.8	25.0	21.1	15.8	14.8	7.9	10.7	13.6
		pH	6.1	6.2	6.8	6.0	6.3	6.0	6.7	6.6	6.5	7.0	6.7	6.5
		電気伝導率 (mS/m)	4.2	4.3	5.9	5.7	3.5	3.3	6.2	3.2	2.8	3.0	2.8	3.2
		透視度 (cm)	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	E-08※ ¹	水位 (‐m)	1.14	1.15	1.10	0.93	1.22	1.23	1.39	1.31	1.28	1.32	1.35	1.31
		水温 (℃)	12.2	18.3	22.1	25.1	26.1	25.9	21.9	16.8	14.0	10.5	8.8	10.0
		pH	7.2	7.1	6.8	7.0	7.3	7.1	6.9	7.1	7.0	7.4	7.3	7.4
		電気伝導率 (mS/m)	7.8	8.1	7.9	8.7	9.0	8.6	8.4	8.6	8.2	9.1	10.2	8.9
		透視度 (cm)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
瑞浪市	M-02※ ²	水位 (‐m)	1.11	1.15	1.05	0.73	1.12	1.11	1.14	1.15	1.17	1.17	1.19	1.17
		水温 (℃)	10.9	12.4	15.3	16.5	17.0	17.3	17.1	16.0	14.0	12.3	11.1	11.0
		pH	6.2	5.8	5.8	5.9	5.8	5.9	5.9	5.9	6.2	6.2	6.0	6.0
		電気伝導率 (mS/m)	3.6	3.1	2.3	3.4	3.2	3.5	3.6	3.9	4.0	3.9	3.8	3.8
		透視度 (cm)	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50

- ・ 地点番号は表 4-1-2-1 及び図 4-1-2-1 を参照。
- ・ 透視度の「>100」は、測定機器の計測限界値である 100cm を超過したことを示す。

※ 1 水位は孔口からの深さを示す。

※ 2 水位は地表面 (GL) からの深さを示す。

表 4-1-4-1 (8) 調査結果 (井戸・湧水)

事後調査 (井戸・湧水)			2025 年度											
市町村名	調査地点	項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
瑞浪市	M-19※	水位 (‐m)	1.18	1.20	0.91	0.47	1.27	1.30	1.35	1.44	1.55	1.51	1.57	1.51
		水温 (℃)	13.2	13.6	14.6	15.7	16.2	16.8	16.4	15.6	14.7	14.2	13.7	13.5
		pH	5.8	5.8	5.6	5.4	5.5	5.5	5.4	5.5	5.8	5.8	5.7	5.8
		電気伝導率 (mS/m)	3.7	3.7	3.8	3.5	3.7	3.6	3.7	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8
		透視度 (cm)	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
	M-03※	水位 (‐m)	2.51	2.54	2.33	2.12	2.30	2.28	2.31	2.39	2.45	2.46	2.51	2.51
		水温 (℃)	9.9	12.3	14.8	17.3	19.4	20.2	19.0	16.4	13.6	11.0	9.7	9.7
		pH	6.2	6.1	5.8	5.7	5.7	5.8	5.8	5.9	6.2	6.2	6.1	6.1
		電気伝導率 (mS/m)	2.3	2.9	2.4	2.2	2.2	2.2	2.1	2.0	2.1	2.1	2.4	2.3
		透視度 (cm)	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
	M-04	水量 (m ³ /min)	0.00087	0.00061	0.00092	0.0023	0.0007	0.0007	0.0007	0.0007	0.0006	0.0006	0.0006	0.0006
		水温 (℃)	11.9	15.9	18.1	19.6	21.7	21.6	17.6	13.8	9.7	9.4	8.1	9.9
		pH	6.6	6.5	6.4	6.0	6.2	6.5	6.1	5.9	6.2	6.2	6.1	6.4
		電気伝導率 (mS/m)	6.6	7.1	7.0	5.5	6.7	9.6	9.6	6.7	7.1	6.9	7.4	7.4
		透視度 (cm)	35	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
	M-05※	水位 (‐m)	1.44	1.50	1.02	1.17	1.41	1.36	1.46	1.57	1.59	1.61	1.63	1.61
		水温 (℃)	10.6	12.9	15.9	17.9	18.9	19.6	17.5	15.0	12.2	10.1	9.1	10.1
		pH	6.3	6.3	6.2	6.1	5.9	6.1	5.7	5.8	6.4	6.3	6.4	6.5
		電気伝導率 (mS/m)	4.4	4.2	4.8	3.6	4.2	4.0	4.3	4.2	4.1	4.1	4.2	4.3
		透視度 (cm)	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
	M-06	水量 (m ³ /min)	0.00048	0.00070	0.0049	0.0025	0.0012	0.0012	0.0010	0.0006	0.0005	0.0003	0.0002	0.0002
		水温 (℃)	13.8	18.6	20.2	22.3	25.0	24.6	18.8	13.1	10.8	7.5	9.2	11.6
		pH	7.2	7.1	7.2	6.9	7.1	7.2	6.9	6.8	7.2	6.8	7.1	7.3
		電気伝導率 (mS/m)	8.1	6.4	6.6	6.8	8.3	8.4	8.5	7.8	8.5	7.2	7.9	7.5
		透視度 (cm)	0	50	50	26	20	17	34	50	44	16	24	32

- ・ 地点番号は表 4-1-2-1 及び図 4-1-2-1 を参照。
- ・ 透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示す。

※ 水位は地表面 (GL) からの深さを示す。

表 4-1-4-1 (9) 調査結果（井戸・湧水）

事後調査（井戸・湧水）			2025 年度											
市町村名	調査地点	項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
瑞浪市	M-07※ ¹	水位（-m）	70.10	64.32	87.02	66.74	65.84	58.86	64.53	72.70	72.46	89.10	84.02	65.57
		水温（℃）	17.0	17.4	17.6	17.3	17.3	17.4	17.3	17.1	17.3	17.6	16.7	17.5
		pH	9.5	9.3	9.2	9.3	9.4	9.8	9.8	9.3	9.7	9.1	8.6	9.7
		電気伝導率（mS/m）	24.1	23.9	24.2	23.7	24.0	24.2	24.3	24.1	24.2	24.0	23.6	24.2
		透視度（cm）	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
	M-08※ ¹	水位（-m）	0.93	1.05	0.93	0.82	1.23	0.96	1.03	1.25	1.59	1.22	1.27	1.25
		水温（℃）	10.1	14.2	17.4	21.2	21.5	22.4	18.6	15.3	13.8	10.5	9.4	9.8
		pH	6.8	7.0	7.0	7.1	6.9	7.1	6.8	7.0	7.2	7.0	6.7	7.2
		電気伝導率（mS/m）	9.8	7.3	8.3	8.2	7.1	10.5	11.6	11.1	10.6	10.5	10.5	14.7
		透視度（cm）	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
	M-09※ ²	水位（-m）	0.34	0.42	0.27	0.19	0.36	0.31	0.26	0.43	0.45	0.46	0.55	0.54
		水温（℃）	10.3	12.4	16.6	20.2	21.0	21.6	19.0	14.9	11.3	8.8	8.1	8.6
		pH	4.9	4.9	5.2	5.4	5.5	5.1	5.1	5.1	5.4	5.4	5.2	5.4
		電気伝導率（mS/m）	1.4	1.3	1.4	1.6	1.3	1.5	1.7	2.2	1.3	1.3	1.3	1.4
		透視度（cm）	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
可児市	K-01※ ²	水位（-m）	0.89	0.80	0.76	0.84	0.89	0.99	0.89	0.91	1.06	0.98	1.07	0.72
		水温（℃）	13.9	16.3	17.5	23.6	26.9	26.6	23.7	20.1	16.5	13.8	13.1	13.2
		pH	6.3	6.2	6.4	6.8	6.9	6.7	6.5	6.5	7.2	6.7	6.3	6.6
		電気伝導率（mS/m）	9.0	9.3	9.2	10.8	11.2	11.4	10.8	10.1	9.8	9.7	9.6	9.5
		透視度（cm）	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100

・ 地点番号は表 4-1-2-1 及び図 4-1-2-1 を参照。

・ 透視度の「>50」「>100」は、測定機器の計測限界値である 50cm もしくは 100cm を超過したことを示す。

※ 1 水位は地表面（GL）からの深さを示す。

※ 2 水位は孔口からの深さを示す。

表 4-1-4-1 (10) 調査結果 (井戸・湧水)

事後調査 (井戸・湧水)			2025 年度											
市町村名	調査地点	項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
可児市	K-07※	水位 (‐m)	4.23	4.23	4.44	4.44	4.53	4.64	4.36	4.42	4.46	4.43	4.47	4.32
		水温 (℃)	13.0	15.2	16.0	19.6	21.3	22.5	24.1	21.5	18.1	15.6	14.6	14.4
		pH	6.3	5.9	6.1	6.3	6.6	6.2	6.5	6.9	7.4	6.5	6.2	6.5
		電気伝導率 (mS/m)	2.7	2.9	3.2	3.6	3.6	3.6	3.4	3.0	2.8	2.7	2.7	2.9
		透視度 (cm)	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	K-03※	水位 (‐m)	2.43	2.35	2.34	2.33	2.42	2.45	2.45	2.36	2.51	2.54	2.57	2.27
		水温 (℃)	10.8	17.4	17.5	21.0	23.8	25.6	24.8	21.4	17.0	13.6	10.8	10.6
		pH	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.2	6.2	6.7	6.3	6.4	6.1	6.3
		電気伝導率 (mS/m)	9.4	9.9	10.2	10.5	10.8	11.4	12.0	11.8	11.8	11.7	11.6	11.7
		透視度 (cm)	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
多治見市	T-01※	水位 (‐m)	20.91	20.97	20.49	19.67	19.74	19.88	20.12	20.22	21.02	20.97	21.18	21.54
		水温 (℃)	17.0	16.6	16.9	18.1	17.9	18.0	17.1	16.3	15.2	15.0	15.6	15.9
		pH	5.8	5.1	5.1	5.6	5.5	5.9	5.3	5.7	5.8	6.0	5.8	5.4
		電気伝導率 (mS/m)	5.9	5.5	5.6	5.8	5.7	5.8	5.9	5.6	5.4	5.5	5.7	5.4
		透視度 (cm)	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
	T-02※	水位 (‐m)	1.97	1.12	0.33	0.83	2.13	0.83	1.62	1.21	3.02	3.05	4.04	1.51
		水温 (℃)	13.0	15.8	19.9	23.8	23.8	25.5	23.0	19.4	16.5	14.7	14.0	12.5
		pH	6.5	5.6	6.1	6.3	5.5	6.6	6.0	6.1	6.1	6.7	6.4	7.2
		電気伝導率 (mS/m)	6.6	5.1	3.7	4.7	5.3	4.4	6.0	5.8	6.1	5.7	5.9	8.6
		透視度 (cm)	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
	T-03※	水位 (‐m)	2.22	2.08	1.71	2.20	2.22	2.03	2.20	2.22	2.25	2.26	2.64	2.05
		水温 (℃)	13.7	15.1	17.0	19.6	22.4	23.0	22.1	19.7	15.1	12.7	11.8	12.6
		pH	6.9	6.5	6.4	6.5	5.8	6.0	6.0	6.4	6.8	7.0	6.9	6.9
		電気伝導率 (mS/m)	10.4	11.6	10.9	8.2	14.9	9.7	16.1	12.6	12.7	11.8	11.0	11.5
		透視度 (cm)	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50

- ・ 地点番号は表 4-1-2-1 及び図 4-1-2-1 を参照。
 - ・ 透視度の「>50」「>100」は、測定機器の計測限界値である 50cm もしくは 100cm を超過したことを示す。
- ※ 水位は孔口からの深さを示す。

測定方法：接触式水位計

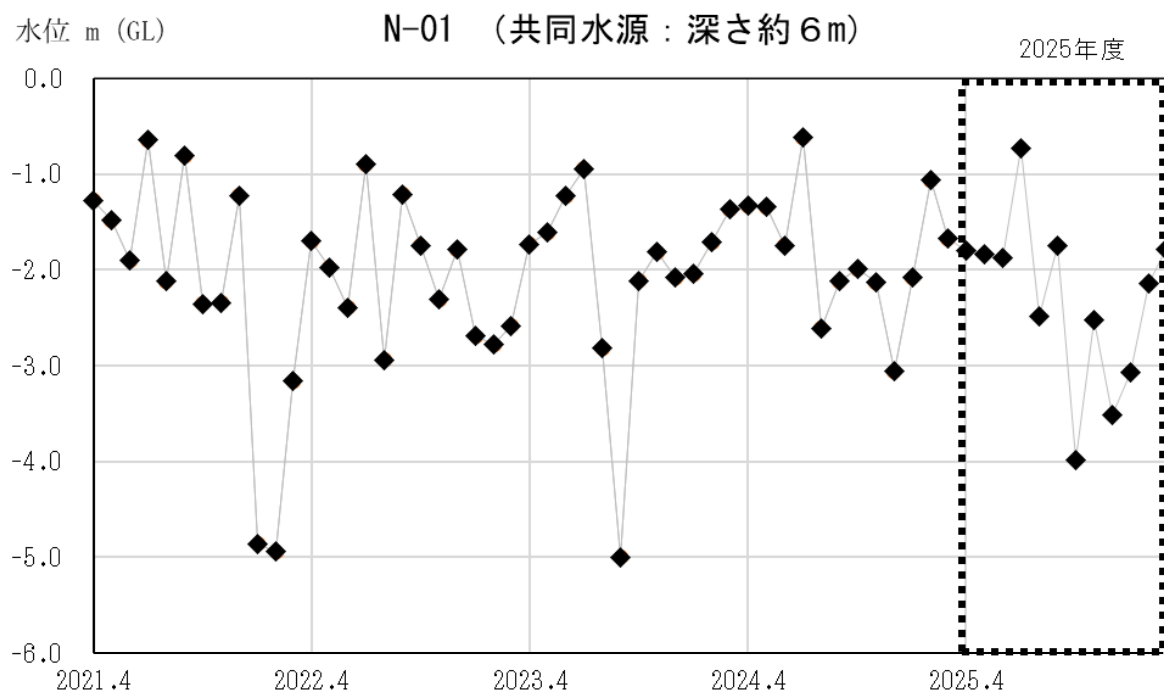
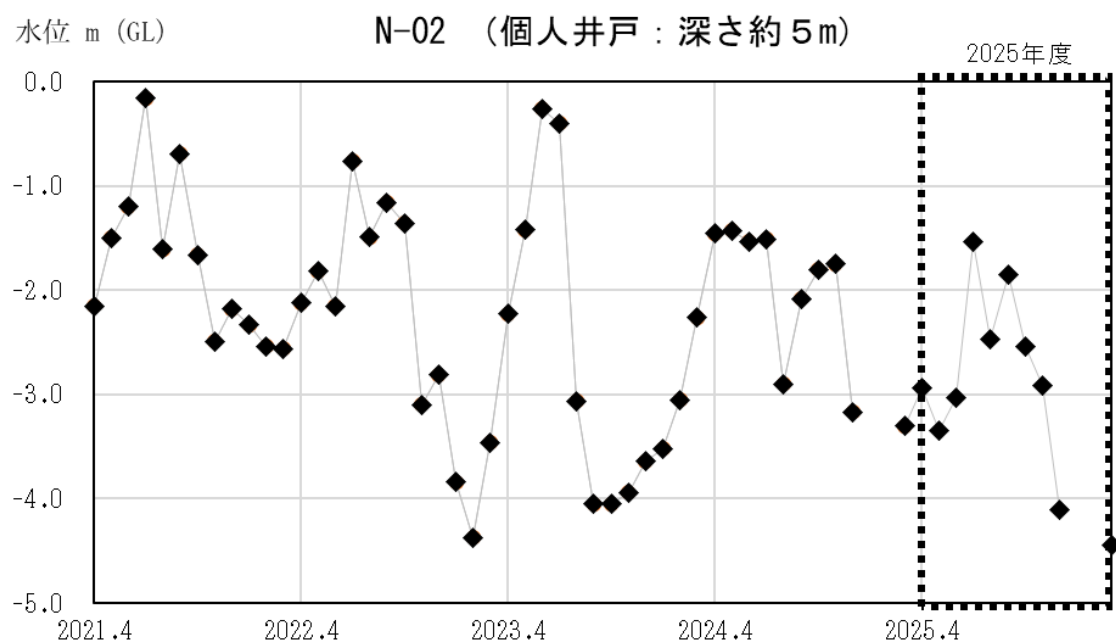


図 4-1-4-1 (1) 調査結果 (井戸) (N-01)

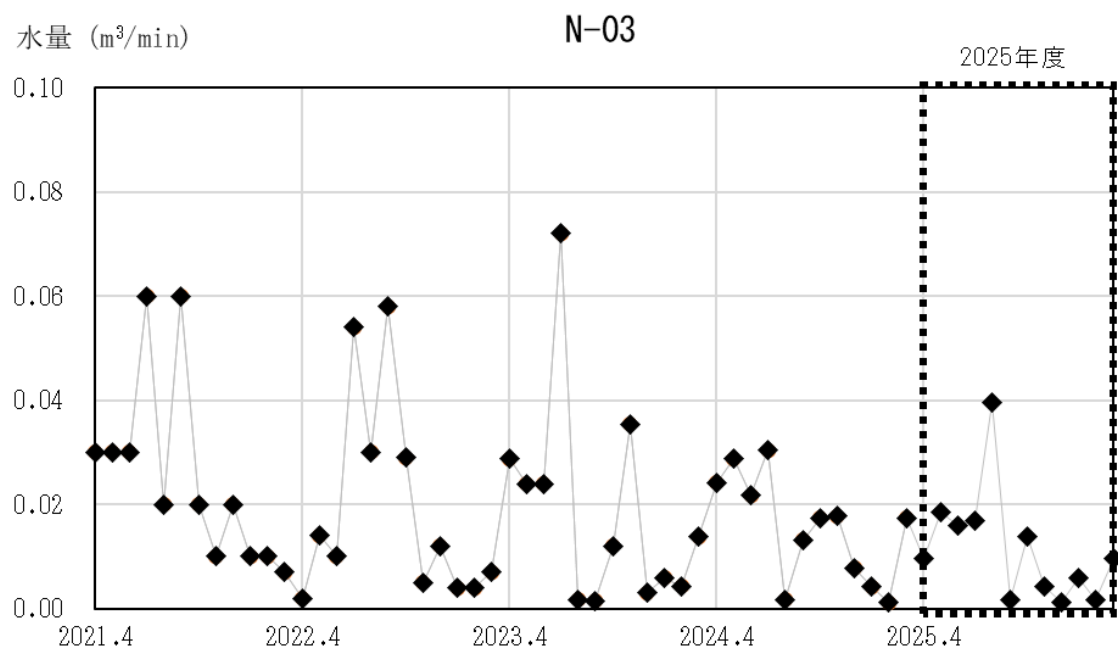
測定方法：接触式水位計



・2025年1月、2月、2026年1月、2月は、井戸に水がなく測定不可。

図 4-1-4-1 (2) 調査結果 (井戸) (N-02)

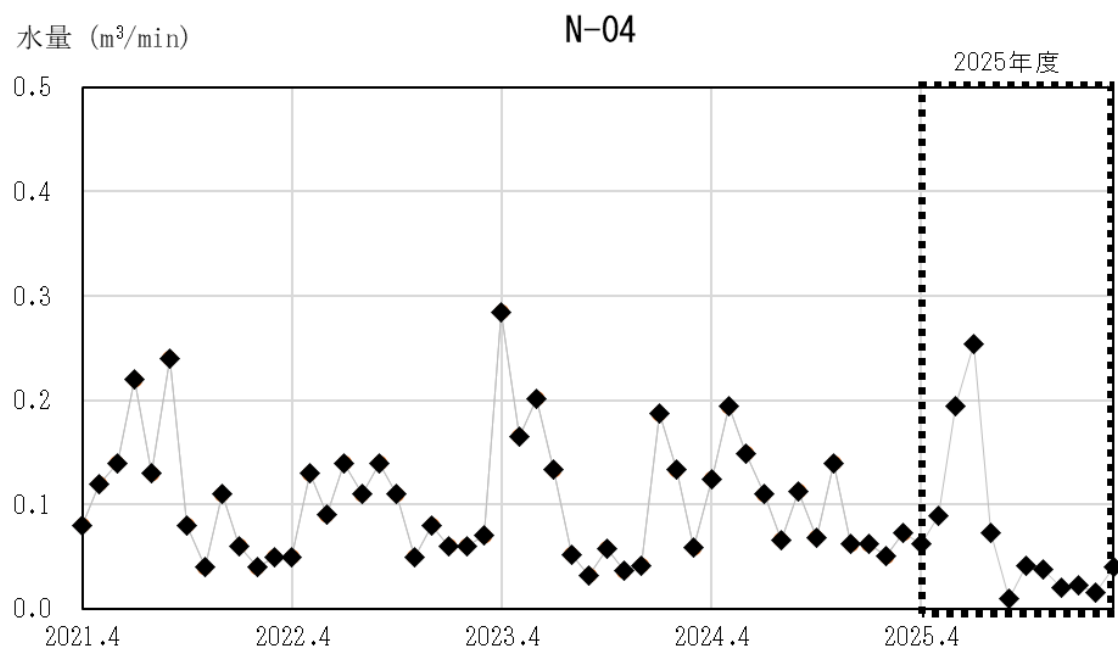
測定方法：容器法



- ・ 2021年7月、9月、2022年7月、9月、2023年7月は、測定日前または測定日当日にまとまった降雨があった。

図 4-1-4-1 (3) 調査結果（湧水）(N-03)

測定方法：容器法



- ・ 2021年7月、9月、2023年4月、2025年7月は、測定日前または測定日当日にまとまった降雨があった。

図 4-1-4-1 (4) 調査結果（湧水）(N-04)

測定方法：接触式水位計

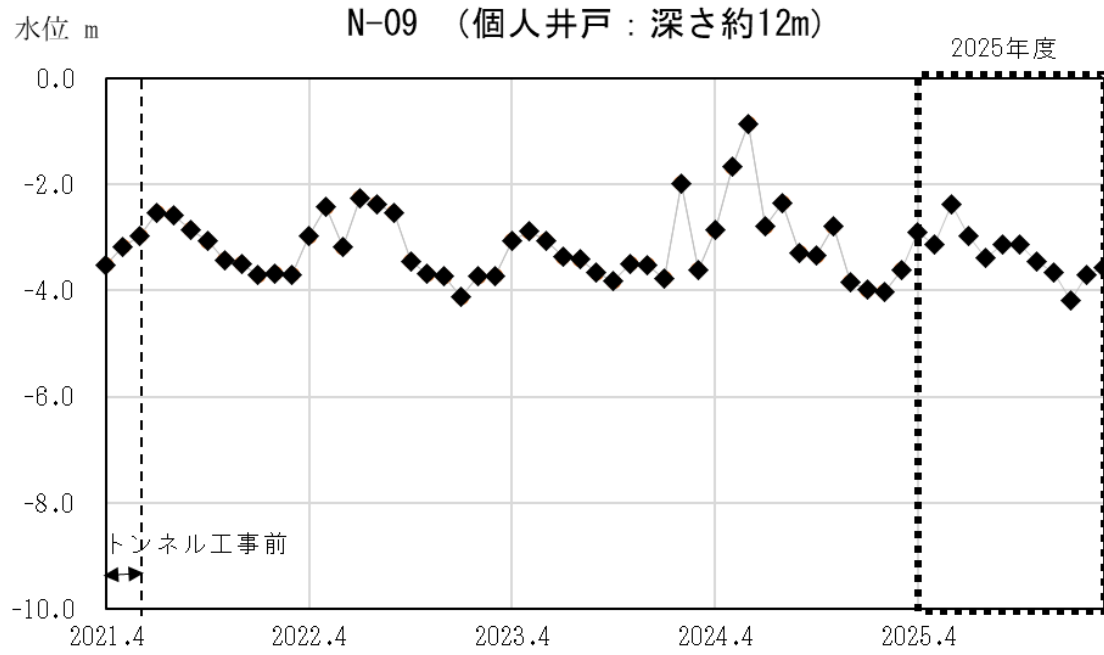


図 4-1-4-1 (5) 調査結果 (井戸) (N-09)

測定方法：接触式水位計

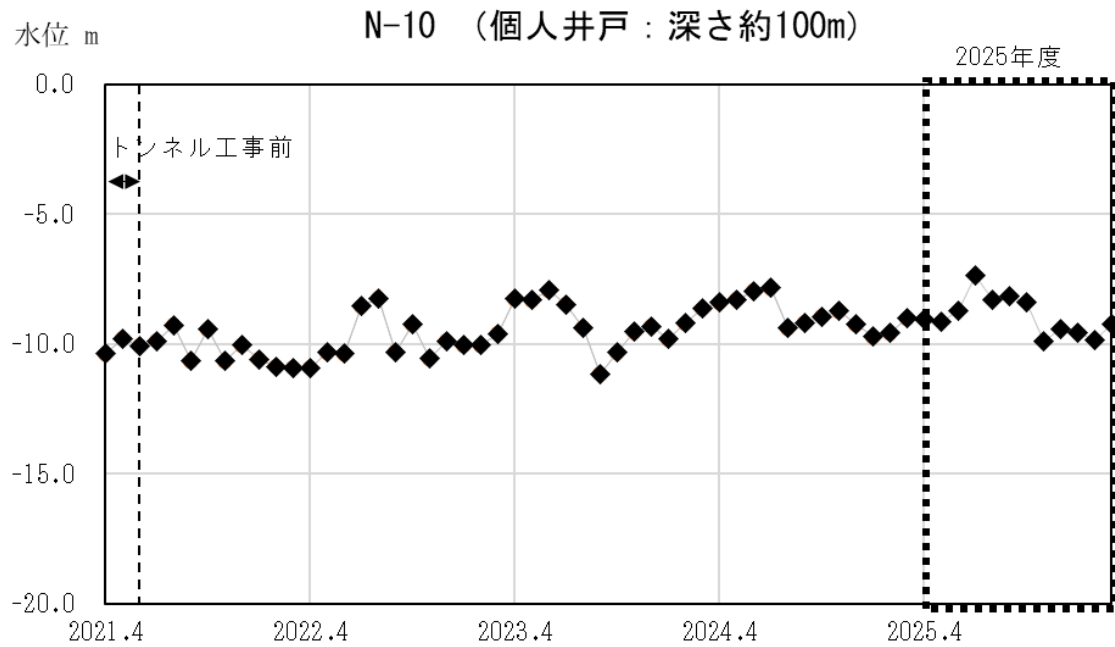
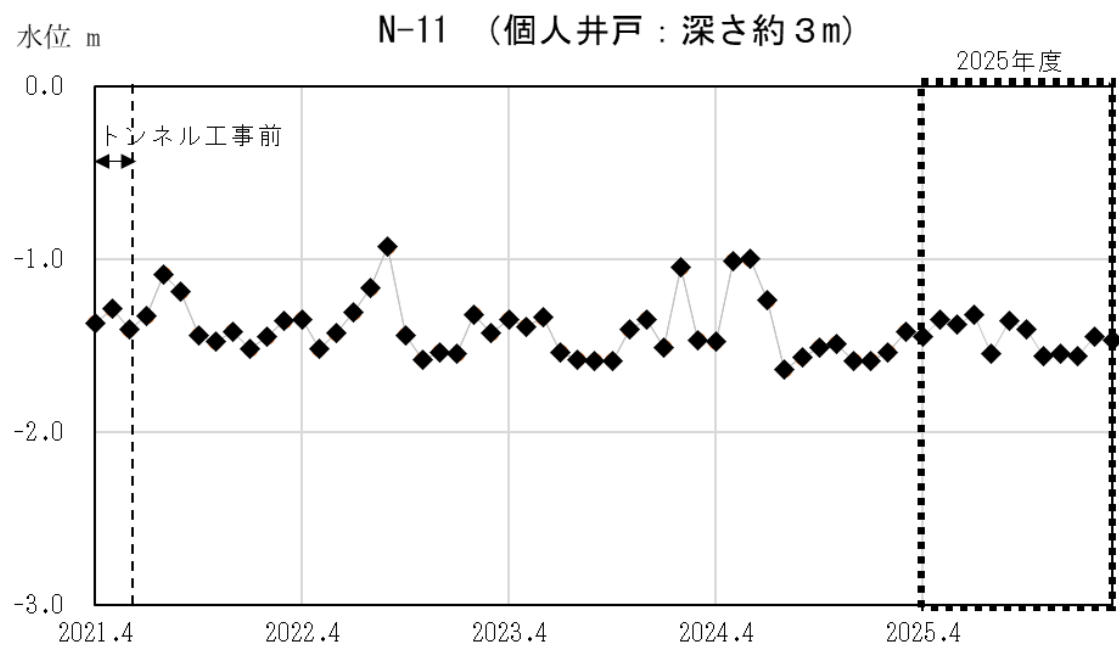


図 4-1-4-1 (6) 調査結果 (井戸) (N-10)

測定方法：接触式水位計



測定方法：接触式水位計

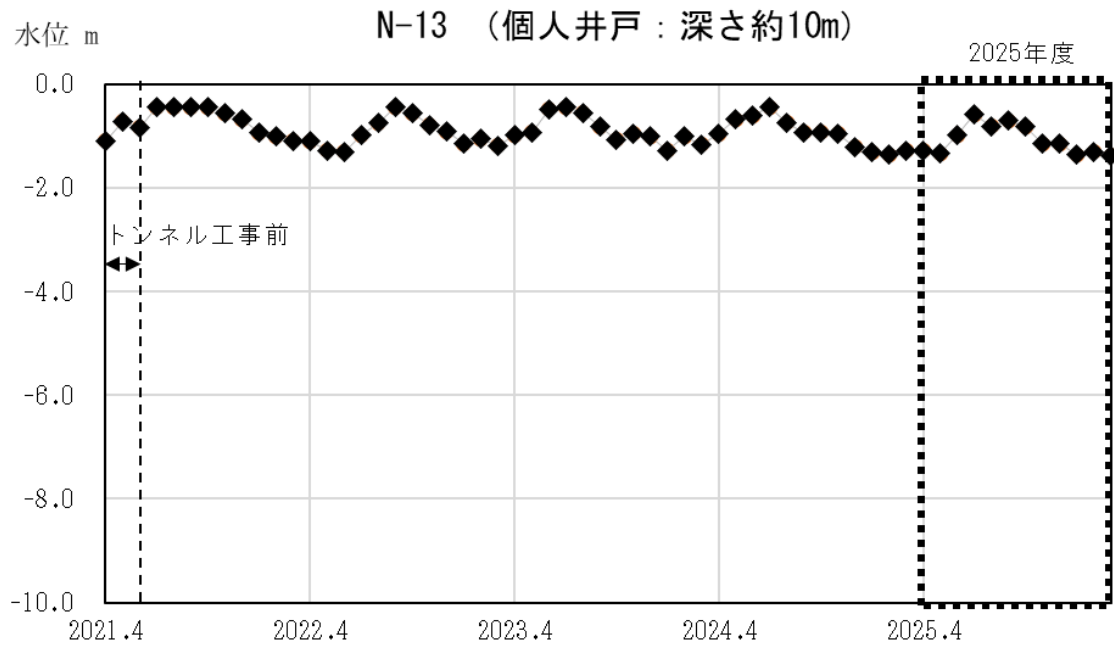


図 4-1-4-1 (9) 調査結果 (井戸) (N-13)

測定方法：接触式水位計

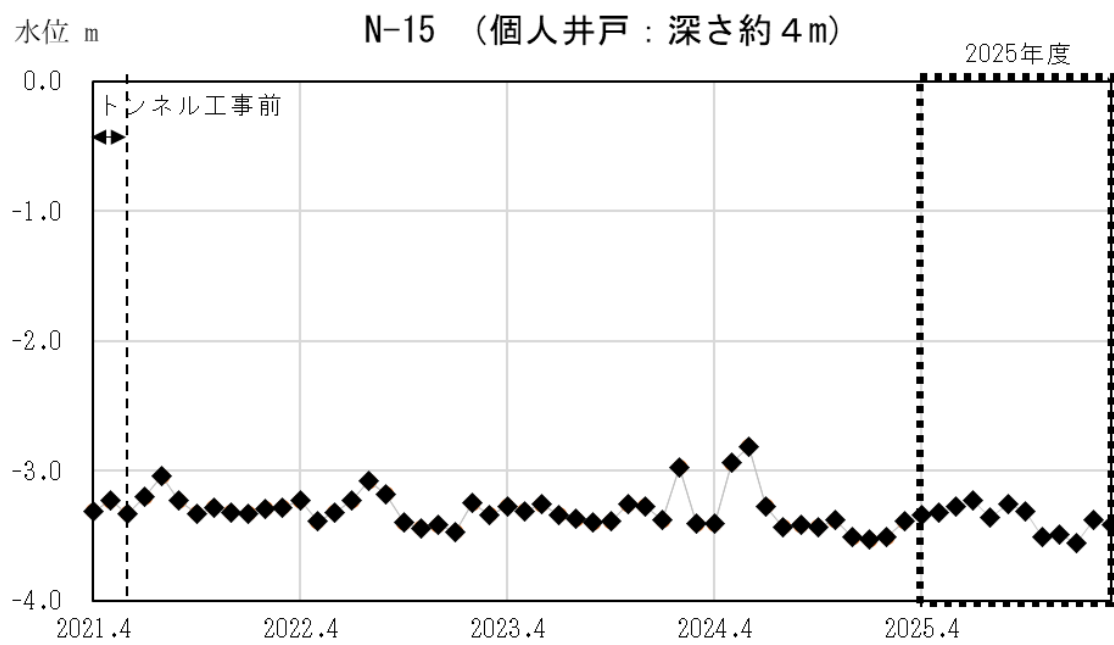


図 4-1-4-1 (10) 調査結果 (井戸) (N-15)

測定方法：接触式水位計

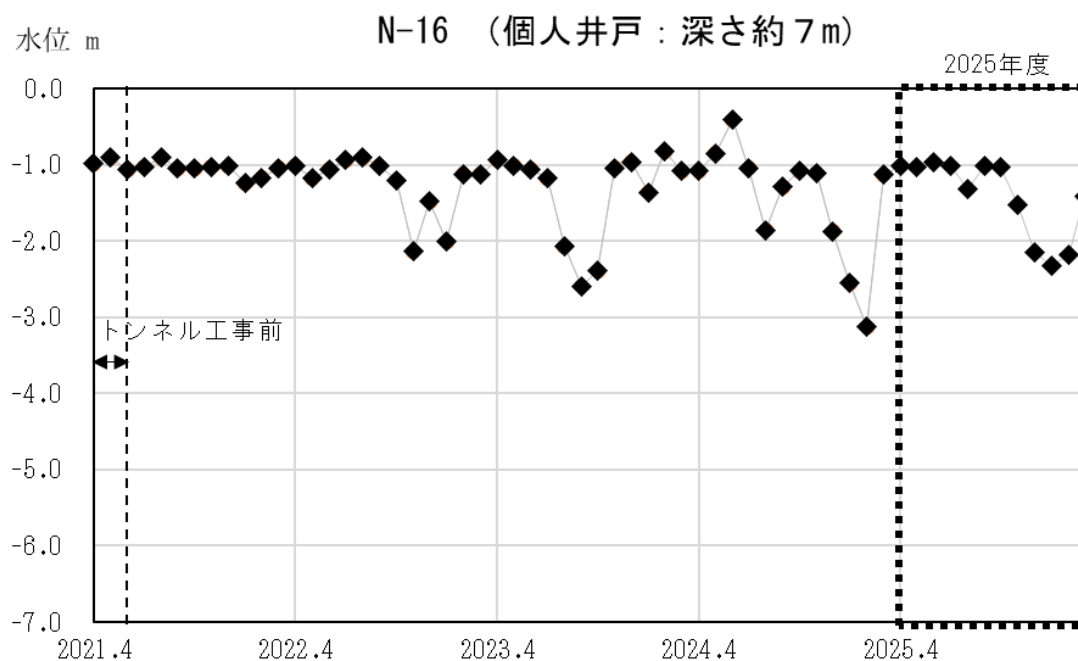
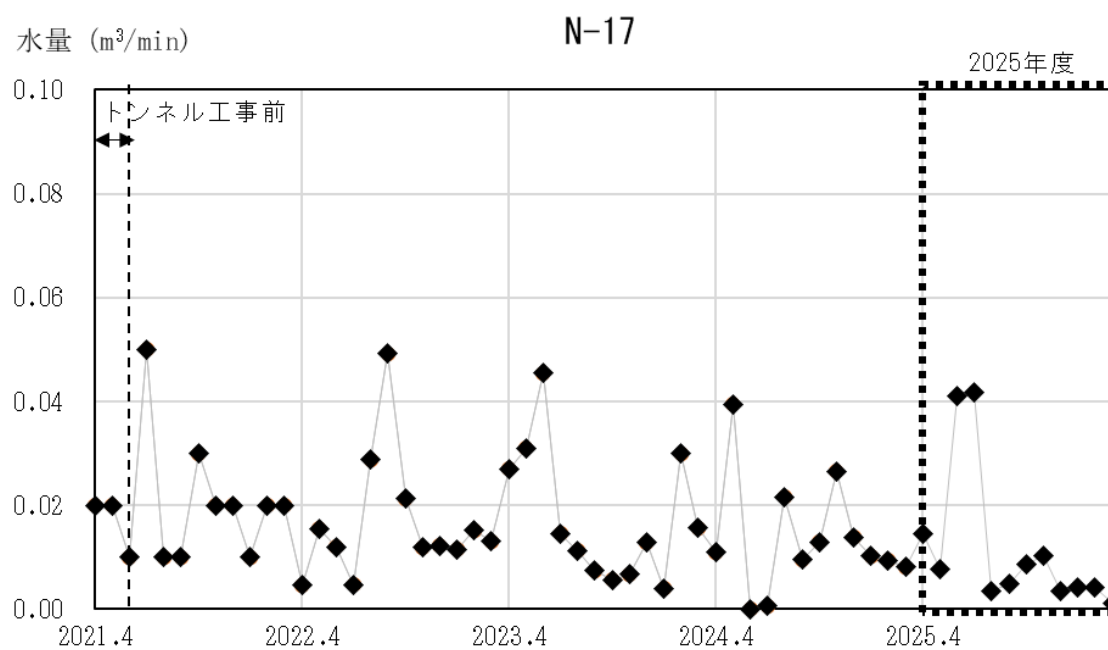


図 4-1-4-1 (11) 調査結果（井戸）(N-16)

測定方法：容器法



- ・ 2020 年 7 月、2021 年 7 月、2022 年 9 月、2024 年 5 月、2025 年 6 月、7 月は、測定日前または測定日当日にまとまった降雨があった。

図 4-1-4-1 (12) 調査結果（湧水）(N-17)

測定方法：携行型水位測定器（ロープ水位計）

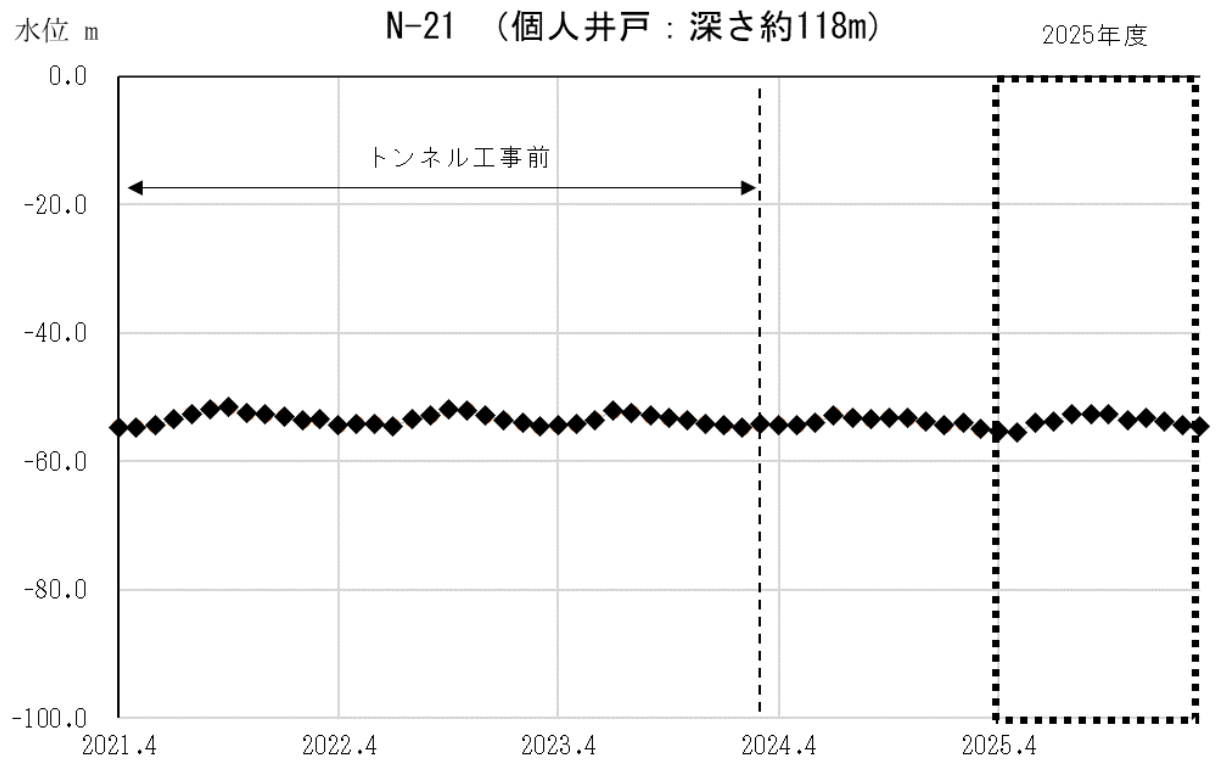


図 4-1-4-1（13） 調査結果（井戸）（N-21）

測定方法：携行型水位測定器（ロープ水位計）

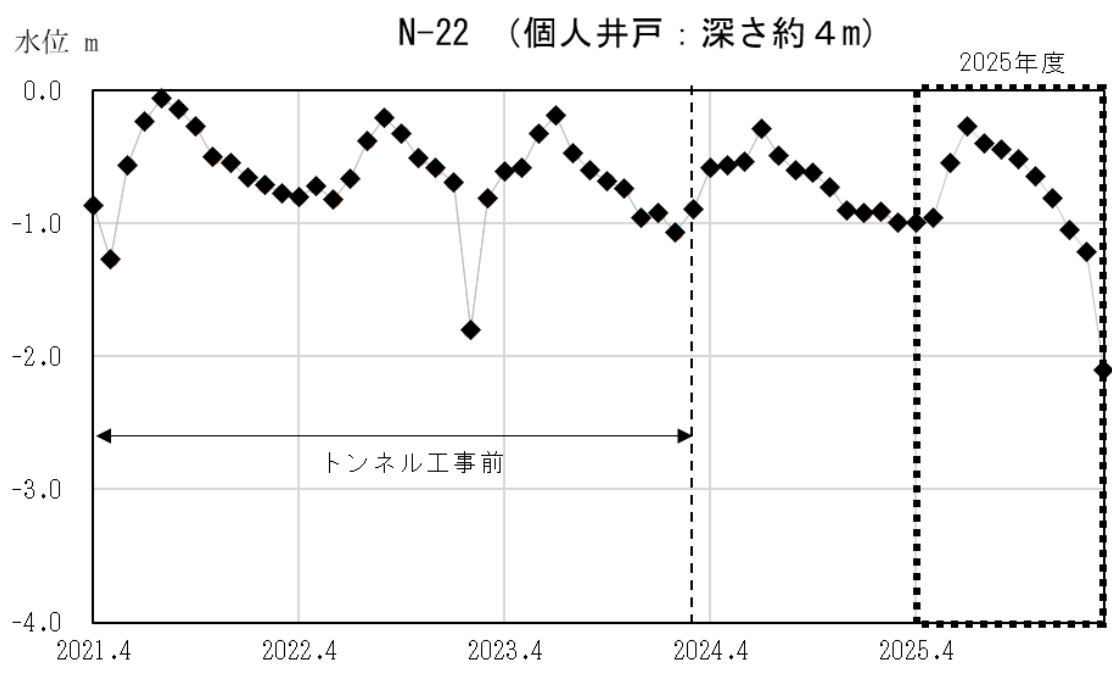


図 4-1-4-1（14） 調査結果（井戸）（N-22）

測定方法：携行型水位測定器（ロープ水位計）

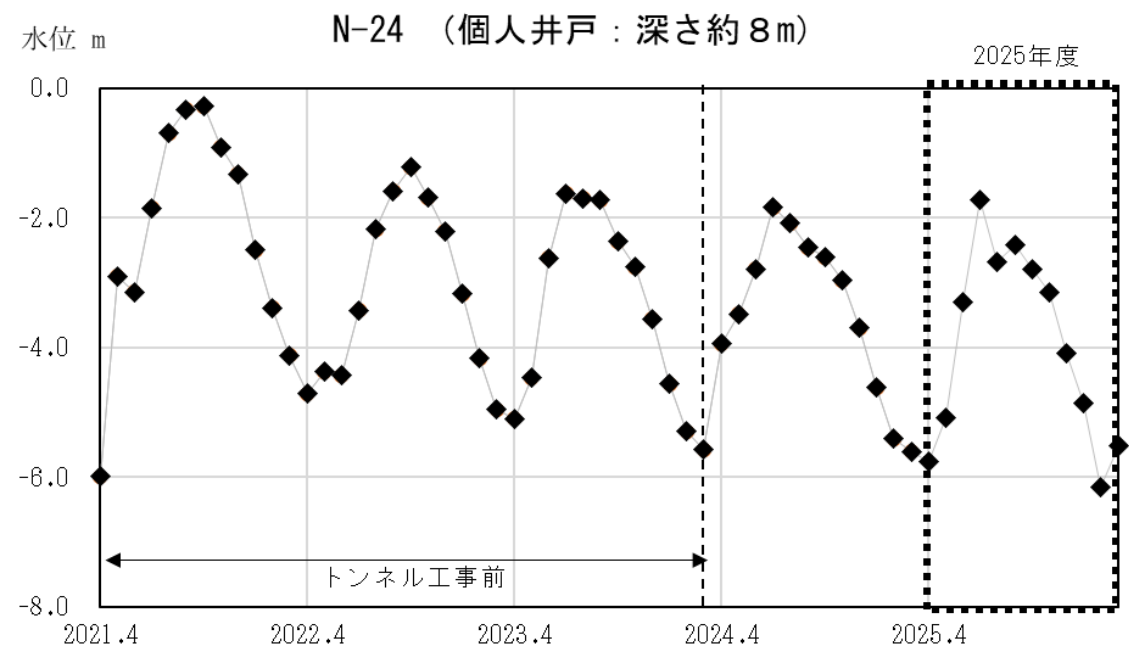


図 4-1-4-1 (15) 調査結果（井戸）（N-24）

測定方法：携行型水位測定器（ロープ水位計）

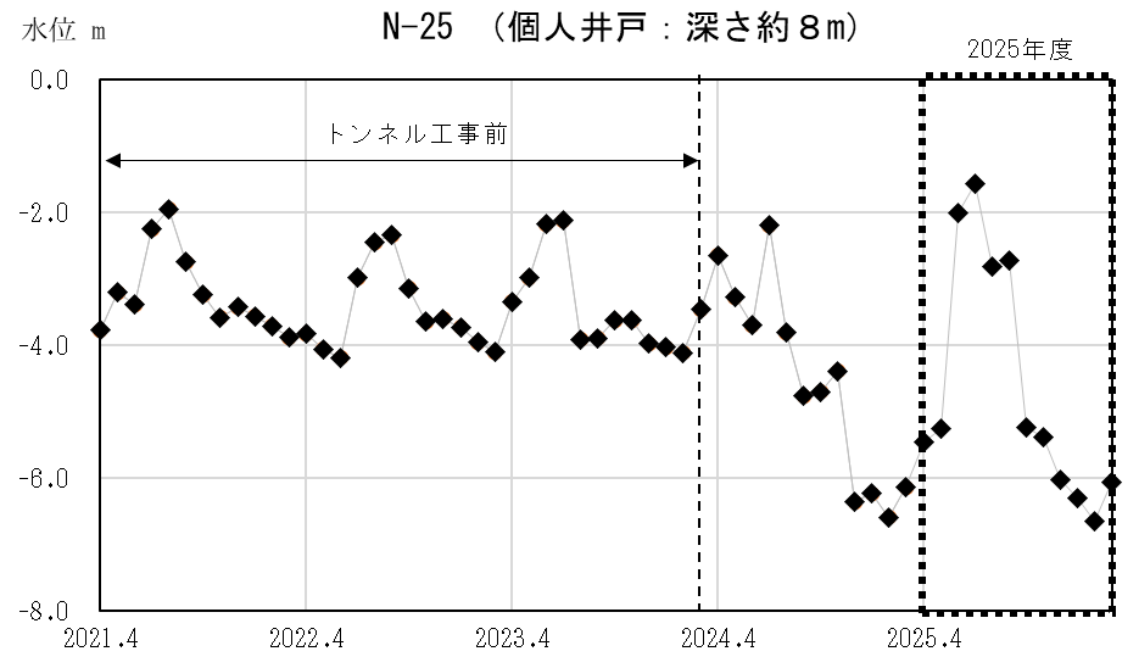


図 4-1-4-1 (16) 調査結果（井戸）（N-25）

測定方法：容器法

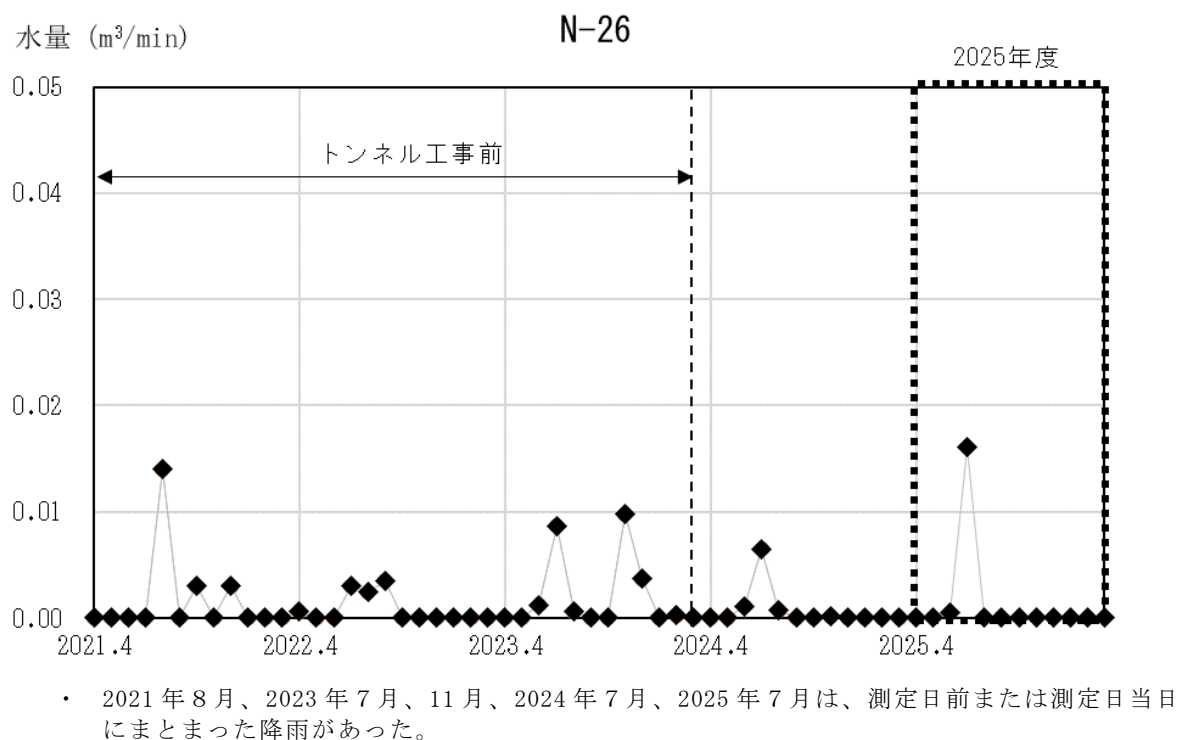


図 4-1-4-1 (17) 調査結果（湧水）(N-26)

測定方法：携行型水位測定器（ロープ水位計）

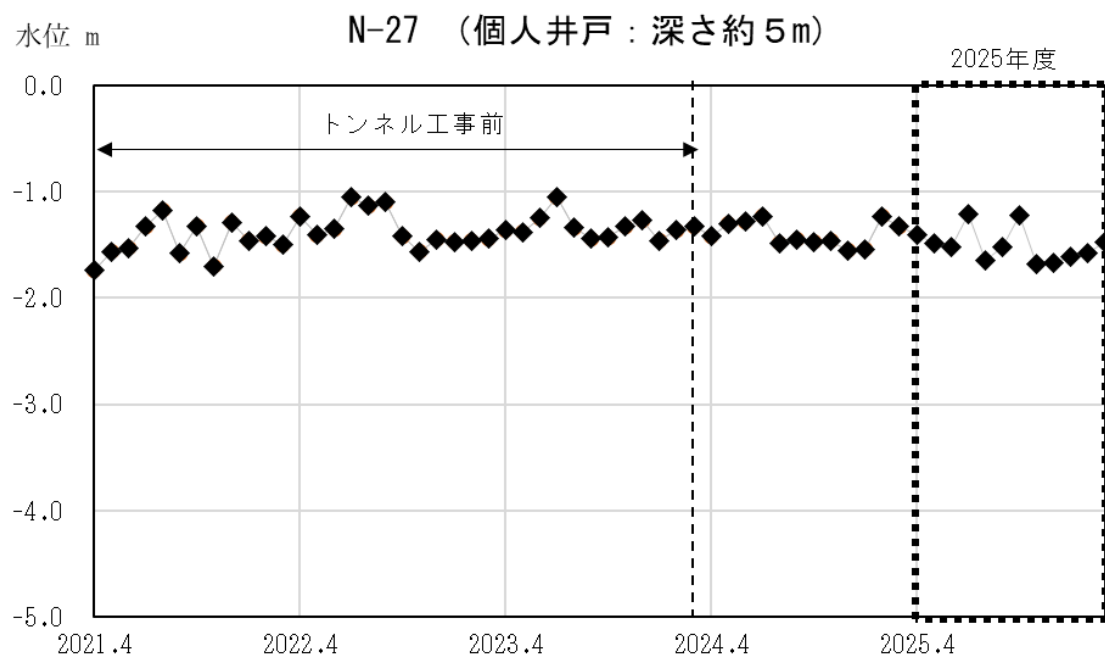


図 4-1-4-1 (18) 調査結果（井戸）(N-27)

測定方法：容器法

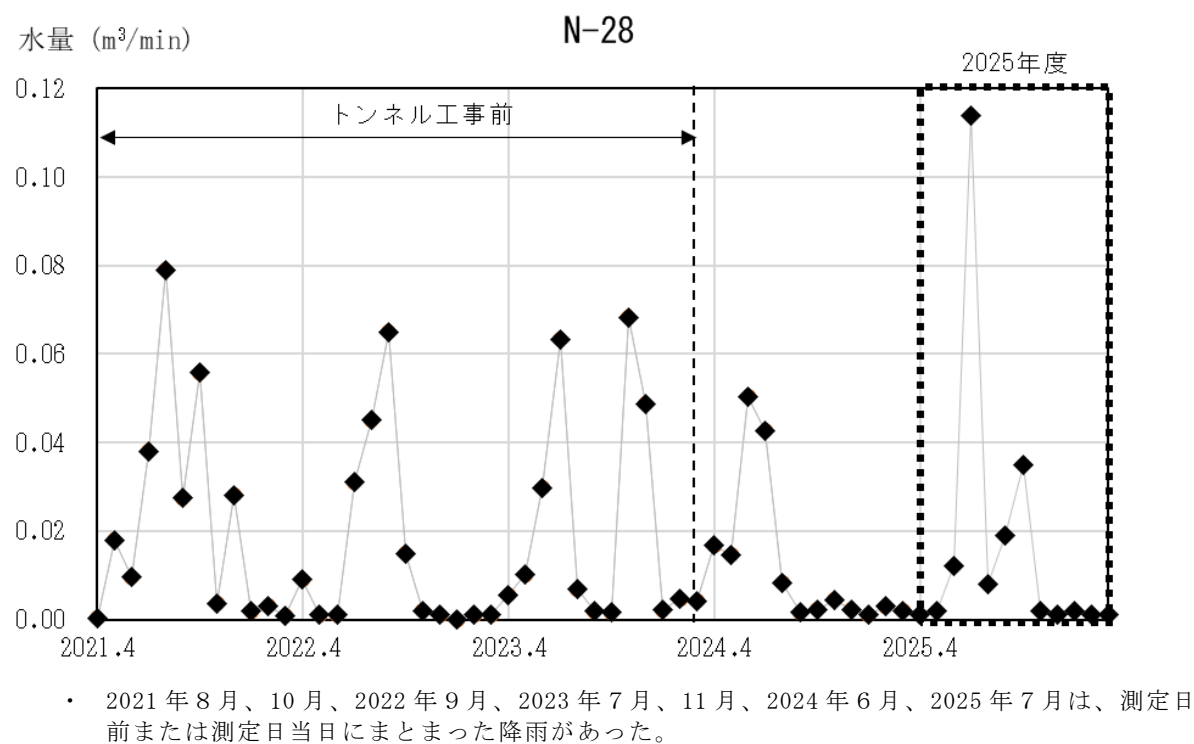


図 4-1-4-1 (19) 調査結果 (湧水) (N-28)

測定方法：携行型水位測定器（ロープ水位計）

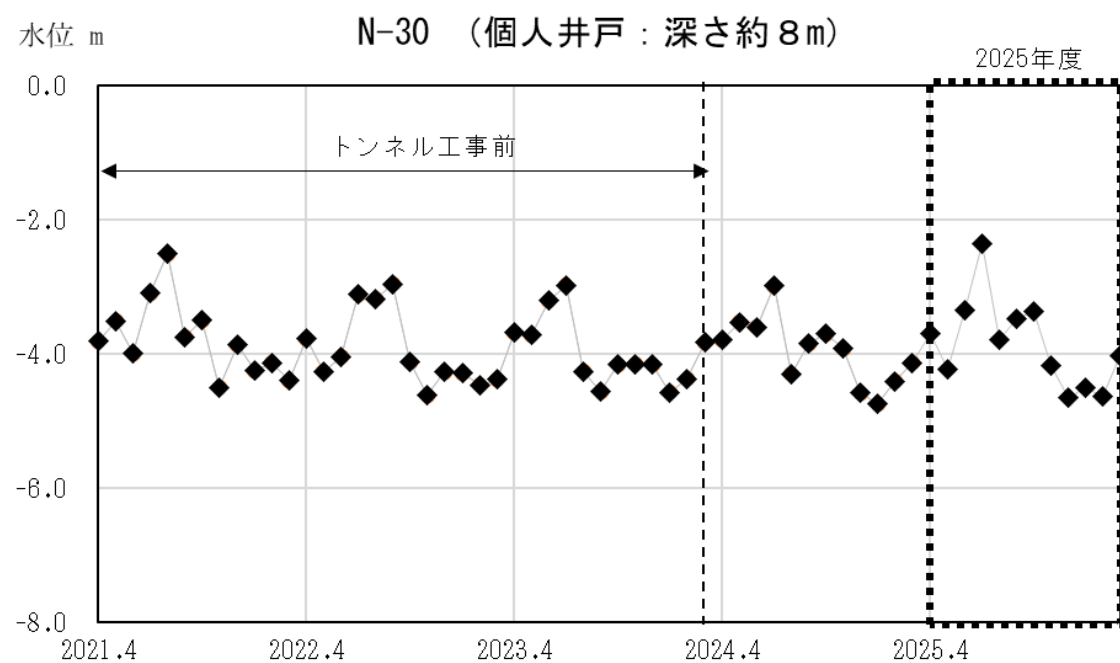


図 4-1-4-1 (20) 調査結果 (湧水) (N-30)

測定方法：携帯型水位測定器（ロープ水位計）

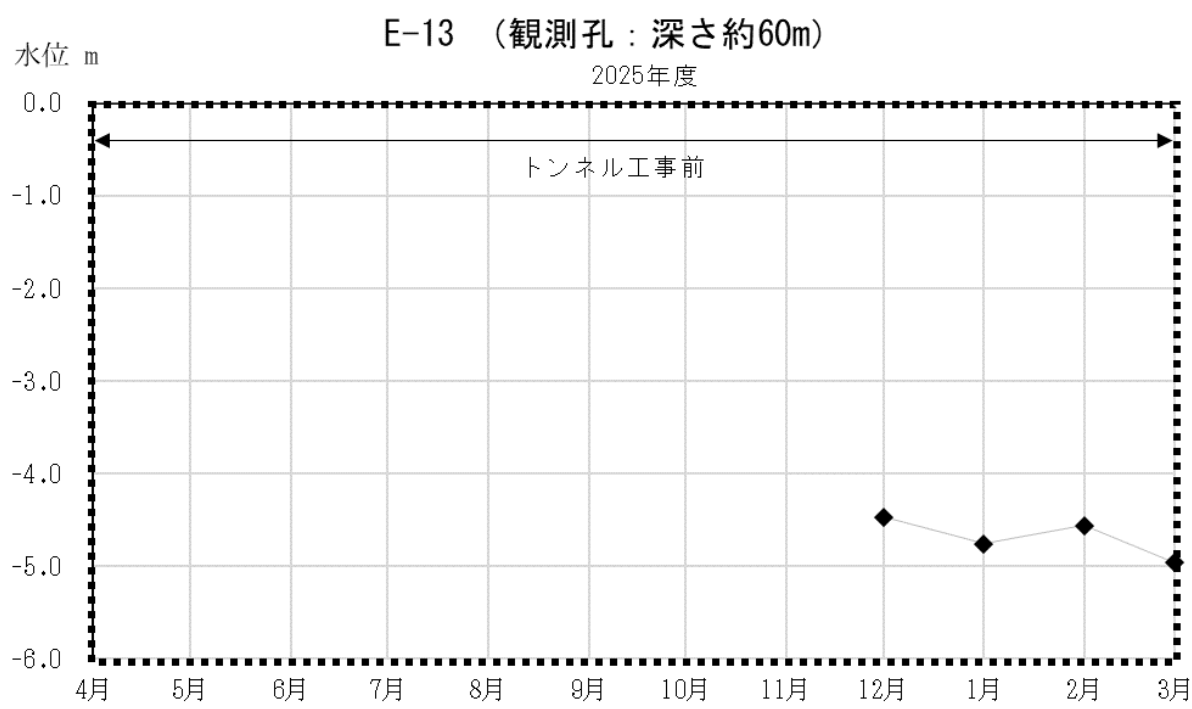


図 4-1-4-1 (21) 調査結果（井戸）(E-13)

測定方法：携帯型水位測定器（ロープ水位計）

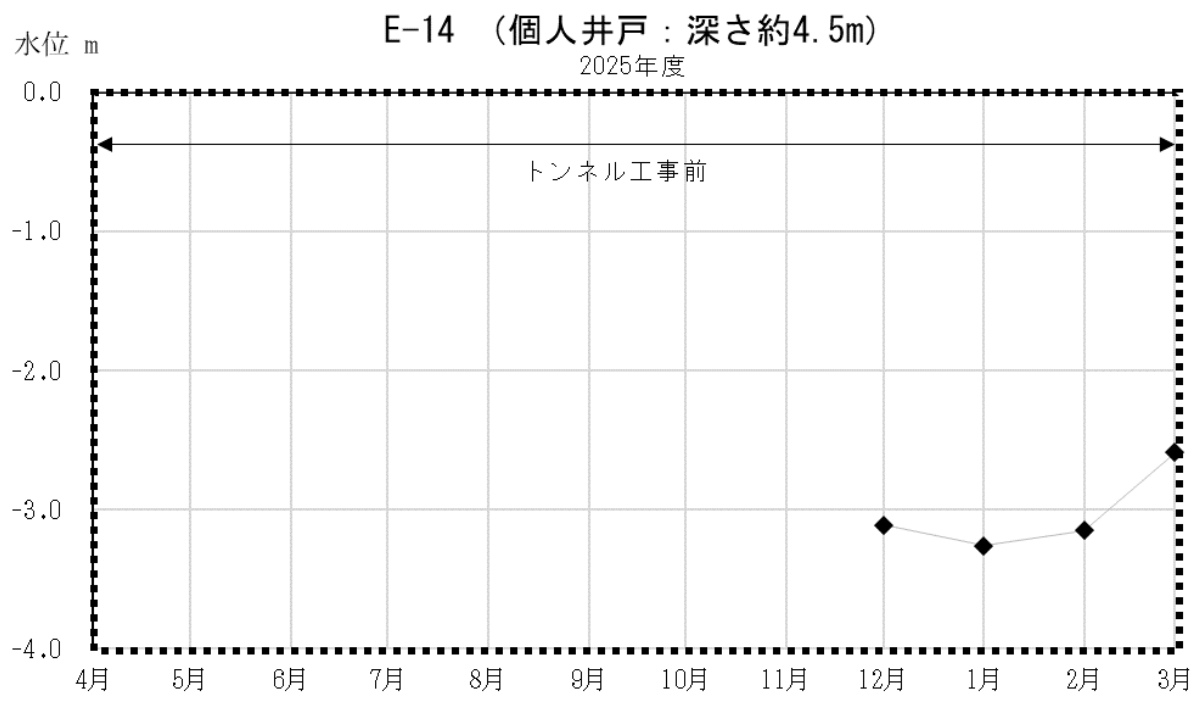


図 4-1-4-1 (22) 調査結果（井戸）(E-14)

測定方法：携行型水位測定器（ロープ水位計）

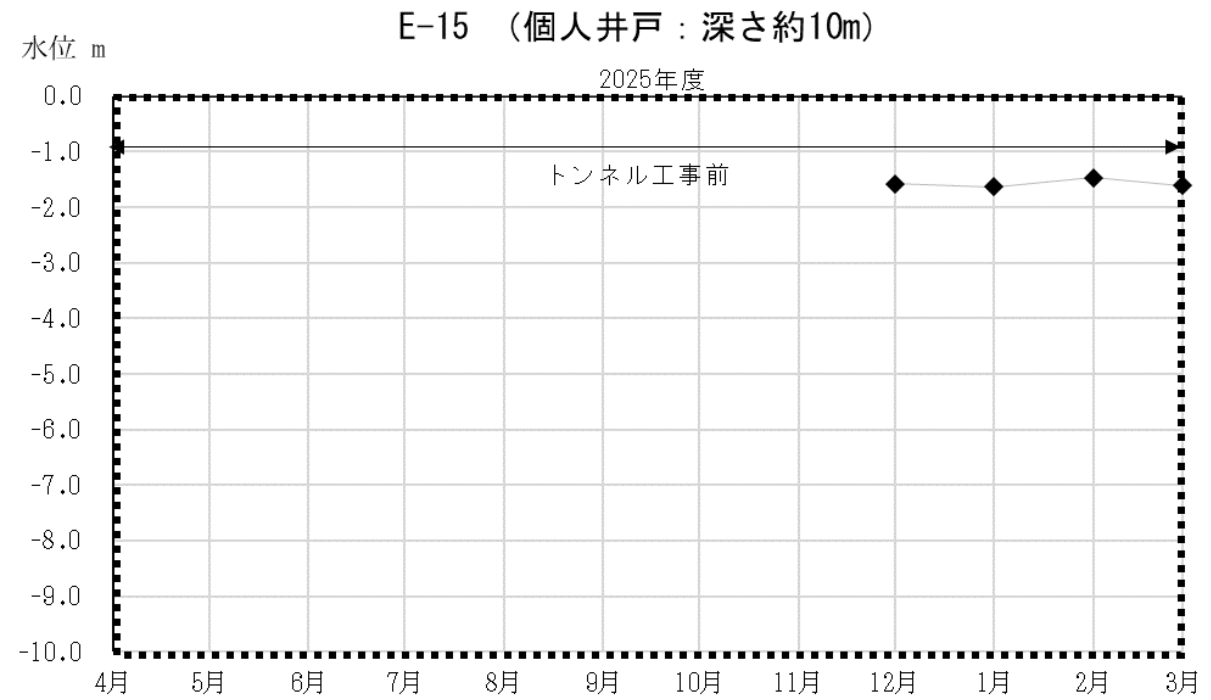


図 4-1-4-1 (23) 調査結果（井戸）（E-15）

測定方法：容器法

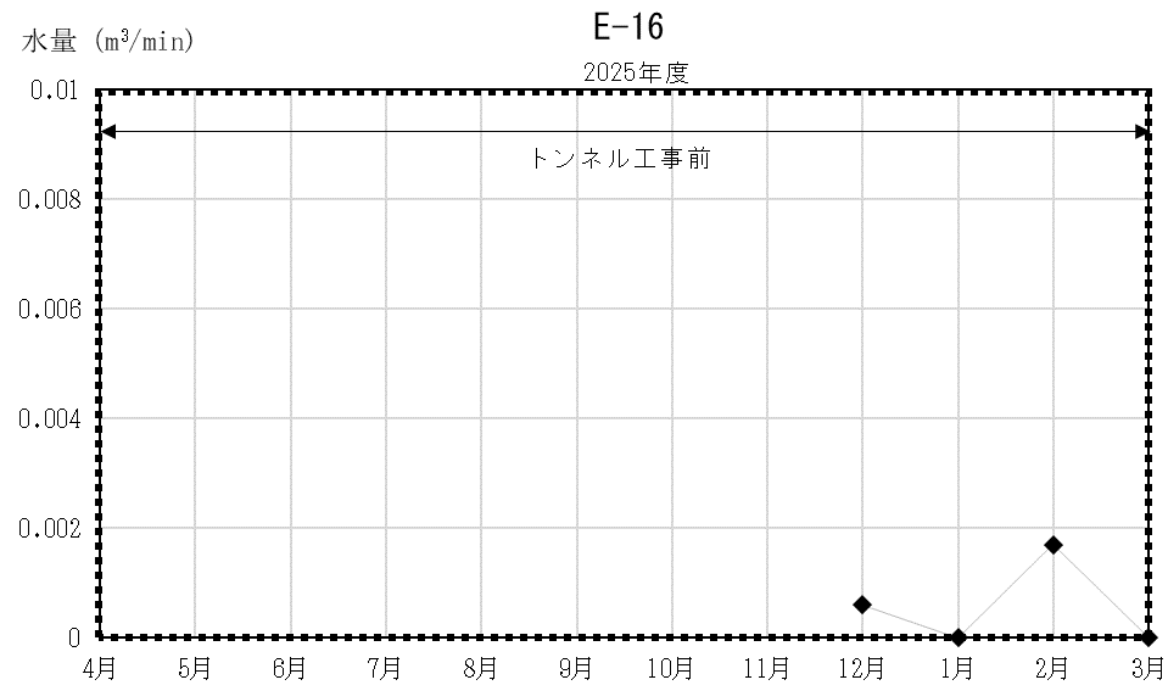


図 4-1-4-1 (24) 調査結果（湧水）（E-16）

測定方法：携行型水位測定器（ロープ水位計）

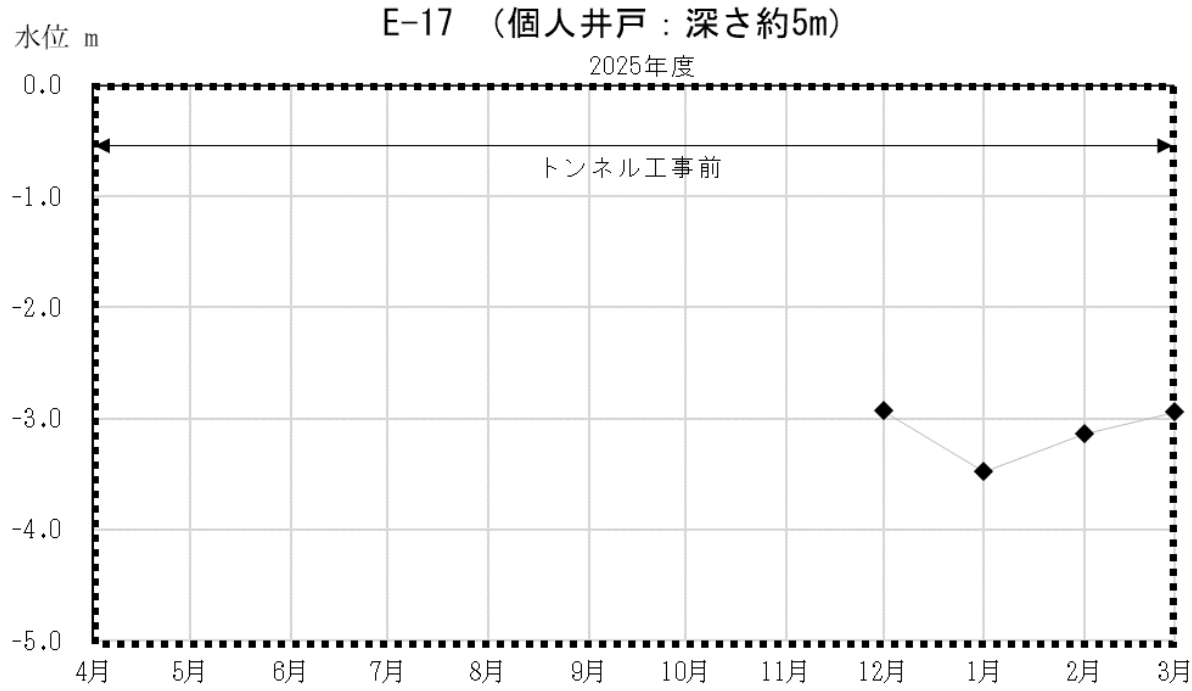


図 4-1-4-1 (25) 調査結果（井戸）(E-17)

測定方法：携行型水位測定器（ロープ水位計）

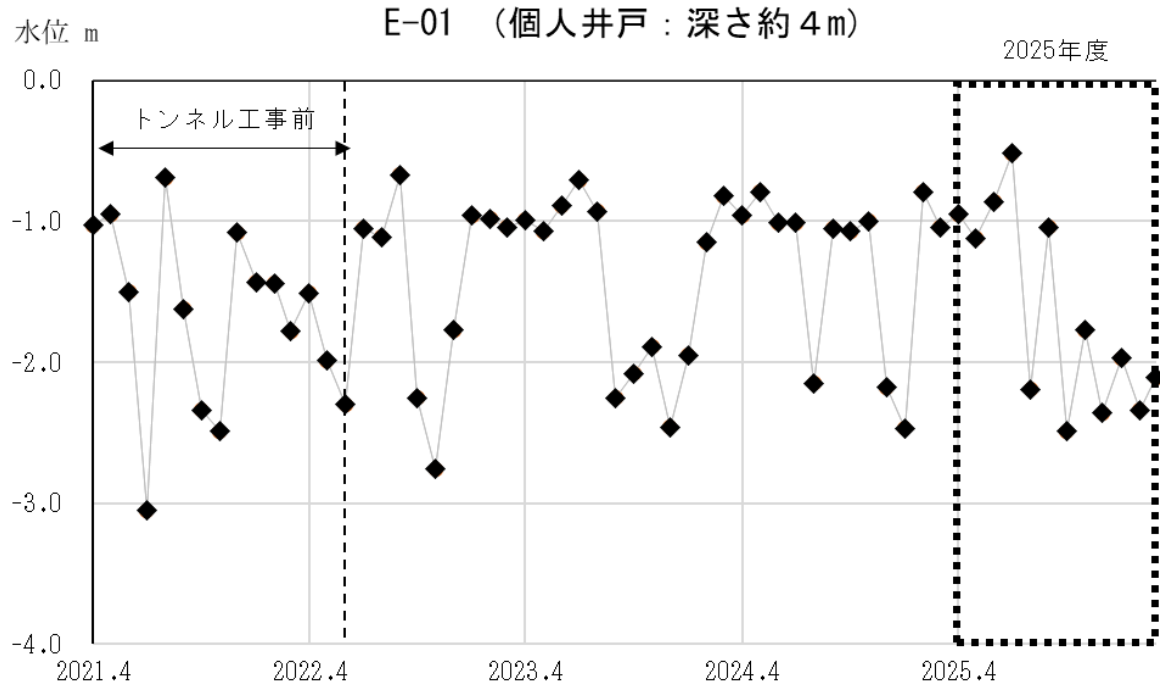
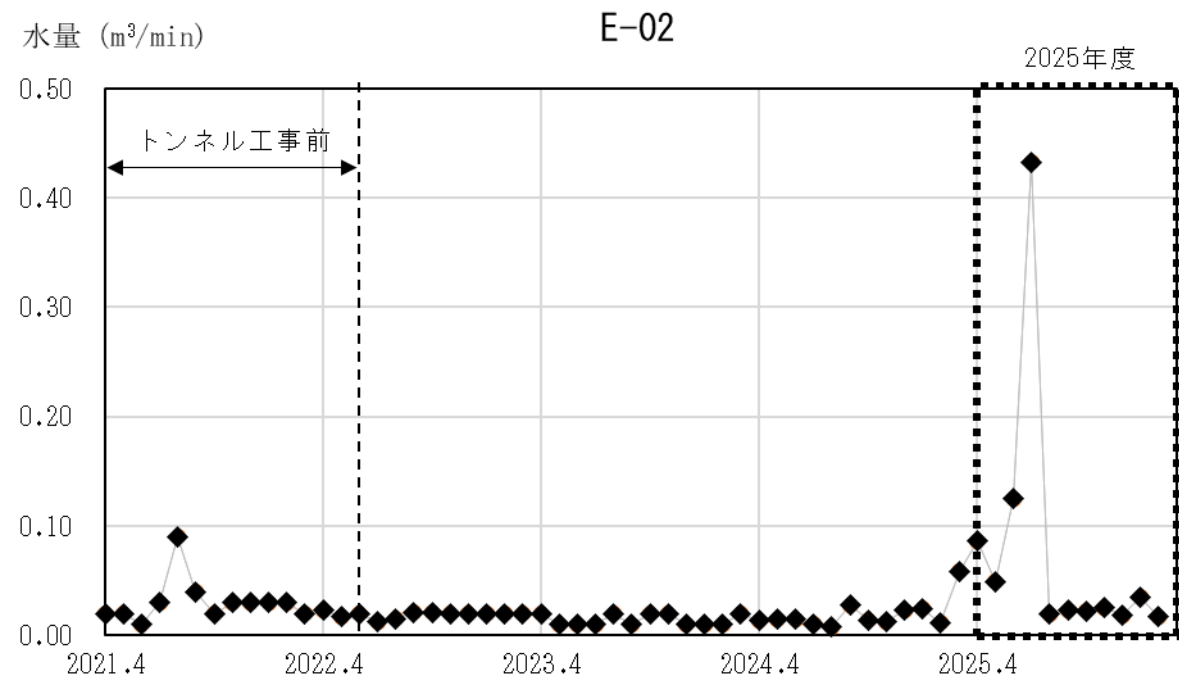


図 4-1-4-1 (26) 調査結果（井戸）(E-01)

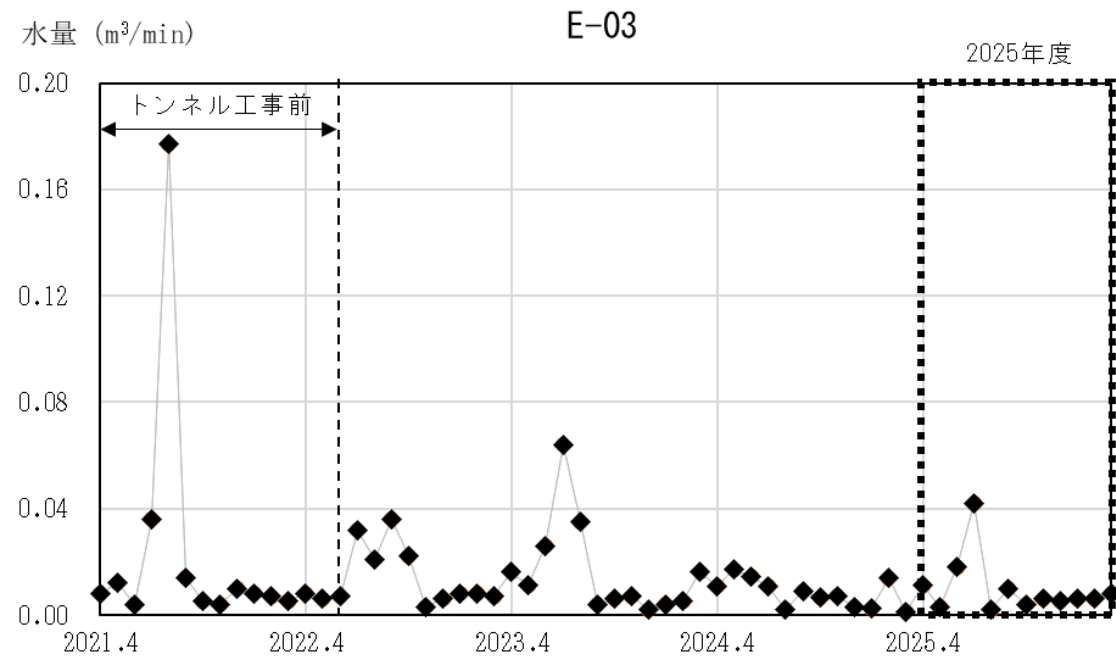
測定方法：容器法



・2021年8月、2025年7月は測定日前または測定日当日にまとまった降雨があった。

図 4-1-4-1 (27) 調査結果 (湧水) (E-02)

測定方法：容器法



・2021年8月、2023年7月は測定日前または測定日当日にまとまった降雨があった。

図 4-1-4-1 (28) 調査結果 (湧水) (E-03)

測定方法：携行型水位測定器（ロープ水位計）

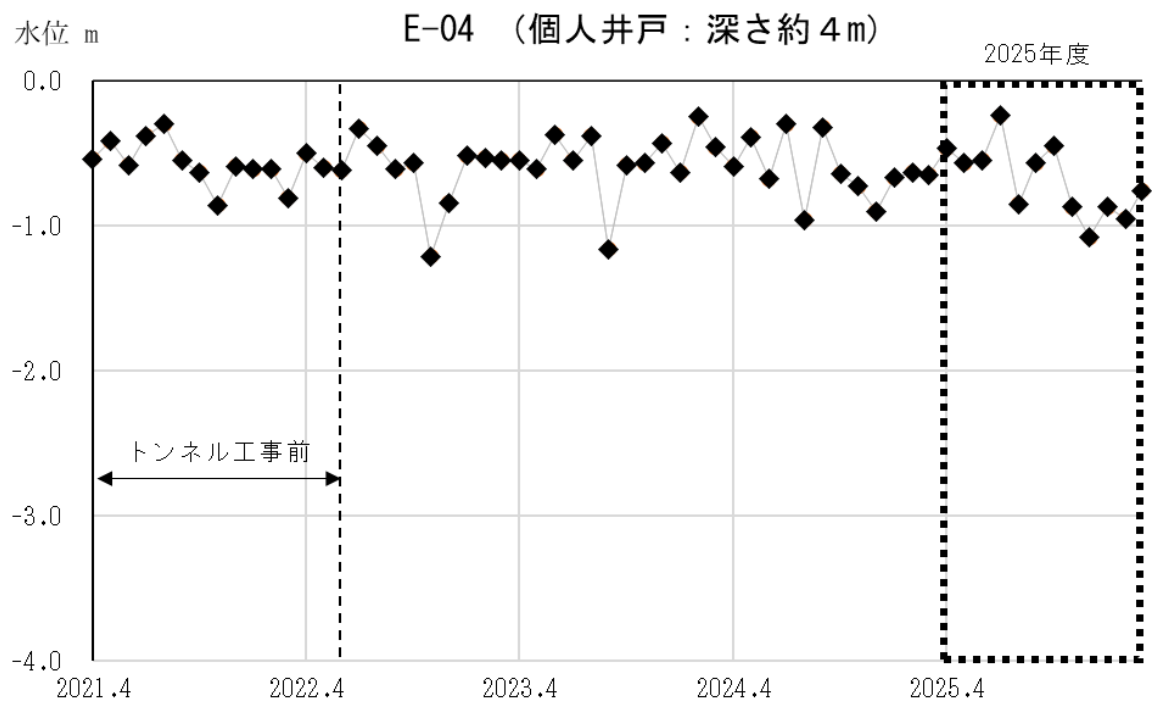


図 4-1-4-1（29） 調査結果（井戸）（E-04）

測定方法：携行型水位測定器（ロープ水位計）

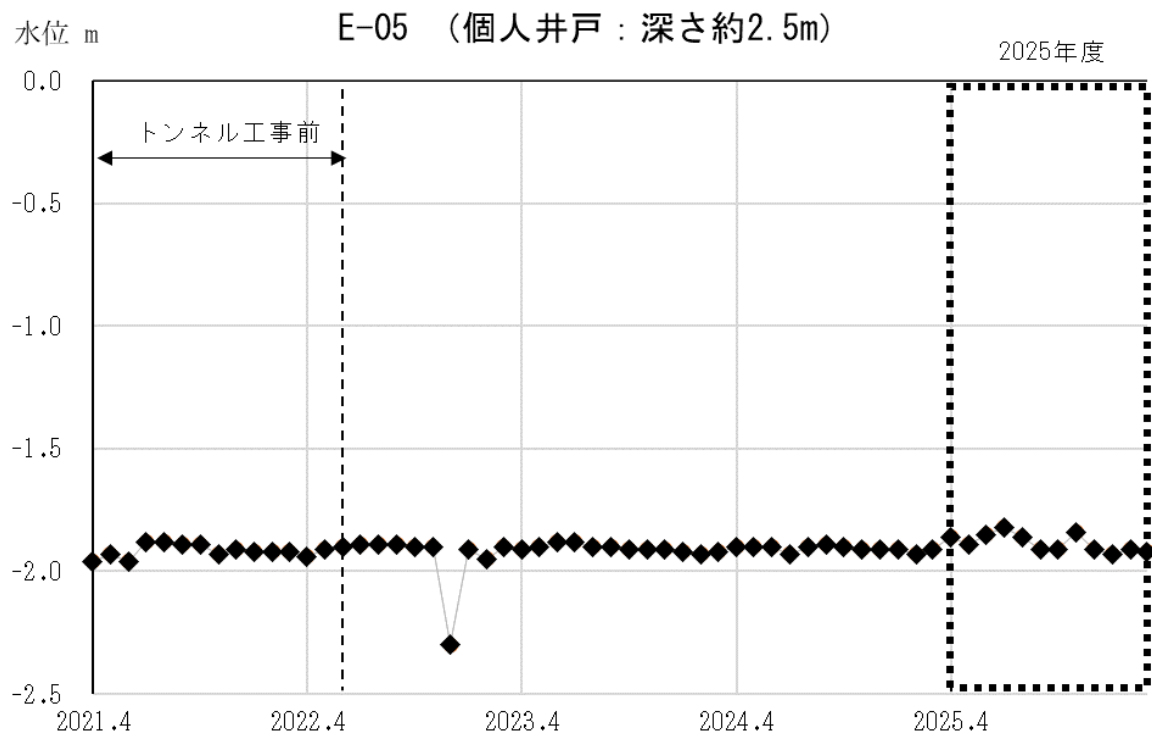


図 4-1-4-1（30） 調査結果（井戸）（E-05）

測定方法：携行型水位測定器（ロープ水位計）

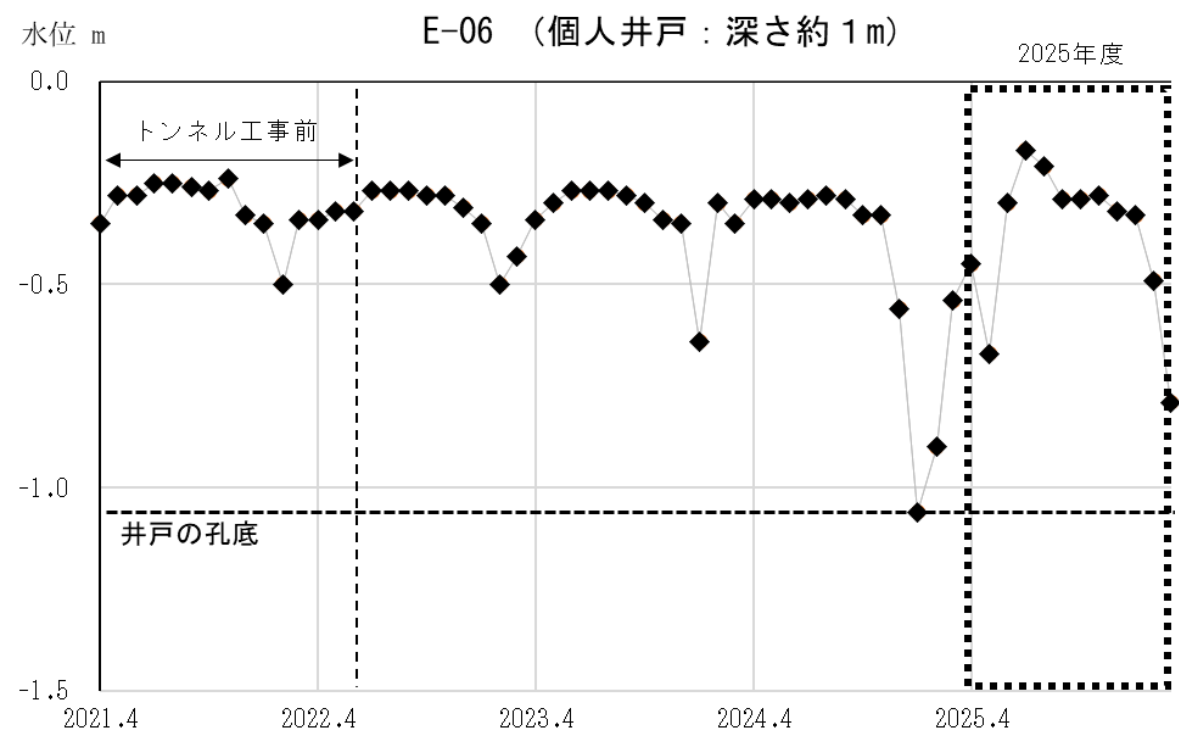


図 4-1-4-1 (31) 調査結果（井戸）（E-06）

測定方法：携行型水位測定器（ロープ水位計）

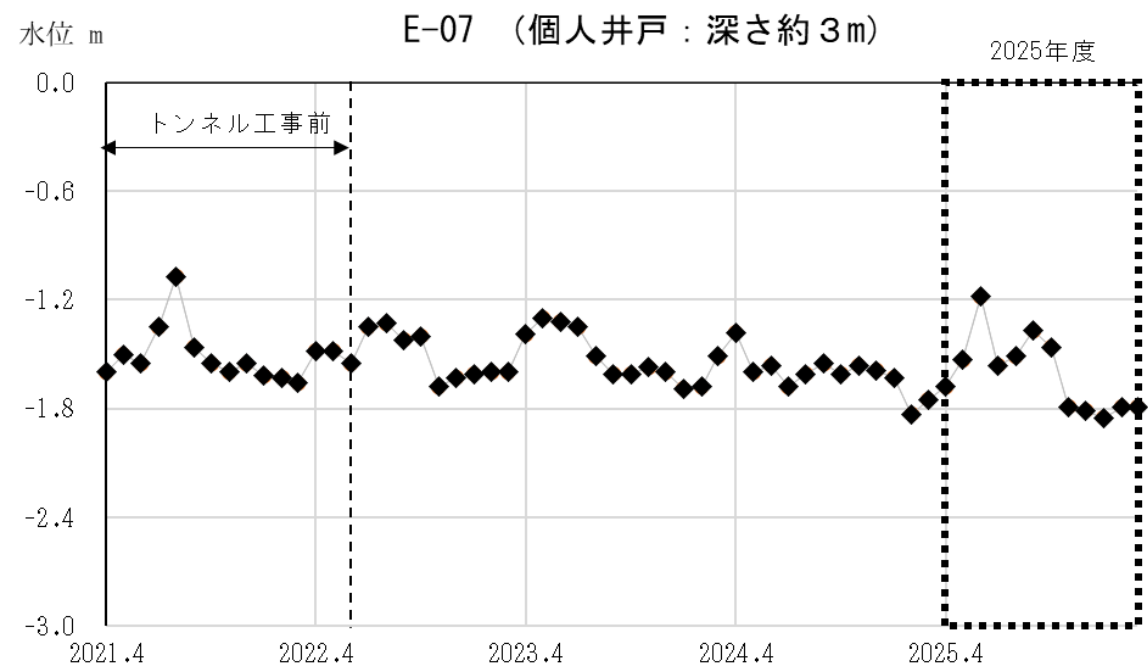


図 4-1-4-1 (32) 調査結果（井戸）（E-07）

測定方法：接触式水位計

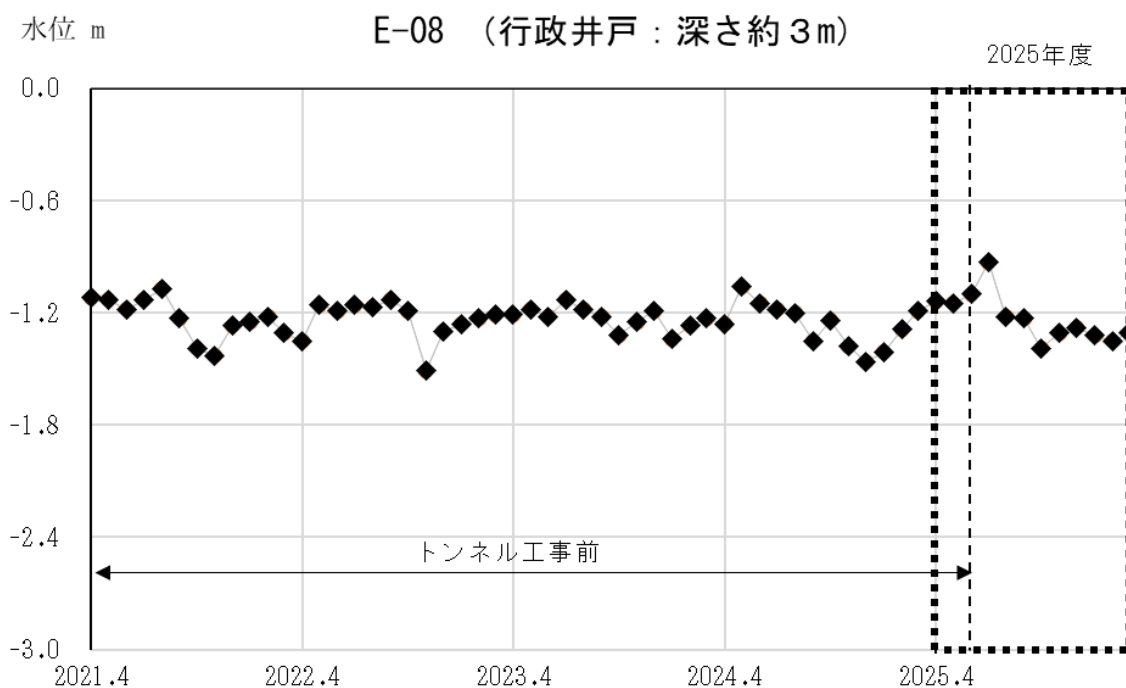
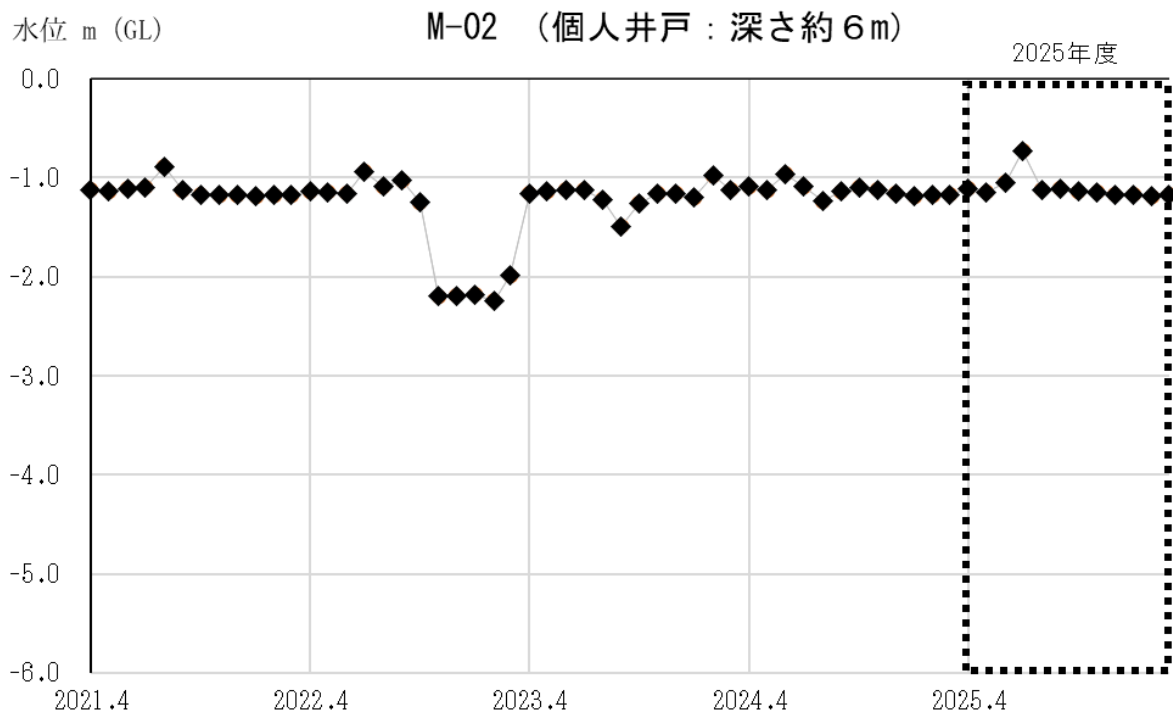


図 4-1-4-1 (33) 調査結果 (井戸) (E-08)

測定方法：接触式水位計



- ・ 2022 年 10 月以降、一時的に水位が低下していたが、2023 年 4 月からは例年通りの水位となっている。

図 4-1-4-1 (34) 調査結果 (井戸) (M-02)

測定方法：接触式水位計

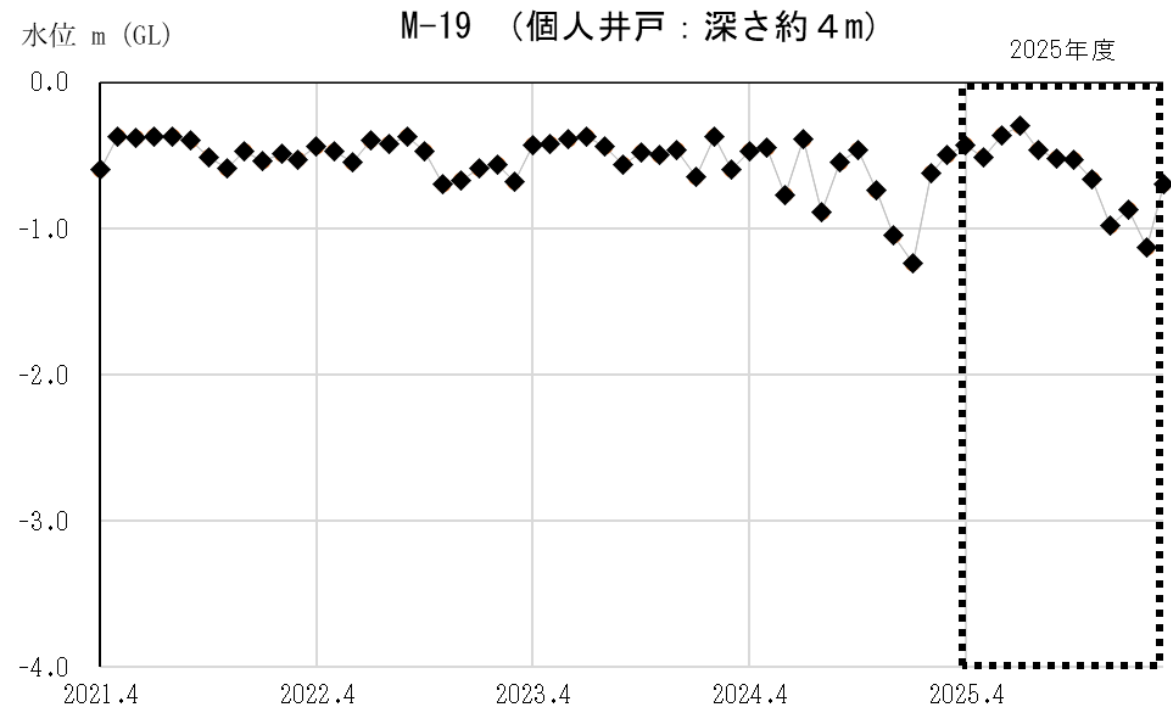


図 4-1-4-1 (35) 調査結果 (井戸) (M-19)

測定方法：接触式水位計

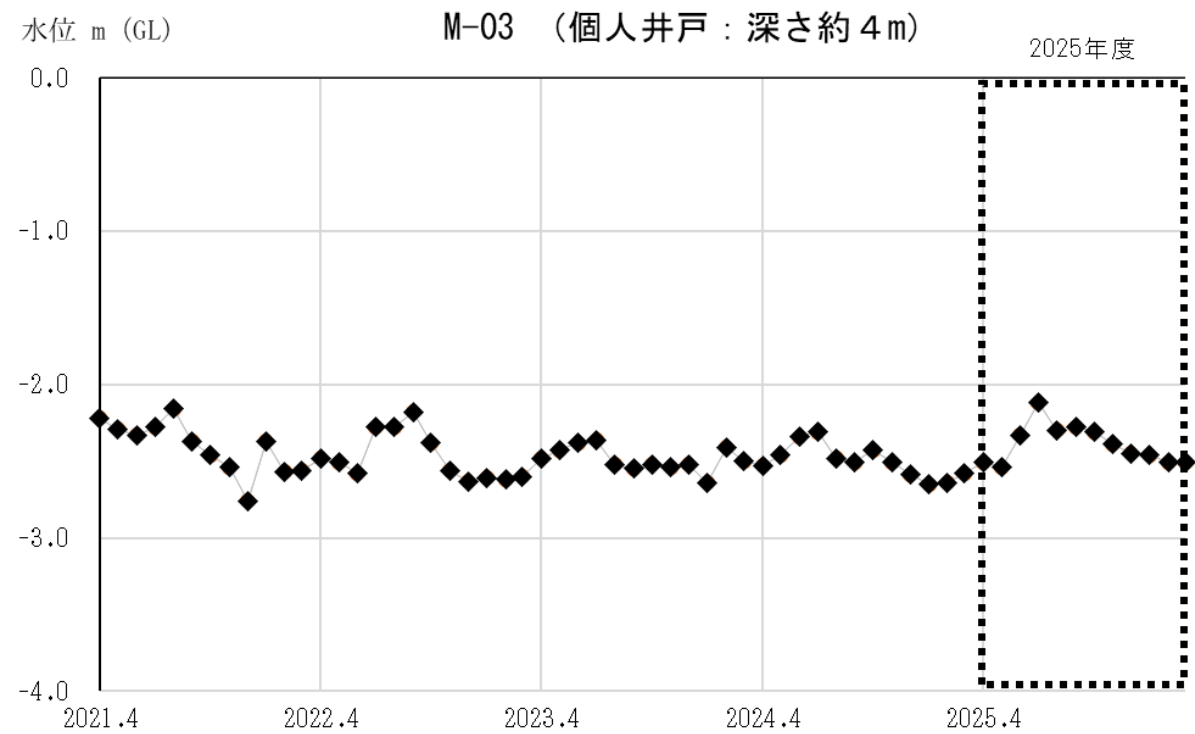
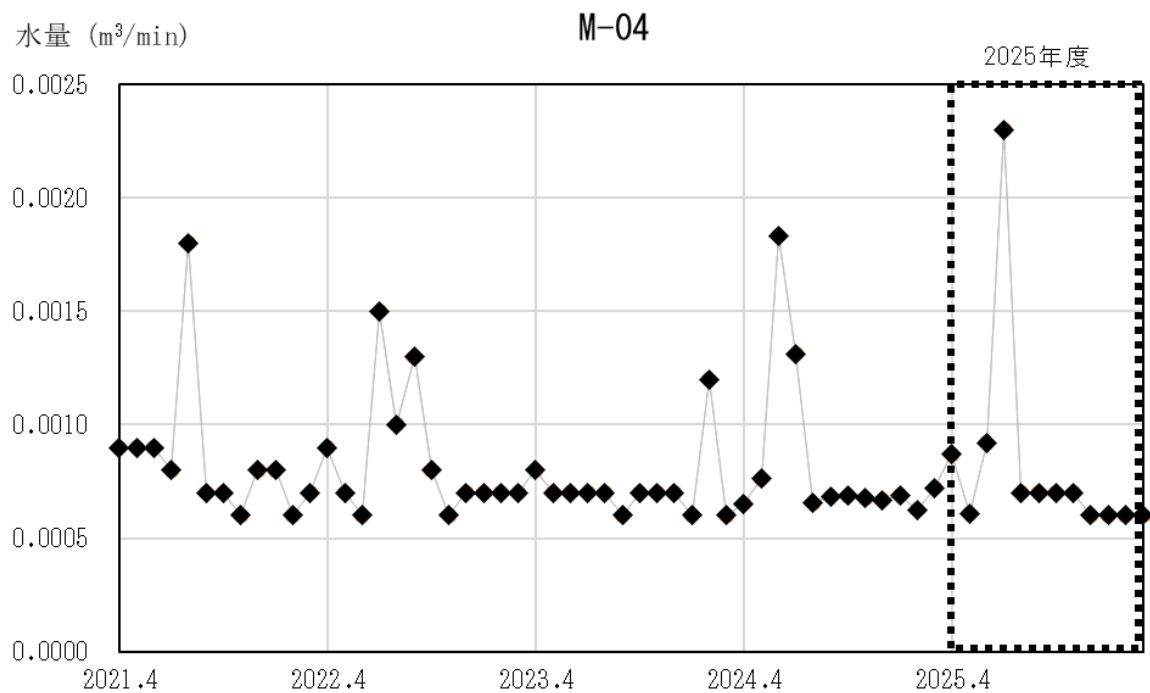


図 4-1-4-1 (36) 調査結果 (井戸) (M-03)

測定方法：容器法



- ・ 2021年8月、2022年7月、9月、2024年2月、6月、2025年7月は、測定日前または測定日当日にまとまった降雨があった。

図 4-1-4-1 (37) 調査結果（湧水）（M-04）

測定方法：接触式水位計

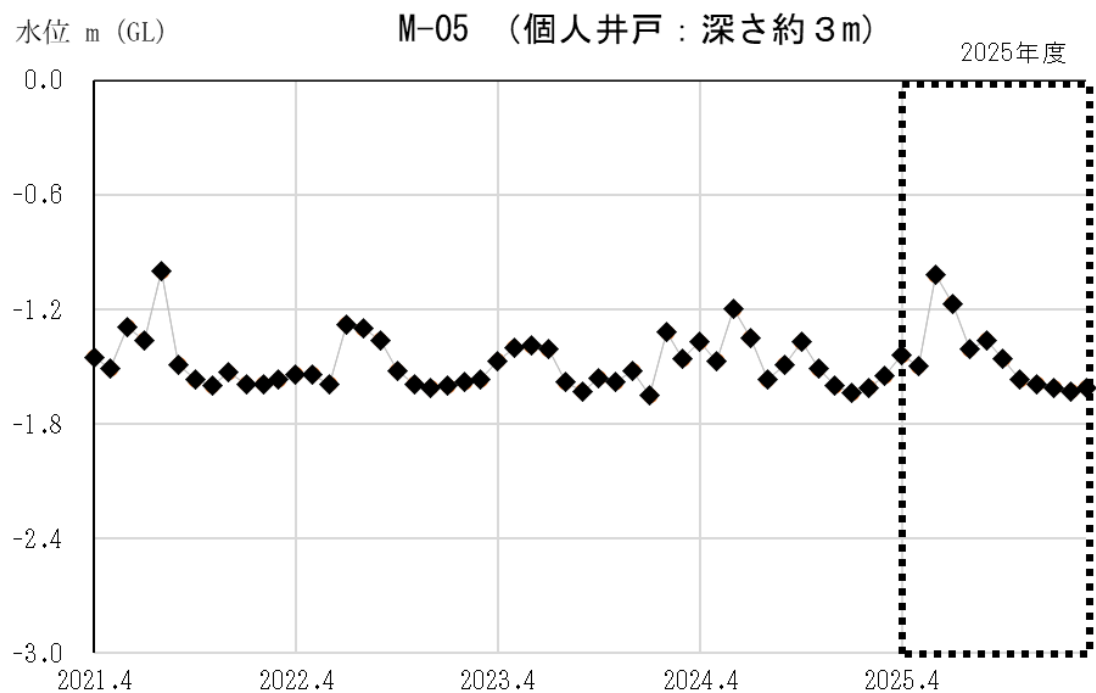


図 4-1-4-1 (38) 調査結果（井戸）（M-05）

測定方法：容器法

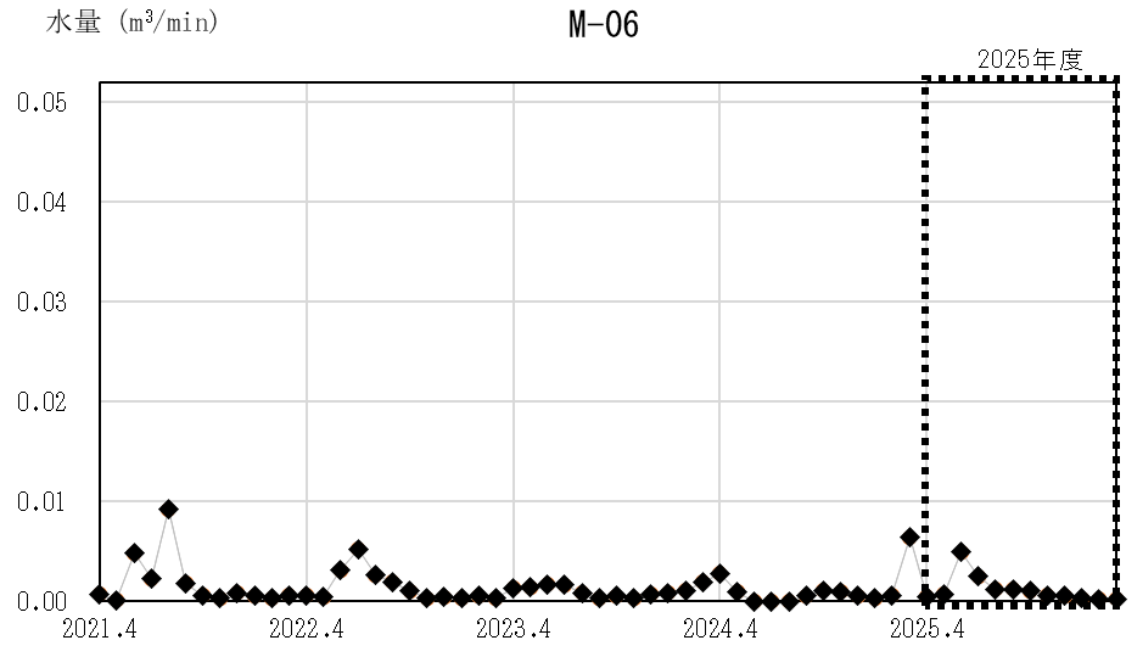
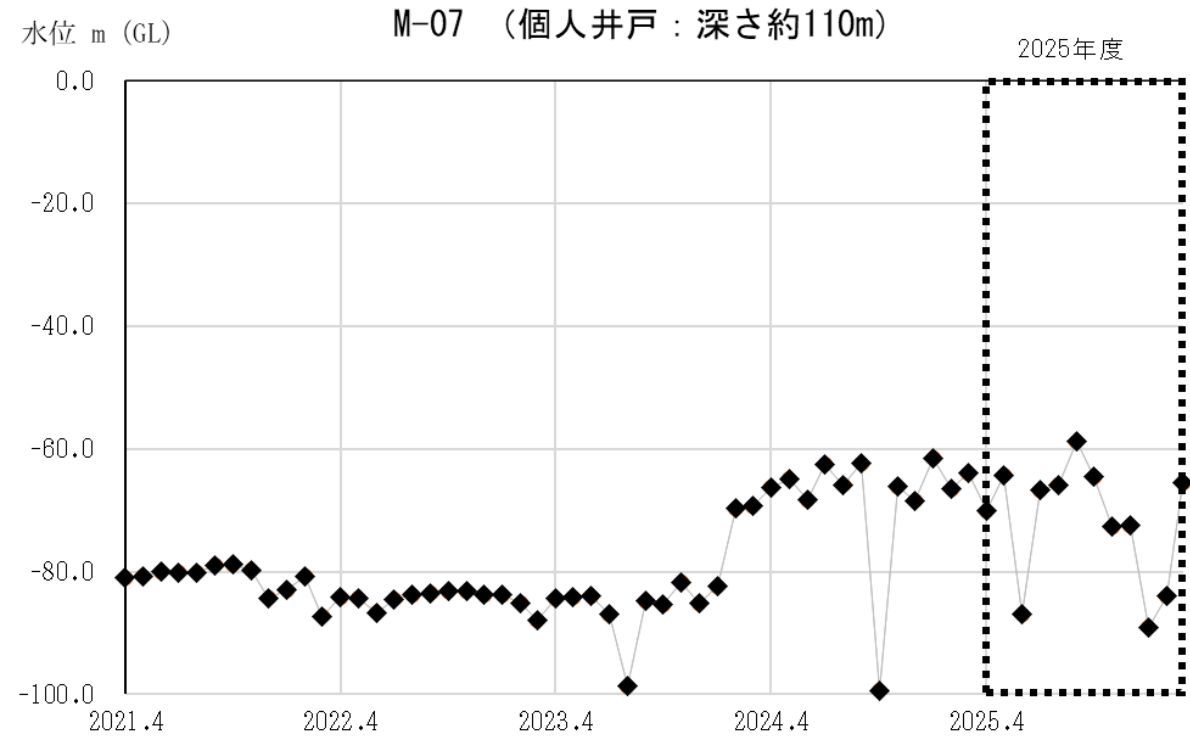


図 4-1-4-1 (39) 調査結果 (湧水) (M-06)

測定方法：接触式水位計



・ 2023年 8 月、2024年10月は、井戸水使用状態で測定したため、減水位の傾向となった。

図 4-1-4-1 (40) 調査結果 (井戸) (M-07)

測定方法：接触式水位計

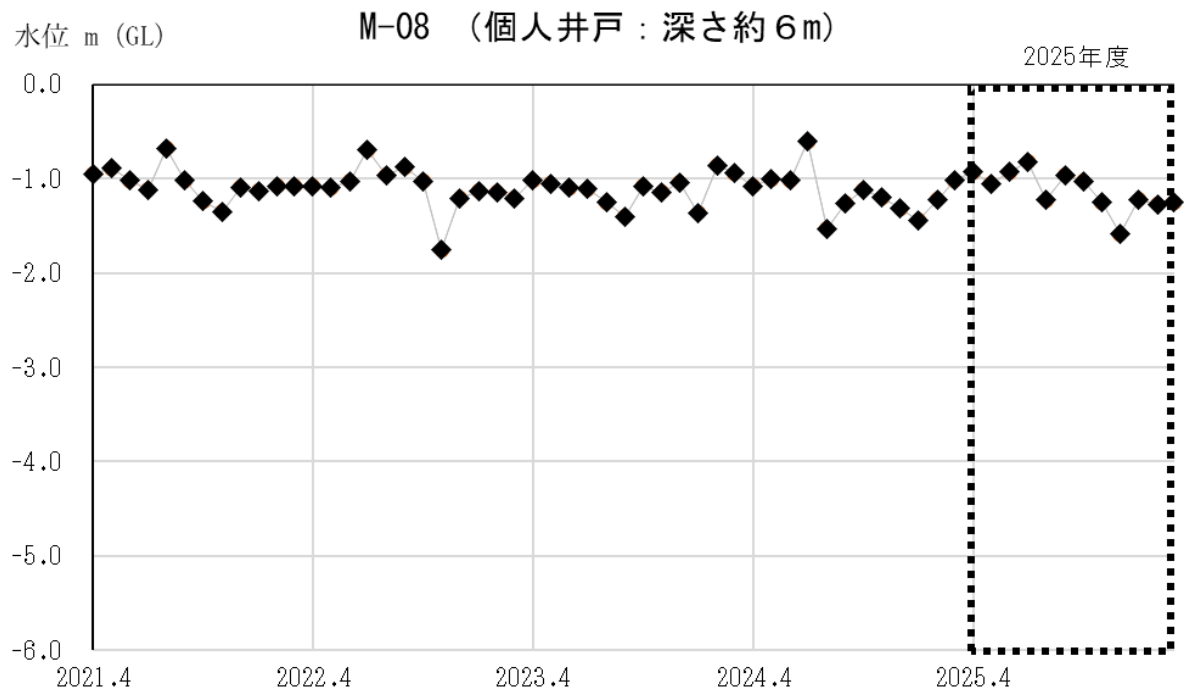


図 4-1-4-1 (41) 調査結果 (井戸) (M-08)

測定方法：接触式水位計

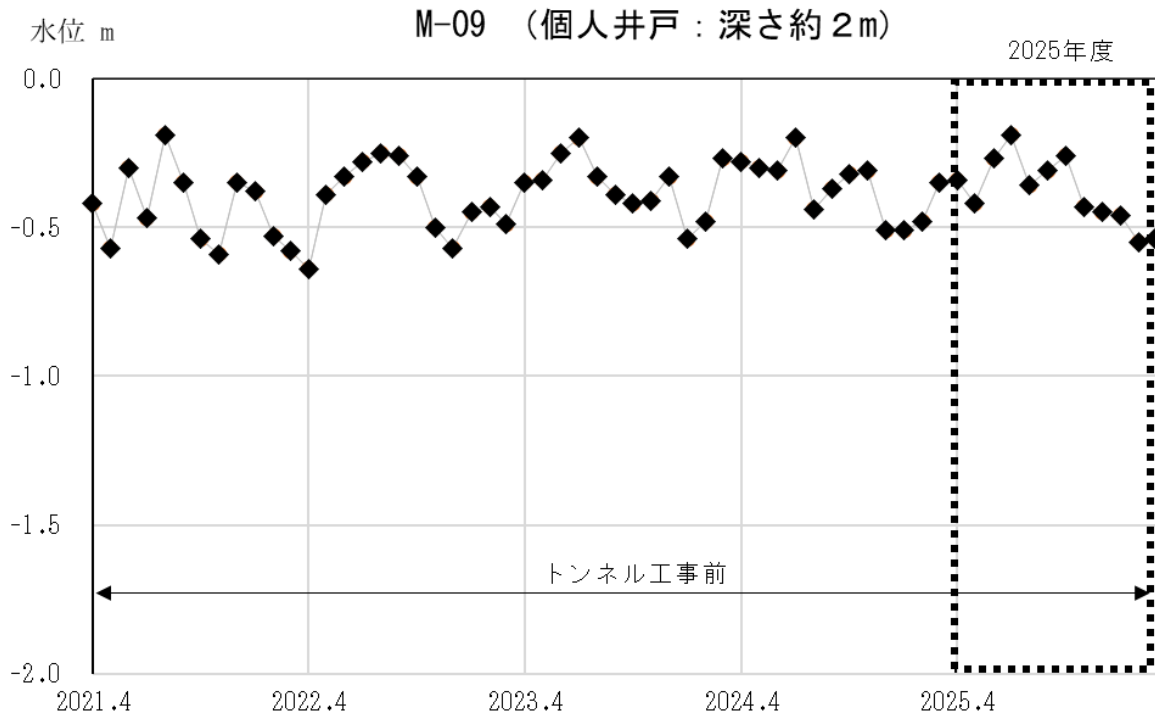


図 4-1-4-1 (42) 調査結果 (井戸) (M-09)

測定方法：接触式水位計

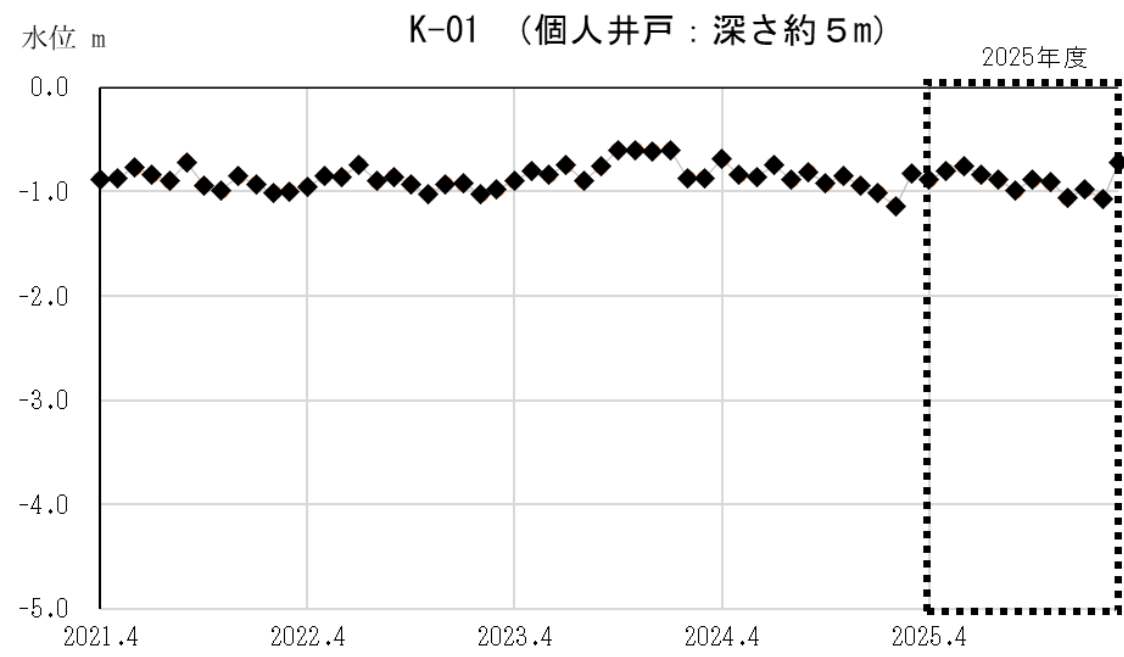
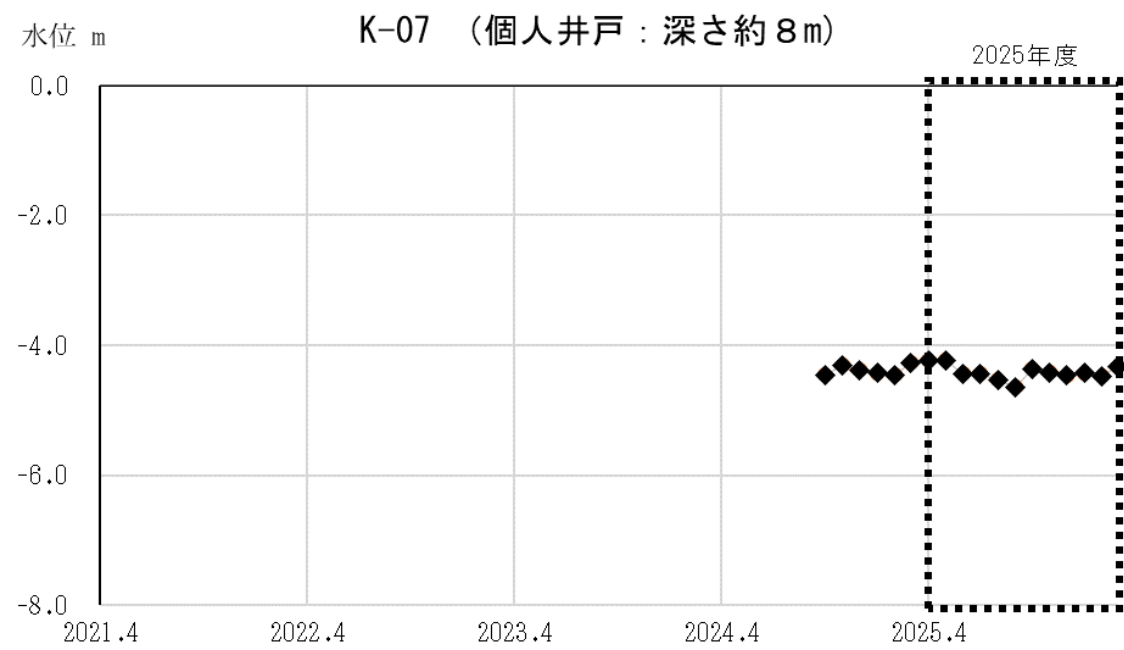


図 4-1-4-1 (43) 調査結果（井戸）(K-01)

測定方法：接触式水位計



・調査地点K-02の水利用の終了に伴い2024年10月以降調査を開始した。

図 4-1-4-1 (44) 調査結果（井戸）(K-07)

測定方法：接触式水位計

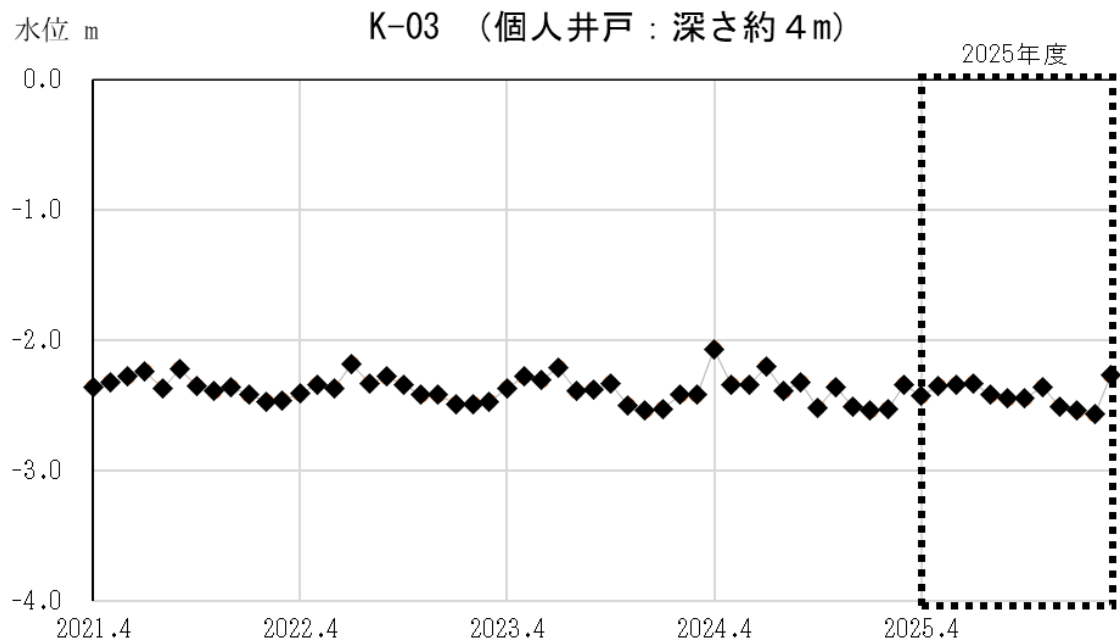


図 4-1-4-1 (45) 調査結果 (井戸) (K-03)

測定方法：携行型水位測定器 (ロープ水位計)

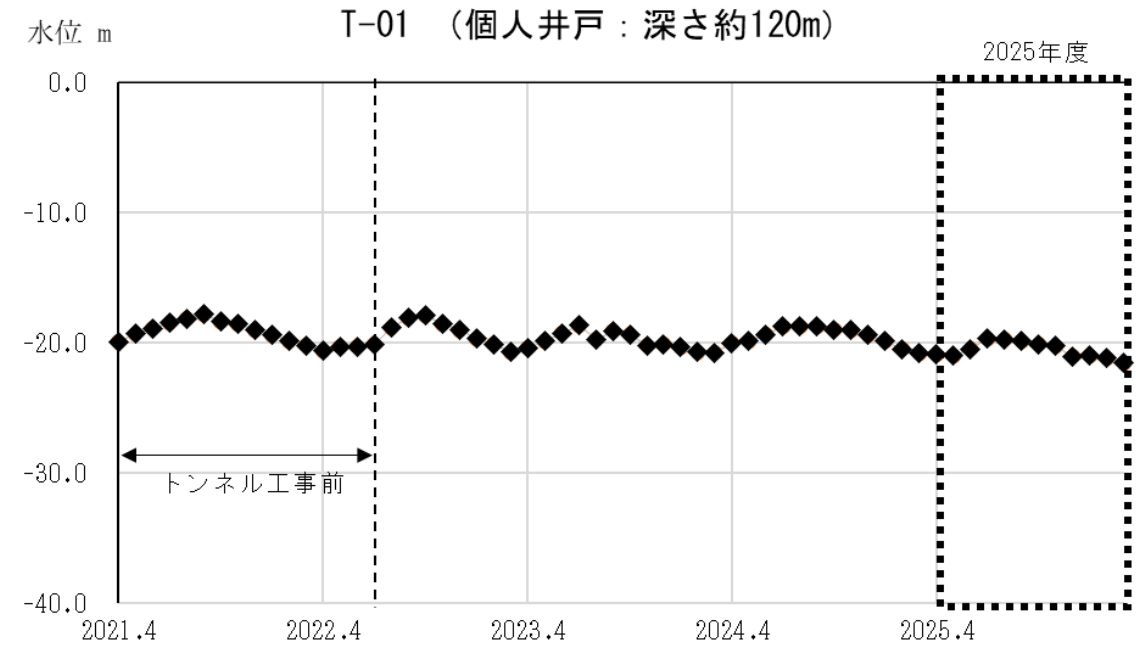


図 4-1-4-1 (46) 調査結果 (井戸) (T-01)

測定方法：携行型水位測定器（ロープ水位計）

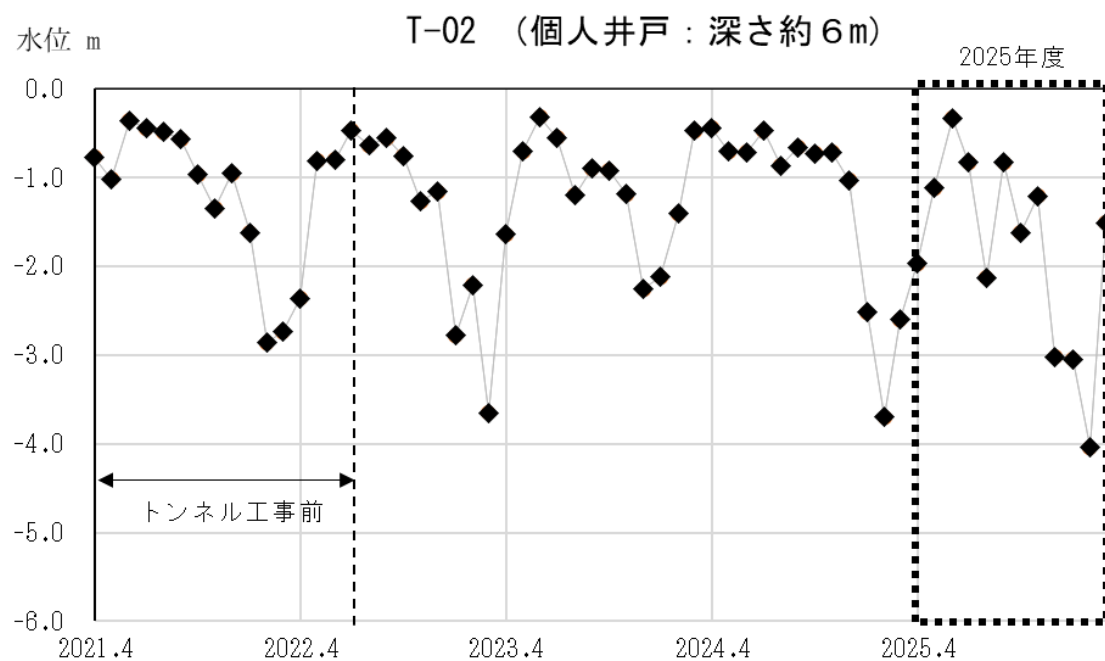


図 4-1-4-1 (47) 調査結果 (井戸) (T-02)

測定方法：携行型水位測定器（ロープ水位計）

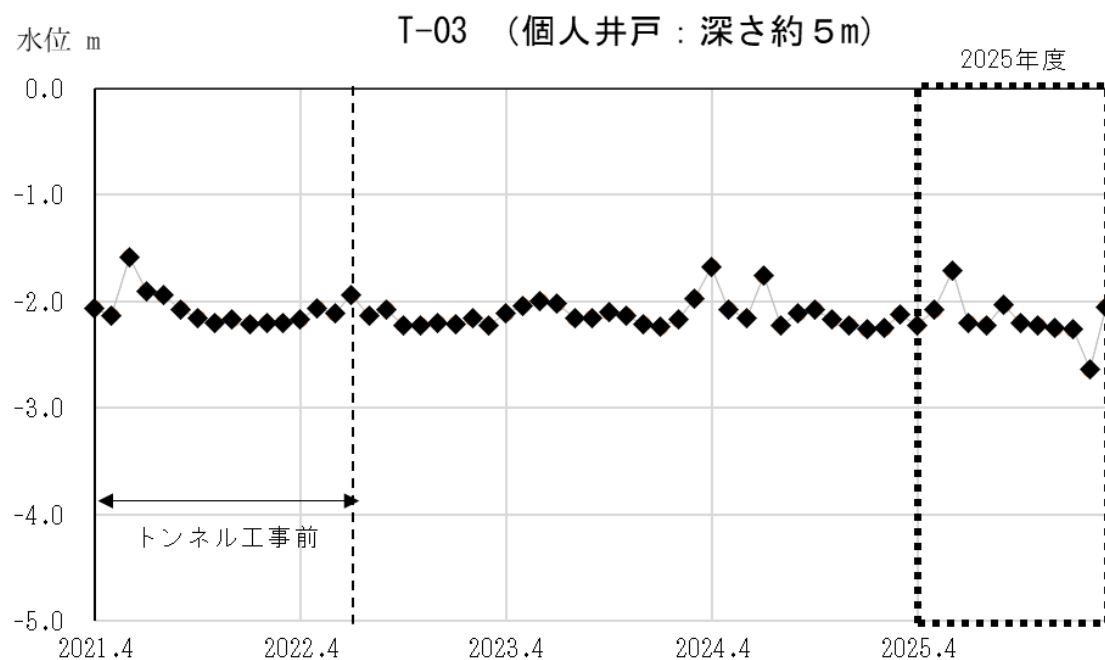


図 4-1-4-1 (48) 調査結果 (井戸) (T-03)

表 4-1-4-2 (1) 調査結果 (地表水)

事後調査 (地表水)			2025 年度											
市町村名	調査地点	項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
中津川市	N-05	流量 (m³/min)	1.27	0.74	11.79	7.69	2.56	1.90	2.72	1.64	1.18	1.81	1.33	1.13
		水温 (℃)	11.4	16.7	16.9	21.2	20.6	21.9	18.0	10.5	6.0	3.8	1.2	8.3
		pH	7.4	7.1	7.6	7.4	7.6	7.3	7.9	7.0	7.4	6.9	7.8	7.5
		電気伝導率 (mS/m)	7.1	8.1	5.7	6.5	6.5	7.4	7.6	7.4	7.3	7.5	8.0	8.1
	N-06	流量 (m³/min)	0.45	0.53	3.43	1.53	1.58	1.82	0.54	0.29	0.20	0.29	0.45	0.23
		水温 (℃)	11.5	13.4	13.8	18.3	18.2	18.3	16.0	8.1	5.6	6.3	5.3	7.2
		pH	7.5	7.4	7.8	7.4	7.1	7.7	7.3	7.4	7.4	7.7	7.3	7.6
		電気伝導率 (mS/m)	5.5	5.4	4.7	5.0	5.1	5.4	5.4	5.7	5.6	5.5	5.8	5.9
	N-07	流量 (m³/min)	0.22	1.46	2.07	3.68	0.25	0.22	1.70	0.95	0.44	0.78	0.37	1.49
		水温 (℃)	9.1	11.7	14.7	21.0	24.4	24.5	18.3	12.6	8.6	2.5	2.4	8.4
		pH	7.0	7.1	7.2	7.0	7.2	6.9	7.5	6.8	7.5	7.6	7.4	7.2
		電気伝導率 (mS/m)	4.4	4.2	3.9	3.2	3.8	4.0	3.8	3.6	3.8	3.8	4.7	4.7
	N-08	流量 (m³/min)	1.04	0.86	10.43	3.54	3.02	1.63	2.07	1.38	0.89	0.96	1.31	0.77
		水温 (℃)	7.9	11.3	13.4	17.2	18.5	18.5	15.5	10.7	6.5	4.6	4.4	8.2
		pH	7.5	7.3	7.4	7.6	7.2	7.5	7.5	7.7	7.4	7.2	7.3	7.5
		電気伝導率 (mS/m)	4.3	4.5	3.4	4.1	4.2	4.8	4.7	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4
	N-18	流量 (m³/min)	0.82	0.88	1.07	0.88	0.55	0.71	0.68	0.60	0.54	0.55	1.05	0.44
		水温 (℃)	8.9	14.0	18.0	21.2	22.6	18.4	15.4	7.4	6.8	1.5	6.3	8.9
		pH	7.0	7.6	7.3	7.3	7.7	8.1	8.1	7.0	7.6	8.3	7.8	7.1
		電気伝導率 (mS/m)	2.3	2.6	2.4	2.4	3.4	2.6	3.7	2.6	2.7	5.1	2.5	2.6
	N-19	流量 (m³/min)	2.32	1.96	3.12	3.82	2.08	2.18	2.44	2.08	2.03	1.22	2.63	0.86
		水温 (℃)	8.8	15.8	20.4	22.8	24.2	19.4	16.0	9.8	7.7	3.3	7.2	9.7
		pH	7.0	7.3	7.6	7.4	7.5	7.2	7.6	7.1	7.3	6.9	6.9	6.7
		電気伝導率 (mS/m)	10.9	5.4	4.4	4.0	7.4	18.6	5.9	9.7	5.3	11.1	5.5	6.5
	N-20	流量 (m³/min)	8.20	10.18	11.00	12.69	6.70	10.99	10.35	5.30	7.29	3.44	7.89	7.52
		水温 (℃)	10.6	17.9	20.3	23.6	24.1	20.3	16.3	9.1	8.1	2.8	8.7	12.3
		pH	7.2	7.3	7.4	7.4	7.5	7.5	7.4	7.3	7.5	6.9	6.9	6.9
		電気伝導率 (mS/m)	5.9	6.1	6.4	6.6	6.5	5.8	6.2	6.7	5.7	6.9	5.5	5.4

・ 地点番号は表 4-1-2-1 及び図 4-1-2-1 を参照。

表 4-1-4-2 (2) 調査結果 (地表水)

事後調査 (地表水)			2025 年度											
市町村名	調査地点	項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
中津川市	N-31	流量 (m³/min)	8.330	2.239	6.443	4.995	3.230	8.156	4.693	2.009	1.545	1.600	1.259	1.823
		水温 (℃)	13.5	17.5	20.6	22.0	24.6	23.6	22.4	12.3	10.0	10.4	11.3	15.0
		pH	7.62	7.69	7.82	7.04	7.41	6.80	7.31	7.21	7.41	7.23	7.00	7.31
		電気伝導率 (mS/m)	5.42	5.11	5.20	7.20	5.32	6.07	7.61	8.31	8.37	9.05	9.07	10.70
	N-32	流量 (m³/min)	1.381	1.964	2.011	8.240	3.616	1.198	2.536	1.111	0.431	0.287	0.396	0.278
		水温 (℃)	18.8	23.3	29.4	27.2	31.3	27.4	24.3	13.5	8.4	9.9	12.5	16.8
		pH	7.14	7.08	6.74	7.23	7.11	7.18	7.14	7.48	6.98	7.20	7.04	7.34
		電気伝導率 (mS/m)	11.33	9.52	8.97	10.85	10.00	9.03	9.80	10.96	10.21	9.51	8.31	7.26
	N-33	流量 (m³/min)	0.415	0.145	0.907	1.565	0.470	0.560	0.100	0.119	0.167	0.165	0.085	0.125
		水温 (℃)	14.1	18.0	27.1	22.6	26.6	25.2	22.3	9.1	8.4	6.6	7.2	10.8
		pH	7.67	7.67	7.43	7.17	8.26	7.75	7.74	7.56	7.55	7.34	7.36	7.68
		電気伝導率 (mS/m)	17.69	8.82	8.43	8.12	7.02	8.96	10.69	13.57	13.14	42.0	12.23	10.96
恵那市	E-18	流量 (m³/min)									0.95	0.07	0.30	0.34
		水温 (℃)									8.2	1.2	6.4	12.6
		pH									7.4	7.04	6.72	7.3
		電気伝導率 (mS/m)									7.1	9.5	8.5	8.1
	E-19	流量 (m³/min)									2.26	0.02	1.75	3.46
		水温 (℃)									10.3	4.5	8.7	11.1
		pH									7.3	8.8	7.4	7.7
		電気伝導率 (mS/m)									9.1	4.3	9.6	9.4
	E-09	流量 (m³/min)	1.1	0.3	1.3	1.3	0.3	1.0	1.3	0.4	0.5	0.5	0.3	2.1
		水温 (℃)	13.5	17.4	21.9	25.0	30.2	24.8	21.0	10.2	8.0	3.4	5.5	14.6
		pH	7.2	7.0	7.0	6.8	7.2	7.2	7.1	7.5	6.8	6.9	6.7	7.2
		電気伝導率 (mS/m)	9.2	9.7	7.6	9.4	9.1	8.0	8.8	10.2	9.4	11.1	11.1	8.9
	E-10	流量 (m³/min)	0.15	0.20	0.52	0.47	0.12	0.23	1.12	0.18	0.12	0.15	0.2	1.1
		水温 (℃)	22.3	19.0	24.3	25.2	31.6	23.8	20.0	6.9	6.5	3.2	4.1	14.3
		pH	7.1	7.5	6.8	7.6	6.8	7.0	6.5	7.0	6.7	7.2	7.1	7.0
		電気伝導率 (mS/m)	6.2	7.4	4.6	5.0	5.4	4.1	4.3	4.8	4.5	4.2	4.7	4.1
	E-11	流量 (m³/min)	1.0	0.5	2.3	0.9	0.4	0.8	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
		水温 (℃)	12.1	14.5	19.7	23.5	24.4	23.8	18.8	10.0	3.8	3.7	3.7	7.3
		pH	7.1	7.2	7.4	7.2	7.2	7.2	7.3	7.0	7.5	7.1	7.4	7.7
		電気伝導率 (mS/m)	4.9	5.1	4.0	5.1	4.0	4.6	4.8	4.7	4.9	4.7	5.1	5.6

・ 地点番号は表4-1-2-1及び図4-1-2-1を参照。

表 4-1-4-2 (3) 調査結果 (地表水)

事後調査 (地表水)			2025 年度											
市町村名	調査地点	項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
恵那市	E-12	流量 (m³/min)	0.369	0.136	0.985	0.416	0.183	0.232	0.686	0.050	0.111	0.064	0.005	0.020
		水温 (℃)	10.2	12.9	18.3	21.2	22.3	22.5	18.8	10.8	5.2	3.4	4.5	8.2
		pH	7.1	7.1	6.9	6.6	6.8	6.9	7.3	7.2	7.7	7.6	7.4	6.9
		電気伝導率 (mS/m)	2.1	2.5	1.7	2.0	2.0	2.3	2.7	2.2	2.5	3.7	2.6	2.6
瑞浪市	M-10	流量 (m³/min)	0.26	0.17	0.53	0.84	0.16	0.43	0.29	0.14	0.13	0.06	0.16	0.06
		水温 (℃)	8.4	15.6	18.5	20.3	21.5	21.5	18.5	7.2	4.3	0.0	1.5	6.2
		pH	7.0	7.0	7.4	6.8	7.0	6.7	7.0	6.7	7.0	6.7	6.8	7.7
		電気伝導率 (mS/m)	2.1	2.1	1.8	1.8	2.5	2.2	2.4	2.3	2.4	4.7	2.5	2.5
	M-11	流量 (m³/min)	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0*	0*	0*	0*	0*
		水温 (℃)	10.4	17.3	18.8	25.6	24.2	23.9	18.3	0*	0*	0*	0*	0*
		pH	7.2	6.8	6.8	6.6	6.6	6.5	6.3	0*	0*	0*	0*	0*
		電気伝導率 (mS/m)	4.0	3.7	3.9	5.2	4.8	3.9	6.0	0*	0*	0*	0*	0*
	M-12	流量 (m³/min)	0.08	0.43	0.32	4.48	0.11	0.12	0.09	0.03	0.13	0.08	0.08	0.39
		水温 (℃)	9.7	19.2	19.7	22.6	24.6	23.8	16.6	7.9	6.3	1.6	2.6	9.7
		pH	6.7	6.6	6.2	6.6	6.9	6.6	6.8	6.7	6.8	6.5	6.4	6.7
		電気伝導率 (mS/m)	16.0	14.6	10.9	7.1	13.0	11.8	18.6	21.2	18.7	21.2	22.9	18.6
	M-13	流量 (m³/min)	2.92	2.55	6.54	40.46	1.86	2.46	2.04	1.14	1.51	1.53	1.04	4.47
		水温 (℃)	13.2	20.1	21.5	20.9	25.4	23.5	15.0	7.4	5.3	1.3	2.7	11.2
		pH	7.1	6.7	6.4	6.4	6.7	6.9	6.8	6.6	7.1	6.7	6.6	7.0
		電気伝導率 (mS/m)	5.4	5.8	4.1	3.8	5.7	5.3	5.7	6.8	7.4	8.2	8.0	6.1
	M-14	流量 (m³/min)	0.71	0.27	1.11	6.87	0.35	0.63	0.35	0.24	0.27	0.31	0.19	0.28
		水温 (℃)	8.3	16.3	18.5	21.2	22.1	22.0	14.3	7.2	4.7	1.4	2.9	8.5
		pH	6.8	6.1	5.8	5.8	6.0	6.5	6.3	6.6	6.6	7.0	6.3	6.6
		電気伝導率 (mS/m)	2.0	2.0	1.7	1.8	1.9	1.9	2.1	2.2	2.3	2.3	2.3	2.2
	M-15	流量 (m³/min)	3.84	2.75	11.30	12.41	2.04	3.64	3.46	1.65	1.73	1.63	1.30	2.10
		水温 (℃)	11.5	16.7	20.5	21.6	23.7	23.4	15.8	10.0	4.7	5.2	4.7	8.7
		pH	6.8	6.9	6.7	6.8	6.9	6.2	6.9	7.1	7.3	6.8	6.9	6.8
		電気伝導率 (mS/m)	3.7	4.0	3.0	3.3	3.4	3.5	3.7	4.5	4.1	3.9	4.0	3.8
	M-16	流量 (m³/min)	2.19	1.84	9.18	20.95	3.20	3.35	2.64	1.79	1.02	1.04	1.15	1.29
		水温 (℃)	13.7	22.2	20.9	21.5	25.3	23.1	15.7	10.9	9.3	6.4	8.7	11.7
		pH	8.1	8.6	7.5	7.6	8.1	7.8	7.7	8.1	8.0	8.9	9.0	8.9
		電気伝導率 (mS/m)	18.2	20.8	14.5	16.8	17.0	17.3	17.8	18.5	17.8	16.6	17.0	18.8

・地点番号は表4-1-2-1及び図4-1-2-1を参照。

※ 流量0のため測定不可。

表 4-1-4-2 (4) 調査結果 (地表水)

事後調査 (地表水)			2025 年度											
市町村名	調査地点	項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
瑞浪市	M-17	流量 (m³/min)	4.04	2.34	12.09	8.67	1.41	3.58	2.48	1.49	1.52	1.55	1.39	1.83
		水温 (℃)	12.8	19.0	21.7	23.2	26.0	24.4	15.8	12.6	4.8	6.6	3.5	8.9
		pH	8.0	7.8	7.8	7.8	8.3	8.0	7.9	8.7	7.9	8.2	7.5	7.4
		電気伝導率 (mS/m)	10.9	12.7	13.0	12.6	16.7	14.1	14.8	15.6	17.2	17.5	18.0	14.4
	M-18	流量 (m³/min)	1.79	0.70	4.06	7.12	1.04	2.14	1.77	0.56	0.67	0.67	0.64	0.99
		水温 (℃)	15.0	23.2	22.8	23.7	28.3	26.2	15.6	9.5	7.0	3.6	7.4	9.7
		pH	6.9	6.6	6.5	6.5	7.2	7.1	7.1	6.9	7.2	7.5	8.6	7.3
		電気伝導率 (mS/m)	3.9	4.6	3.2	3.7	4.3	3.8	4.1	4.2	4.4	4.3	4.1	4.4
可児市	K-04	流量 (m³/min)	0.39	1.32	8.05	0.87	1.06	5.60	1.39	0.45	0.34	0.28	0.28	1.16
		水温 (℃)	10.7	17.9	18.8	26.7	28.5	27.7	21.9	13.9	11.3	6.2	3.2	9.5
		pH	7.0	7.0	6.3	6.9	7.1	7.0	6.9	7.4	7.3	7.3	7.4	7.1
		電気伝導率 (mS/m)	8.0	6.9	5.6	7.2	7.0	6.8	7.5	8.7	8.7	8.5	9.1	7.1
	K-05	流量 (m³/min)	0.06	3.06	2.12	0.10	0.05	0.05	0.04	0.04	0.03	0.04	0.04	0.07
		水温 (℃)	9.2	19.8	17.3	22.3	23.5	22.9	19.6	12.5	9.3	4.2	1.0	8.7
		pH	6.9	7.6	6.0	6.8	6.4	7.0	6.8	6.8	6.7	6.8	7.0	7.0
		電気伝導率 (mS/m)	2.8	7.1	2.1	3.0	3.2	3.2	3.6	3.0	2.7	2.6	2.4	3.2
	K-06	流量 (m³/min)	1.97	3.07	12.54	2.78	1.50	3.90	3.92	1.37	0.98	0.84	0.68	1.58
		水温 (℃)	10.4	21.3	20.6	26.5	28.2	27.7	23.2	11.7	8.4	6.3	3.1	10.3
		pH	7.2	7.2	7.3	7.0	6.6	7.1	7.1	7.5	7.5	7.7	7.6	7.1
		電気伝導率 (mS/m)	6.9	6.9	5.9	5.7	6.4	4.9	6.2	7.3	6.8	7.2	7.3	8.9
多治見市	T-04	流量 (m³/min)	0.10	0.24	1.83	0.15	0.09	0.02	0.05	0.04	0.27	0.02	0.11	1.22
		水温 (℃)	15.3	19.3	19.9	26.1	25.0	20.7	15.0	10.0	7.0	4.5	10.0	10.5
		pH	9.4	8.1	7.5	7.2	8.3	7.1	7.6	7.4	7.3	7.1	7.0	7.1
		電気伝導率 (mS/m)	9.3	9.3	9.0	9.7	10.3	10.1	9.8	11.0	10.6	8.9	10.9	9.1
	T-05	流量 (m³/min)	1.85	1.25	2.42	1.30	0.97	1.05	0.71	0.80	0.74	0.43	0.27	0.72
		水温 (℃)	12.0	15.3	19.9	22.5	23.0	21.9	17.2	9.7	4.3	0.5	2.0	5.5
		pH	7.5	7.3	7.3	7.3	7.4	7.4	7.4	7.5	7.5	7.7	7.6	7.7
		電気伝導率 (mS/m)	13.4	13.4	36.8	15.7	12.0	18.1	15.3	14.1	16.6	13.7	12.9	11.9

・ 地点番号は表4-1-2-1及び図4-1-2-1を参照。

測定方法：流速計測法

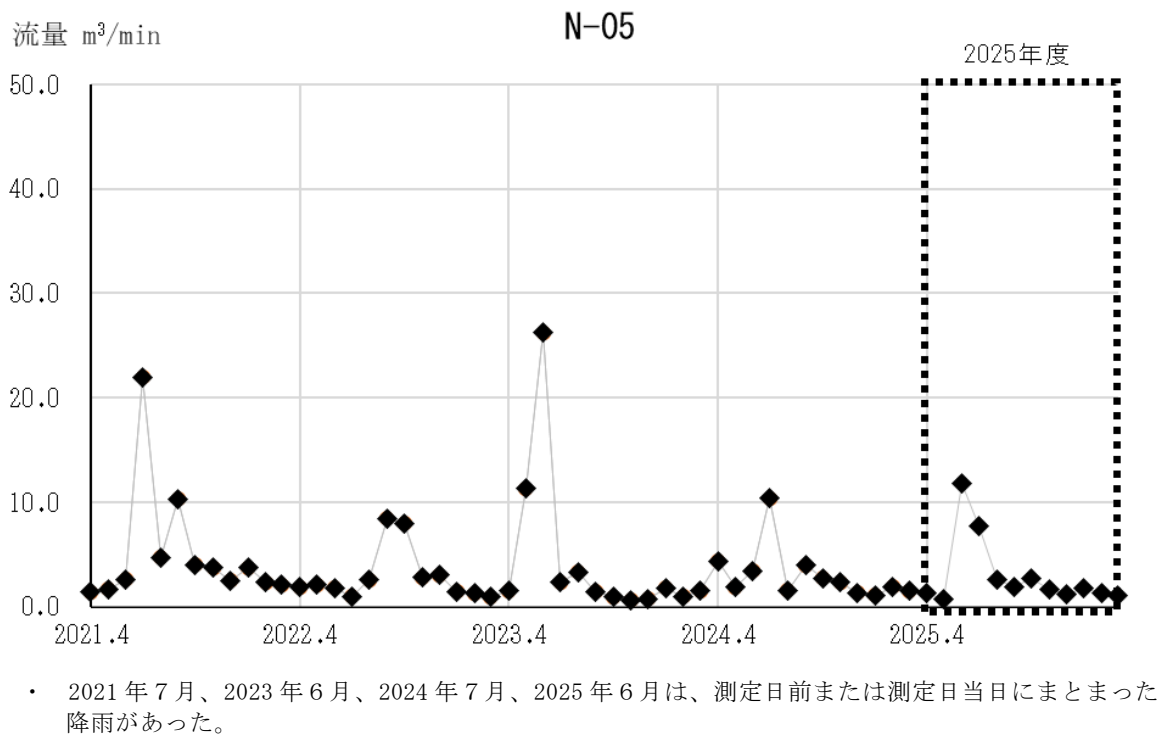


図 4-1-4-2 (1) 調査結果（地表水）(N-05)

測定方法：流速計測法及び容器法

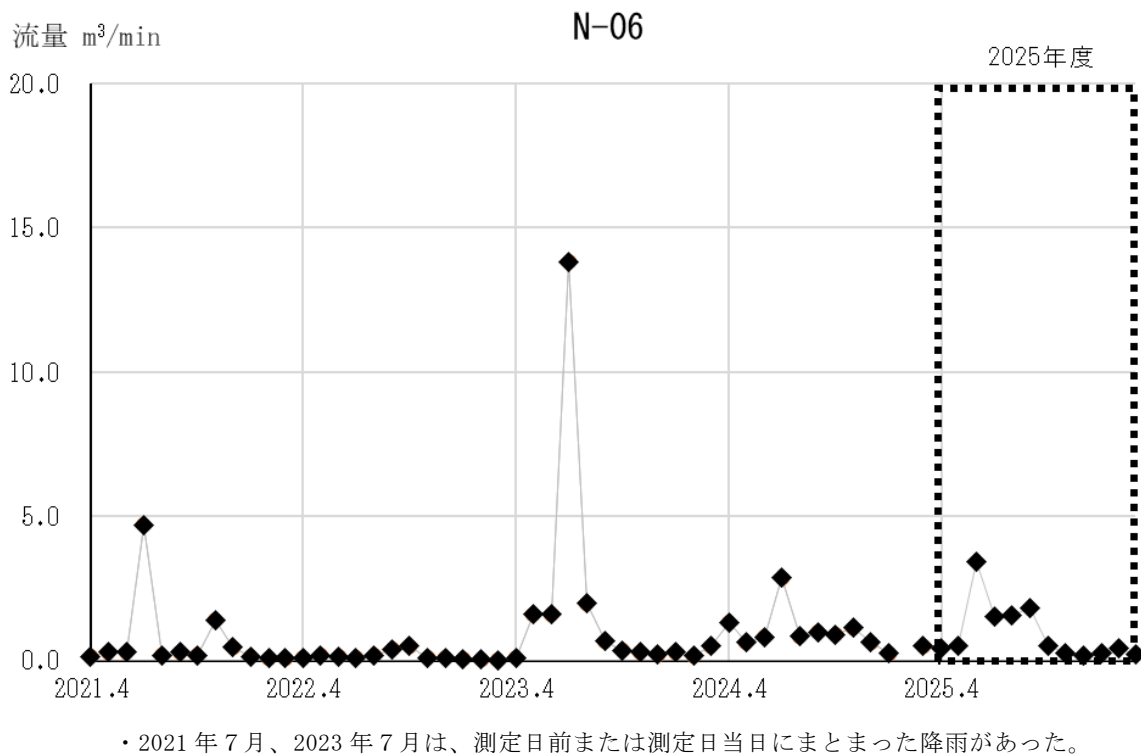


図 4-1-4-2 (2) 調査結果（地表水）(N-06)

測定方法：流速計測法

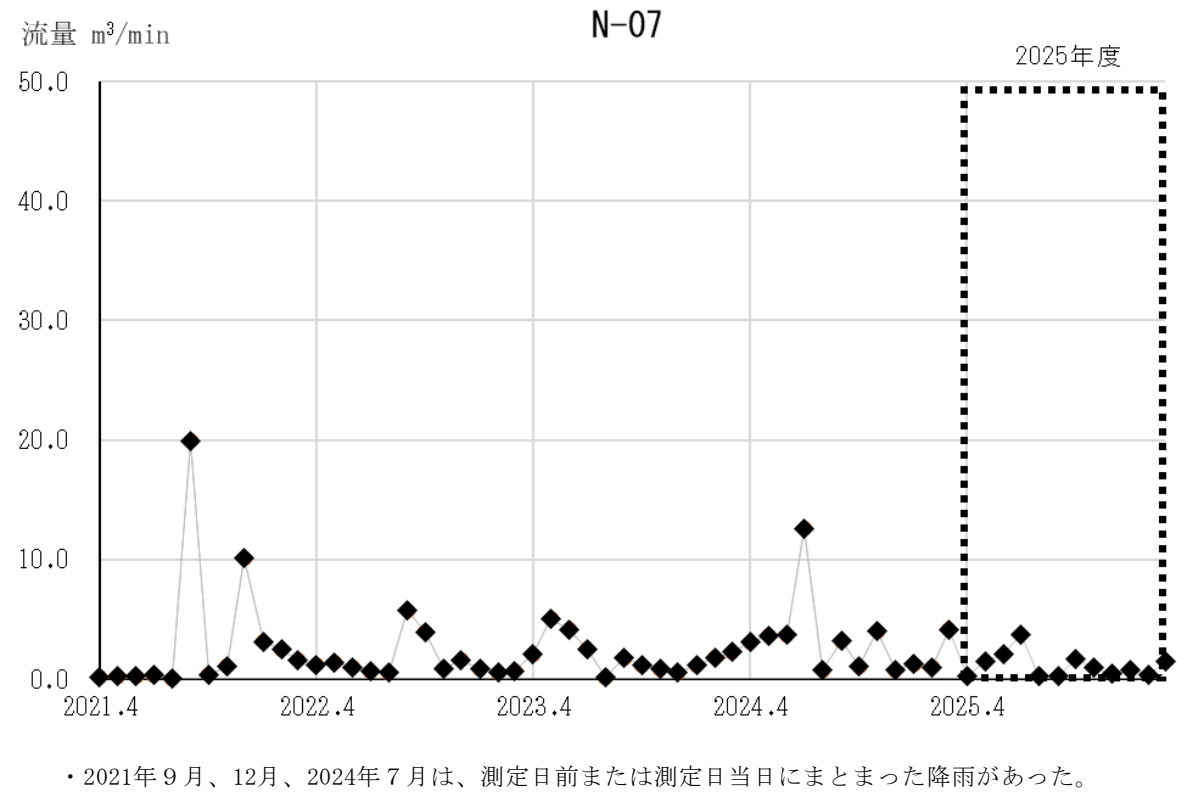


図 4-1-4-2 (3) 調査結果（地表水）(N-07)

測定方法：流速計測法

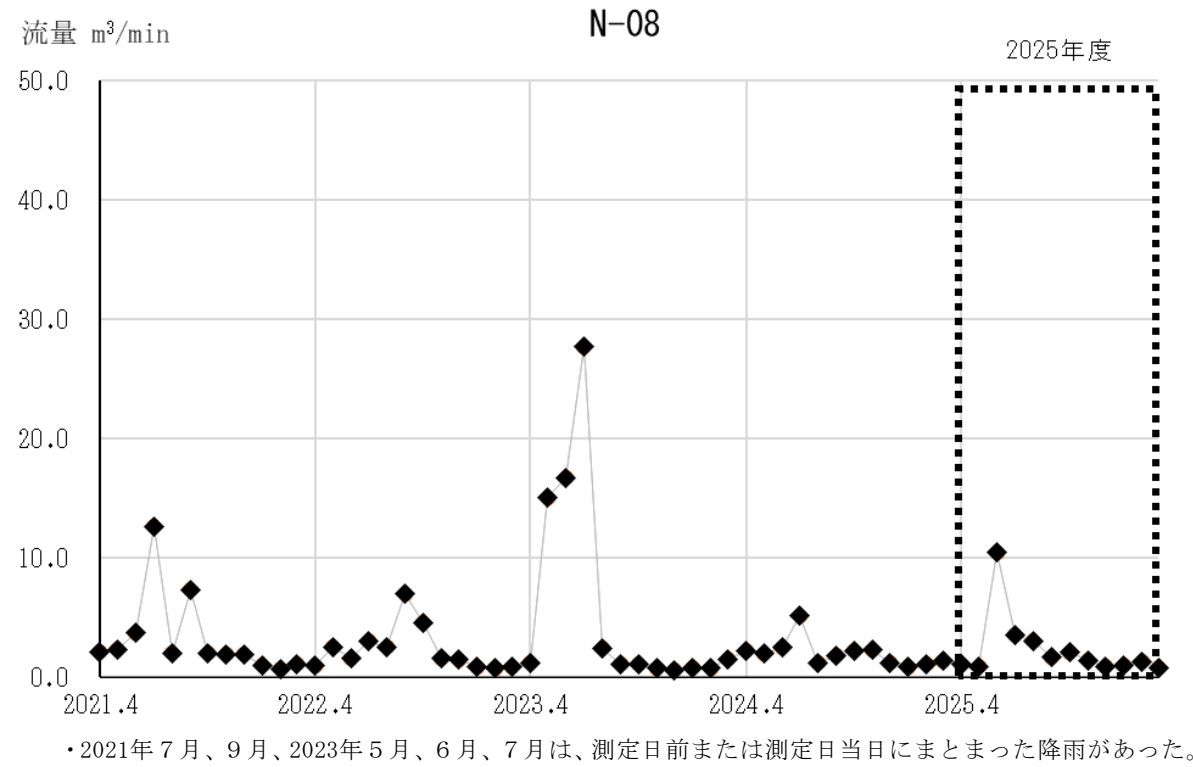


図 4-1-4-2 (4) 調査結果（地表水）(N-08)

測定方法：流速計測法

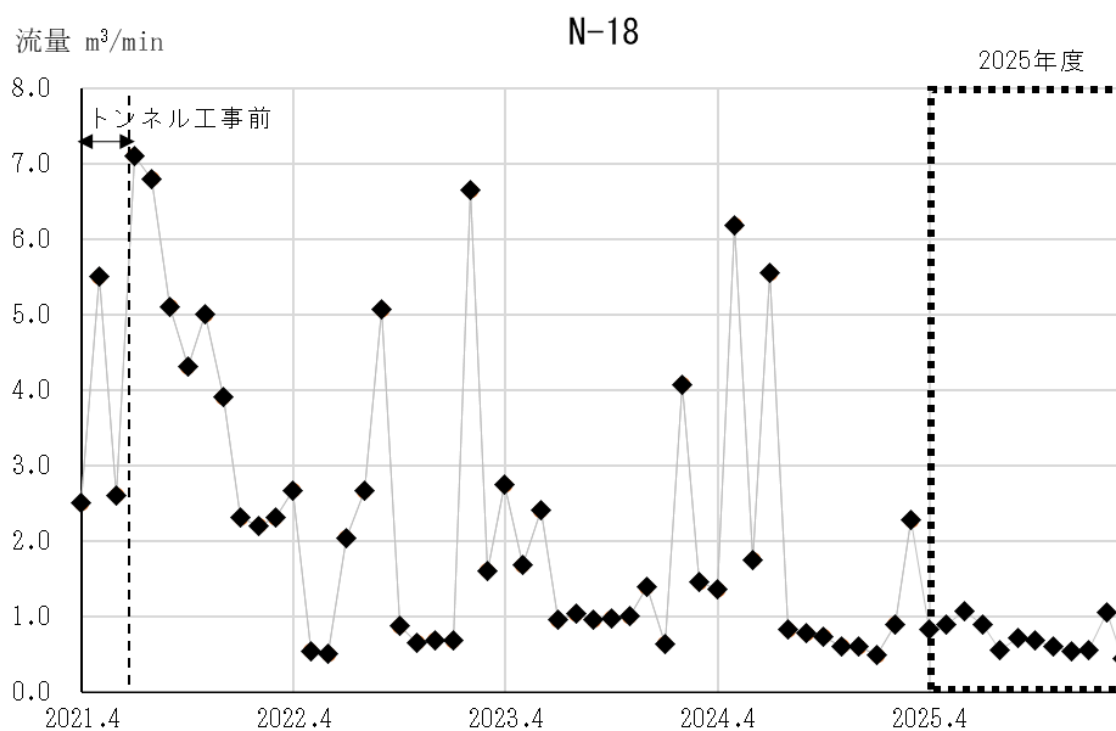
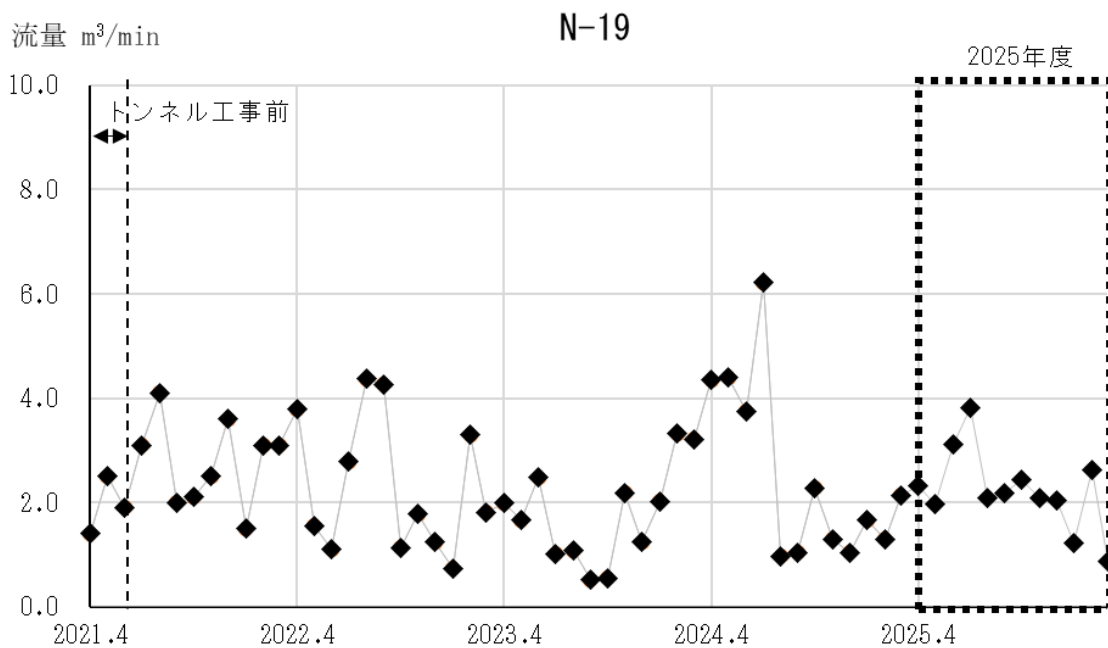


図 4-1-4-2 (5) 調査結果（地表水）(N-18)

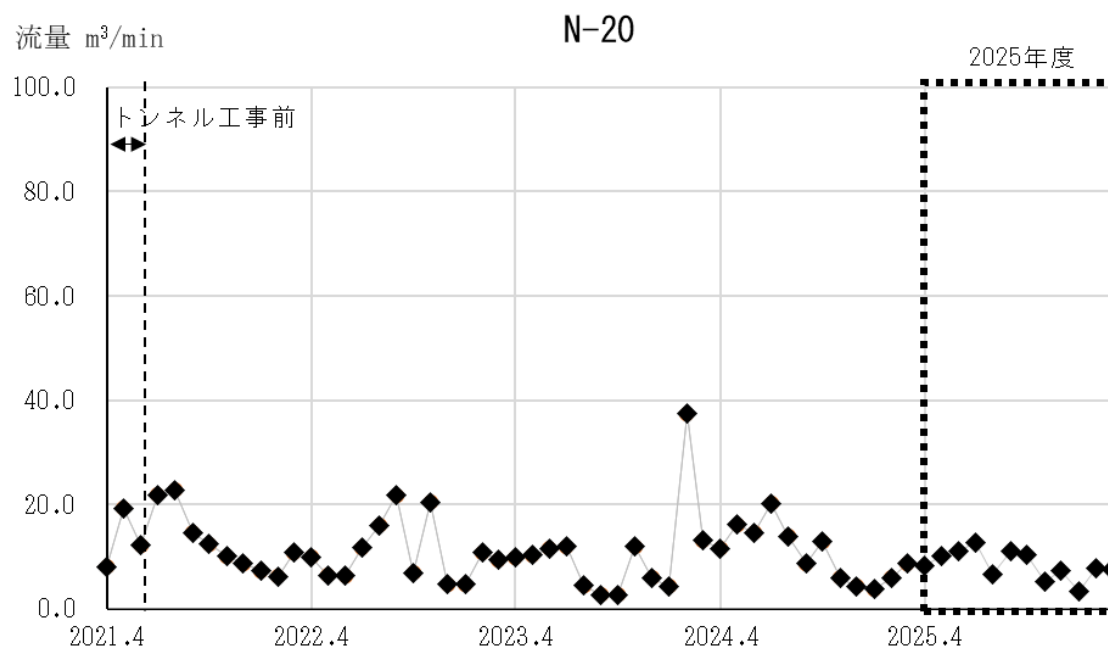
測定方法：流速計測法



・2024年7月は、測定日前または測定日当日にまとまった降雨があった。

図 4-1-4-2 (6) 調査結果（地表水）(N-19)

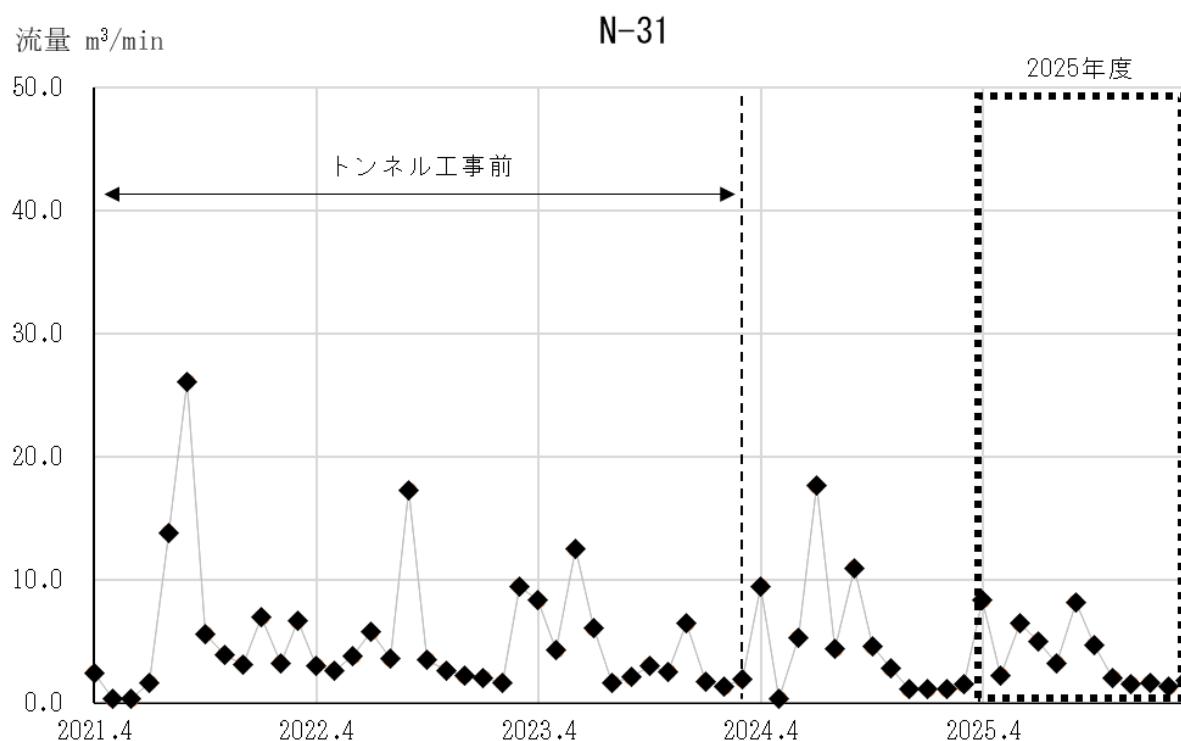
測定方法：流速計測法



・ 2024 年 2 月は、測定日前または測定日当日にかけてまとまった降雨があった。

図 4-1-4-2 (7) 調査結果（地表水）(N-20)

測定方法：流速計測法



・ 2021 年 8 月、9 月、2022 年 9 月、2023 年 3 月、6 月、2024 年 4 月、7 月、9 月は、測定日前または測定日当日にかけてまとまった降雨があった。

図 4-1-4-2 (8) 調査結果（地表水）(N-31)

測定方法：流速計測法

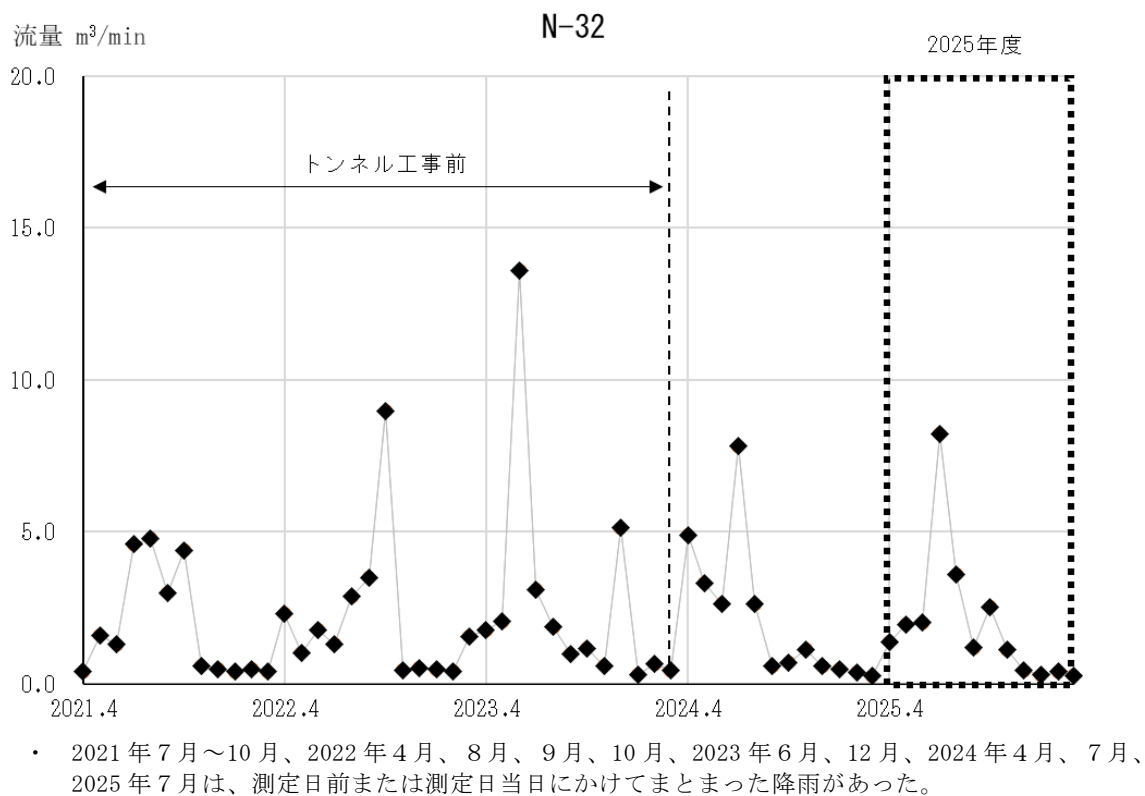


図 4-1-4-2 (9) 調査結果（地表水）(N-32)

測定方法：流速計測法

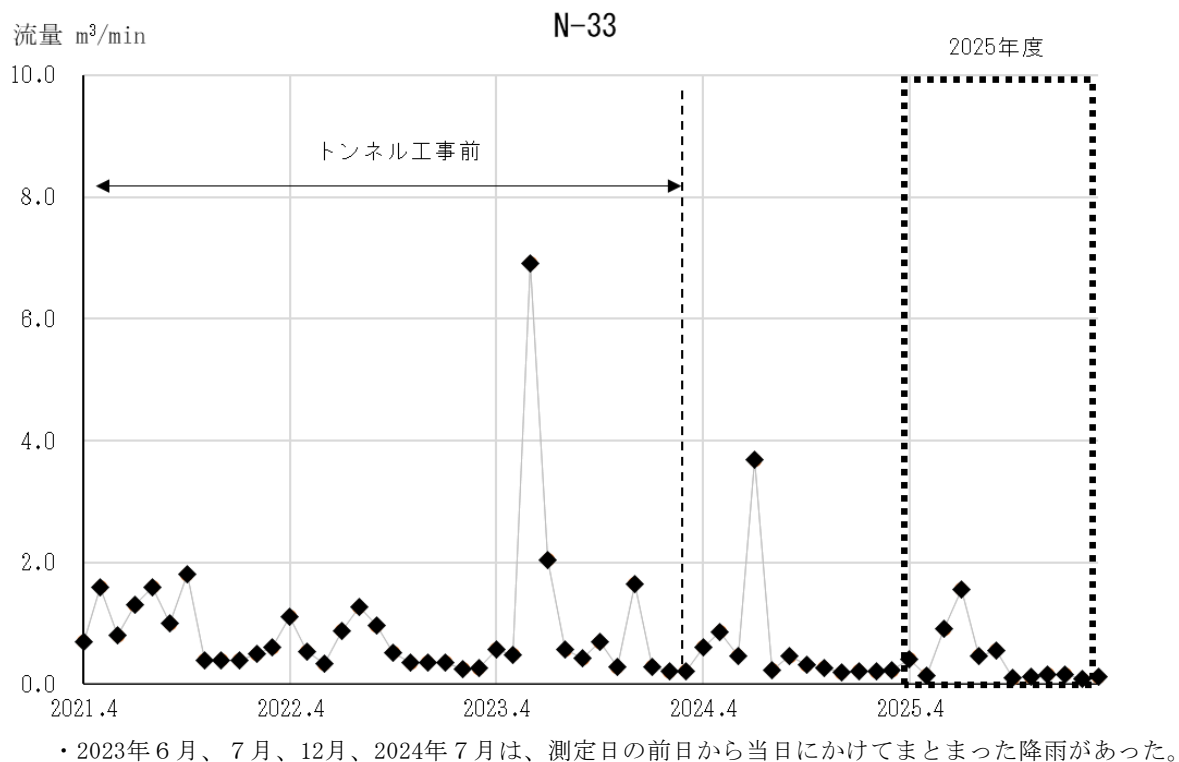


図 4-1-4-2 (10) 調査結果（地表水）(N-33)

測定方法：流速計測法

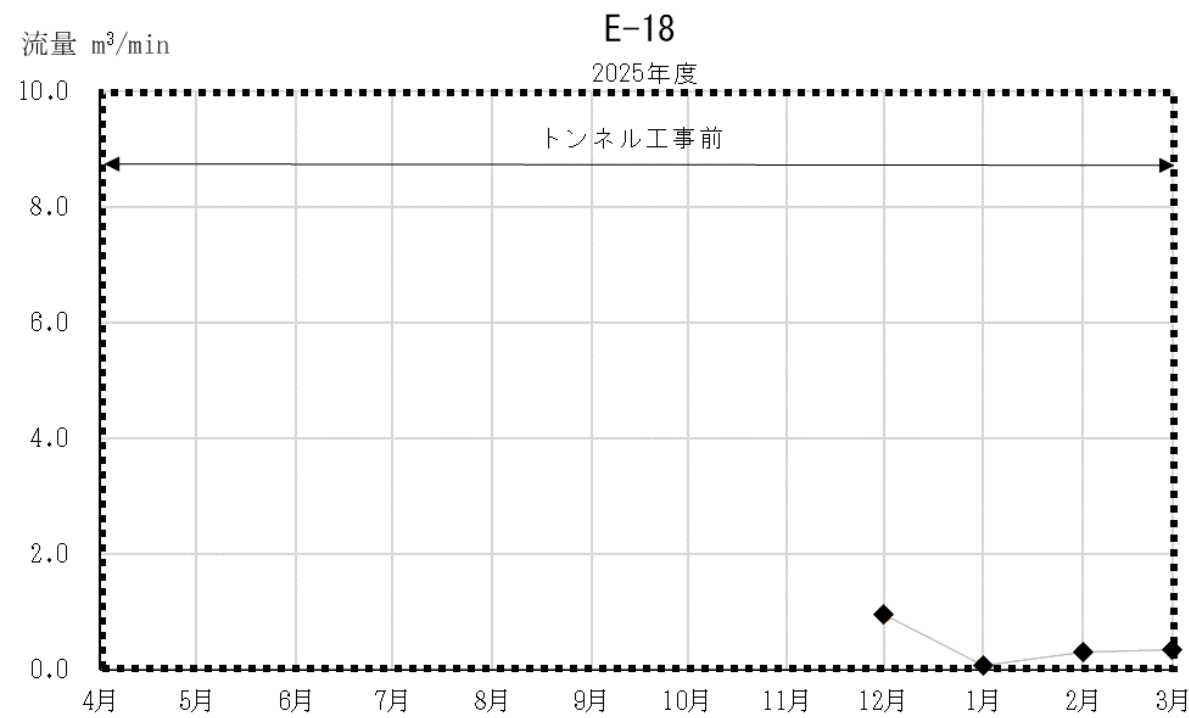


図 4-1-4-2 (11) 調査結果（地表水）(E-18)

測定方法：流速計測法

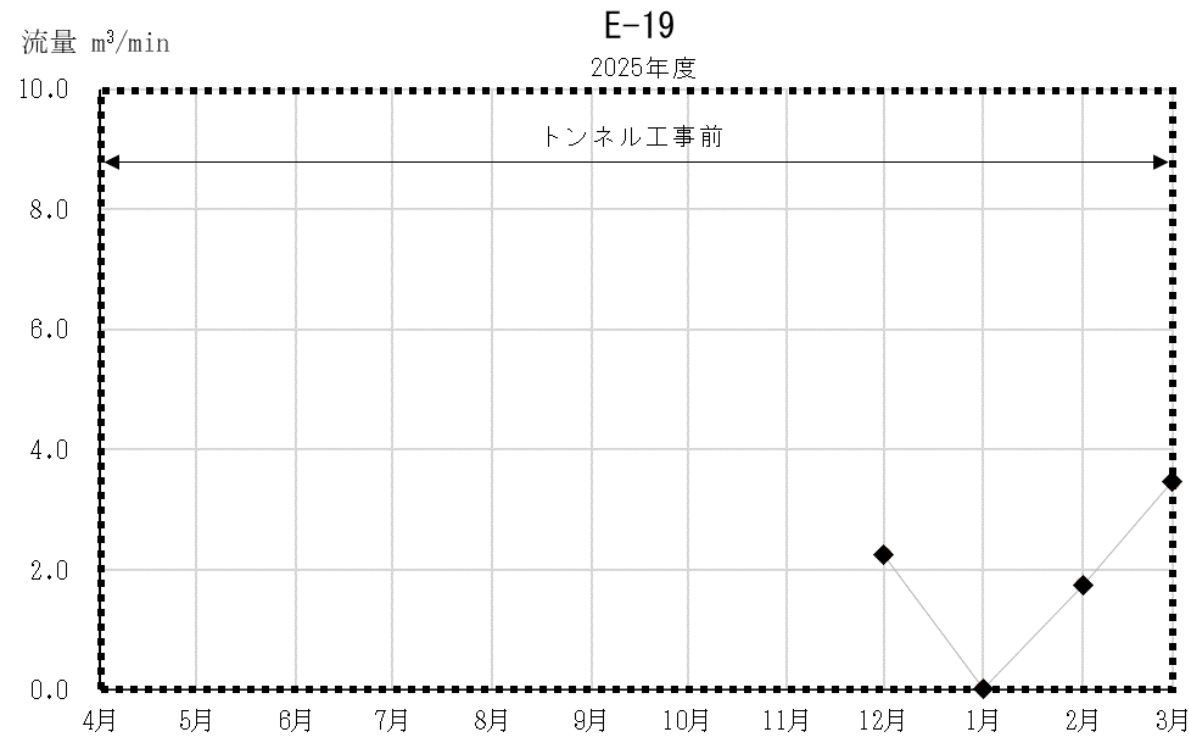
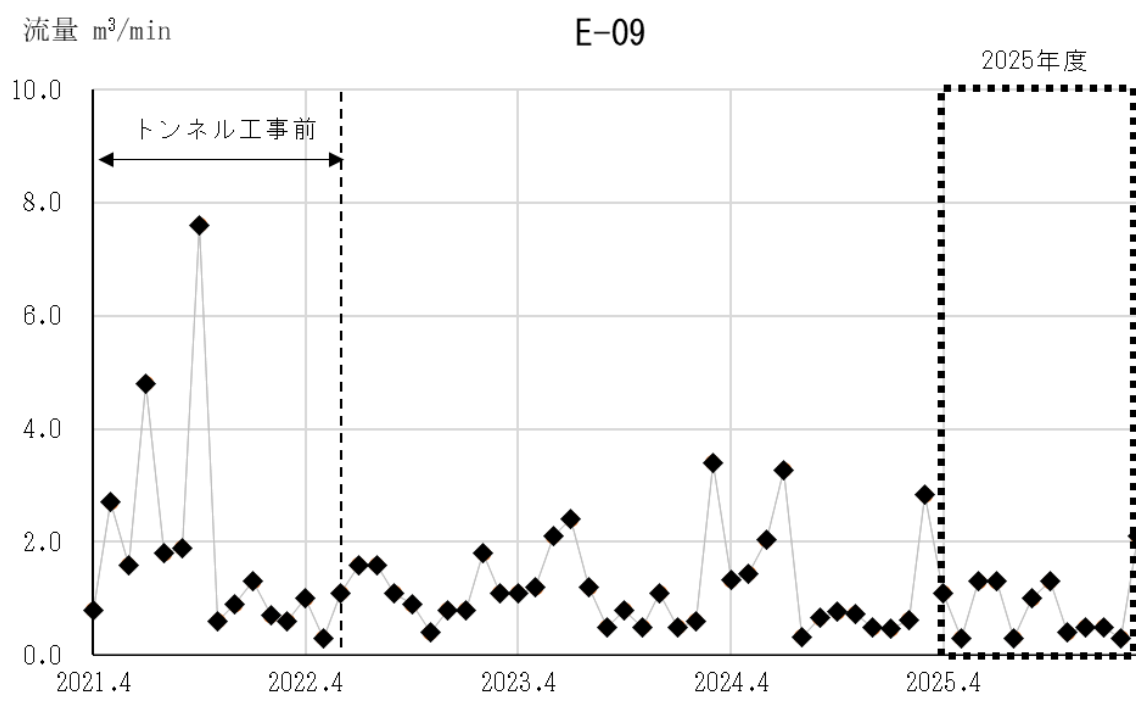


図 4-1-4-2 (12) 調査結果（地表水）(E-19)

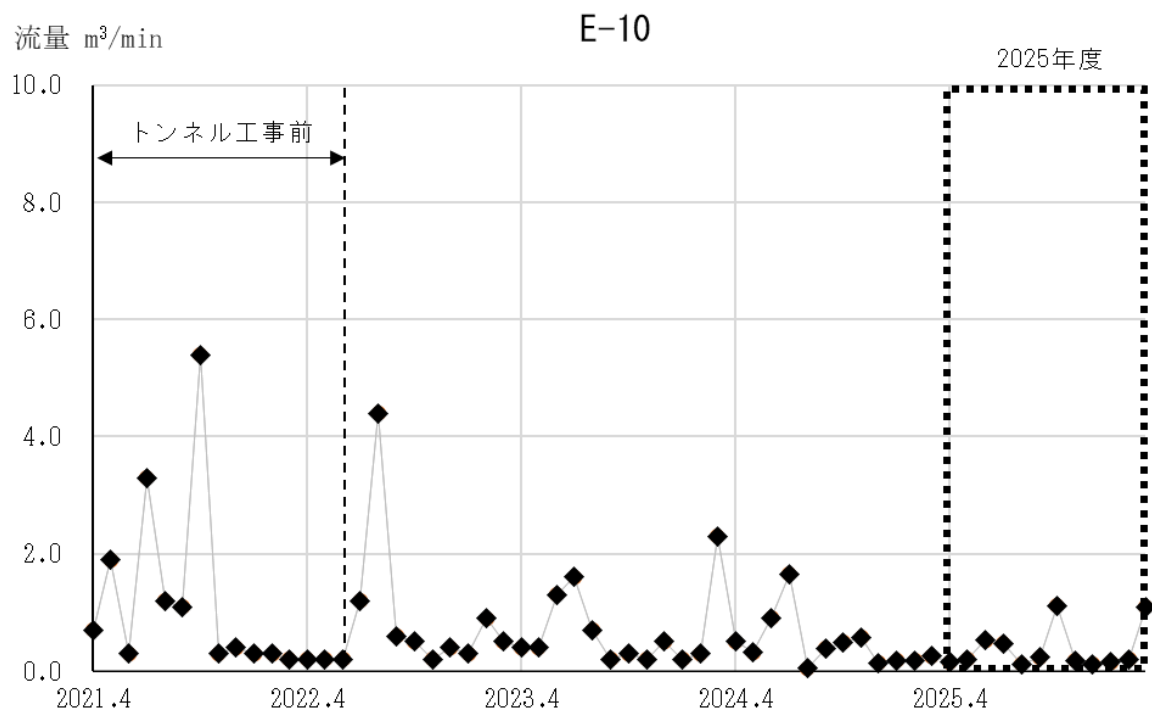
測定方法：流速計測法



・ 2021年5月、7月、10月、2024年3月、7月、2025年3月は、測定日前または測定日当日にかけてまとまった降雨があった。

図 4-1-4-2 (13) 調査結果（地表水）(E-09)

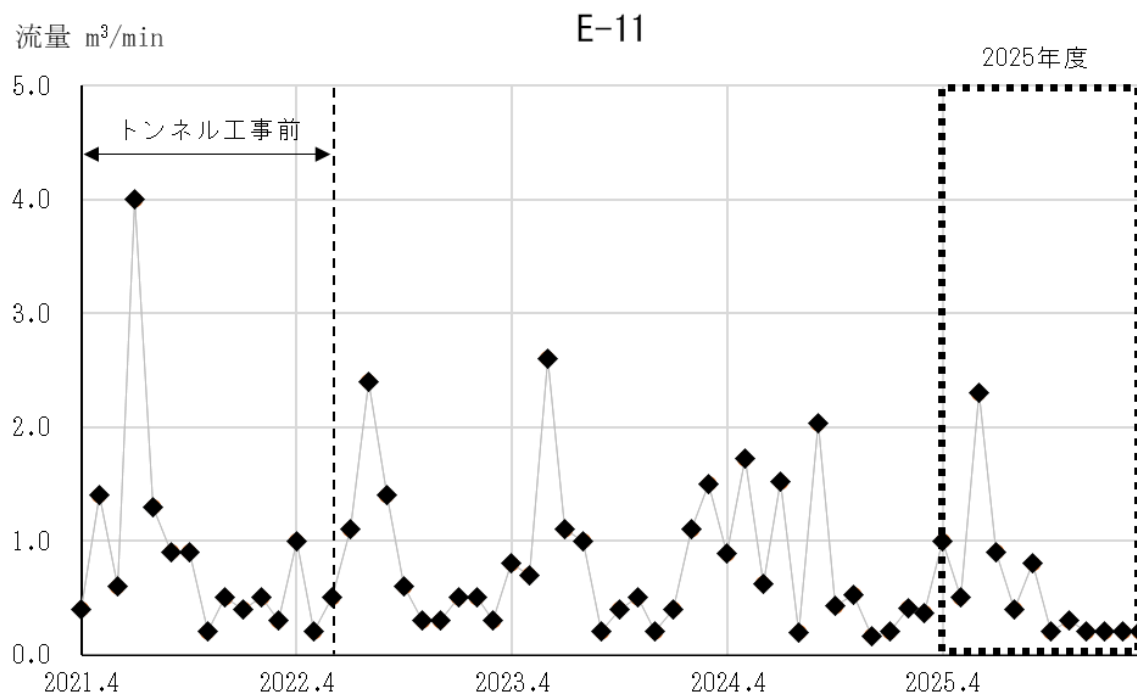
測定方法：流速計測法



・ 2021年10月、2022年8月は、測定日前または測定日当日にかけてまとまった降雨があった。

図 4-1-4-2 (14) 調査結果（地表水）(E-10)

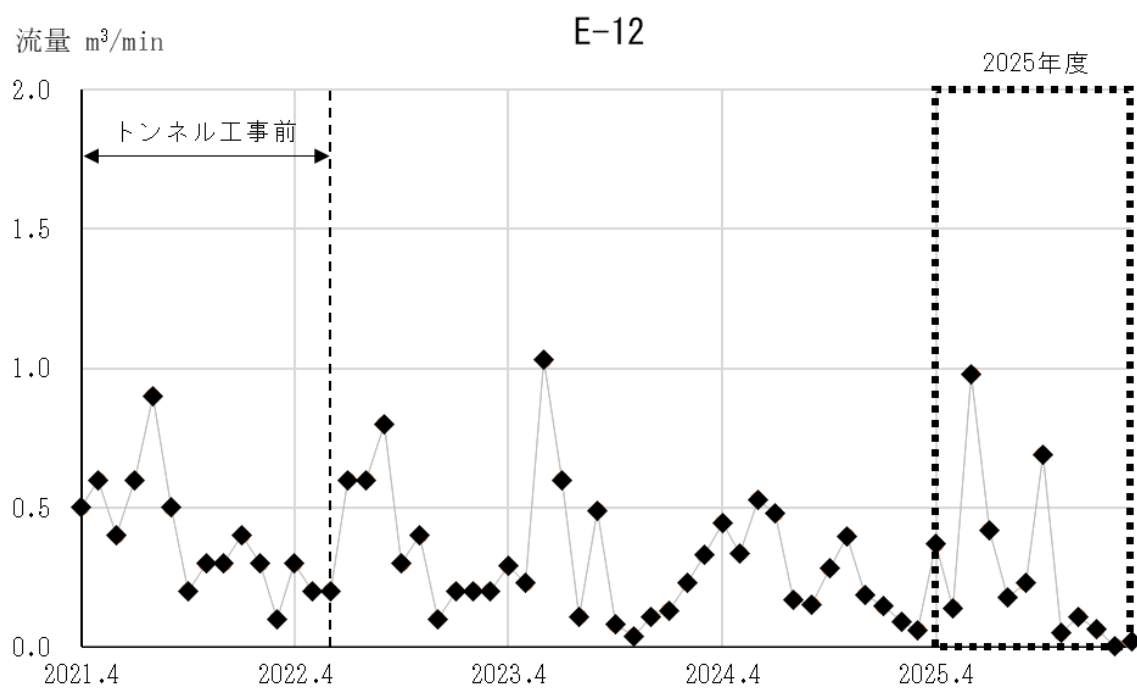
測定方法：流速計測法



- ・ 2021年7月、2022年8月、2023年6月、2025年6月は、測定日前または測定日当日にかけてまとまった降雨があった。

図 4-1-4-2 (15) 調査結果（地表水）(E-11)

測定方法：流速計測法



- ・ 2021年8月、2022年9月、2023年6月、2025年6月は、測定日前または測定日当日にかけてまとまった降雨があった。

図 4-1-4-2 (16) 調査結果（地表水）(E-12)

測定方法：流速計測法

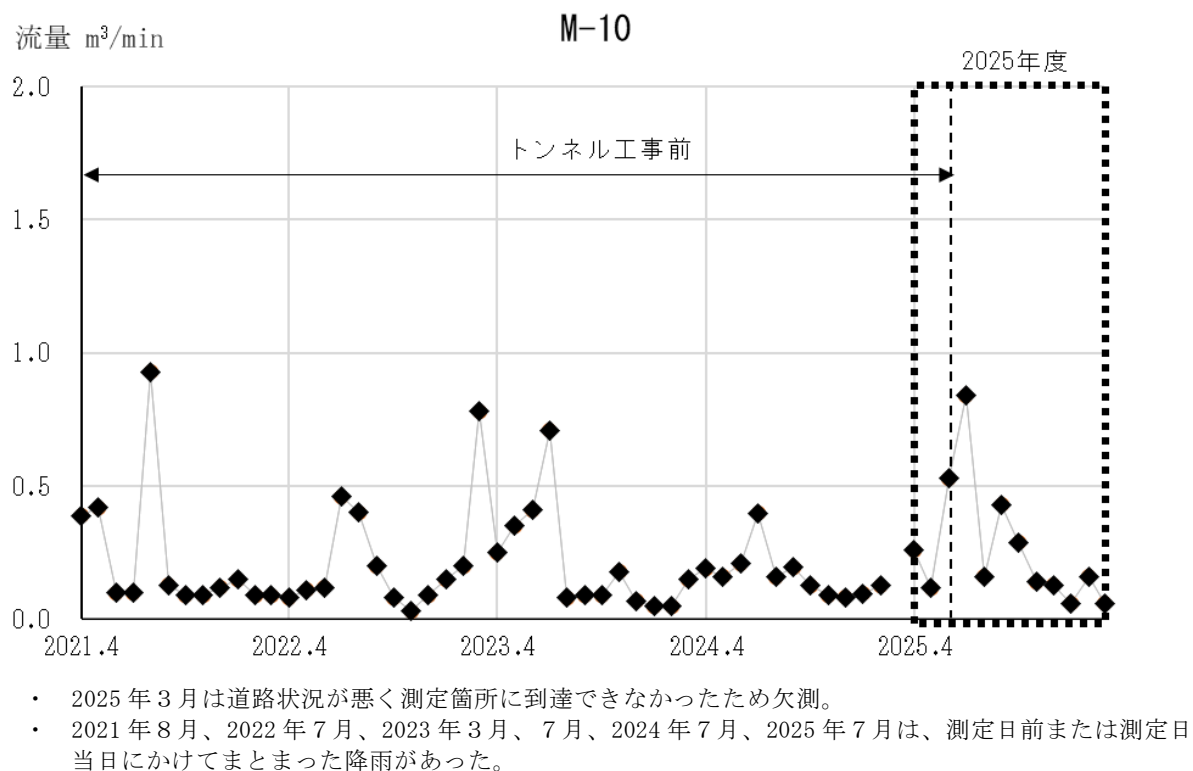


図 4-1-4-2 (17) 調査結果（地表水）(M-10)

測定方法：容器法

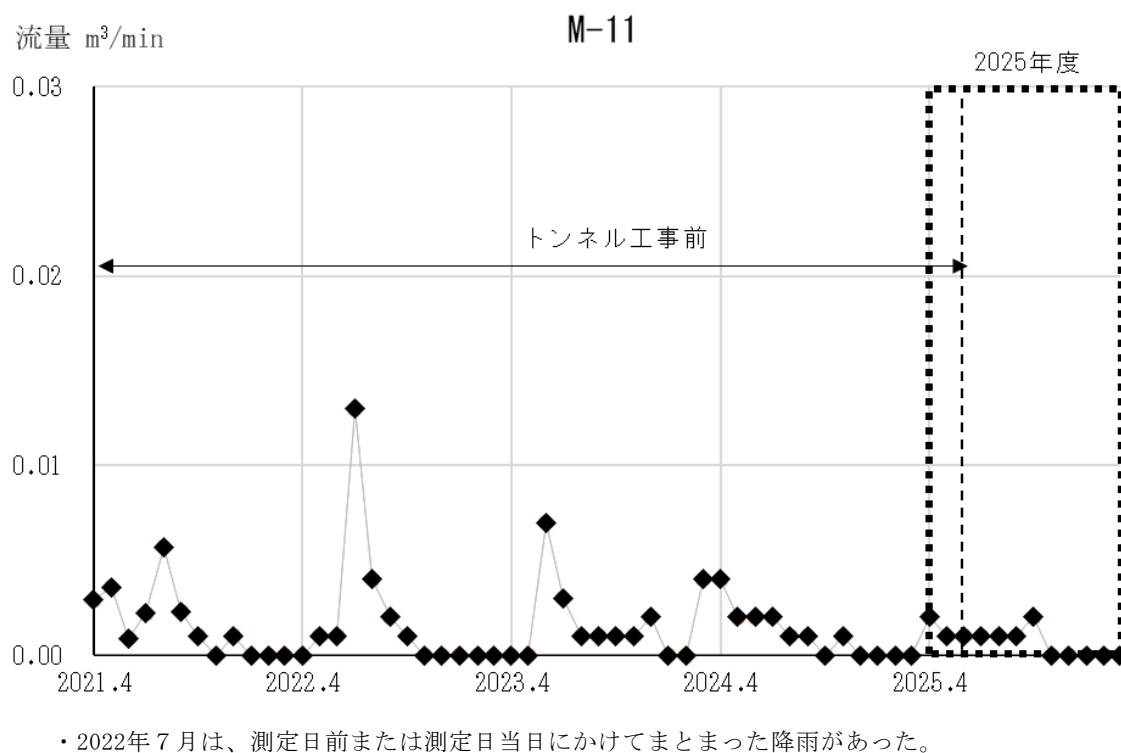


図 4-1-4-2 (18) 調査結果（地表水）(M-11)

測定方法：流速計測法

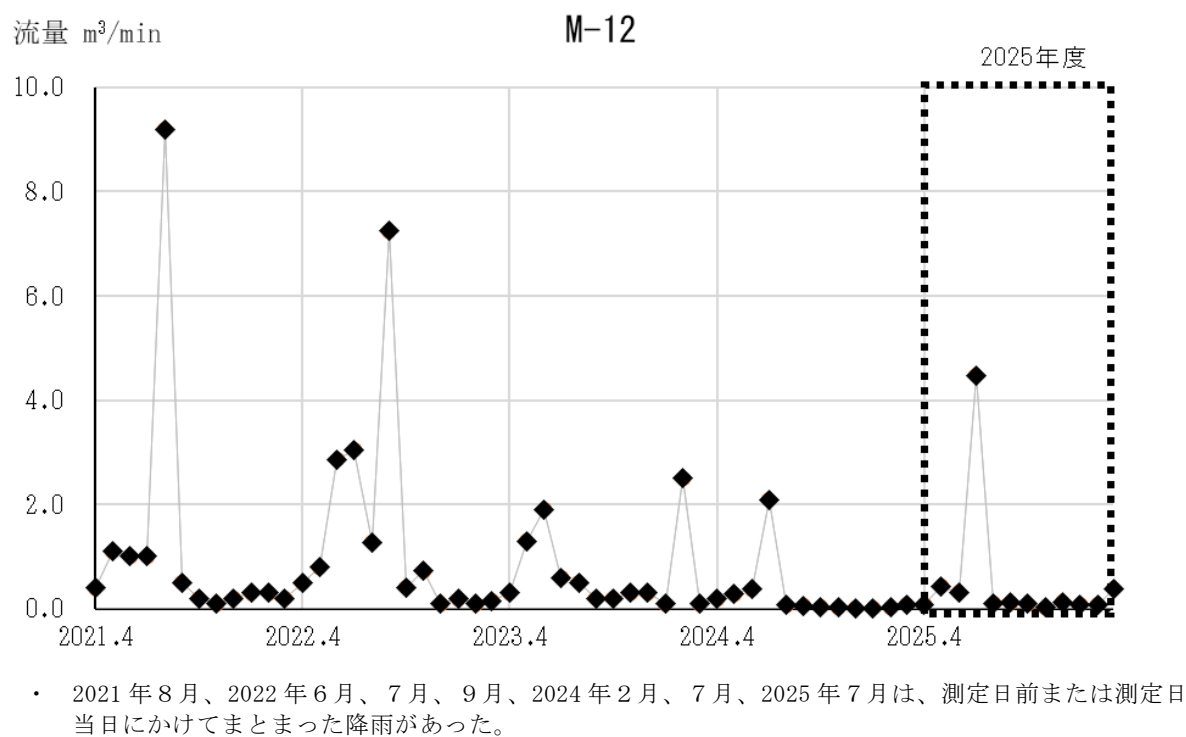


図 4-1-4-2 (19) 調査結果（地表水）(M-12)

測定方法：流速計測法

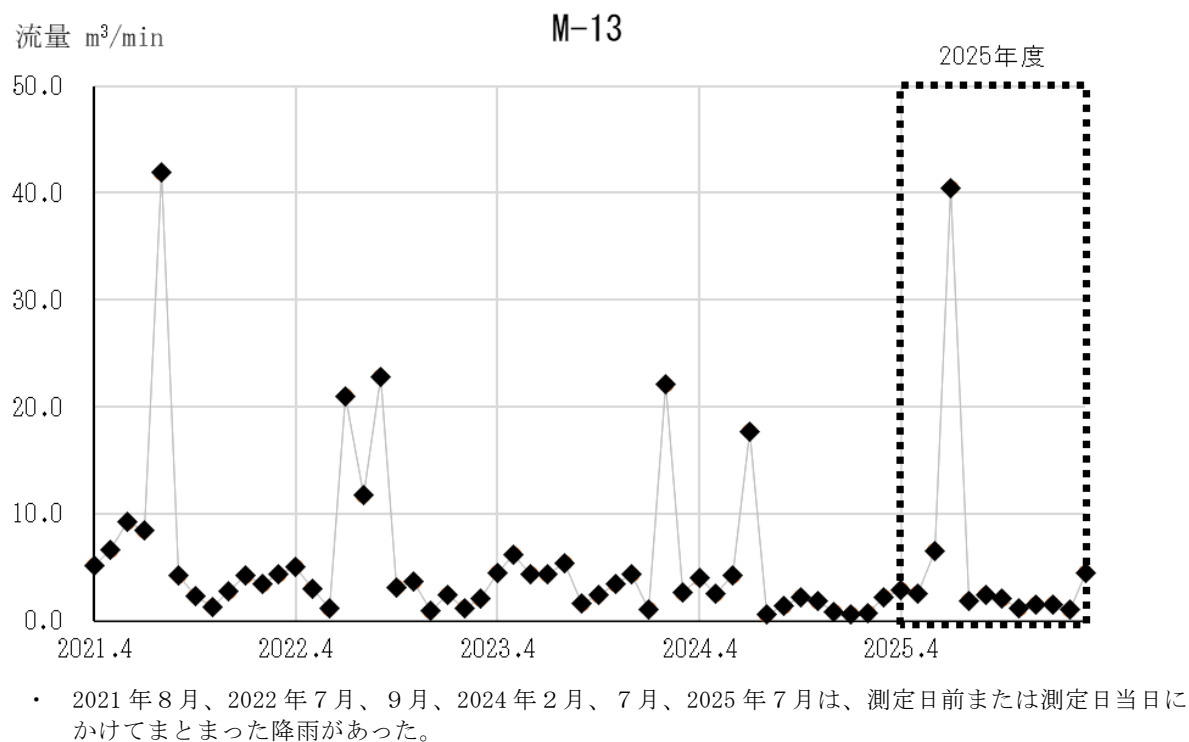
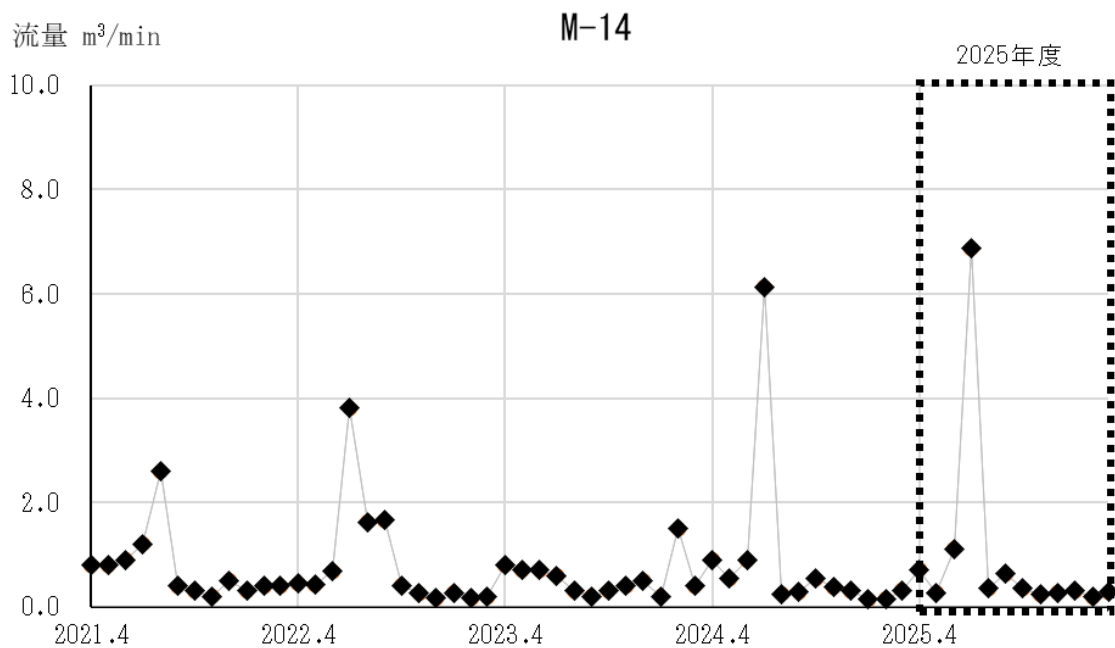


図 4-1-4-2 (20) 調査結果（地表水）(M-13)

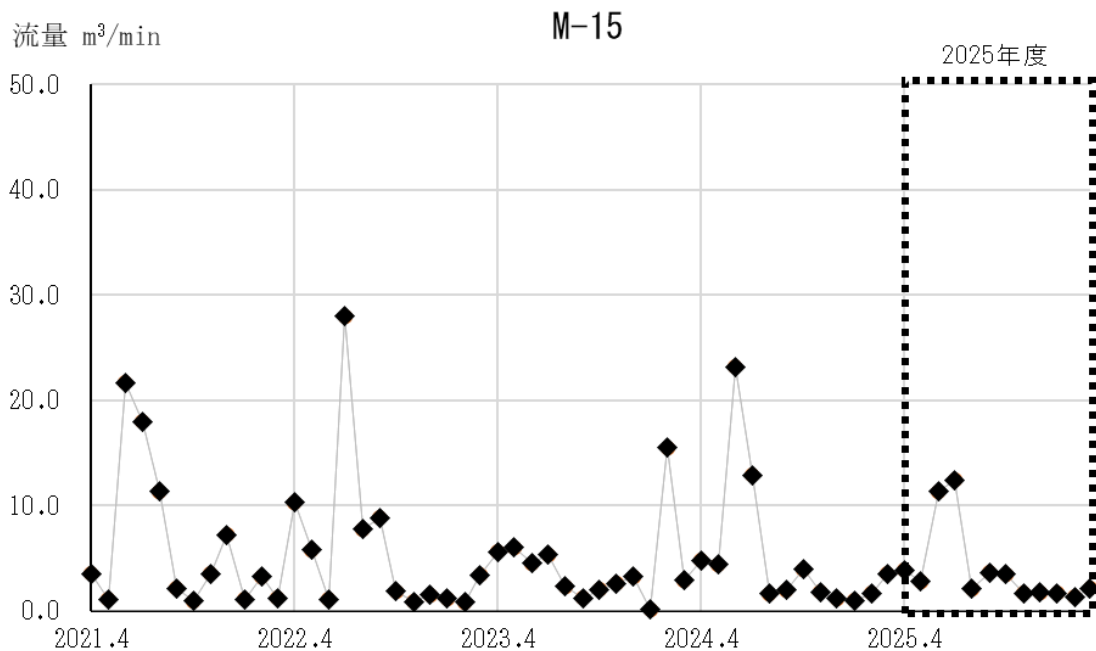
測定方法：流速計測法



- ・ 2021年8月、2022年7月、2024年7月、2025年7月は、測定日前または測定日当日にかけてまとまった降雨があった。

図 4-1-4-2 (21) 調査結果（地表水）(M-14)

測定方法：流速計測法



- ・ 2021年6月、7月、2022年7月、2024年2月、6月は、測定日前または測定日当日にかけてまとまった降雨があった。

図 4-1-4-2 (22) 調査結果（地表水）(M-15)

測定方法：流速計測法

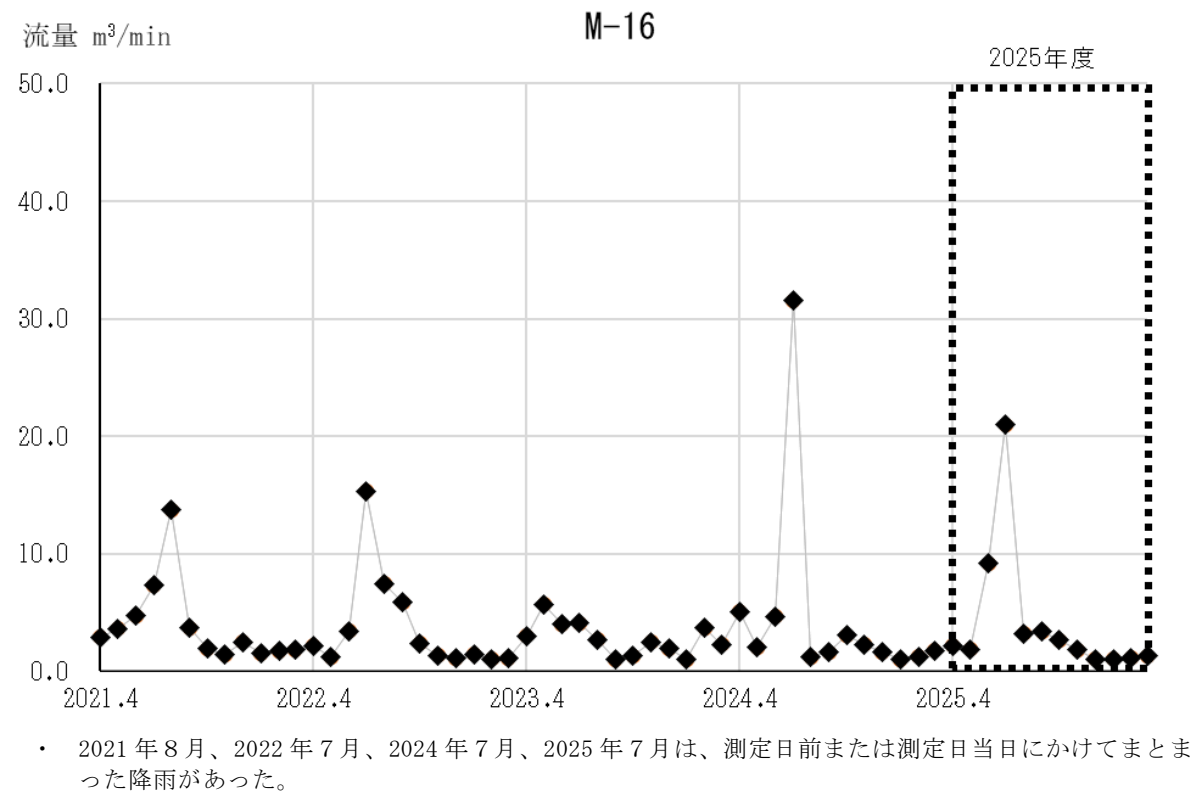


図 4-1-4-2 (23) 調査結果（地表水）(M-16)

測定方法：流速計測法

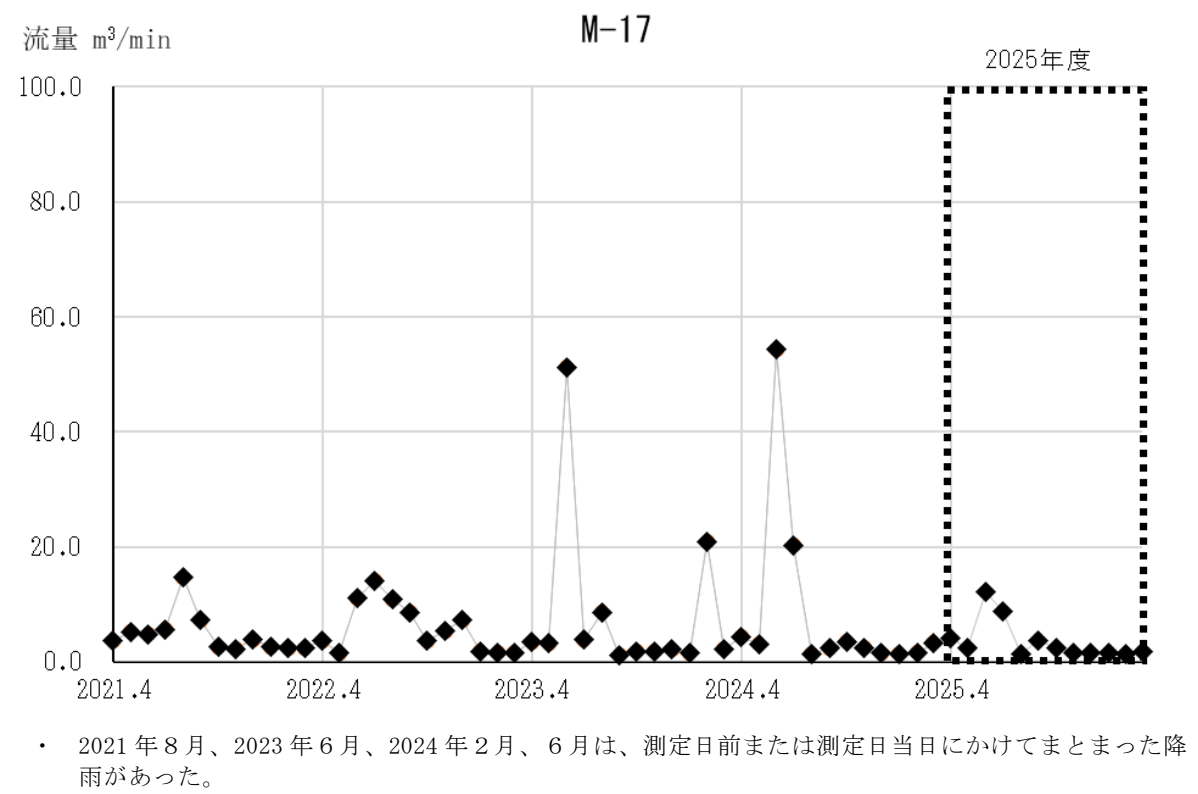
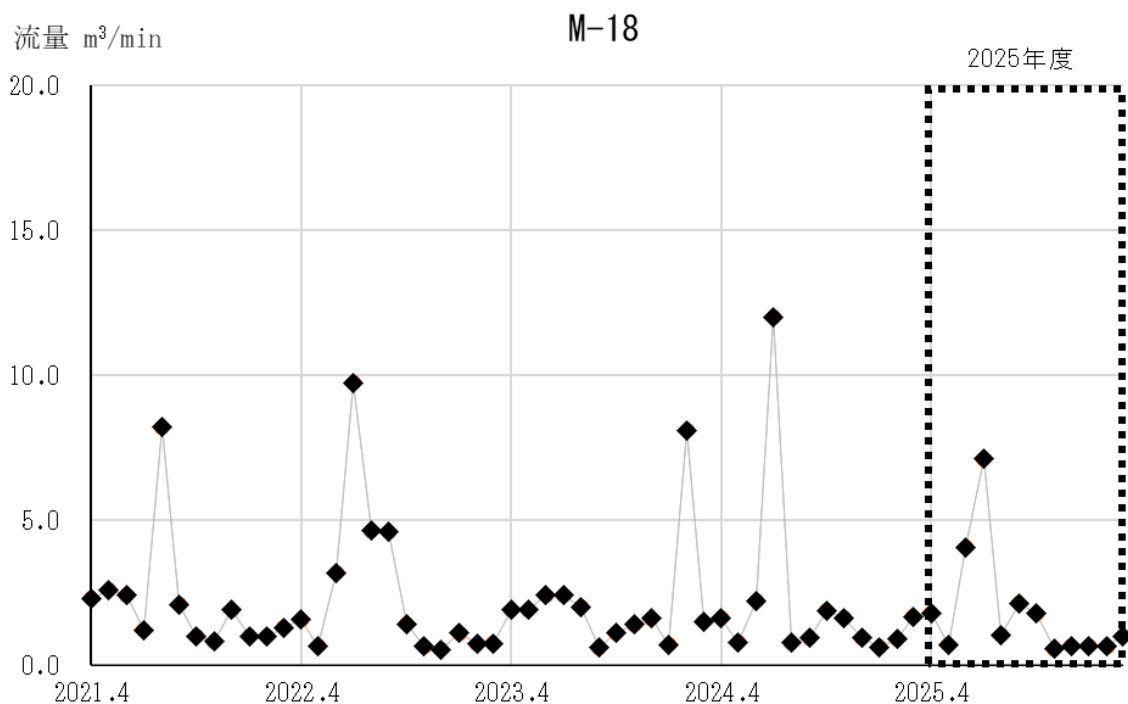


図 4-1-4-2 (24) 調査結果（地表水）(M-17)

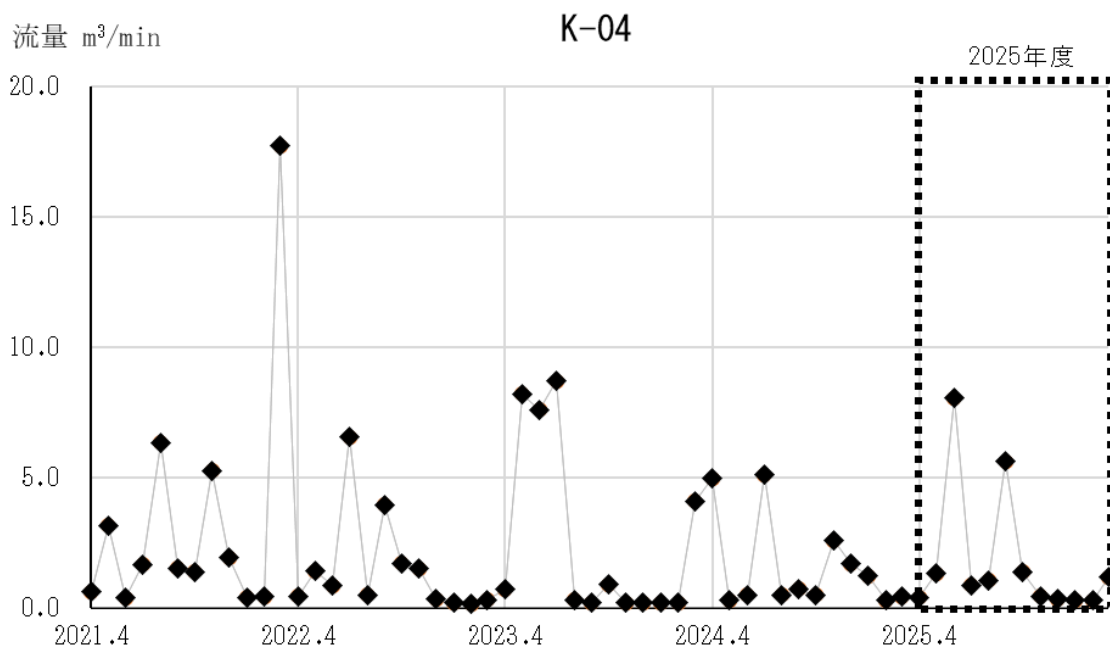
測定方法：流速計測法



- ・ 2021年8月、2022年7月、2024年2月、7月は、測定日前または測定日当日にかけてまとまった降雨があった。

図 4-1-4-2 (25) 調査結果（地表水）(M-18)

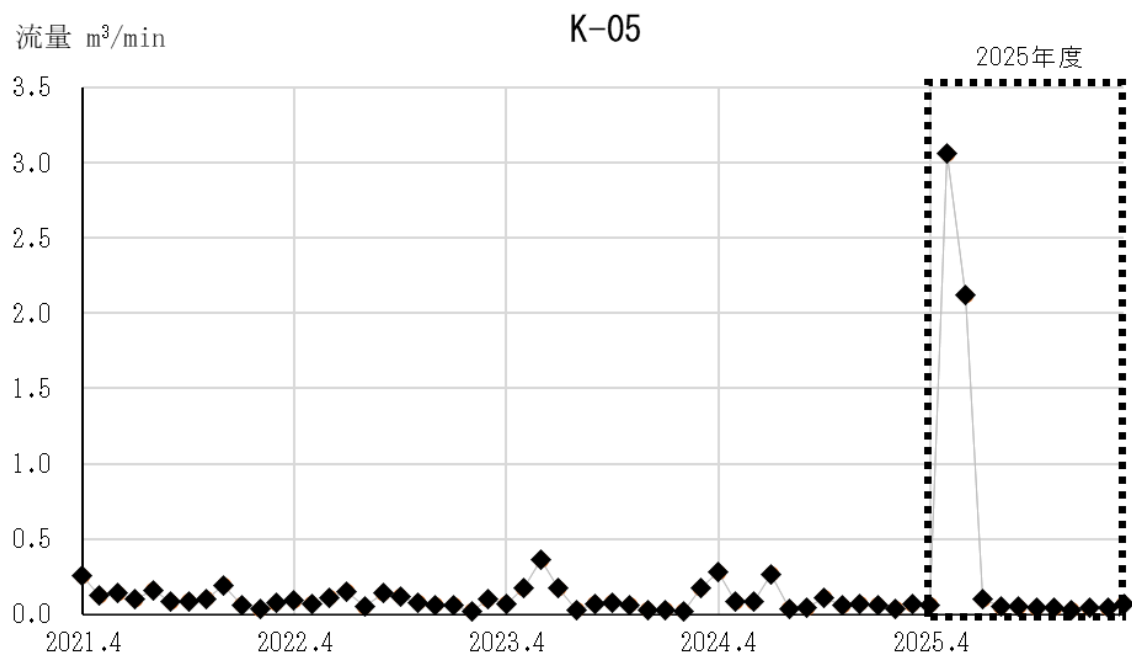
測定方法：流速計測法



- ・ 2023年5月、7月は、測定日前または測定日当日にかけてまとまった降雨があった。
- ・ 2022年3月は、測定日に河川上流に位置するため池から貯蓄水が放流されていた。

図 4-1-4-2 (26) 調査結果（地表水）(K-04)

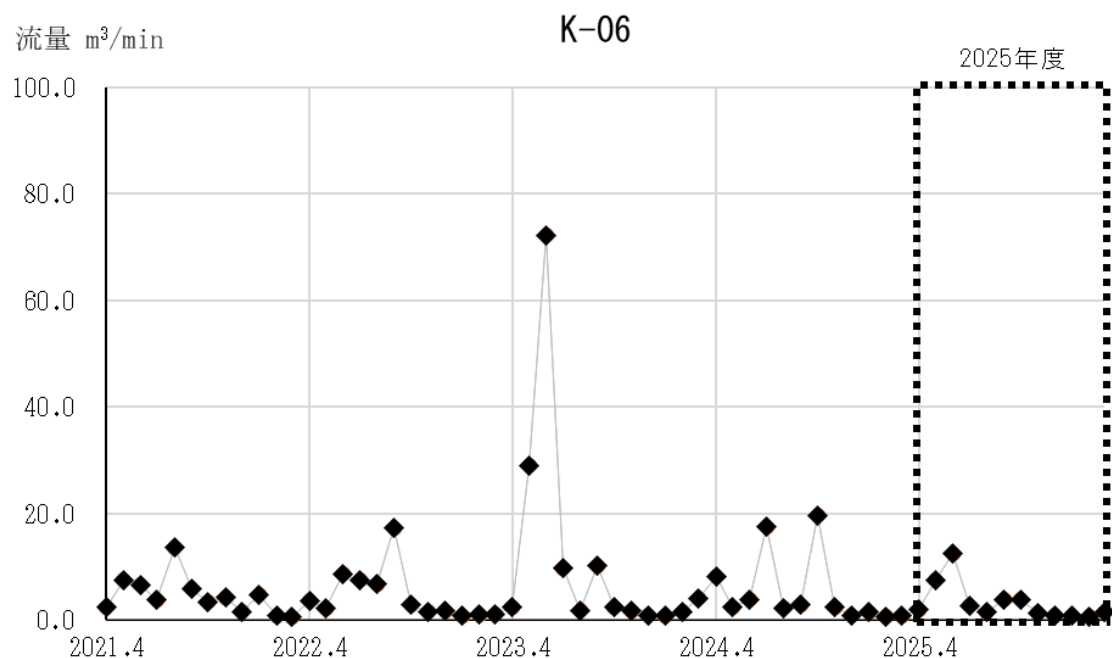
測定方法：流速計測法及び容器法



- ・ 2020年7月、9月、2023年6月、2024年4月、7月、2025年5月、6月は、測定日前または測定日当日にかけてまとまった降雨があった。

図 4-1-4-2 (27) 調査結果（地表水）(K-05)

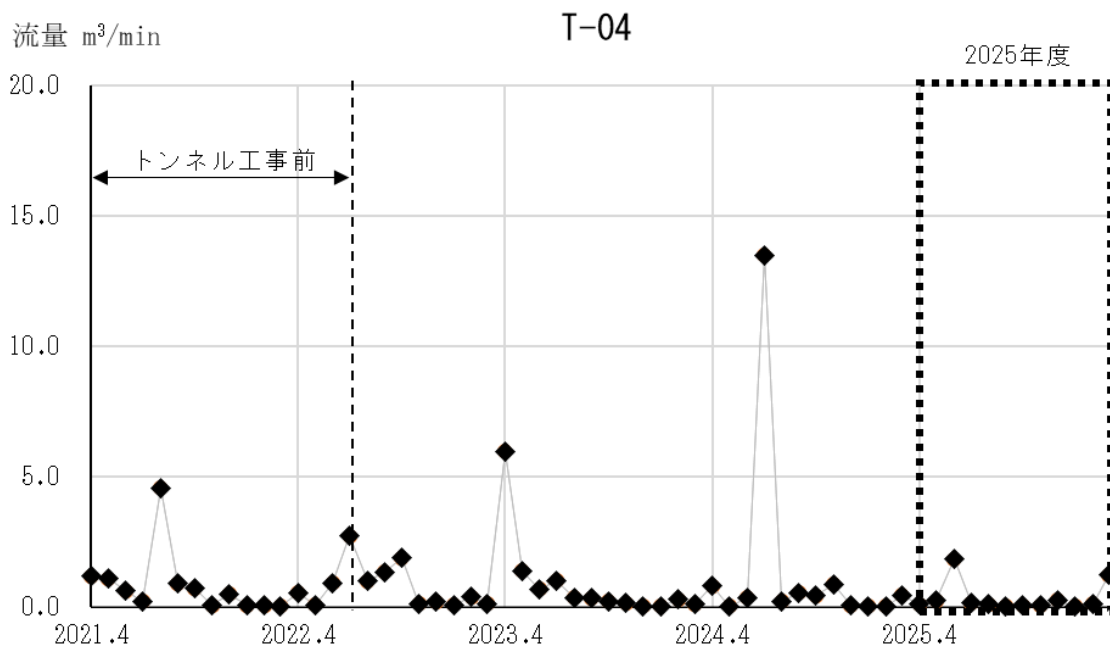
測定方法：流速計測法



- ・ 2023年5月、6月は、測定日の前日から当日にかけてまとまった降雨があった。

図 4-1-4-2 (28) 調査結果（地表水）(K-06)

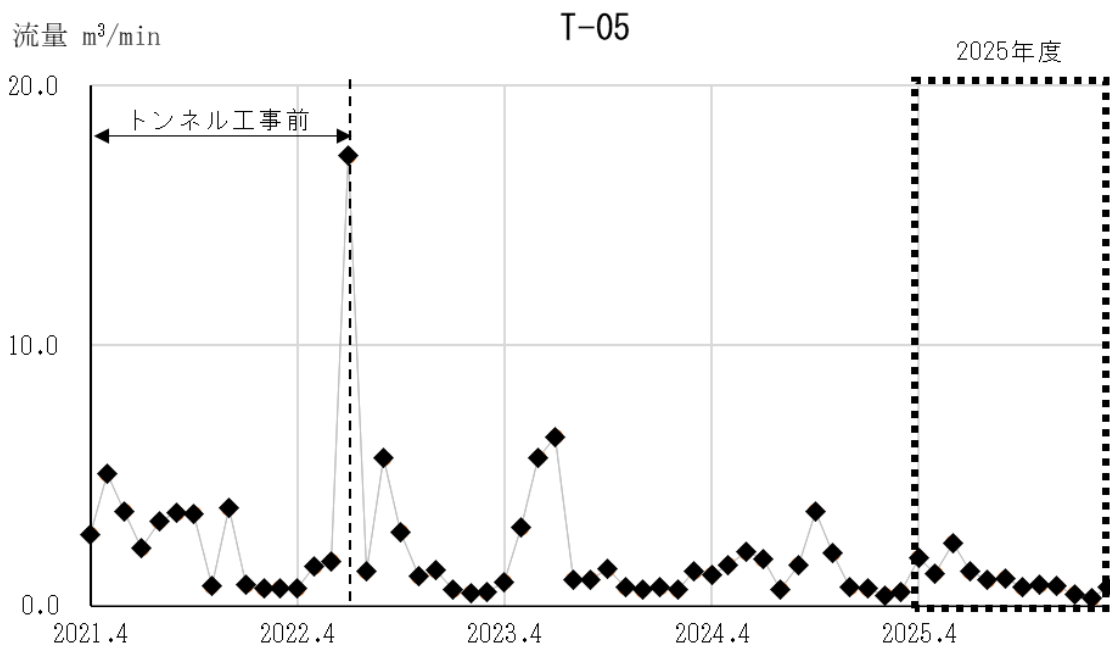
測定方法：流速計測法及び容器法



- ・ 2021年8月、2022年7月、10月、2023年4月、2024年7月は、測定日前または測定日当日にまとまった降雨があった。

図 4-1-4-2 (29) 調査結果（地表水）(T-04)

測定方法：流速計測法



- ・ 2022年7月は、測定日前または測定日当日にかけてまとまった降雨があった。

図 4-1-4-2 (30) 調査結果（地表水）(T-05)

4-2 地盤沈下

工事実施箇所周辺における地盤沈下について、工事中の事後調査を実施した。

4-2-1 調査項目

調査項目は、地盤の高さの状況とした。

4-2-2 調査方法

調査方法は、表 4-2-2-1 に示すとおりである。変位計測は、当社の測量成果物である 1 級水準点から水準測量で行った。調査期間は、表 4-2-2-2 に示すとおりである。

表 4-2-2-1 調査方法

調査項目	調査方法
地盤の高さ	変位計測の実施

表 4-2-2-2 調査期間

地点番号	市町村名	所在地	計画施設	実施時期の種別	調査日
01	中津川市	山口	トンネル(山岳部)	工事中	2025 年 4 月 25 日 2025 年 5 月 21 日 2025 年 6 月 20 日 2025 年 7 月 25 日 2025 年 8 月 22 日 2025 年 9 月 19 日 2025 年 10 月 17 日 2025 年 11 月 21 日 2025 年 12 月 26 日 2026 年 1 月 23 日 2026 年 2 月 20 日 2026 年 3 月 20 日

4-2-3 調査地域

調査地域は、表 4-2-3-1、図 4-2-3-1 及び図 4-2-3-2 に示すとおりである。

表 4-2-3-1 調査地域

地点番号	市町村名	所在地	実施箇所
01	中津川市	山口	中央アルプストンネル上部地表面

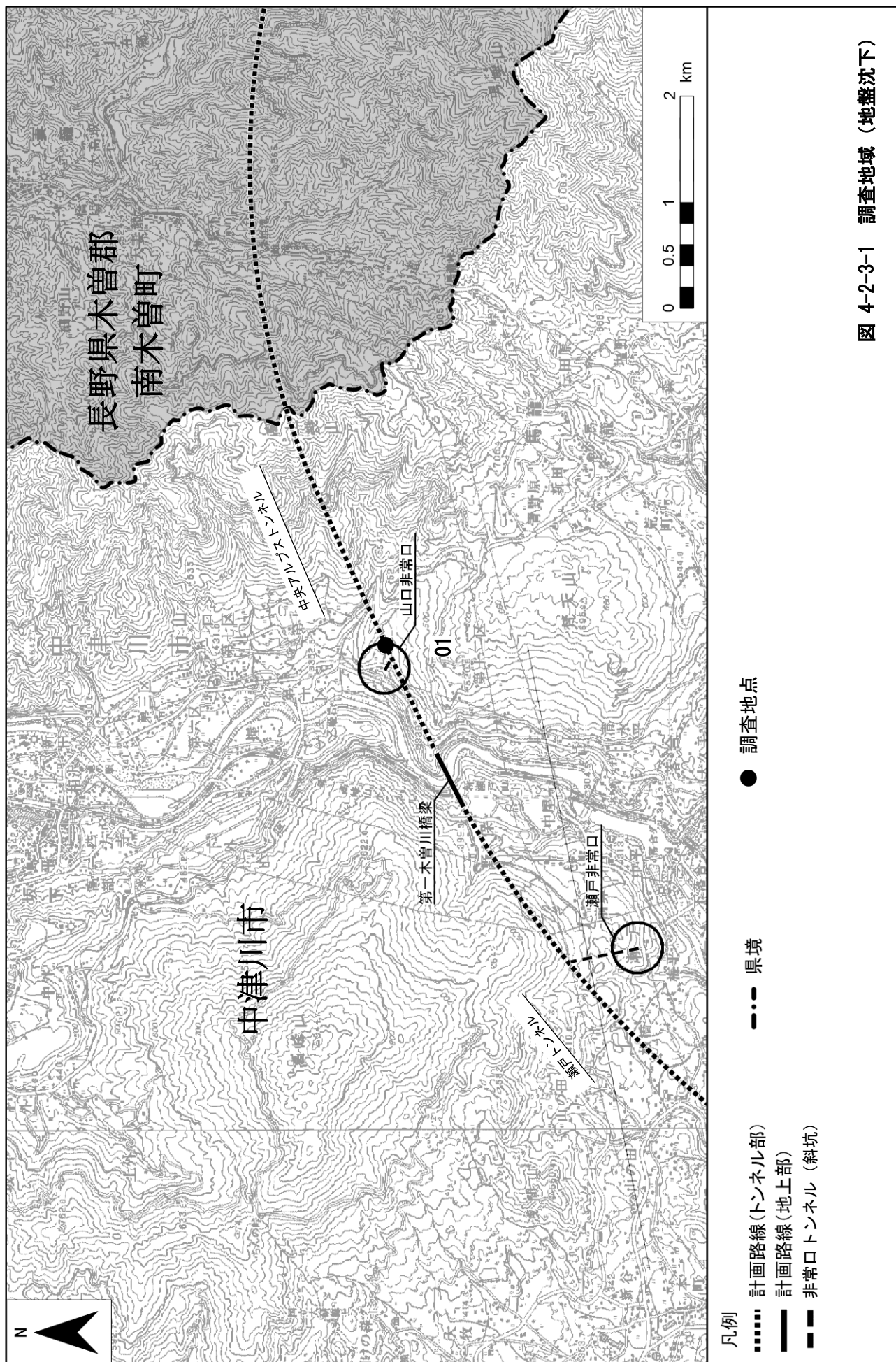
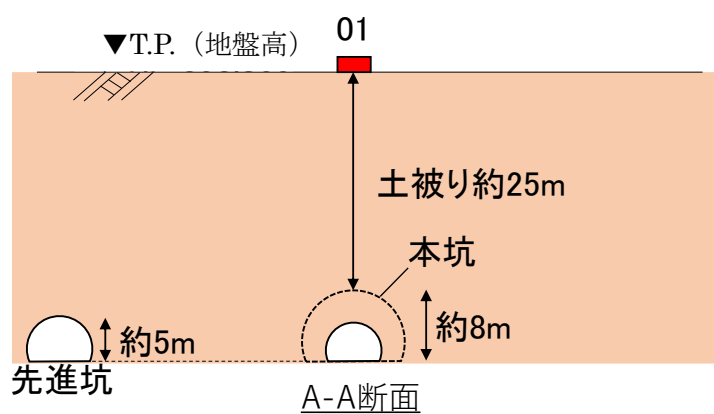
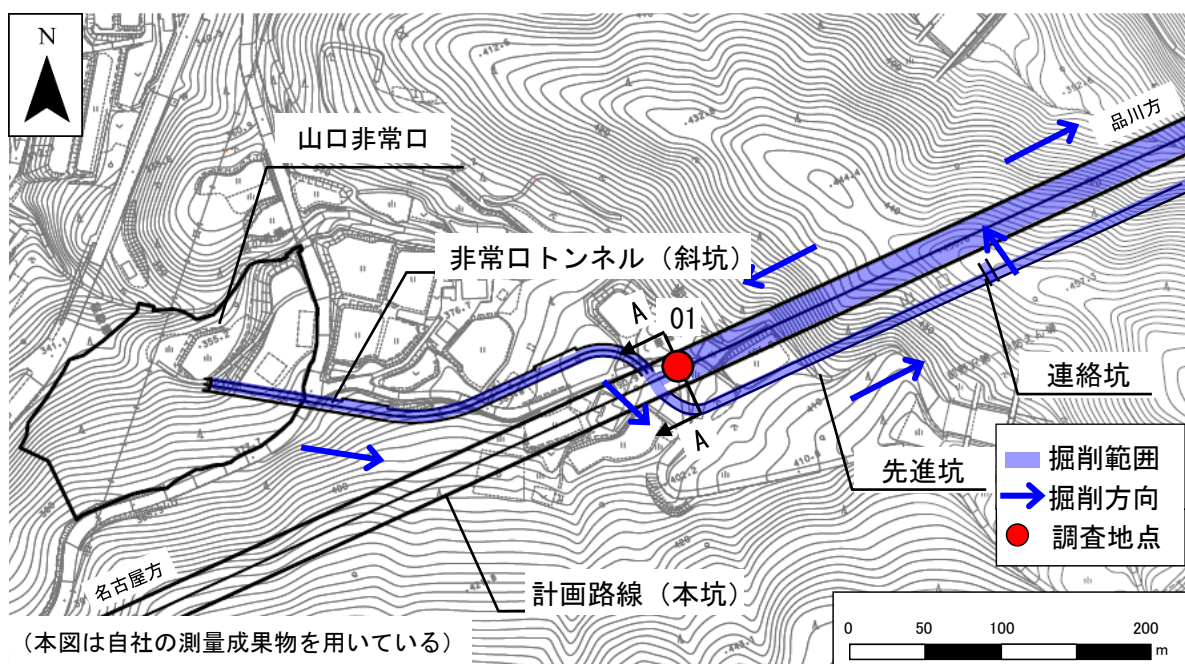


図 4-2-3-1 調査地域 (地盤沈下)



- ・ 地盤高は、東京湾平均海面 (T.P.) を 0m とした場合の高さを示す。

図 4-2-3-2 調査地点 (地盤沈下) (01 山口)

4-2-4 調査結果

調査結果は、表 4-2-4-1 に示すとおりである。なお、地盤高は東京湾平均海面（T.P.）を 0 m とした場合の高さを示す。

地点 01 において、2025 年度の地表面の沈下量は、2020 年度から変わらず初期値と比較して 5 mm であり、1 年を通して変化はなかった。

2019 年度は、2019 年 6 月に初期値を計測し、2020 年 1 月～3 月にトンネルの切羽が測定地点から一定の範囲内にある期間において月 1 回の計測を行った。非常口トンネル（斜坑）及び先進坑の掘削に伴う 2020 年 1 月～3 月の地表面の沈下量は、初期値と比較して 4 mm であり、急激な地盤沈下を示すような著しい変化はなかった。2020 年度は、月 1 回の計測を継続し、沈下量が安定したことを確認した。地点 01 の直下は非常口トンネル（斜坑）と計画路線（本坑）の交点部であるため、地表面への影響を考慮し、本坑からの発生土搬出に必要となる最小限の断面で一時的に掘削し、接続している。今後、非常口トンネル（斜坑）と計画路線（本坑）の交点部において本坑断面での掘削を行うことから、月 1 回程度の計測を継続しており、2021 年度以降は、沈下量が安定していることを確認している。

また、計画路線（本坑）（名古屋方）の掘削開始以降は、トンネルの切羽が測定地点から一定の範囲内にある期間は月 1 回程度の計測を継続及び掘削工事完了後に 1 回、地表面の沈下量の調査を実施する。

なお、地点 01 は道路上であることから、道路管理者との協議において、道路の沈下量に関する管理基準値（要注意：30mm、警戒：50mm）を定めている。

表 4-2-4-1 (1) 調査結果（2019 年度）（01 山口）

地点 番号	市町村名	所在地	項目	2019 年度			
				6 月 (工事前)	1 月 (工事中)	2 月 (工事中)	3 月 (工事中)
01	中津川市	山口	地盤高 (m) (初期値との差 (mm))	393.870 (初期値)	393.870 (±0)	393.868 (-2)	393.866 (-4)

表 4-2-4-1 (2) 調査結果 (2020 年度) (01 山口)

地点 番号	市 町村 名	所 在 地	項目	2019 年度	2020 年度										
				6 月 (工事前)	4 月 (工事中)	5 月 (工事中)	6 月 (工事中)	7 月 (工事中)	8 月 (工事中)	9 月 (工事中)	10 月 (工事中)	11 月 (工事中)	12 月 (工事中)	1 月 (工事中)	2 月 (工事中)
01	中 津 川 市	山 口	地盤高 (m) (初期値との差 (mm))	393.870 (初期値)	393.866 (-4)	393.865 (-5)	393.865 (-5)	393.866 (-4)	393.866 (-4)	393.866 (-4)	393.866 (-4)	393.865 (-5)	393.865 (-5)	393.865 (-5)	393.865 (-5)

表 4-2-4-1 (3) 調査結果 (2021 年度) (01 山口)

[illegible]

表 4-2-4-1 (4) 調査結果 (2022 年度) (01 山口)

[illegible]

表 4-2-4-1 (5) 調査結果 (2023 年度) (01 山口)

[illegible]

表 4-2-4-1 (6) 調査結果 (2024 年度) (01 山口)

[illegible]

表 4-2-4-1 (7) 調査結果 (2025 年度) (01 山口)

[illegible]

4-3 動物、生態系

事後調査の対象とした鳥類（希少猛禽類）について、工事中における事後調査を実施した。なお、2025 年度に完了した繁殖期の調査結果を記載した。

4-3-1 調査項目

オオタカ（千旦林南ペア）、オオタカ（武並ペア）、ハチクマ（武並ペア）、サシバ（美佐野東ペア）の生息状況とした。

4-3-2 調査方法

調査方法は表 4-3-2-1 に示すとおりである。

表 4-3-2-1 希少猛禽類の調査方法

調査項目		調査方法
希少猛禽類	定点観察法	事後調査の対象とした猛禽類のペアについて、工事中の生息状況を把握することを目的として、設定した定点において 8～10 倍程度の双眼鏡及び 20～60 倍程度の望遠鏡を用いて、飛翔行動等を確認した。
	営巣地調査	古巣及び営巣木の確認を目的として、生息の可能性が高い林内を探索した。巣を確認した場合は、営巣木の位置、営巣木の状況、巣の状況、周辺の地形や植生等を記録した。
	繁殖確認調査	繁殖巣が特定された場合には、抱卵行動、育雛行動、雛の個体数及び成長、巣立ちの時期について調査した。巣の見える位置から 8～10 倍程度の双眼鏡及び 20～60 倍程度の望遠鏡を用いて、巣周辺を観察した。

4-3-3 調査地域

調査地域は表 4-3-3-1 に示すとおりである。現地調査地点は、事後調査の対象とした猛禽類のペアの行動が確認できるように工事施工ヤードなど、事業地周辺に設定した。なお、設定にあたっては専門家から意見を聴取した。

表 4-3-3-1 希少猛禽類の調査地域

ペア名	市町名	所在地	対象工事
オオタカ（千旦林南ペア）	中津川市	千旦林	中部総合車両基地ほか、 駒場トンネル（名古屋方）、 岐阜県駅（仮称）ほか
オオタカ（武並ペア）	恵那市	武並	長島トンネル（名古屋方）、 藤川高架橋、 日吉トンネル（武並工区）
ハチクマ（武並ペア）	恵那市	武並	長島トンネル（名古屋方）、 藤川高架橋、 日吉トンネル（武並工区）
サシバ（美佐野東ペア）	御嵩町	美佐野	美佐野トンネルほか （工事施工ヤード）

4-3-4 調査期間

調査期間は表 4-3-4-1 に示すとおりである。

表 4-3-4-1 希少猛禽類の調査期間

調査項目	調査手法	調査実施日	
希少猛禽類	定点観察法 営巣地調査 繁殖確認調査	繁殖期	2025年2月17日、18日、19日、20日、21日、22日 2025年3月24日、25日、26日、27日、28日、29日 2025年4月17日、18日、19日、23日、24日、25日 2025年5月12日、13日、14日、15日、16日、17日、23日、30日、31日 2025年6月2日、16日、17日、18日、19日、20日、21日 2025年7月1日、2日、7日、8日、9日、10日、11日、12日 2025年8月4日、5日、6日、7日、8日、9日、27日

4-3-5 調査結果

調査結果は表 4-3-5-1 に示すとおりである。

表 4-3-5-1 希少猛禽類の確認状況（2025 年 2 月～2025 年 8 月）

ペア名	確認状況
オオタカ（千旦林南ペア）	調査範囲内において、繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。今後も継続的に調査を実施し、専門家の意見を踏まえ必要に応じ環境保全措置を実施し、事業による影響を低減するよう努める。
オオタカ（武並ペア）	調査範囲内において、繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。今後も継続的に調査を実施し、専門家の意見を踏まえ必要に応じ環境保全措置を実施し、事業による影響を低減するよう努める。
ハチクマ（武並ペア）	調査範囲内において、繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。今後も継続的に調査を実施し、専門家の意見を踏まえ必要に応じ環境保全措置を実施し、事業による影響を低減するよう努める。
サシバ（美佐野東ペア）	2024 年度に確認した営巣地での繁殖を確認した。今後も継続的に調査を実施し、専門家の意見を踏まえ必要に応じ環境保全措置を実施し、事業による影響を低減するよう努める。

4-4 植物、生態系

重要な種の移植の効果に不確実性があることから、移植を実施した植物の生育状況の事後調査を実施した。

4-4-1 調査項目

調査項目は、移植した植物の生育状況とした。

4-4-2 調査方法

調査方法は、現地調査（任意観察）により移植を実施した植物の生育状況を確認した。

4-4-3 調査地域

調査地点は、移植を実施した地点とし、対象は表 4-4-3-1 に示すとおりである。

表 4-4-3-1 移植を実施した植物

種名	科名	移植前の生育地	移植の実施箇所	移植の実施日
(1) カザグルマ	キンポウゲ科	中津川市駒場	中津川市駒場	2023年4月4日
(2) エンシュウムヨウラン	ラン科	多治見市大針	可児市大森	2020年6月18日
(3) エンシュウムヨウラン	ラン科	中津川市千旦林	中津川市千旦林	2021年10月28日
(4) サクラバハノキ	カバノキ科	恵那市武並	恵那市武並	2023年6月27日 2023年7月3日 2023年7月4日 2023年7月5日 2023年7月6日 2023年7月7日 2023年7月10日
(5) フモトミズナラ	ブナ科			
(6) シデコブシ	モクレン科			
(7) カザグルマ	キンポウゲ科			
(8) ヘビノボラズ	メギ科			
(9) カキノハグサ	ヒメハギ科			
(10) ハナノキ	ムクロジ科			
(11) ミカワバイケイソウ	シュロソウ科			
(12) ヒメコヌカグサ	イネ科			
(13) シデコブシ	モクレン科	中津川市千旦林	中津川市千旦林	2024年11月21日
(14) カラタチバナ	ヤブコウジ科※			
(15) シデコブシ	モクレン科	中津川市千旦林	中津川市千旦林	2025年4月3日
(16) カラタチバナ	ヤブコウジ科※			
(17) ハナノキ	ムクロジ科			
(18) ムヨウラン	ラン科			2025年4月4日
(19) <i>Lecanorchis</i> 属 (ムヨウラン属)	ラン科			

- ・ 分類、配列などは原則として、「自然環境保全基礎調査 植物目録1987」（昭和62年、環境庁）に準拠した。
なお、カラタチバナの科名は、最新のAPG分類体系IVではサクラソウ科に属している。

4-4-4 調査期間

移植後の生育状況の調査は表 4-4-4-1 に示す時期に実施した。なお、移植後の生育状況調査の調査期間は、移植作業後 1 か月以内及び移植後 1 年間は開花期と結実期 1 回ずつ、それ以降は移植後 3 年まで結実期（結実が地上から確認できないものは開花期）に年 1 回実施することを基本として、専門家等の技術的助言を踏まえて設定した。また、調査結果によって、専門家等の技術的助言を踏まえ、必要により調査期間の再検討を行う。

表 4-4-4-1 生育状況の現地調査の時期

調査地点	調査日
カザグルマ (中津川市駒場)	2025 年 5 月 22 日
エンシュウムヨウラン (可児市大森)	2025 年 5 月 22 日
エンシュウムヨウラン (中津川市千旦林)	2025 年 5 月 22 日
サクラバハシノキ、フモトミズナラ、 シデコブシ、カザグルマ、 ヘビノボラズ、カキノハグサ、 ハナノキ、ミカワバイケイソウ、 ヒメコヌカグサ (恵那市武並)	2025 年 5 月 23 日
シデコブシ (2024 年移植)、カラタチバナ (2024 年移植) (中津川市千旦林)	2025 年 5 月 8 日
シデコブシ (2025 年移植)、カラタチバナ (2025 年移植)、 ハナノキ、 ムヨウラン、 <i>Lecanorchis</i> 属 (ムヨウラン属) (中津川市千旦林)	2025 年 4 月 18 日、5 月 8 日

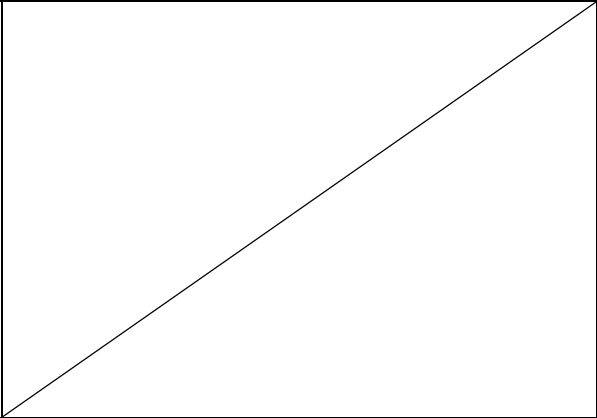
4-4-5 調査結果

(1) カザグルマ

中津川市駒場において、2015年に 2 地点に 1 個体ずつ移植を実施したが、2017年までにいずれも枯死を確認した。2017年に改めて中津川市駒場の移植前の生育地を調査したところ、数個体の生育を確認したため、同年に中津川市千旦林の 2 地点に 3 個体の移植を実施した。移植後 5 年間の生育状況を確認し、2022年に 2 個体は枯れた可能性がある状態、1 個体は活力が弱い状態であった。2022年 8 月に改めて中津川市駒場の移植前の生育地を調査したところ、数個体の生育を確認したため、2023年 4 月 4 日に2015年の移植とは異なる中津川市駒場の 1 地点へ 5 個体の移植を実施した (E1～E5)。2023年の移植をもって、中津川市千旦林での 2017年の移植に伴う事後調査は終了した。2023年度からの確認状況を表 4-4-5-1に示す。

移植後 2 年目となる今年度の調査においては、3 個体 (E1, E3, E4) の開花を確認でき、1 個体 (E5) は開花跡を確認した。なお、移植個体周辺に草本類が繁茂し、移植個体を被圧していたため、手作業により除草を行った。イノシシの掘り起こし等獣害対策として、全移植個体を囲うように忌避剤を散布した。

今後の調査においても、生育状況を確認する。

移植地E	
 2025 年 5 月 22 日 (E1 個体)	 2025 年 5 月 22 日 (E2 個体)
 2025 年 5 月 22 日 (E3 個体)	 2025 年 5 月 22 日 (E4 個体)
 2025 年 5 月 22 日 (E5 個体)	 (除草作業)
 (忌避剤散布作業)	

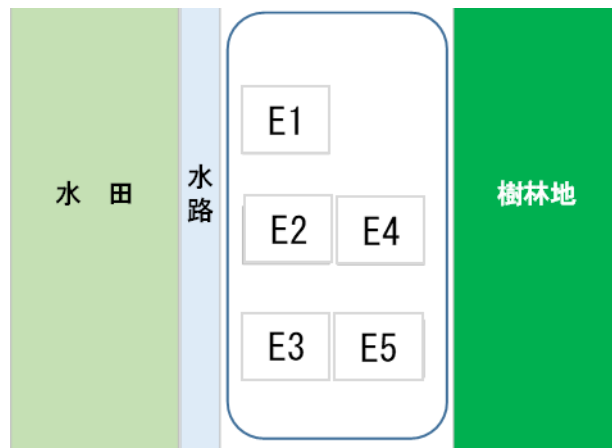


図 4-4-5-1 移植個体の配置イメージ

表 4-4-5-1 移植したカザグルマ 5 個体の確認状況

調査時期		移植地 E				
		E1	E2	E3	E4	E5
2023年度	移植作業後 1 か月以内 及び移植後 1 年間	開花・ 結実	活着を 確認	開花・ 結実	活着を 確認	開花・ 結実
2024年度	移植後 1 年目	活着を 確認	活着を 確認	開花跡 を確認	活着を 確認	活着を 確認
2025年度	移植後 2 年目	開花	活着を 確認	開花	開花	開花跡 を確認
今後の調査においても、生育状況を確認する。						

(2) エンシュウムヨウラン（可児市大森）

可児市大森において、2020年6月18日に7個体及び地上部（花茎）が確認できなかった土壌（2箇所）の移植を実施した（A1～A9）。

移植を実施した7個体（A1～A7）及び土壌2箇所（A8、A9）について、2020年度から生育状況の確認を行っている。2020年度からの確認状況を表 4-4-5-2に示す。

移植後5年目となる2025年度の調査においては、残っていた2個体（A6、A7）を確認したところ、A6で開花を確認したが、A7では地上部が確認できなかった。また、移植地周辺では自生する複数の個体を確認した。必ずしも毎年地上部（花茎）が確認される植物ではないものの、移植地周辺に自生する複数の個体を確認していることから当該種は保全されているとの専門家の技術的助言を踏まえて、2025年度をもって調査を終了する。

移植地	
 A6 : 開花を確認 2025年5月22日	 A7 : 地上部なし 2025年5月22日
 (移植地周辺個体)	

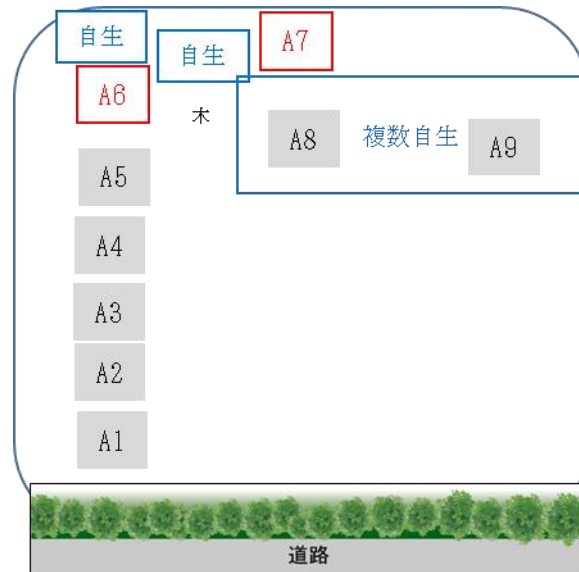


図 4-4-5-2 移植個体の配置イメージ

表 4-4-5-2 エンシュウムヨウラン（可児市大森）の確認状況

調査時期		移植地								
		A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9
2020 年度	移植作業後 1 か月以内及び移植後 1 年間	特に変化は見られなかった。								
2021 年度	移植後 1 年目	荒らされた形跡があり、周辺の土壌ごと消失。				地上部（花茎）は確認できなかった。		荒らされた形跡、土壌ごと消失。		
人為的な盗掘の可能性を考慮し、残った 2 個体（A6、A7）への対策（マーキング等目立たないよう最低限とする）を行った。										
2022 年度	移植後 2 年目						開花	開花・結実		
2023 年度	移植後 3 年目						上記と同一個体を確認。	地上部は確認できなかった。		
2024 年度	移植後 4 年目						地上部は確認できなかった。			
2025 年度	移植後 5 年目						開花	地上部は確認できなかった。		
2025 年度の調査をもって事後調査を終了する。										

(3) エンシュウムヨウラン（中津川市千旦林）

中津川市千旦林において、2021年10月28日に5個体の移植を実施した（A1～A5）。

移植を実施した5個体（A1～A5）について、2021年度から生育状況の確認を行っている。
2021年度からの確認状況を表 4-4-5-3に示す。

移植後4年目となる2025年度の調査においては、1個体（A1）で開花直前のつぼみ4個をつけた花茎1本を確認した。ほか4個体（A2～A5）は、地上部は確認できなかった。また、移植地周辺では自生する複数の個体を確認した。必ずしも毎年地上部（花茎）が確認される植物ではないものの、移植地周辺に自生する複数の個体を確認していることから当該種は保全されているとの専門家の技術的助言を踏まえて、2025年度をもって調査を終了する。

移植地	
 A1：開花直前のつぼみを確認 2025年5月22日	 A2：地上部なし 2025年5月22日
 A3：地上部なし 2025年5月22日	 A4：地上部なし 2025年5月22日
 A5：地上部なし 2025年5月22日	 （移植地周辺個体）

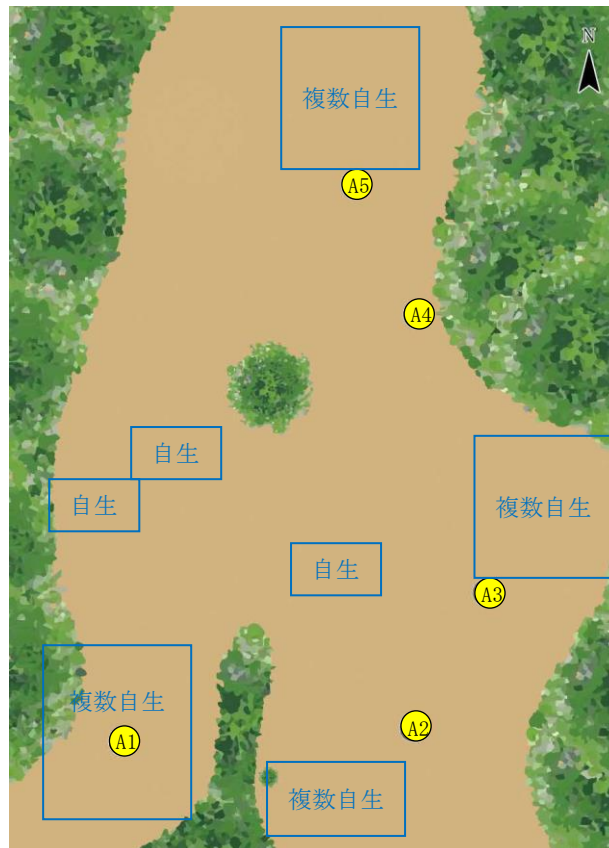


図 4-4-5-3 移植個体の配置イメージ

表 4-4-5-3 エンシュウムヨウラン（中津川市千旦林）の確認状況

調査時期		移植地				
		A1	A2	A3	A4	A5
2021 年度	移植作業後 1 か月以内及び移植後 1 年間	特に変化は見られなかった。	地上部は確認できなかった。	特に変化は見られなかった。		地上部は確認できなかった。
2022 年度	移植後 1 年目	地上部は確認できなかった。		開花		地上部は確認できなかった。
2023 年度	移植後 2 年目	地上部は確認できなかった。				
2024 年度	移植後 3 年目	地上部は確認できなかった。	開花・結実	地上部は確認できなかった。		
2025 年度	移植後 4 年目	花茎を確認した。	地上部は確認できなかった。			
2025年度の調査をもって事後調査を終了する。						

(4) サクラバハシノキ（恵那市武並）

恵那市武並の生育地において、2023年7月4日に移植地Aへ3個体の移植を実施した（A1～A3）。

移植を実施した3個体について、2023年度から生育状況の確認を行っている。2023年度からの確認状況を表 4-4-5-4に示す。

移植後2年目となる2025年度の調査においては、1個体（A1）が獣害により消失していることが確認された。ほか2個体（A2、A3）については、他の草本類の繁茂により活力の低下が見られた。移植先の状況に応じて、周辺植物は手作業により除草を行い、イノシシの掘り起こし等獣害対策として、全移植個体を囲うように忌避剤を散布した。

今後の調査においても、生育状況を確認する。

移植地A	
	
2025年5月23日（A2、A3個体）	2025年5月23日（A2、A3個体）
	
（忌避剤散布作業）	（除草作業後）

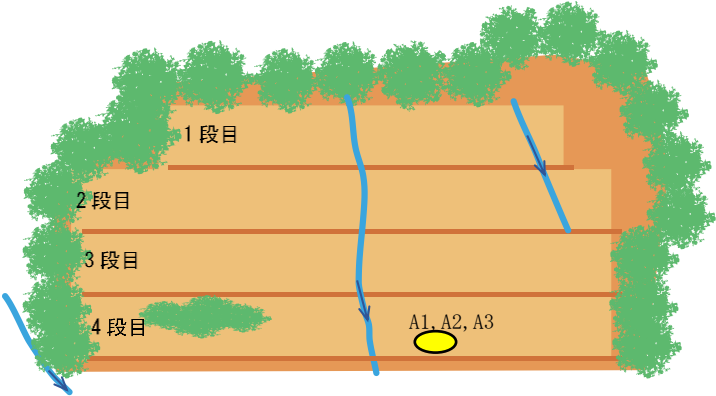


図 4-4-5-4 移植個体の配置イメージ

表 4-4-5-4 サクラバハノキ（恵那市武並）の確認状況

調査時期		移植地 A		
		A1	A2	A3
2023 年度	移植作業後 1 か月以内 及び移植後 1 年間	特に変化は見られなかった。		
2024 年度	移植後 1 年目	消失※	草本類の繁茂により活力が 低下。	
2025 年度	移植後 2 年目			
今後の調査においても、生育状況を確認する。				

※ イノシン等による掘り起こしにより消失したと考えられる。

(5) フモトミズナラ（恵那市武並）

恵那市武並の生育地において、2023年7月3日に移植地Bへ7個体の移植を実施した（B1～B7）。

移植を実施した7個体について、2023年度から生育状況の確認を行っている。2023年度からの確認状況を表 4-4-5-5に示す。

移植後2年目となる2025年度の調査においては、5個体（B1～B4, B7）の消失を確認した。ほか2個体（B5、B6）については活着していることを確認した。なお、移植個体周辺に草本類が繁茂し、移植個体を被圧していたため、手作業により除草を行った。

今後の調査においても、生育状況を確認する。

移植地B	
 2025年5月23日（B5個体）	 2025年5月23日（B6個体）
	 （除草作業後）

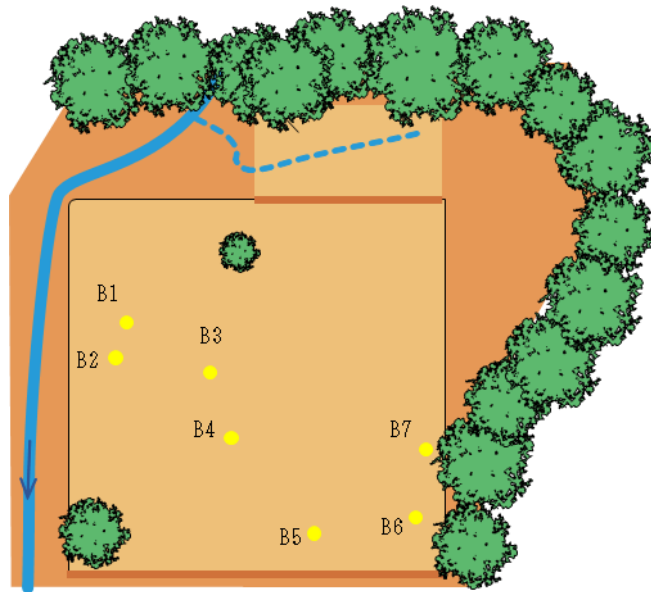


図 4-4-5-5 移植個体の配置イメージ

表 4-4-5-5 フモトミズナラ（恵那市武並）の確認状況

調査時期		移植地 B						
		B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7
2023 年度	移植作業後 1 か月以内及び移植後 1 年間	特に変化は見られなかった。						枯死
2024 年度	移植後 1 年目	消失				活着を確認		消失
2025 年度	移植後 2 年目							
今後の調査においても、生育状況を確認する。								

(6) シデコブシ（恵那市武並）

恵那市武並の生育地において、2023年6月27日に移植地Aへ4個体、移植地Bへ4個体、7月5日に移植地Aへ11個体、移植地Bへ6個体、移植地Cへ5個体の計30個体の移植を実施した。

移植を実施した30個体について、2023年度から生育状況の確認を行っている。2023年度からの確認状況を表 4-4-5-6に示す。

移植後2年目となる2025年度の調査においては、17個体の活着が確認され、うち7個体については生育状況も良好であった。ほか13個体は消失が確認された。なお、移植個体周辺に草本類が繁茂し、移植個体を被圧していたため、手作業により除草を行った。イノシシの掘り起こし等獣害対策として、全移植個体を囲うように忌避剤を散布した。

今後の調査においても、生育状況を確認する。

移植地A	
 2025年5月23日（全景）	 2025年5月23日
移植地B	
 2025年5月23日（全景）	 2025年5月23日

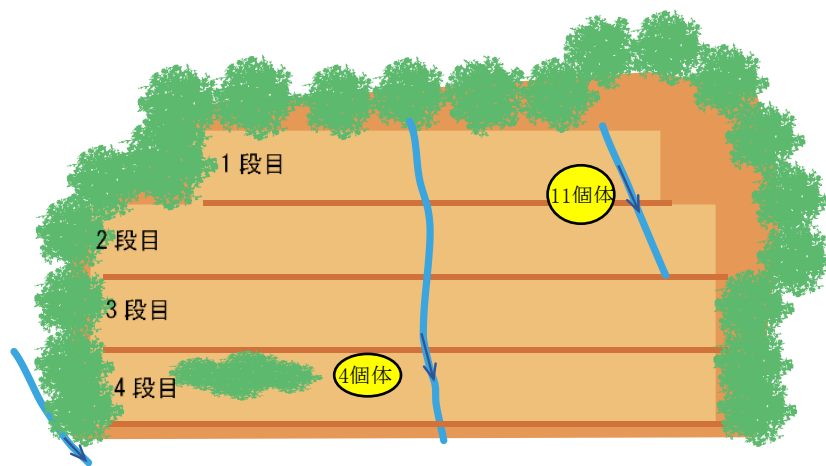


図 4-4-5-6 (1) 移植個体の配置イメージ (移植地A)

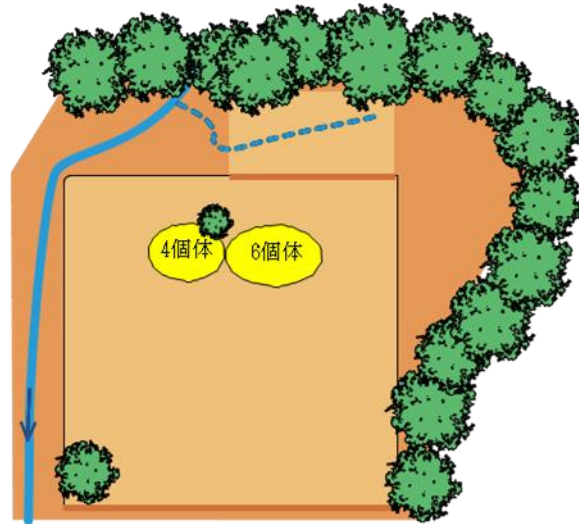


図 4-4-5-6 (2) 移植個体の配置イメージ (移植地B)

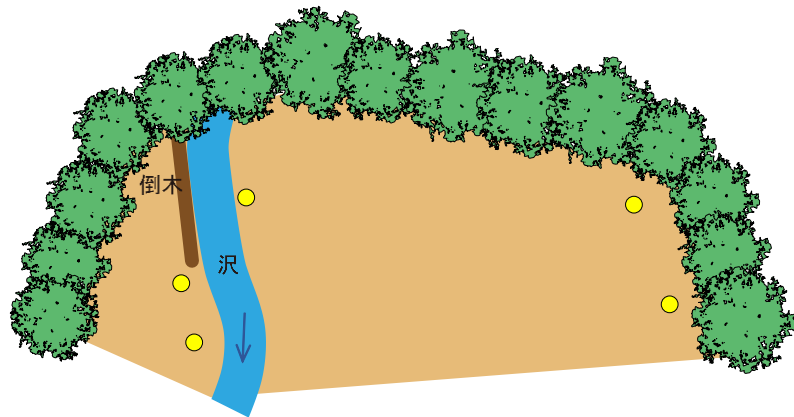


図 4-4-5-6 (3) 移植個体の配置イメージ (移植地C)

表 4-4-5-6 シデコブシ（恵那市武並）の確認状況

調査時期		移植地A	移植地B	移植地C
		15 個体	10 個体	5 個体
2023 年度	移植作業後 1 か月以内及び移植後 1 年間	8 個体は特に変化は見られなかった。 7 個体は枯死した可能性がある。	7 個体は特に変化は見られなかった。 3 個体は消失を確認した。	1 個体は特に変化は見られなかった。 2 個体は衰弱が見られた。 2 個体は枯死した可能性がある。
2024 年度	移植後 1 年目	9 個体は活着した。 5 個体は消失を確認した。 1 個体は枯死した可能性がある。	5 個体は活着した。 5 個体は消失を確認した。	3 個体は活着した。 2 個体は枯死した可能性がある。
2025 年度	移植後 2 年目	9 個体は活着した。 6 個体は消失を確認した。	5 個体は活着した。 5 個体は消失を確認した。	3 個体は活着した。 2 個体は消失を確認した。
今後の調査においても、生育状況を確認する。				

(7) カザグルマ（恵那市武並）

恵那市武並の生育地において、2023年7月3日、4日、5日に移植地Aへ18個体、移植地Bへ24個体、移植地Cへ11個体の計53個体の移植を実施した。

移植を実施した53個体について、2023年度から生育状況の確認を行っている。2023年度からの確認状況を表 4-4-5-7に示す。なお、移植個体周辺に草本類が繁茂し、移植個体を被圧していたため、手作業により除草を行った。イノシシの掘り起こし等獣害対策として、全移植個体を囲うように忌避剤を散布した。

移植後2年目となる2025年度の調査においては、34個体の活着を確認した。ほか18個体は消失を確認し、1個体は枯れた可能性がある。

今後の調査においても、生育状況を確認する。

移植地A	
 2025年5月23日（全景）	 2025年5月23日
移植地B	
 2025年5月23日（全景）	 2025年5月23日

移植地C



2025年 5 月23日 (全景)



2025年 5 月23日



(忌避剤散布作業)



(除草作業後)

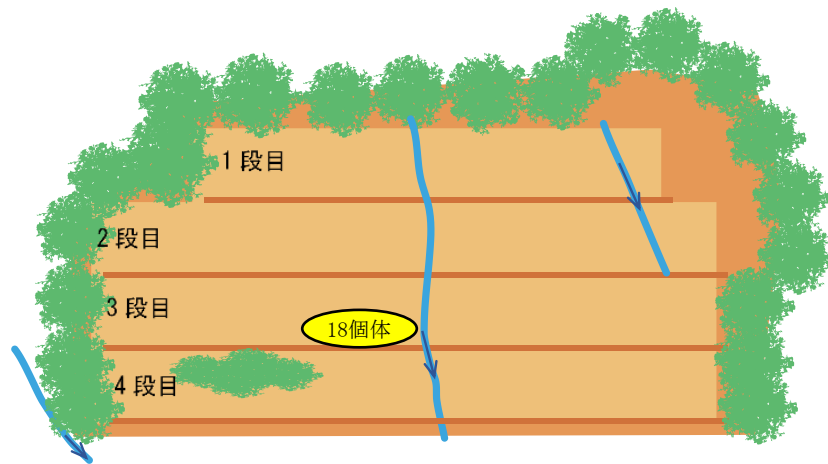


図 4-4-5-7 (1) 移植個体の配置イメージ (移植地A)

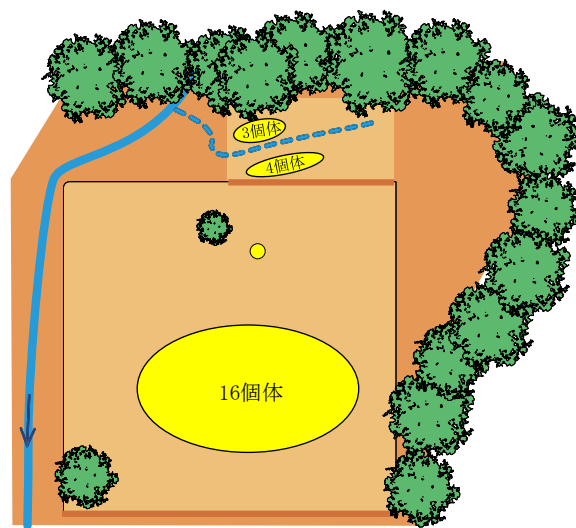


図 4-4-5-7 (2) 移植個体の配置イメージ (移植地B)

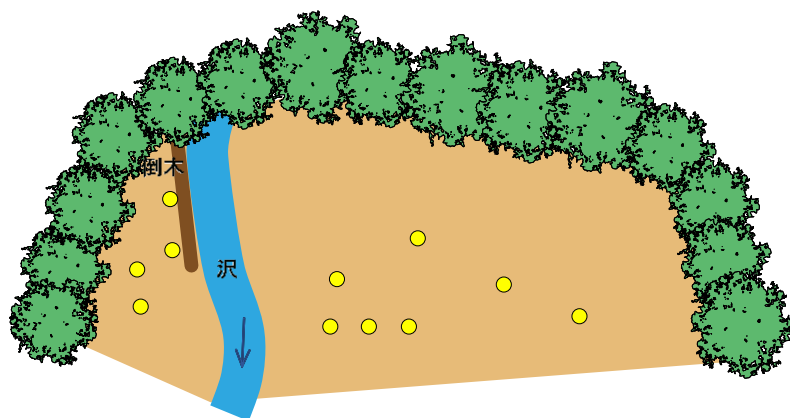


図 4-4-5-7 (3) 移植個体の配置イメージ (移植地C)

表 4-4-5-7 カザグルマ（恵那市武並）の確認状況

調査時期		移植地A	移植地B	移植地C
		18 個体	24 個体	11 個体
2023 年度	移植作業後 1 か月以内及び移植後 1 年間	13 個体の生育を確認（うち 6 個体で展葉）。 5 個体は枯れた可能性がある。	16 個体の生育を確認（うち 8 個体で展葉）。 7 個体は枯れた可能性がある。 1 個体の消失を確認した。	9 個体の生育を確認。 2 個体は枯れた可能性がある。
2024 年度	移植後 1 年目	11 個体で展葉が確認され、活着した。 7 個体は枯れた可能性がある。	18 個体で展葉が確認され、活着した。 6 個体は枯れた可能性がある。	7 個体で展葉が確認され、活着した。 4 個体は枯れた可能性がある。
2025 年度	移植後 2 年目	10 個体の活着を確認した。 8 個体は消失を確認した。	14 個体の活着を確認した。 1 個体は枯れた可能性がある。 9 個体は消失を確認した。	10 個体の活着を確認した。 1 個体は消失を確認した。
今後の調査においても、生育状況を確認する。				

(8)ヘビノボラズ（恵那市武並）

恵那市武並の生育地において、2023年7月3日、5日に移植地Aへ9個体、移植地Bへ8個体の計17個体の移植を実施した。

移植を実施した17個体について、2023年度から生育状況の確認を行っている。2023年度からの確認状況を表 4-4-5-8に示す。

移植後2年目となる2025年度の調査においては、12個体が活着しており、うち8個体については生育状況も良好であった。ほか5個体は消失を確認した。なお、移植個体周辺に草本類が繁茂し、移植個体を被圧していたため、手作業により除草を行った。イノシシの掘り起こし等獣害対策として、全移植個体を囲うように忌避剤を散布した。

今後の調査においても、生育状況を確認する。

移植地A	
	
2025年5月23日（全景）	2025年5月23日
移植地B	
	
2025年5月23日（全景）	2025年5月23日
	
（忌避剤散布作業）	（除草作業後）

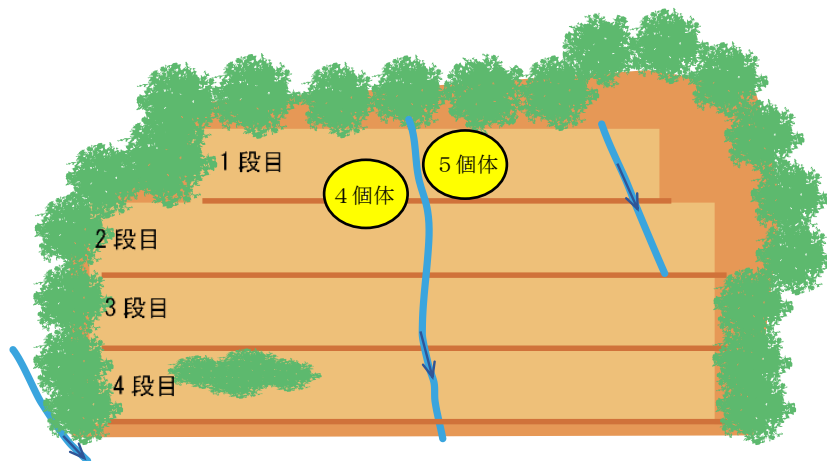


図 4-4-5-8 (1) 移植個体の配置イメージ (移植地 A)

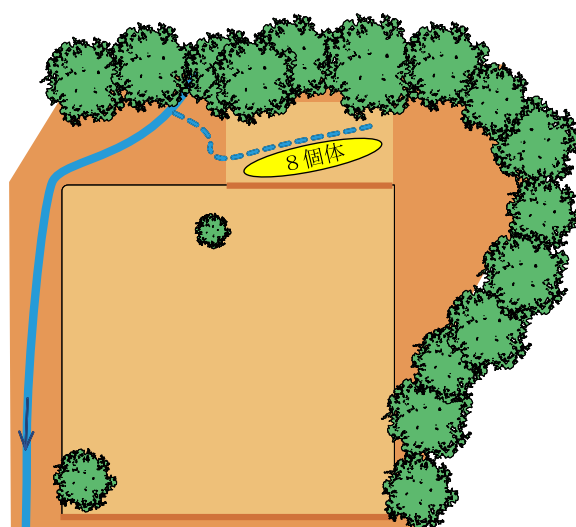


図 4-4-5-8 (2) 移植個体の配置イメージ (移植地 B)

表 4-4-5-8 ヘビノボラズ (恵那市武並) の確認状況

調査時期		移植地 A	移植地 B
		9 個体	8 個体
2023 年度	移植作業後 1 か月以内及び移植後 1 年間	6 個体の活着を確認 (うち 2 個体は上部に枯れあり)。3 個体は枯死の可能性はある。	7 個体の活着を確認。1 個体は消失を確認。
2024 年度	移植後 1 年目	6 個体の活着を確認。3 個体は枯死の可能性はある。	6 個体の活着を確認。1 個体は消失を確認。1 個体は周辺環境の変化により衰弱。
2025 年度	移植後 2 年目	6 個体の活着を確認。3 個体の消失を確認。	6 個体の活着を確認。2 個体は消失を確認。
今後の調査においても、生育状況を確認する。			

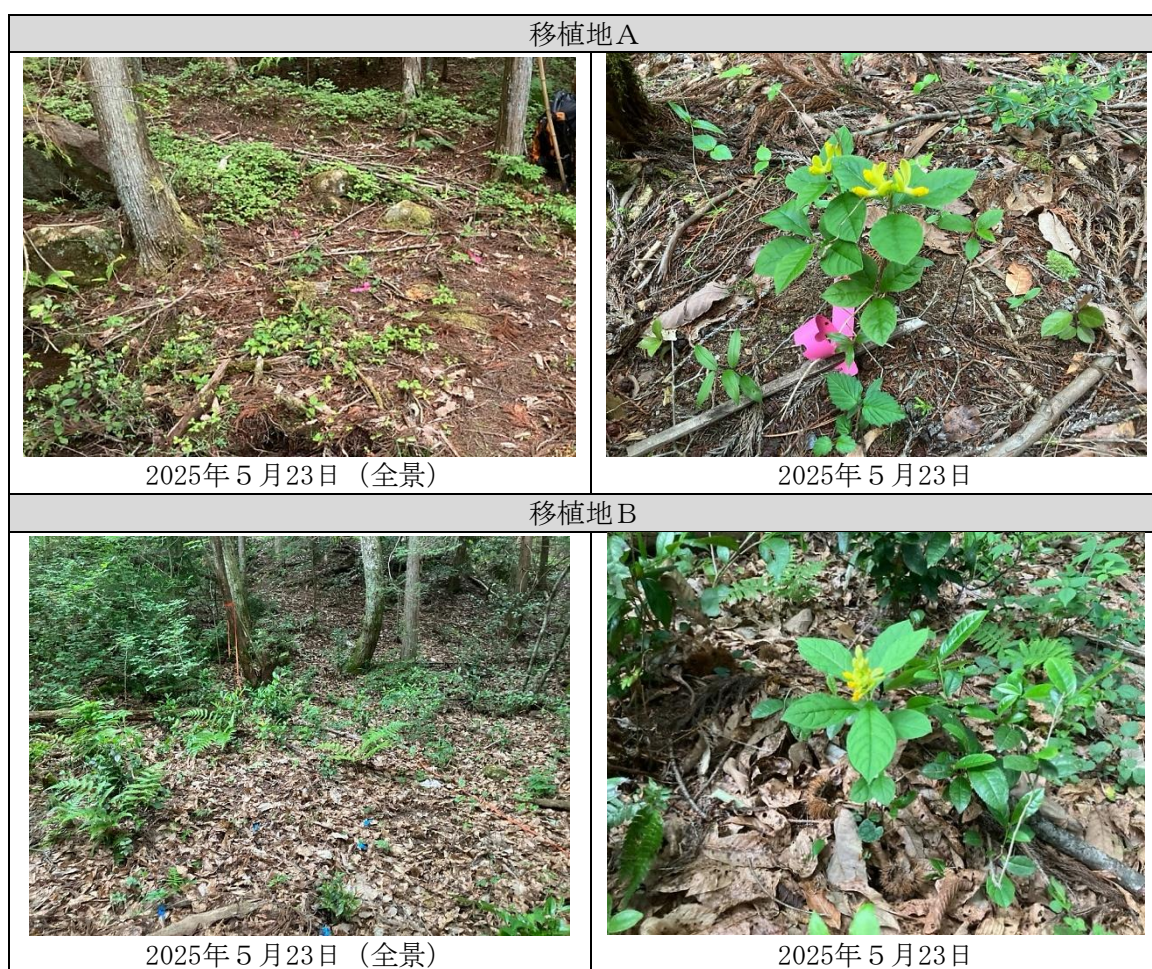
(9) カキノハグサ（恵那市武並）

恵那市武並の生育地において、2023年7月3日、4日に移植地Aへ5個体、移植地Bへ10個体、移植地Dへ10個体の計25個体の移植を実施した。

移植を実施した25個体について、2023年度から生育状況の確認を行っている。2023年度からの確認状況を表 4-4-5-9に示す。

移植後2年目となる2025年度の調査においては、14個体の活着を確認し、いずれも生育は良好であった。ほか11個体は消失を確認した。なお、移植個体周辺に草本類が繁茂し、移植個体を被圧していたため、手作業により除草を行った。イノシシの掘り起こし等獣害対策として、全移植個体を囲うように忌避剤を散布した。

今後の調査においても、生育状況を確認する。



移植地D



2025年 5 月23日 (全景)



2025年 5 月23日



(忌避剤散布作業)



(除草作業後)

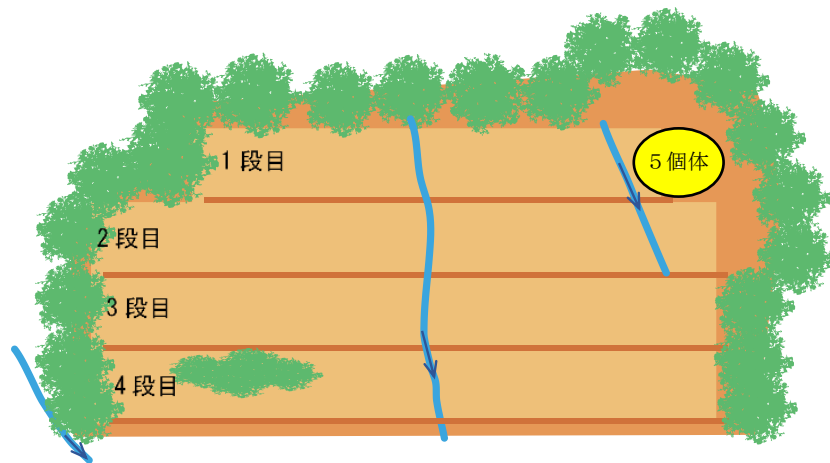


図 4-4-5-9 (1) 移植個体の配置イメージ (移植地A)

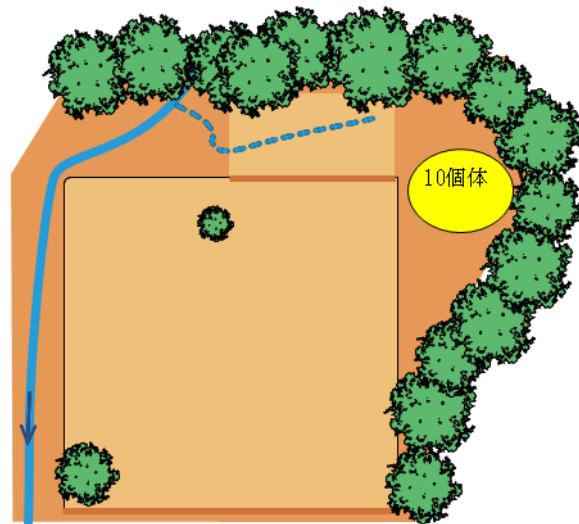


図 4-4-5-9 (2) 移植個体の配置イメージ (移植地B)

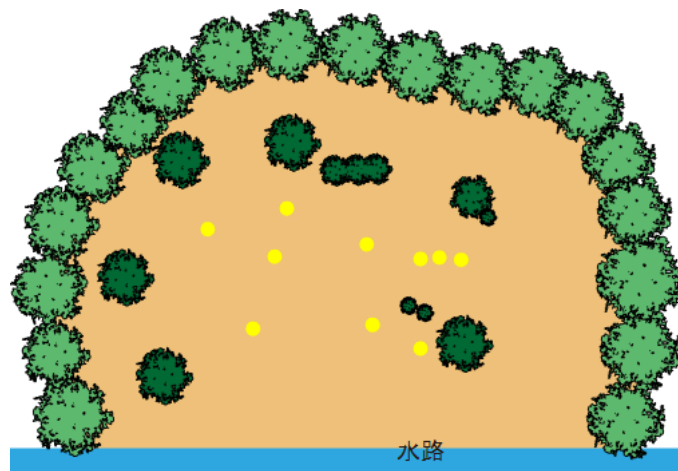


図 4-4-5-9 (3) 移植個体の配置イメージ (移植地D)

表 4-4-5-9 カキノハグサ（恵那市武並）の確認状況

調査時期		移植地A	移植地B	移植地D
		5 個体	10 個体	10 個体
2023 年度	移植作業後 1 か月以内及び移植後 1 年間	特に変化は見られなかった。	7 個体の活着を確認。 3 個体は枯死の可能性 がある。	6 個体の活着を確認。 3 個体は枯死の可能性 がある。 1 個体の消失を確認。
2024 年度	移植後 1 年目	5 個体の活着を確認。	7 個体の活着を確認。 2 個体は枯死の可能性 がある。 1 個体は消失を確認。	9 個体の活着を確認。 1 個体は枯死の可能性 がある。
2025 年度	移植後 2 年目	4 個体の活着を確認。 1 個体の消失を確認。	3 個体の活着を確認。 7 個体の消失を確認。	7 個体の活着を確認。 3 個体の消失を確認。
今後の調査においても、生育状況を確認する。				

(10)ハナノキ（恵那市武並）

恵那市武並の生育地において、2023年6月27日、7月3日に移植地Aへ8個体、移植地Bへ4個体の計12個体の移植を実施した。

移植を実施した12個体について、2023年度から生育状況の確認を行っている。2023年度からの確認状況を表 4-4-5-10に示す。

移植後2年目となる2025年度の調査においては、11個体は新葉の展開が確認され、1個体の消失を確認した。なお、移植個体周辺に草本類が繁茂し、移植個体を被圧していたため、手作業により除草を行った。イノシシの掘り起こし等獣害対策として、全移植個体を囲うように忌避剤を散布した。

今後の調査においても、生育状況を確認する。

移植地A	
	
2025年5月23日（全景）	2025年5月23日
移植地B	
	
2025年5月23日（全景）	2025年5月23日
	
（忌避剤散布作業）	（除草作業後）

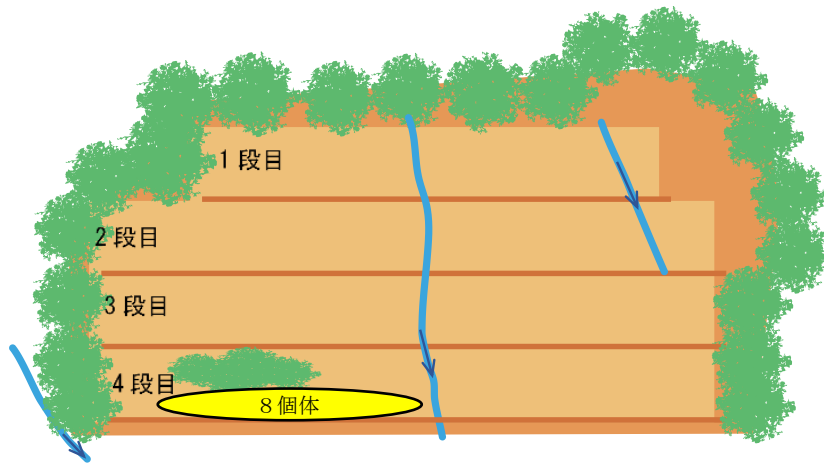


図 4-4-5-10 (1) 移植個体の配置イメージ (移植地 A)

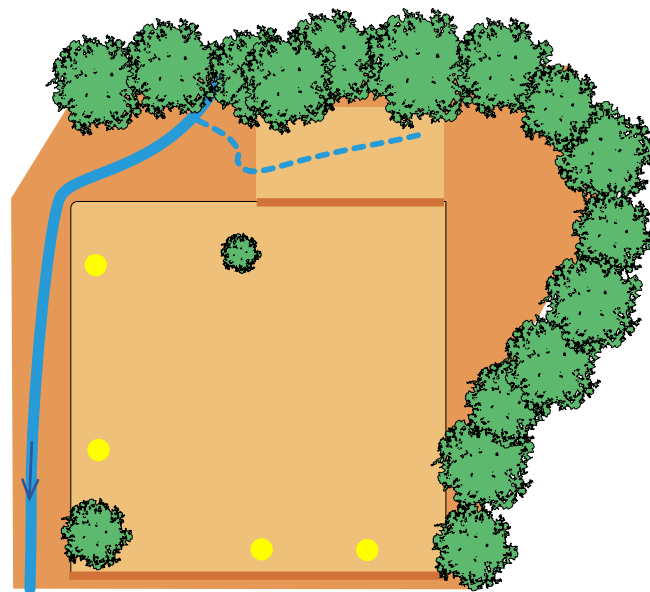


図 4-4-5-10 (2) 移植個体の配置イメージ (移植地 B)

表 4-4-5-10 ハナノキ (恵那市武並) の確認状況

調査時期		移植地 A	移植地 B
		8 個体	4 個体
2023 年度	移植作業後 1 か月以内及び移植後 1 年間	特に変化は見られなかった。	
2024 年度	移植後 1 年目	いずれも新葉の展開を確認。	
2025 年度	移植後 2 年目	7 個体は新葉の展開を確認。 1 個体の消失を確認。	いずれも新葉の展開を確認。
今後の調査においても、生育状況を確認する。			

(11) ミカワバイケイソウ（恵那市武並）

恵那市武並の生育地において、2023年7月3日、6日、7日、10日に移植地Aへ約250個体の移植を実施した。

移植を実施した約250個体について、2023年度から生育状況の確認を行っている。2023年度からの確認状況を表 4-4-5-11に示す。

移植後2年目となる2025年度の調査においては、25個体の生育を確認した。なお、移植個体周辺に草本類が繁茂し、移植個体を被圧していたため、手作業により除草を行った。

今後の調査においても、生育状況を確認する。

移植地A	
	
2025年5月23日	2025年5月23日
	
	(除草作業後)

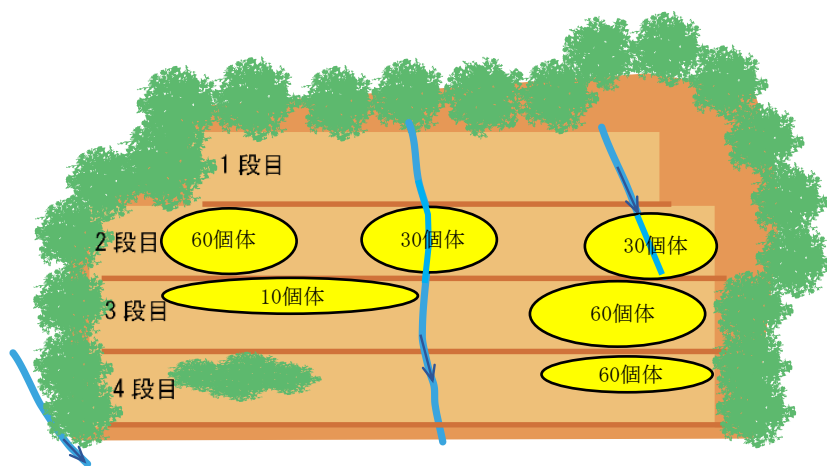


図 4-4-5-11 移植個体の配置イメージ（移植地A）

表 4-4-5-11 ミカワバイケイソウ（恵那市武並）の確認状況

調査時期		移植地A
		約 250 個体
2023 年度	移植作業後 1 か月以内及び移植後 1 年間	特に変化は見られなかった。
2024 年度	移植後 1 年目	29 個体の生育を確認した。
2025 年度	移植後 2 年目	25 個体の生育を確認した。
今後の調査においても、生育状況を確認する。		

(12) ヒメコヌカグサ（恵那市武並）

恵那市武並の生育地において、2023年7月4日に移植地Aへ47個体、移植地Bへ15個体の計62個体の移植を実施した。

移植を実施した62個体について、2023年度から生育状況の確認を行っている。2023年度からの確認状況を表 4-4-5-12に示す。

移植後2年目となる2025年度の調査においては、移植地A、移植地Bにおいては多数の出穂を確認しているが、個体数のカウントは難しい種である。なお、移植個体周辺に草本類が繁茂し、移植個体を被圧していたため、手作業により除草を行った。イノシシの掘り起こし等獣害対策として、全移植個体を囲うように忌避剤を散布し、湿地状態となった水分の多い場所では忌避剤をネットに入れ木杭に吊り下げた。

今後の調査においても、生育状況を確認する。





※ 湿潤状態となった水分の多い場所では、忌避剤をネットに入れて木杭に吊り下げた。

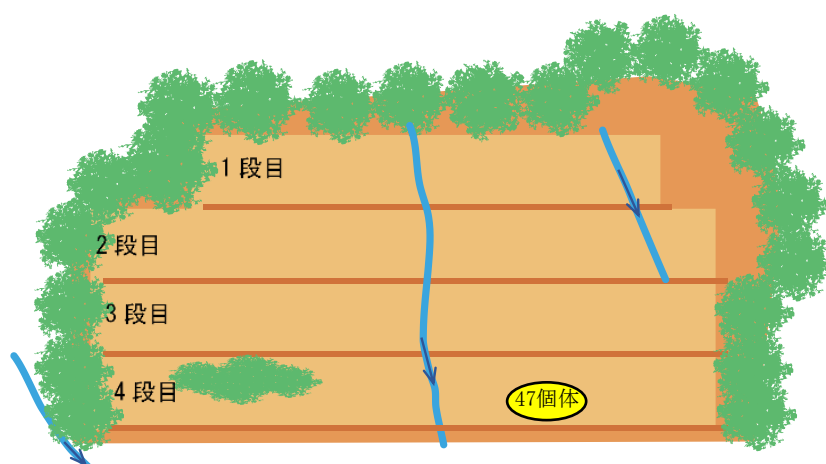


図 4-4-5-12 (1) 移植個体の配置イメージ (移植地A)

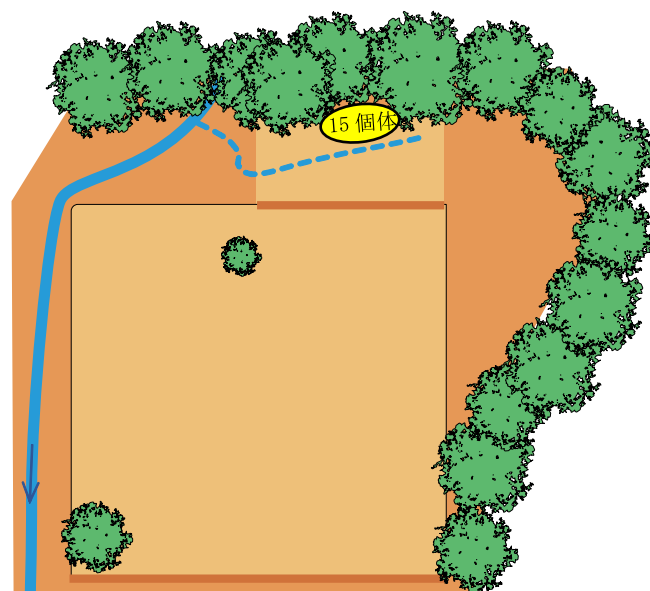


図 4-4-5-12 (2) 移植個体の配置イメージ (移植地B)

表 4-4-5-12 ヒメコヌカグサ（恵那市武並）の確認状況

調査時期		移植地 A	移植地 B
		47 個体	15 個体
2023 年度	移植作業後 1 か月以内及び移植後 1 年間	特に変化は見られなかった。	
2024 年度	移植後 1 年目	多数の出穂を確認した。	出穂を確認できなかった。
2025 年度	移植後 2 年目	多数の出穂（開花）を確認した。	
今後の調査においても、生育状況を確認する。			

(13) シデコブシ（中津川市千旦林）

中津川市千旦林の生育地において、2024年11月21日に7個体の移植を実施した（A1～A7）。

移植を実施した7個体について、2024年度から生育状況の確認を行っている。2024年度からの確認状況を表 4-4-5-13に示す。

移植後1年目となる2025年度の調査においては、5個体（A2, A4～A7）の展葉が確認され、1個体（A1）は展葉開始前の状態を確認した。ほか1個体（A3）の消失を確認した。なお、移植個体周辺に草本類が繁茂し、移植個体を被圧していたため、手作業により除草を行った。イノシシの掘り起こし等獣害対策として、全移植個体を囲うように忌避剤を散布した。

今後の調査においても、生育状況を確認する。

移植地	
	
2025年5月8日（A4個体）	2025年5月8日（A5個体）
	
（忌避剤散布作業）	（除草作業後）

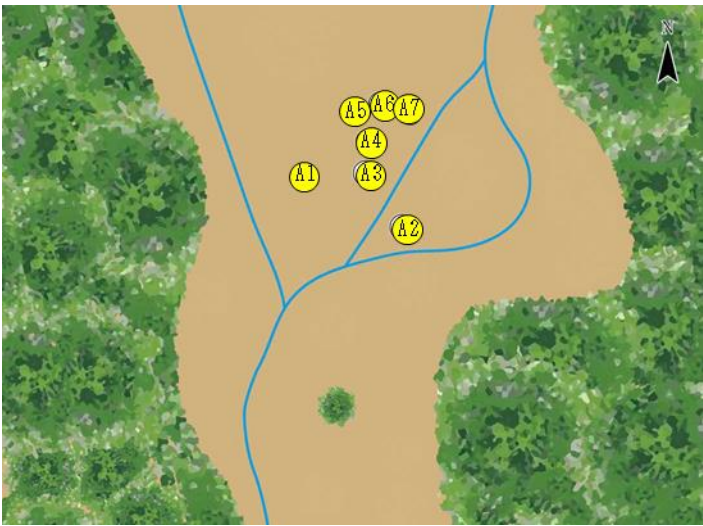


図 4-4-5-13 移植個体の配置イメージ（移植地）

表 4-4-5-13 シデコブシ（中津川市千旦林）の確認状況

調査時期		移植地						
		A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
2024 年度	移植作業後 1 か月以内及び移植後 1 年間	活着していると考えられる。						
2025 年度	移植後 1 年目	展葉開始前の状態を確認した。	展葉が確認された。	消失を確認した。	展葉が確認された。			
今後の調査においても、生育状況を確認する。								

(14)カラタチバナ（中津川市千旦林）

中津川市千旦林の生育地において、2024年11月21日に移植地Aへ15個体、移植地Bへ40個体、移植地Cへ33個体の計88個体の移植を実施した。

移植後1年目となる2025年度の調査においては、移植地Aでは、14個体の活着が確認され、1個体は枯死した可能性がある。（なお、イノシシによる掘り起こしが確認されている。）移植地Bでは、29個体の活着が確認され、6個体が枯死した可能性がある。ほか3個体は葉がなく活力度の判定が不能であり、残り2個体の消失を確認した。移植地Cでは、13個体の活着が確認され、16個体は葉がなく活力度の判定が不能であった。ほか4個体は枯死した可能性がある。2024年度からの確認状況を表 4-4-5-14に示す。なお、移植個体周辺に草本類が繁茂し、移植個体を被圧していたため、手作業により除草を行った。獣害対策として、全移植個体を囲うように忌避剤を散布した。

今後の調査においても、生育状況を確認する。

移植地A	
	
2025年5月8日（全景）	2025年5月8日
移植地B	
	
2025年5月8日（全景）	2025年5月8日

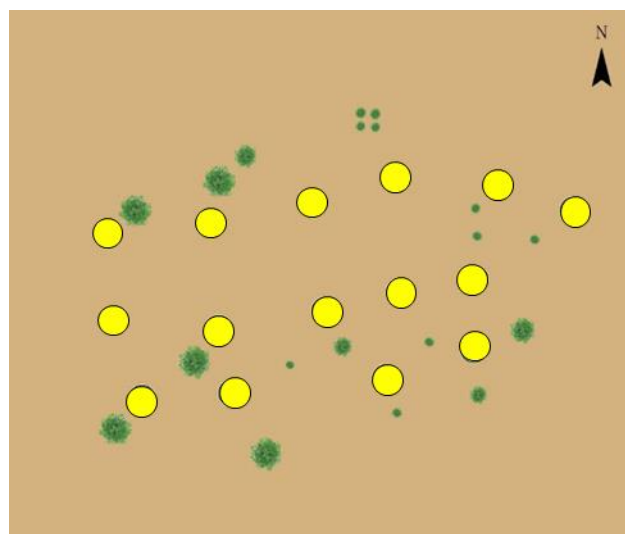
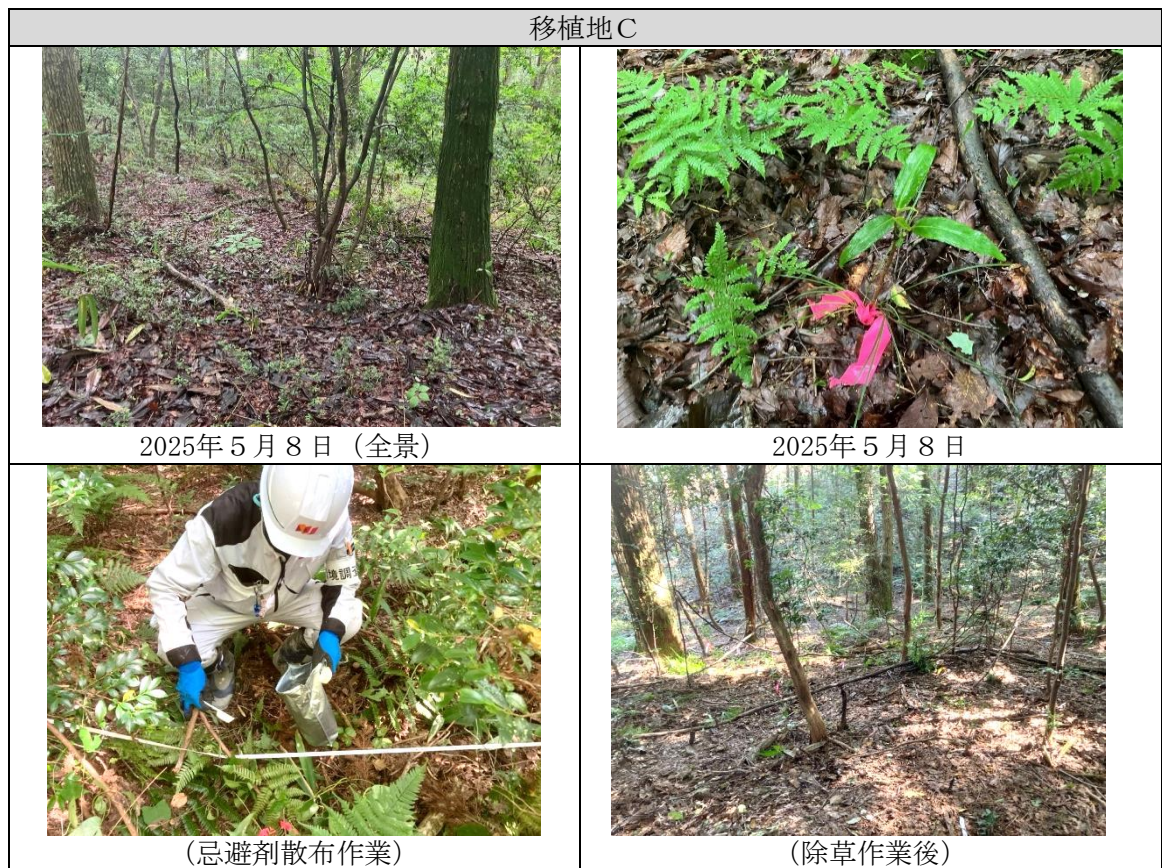


図 4-4-5-14 (1) 移植個体の配置イメージ（移植地A）

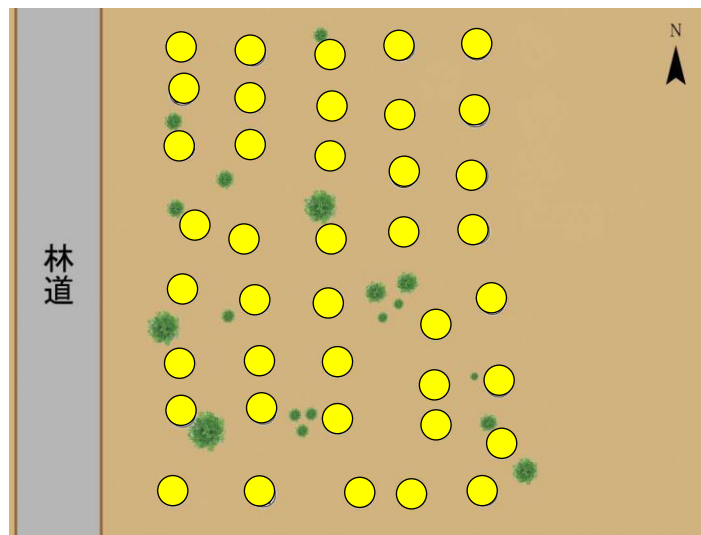


図 4-4-5-14 (2) 移植個体の配置イメージ (移植地B)

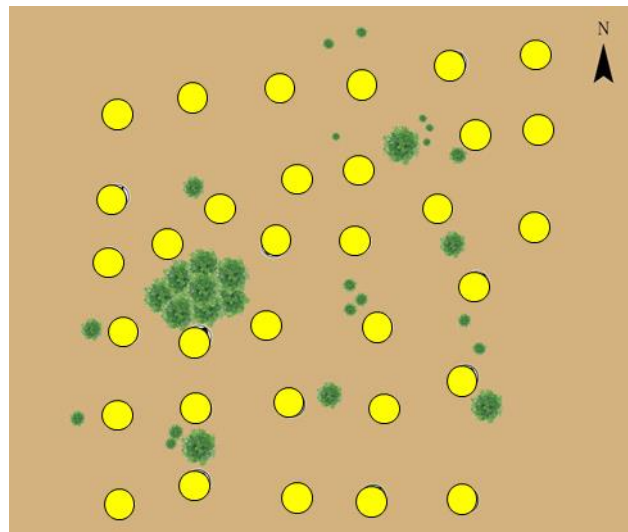


図 4-4-5-14 (3) 移植個体の配置イメージ (移植地C)

表 4-4-5-14 カラタチバナ（中津川市千旦林）の確認状況

調査時期		移植地 A	移植地 B	移植地 C
		15 個体	40 個体	33 個体
2024 年度	移植作業後 1 か月以内及び移植後 1 年間	14 個体は生育良好。 1 個体は活力が衰退していた。	39 個体は生育良好。 1 個体は活力が衰退していた。	30 個体は生育良好。 3 個体は活力が衰退していた。
2025 年度	移植後 1 年目	14 個体の活着を確認。 1 個体は枯死した可能性がある。	29 個体の活着を確認した。 6 個体は枯死した可能性がある。 3 個体は活力度の判定が不能。 2 個体は消失を確認。	13 個体の活着を確認した。 16 個体は活力度の判定が不能。 4 個体は枯死した可能性がある。
今後の調査においても、生育状況を確認する。				

- ・ 一部、動物による掘り返しが見られたため、活力が衰退していた。

(15) シデコブシ（中津川市千旦林）

中津川市千旦林の生育地において、2025年4月3日に移植地へ15個体の移植を実施した。

移植後1か月以内（4月18日）、1か月後（5月8日）に生育状況確認を実施した。12個体が活着し、3個体の消失を確認した。2025年度からの確認状況を表 4-4-5-15に示す。

今後の調査においても、生育状況を確認する。

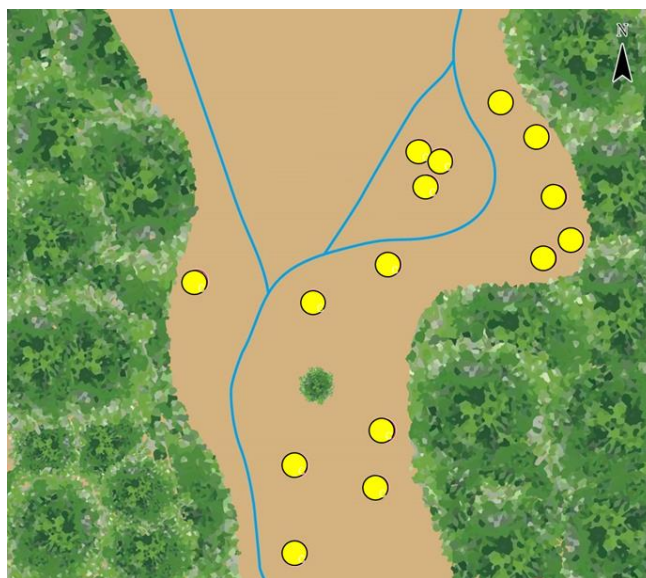


図 4-4-5-15 移植個体の配置イメージ（移植地）

表 4-4-5-15 シデコブシ（中津川市千旦林）の確認状況

調査時期		移植地
		15 個体
2025 年度	移植作業後 1 か月以内及び移植後 1 年間	12 個体は活着した。 3 個体は消失を確認。
今後の調査においても、生育状況を確認する。		

(16)カラタチバナ（中津川市千旦林）

中津川市千旦林の生育地において、2025年4月3日に移植地へ6個体の移植を実施した。

移植後1か月以内（4月18日）、1か月後（5月8日）に生育状況確認を実施した。一部、動物による食害が見られていたが、全個体の活着が確認された。2025年度からの確認状況を表 4-4-5-16に示す。

今後の調査においても、生育状況を確認する。

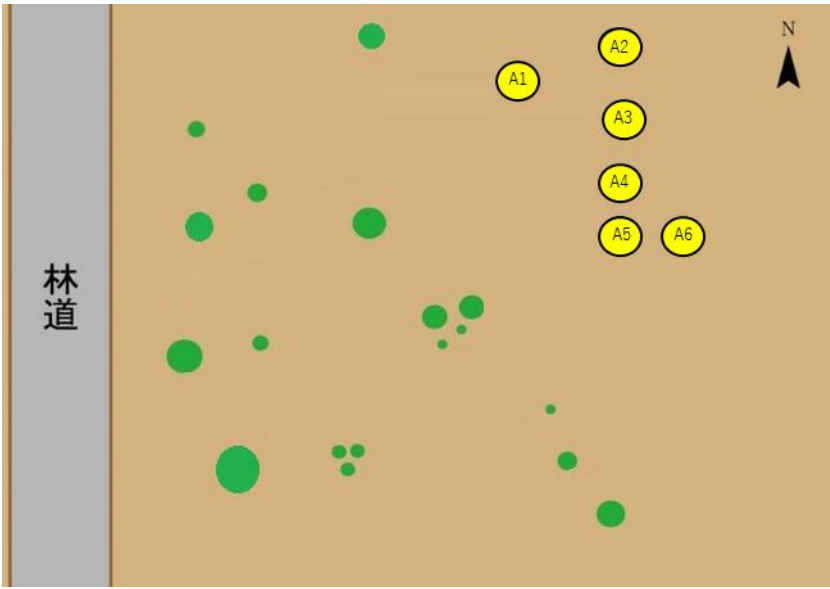
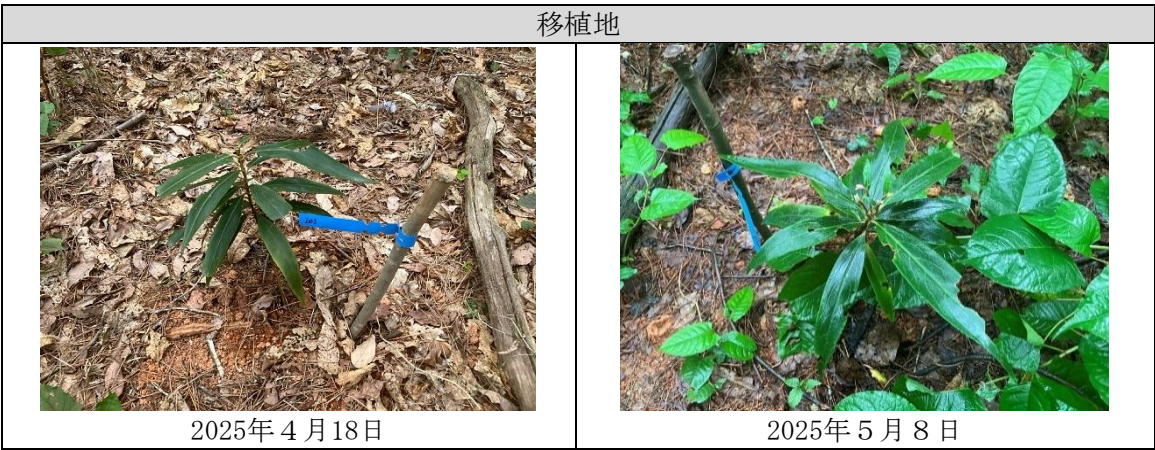


図 4-4-5-16 移植個体の配置イメージ（移植地）

表 4-4-5-16 カラタチバナ（中津川市千旦林）の確認状況

調査時期		移植地					
		A1	A2	A3	A4	A5	A6
2025 年度	移植作業後 1 か月以内及び移植後 1 年間	全個体の活着を確認。					
今後の調査においても、生育状況を確認する。							

(17)ハナノキ（中津川市千旦林）

中津川市千旦林の生育地において、2025年4月3日に移植地へ3個体の移植を実施した。

移植後1か月以内（4月18日）、1か月後（5月8日）に生育状況確認を実施した。全個体の生育が良好であった。2025年度からの確認状況を表 4-4-5-17に示す。

今後の調査においても、生育状況を確認する。

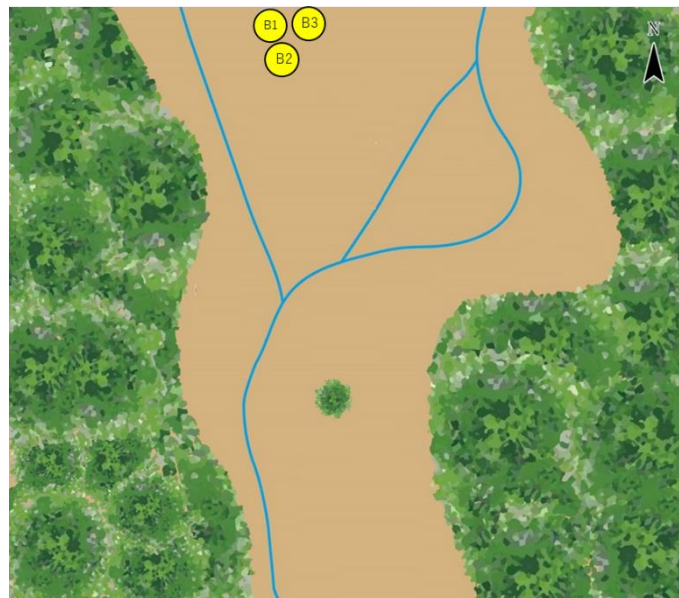
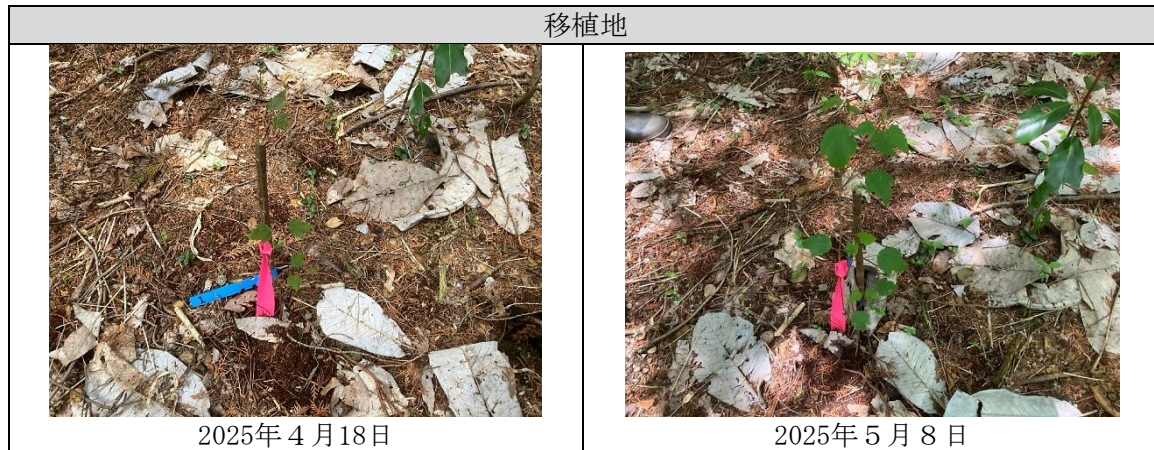


図 4-4-5-17 移植個体の配置イメージ（移植地）

表 4-4-5-17 ハナノキ（中津川市千旦林）の確認状況

調査時期		移植地		
		B1	B2	B3
2025 年度	移植作業後 1 か月以内及び 移植後 1 年間	全個体の生育が良好であった。		
今後の調査においても、生育状況を確認する。				

(18) ムヨウラン（中津川市千旦林）

中津川市千旦林の生育地において、2024年6月19日にムヨウラン9個体を確認した。確認した9個体について2025年4月4日の移植時に個体確認ができなかったため、周辺の土壌を移植した。

移植後1か月以内（4月18日）、1か月後（5月8日）に生育状況確認を実施したが、いずれも芽生えを確認できなかった。2025年度からの確認状況を表 4-4-5-18に示す。

今後の調査においても、生育状況を確認する。

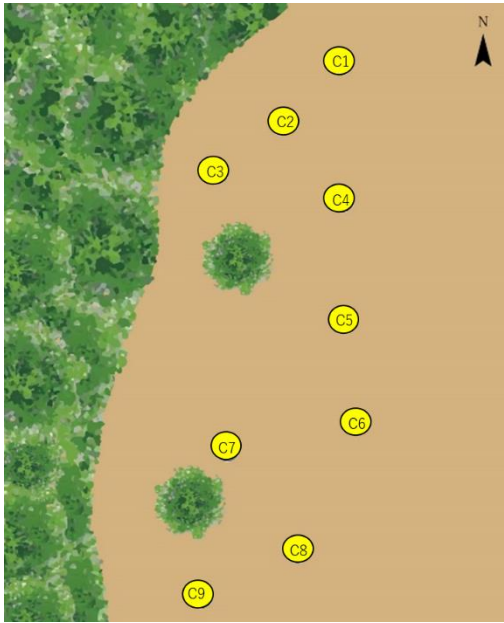


図 4-4-5-18 移植個体の配置イメージ（移植地）

表 4-4-5-18 ムヨウラン（中津川市千旦林）の確認状況

調査時期		移植地								
		C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9
2025 年度	移植作業後 1 か月以内及び 移植後 1 年間	いずれも芽生えを確認できなかった。								
今後の調査においても、生育状況を確認する。										

(19) *Lecanorchis* 属（ムヨウラン属）（中津川市千旦林）

中津川市千旦林の生育地において、2024年6月19日に*Lecanorchis*属1個体を確認した。確認した1個体について2025年4月4日の移植時に個体確認ができなかったため、周辺の土壌を移植した。

移植後1か月以内（4月18日）、1か月後（5月8日）に生育状況確認を実施したが、いずれも芽生えを確認できなかった。2025年度からの確認状況を表 4-4-5-19に示す。

今後の調査においても、生育状況を確認する。

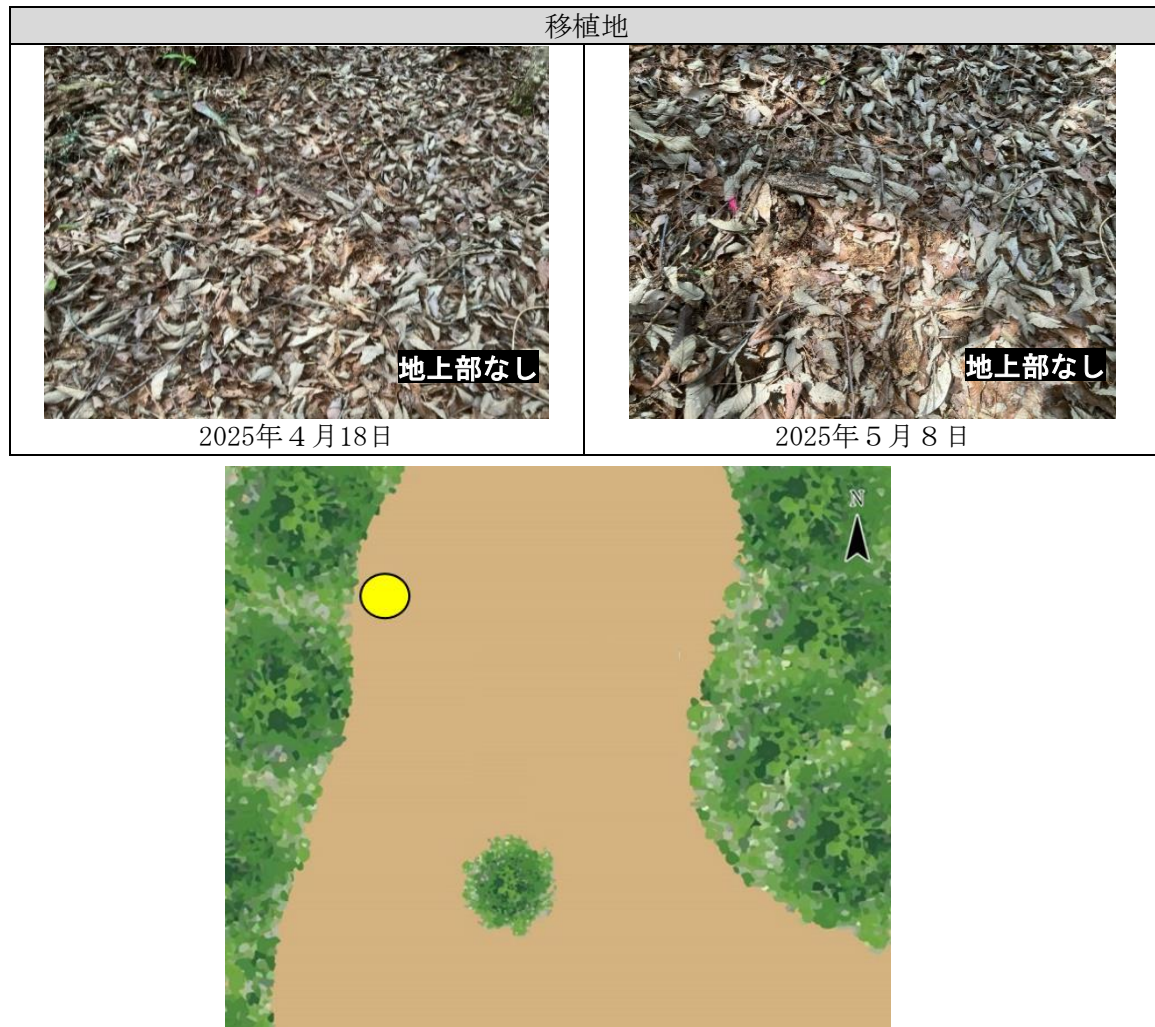


図 4-4-5-19 移植個体の配置イメージ（移植地）

表 4-4-5-19 *Lecanorchis*属（ムヨウラン属）（中津川市千旦林）の確認状況

調査時期		移植地
		1 個体
2025 年度	移植作業後 1 か月以内及び移植後 1 年間	いずれも芽生えを確認できなかった。
今後の調査においても、生育状況を確認する。		

4-5 その他（発生土置き場等）

評価書公告以降に新たに当社が計画した発生土置き場等について、環境保全措置の内容を詳細にするための調査及び影響検討を、事後調査として実施し、岐阜県及び関係市町村に送付するとともに当社ホームページにて掲載している。これまでに公表した発生土置き場等における調査及び影響検討を以下に示す。

- ・ 中津川市内山口下島地区発生土仮置き場… （2018年 5月）
- ・ 瑞浪市内土岐町発生土仮置き場…………… （2018年 9月）
- ・ 可児市内大森発生土仮置き場…………… （2019年 10月）
- ・ 中津川市内千旦林発生土仮置き場A…………… （2020年 4月）
- ・ 中部車両基地北側発生土置き場ほか…………… （2024年 12月）

なお、これまでに公表した発生土置き場等における調査及び影響検討において、事後調査の対象としたもののうち2025年度に調査を実施した項目はない。

第 5 章 調査結果の検討内容

5-1 水資源

2025 年度の事後調査地点での結果において、トンネルの工事に伴う減水・渇水等の兆候は認められなかった。

一方、事後調査地点以外の当社の取り組みとして実施したモニタリング地点（井戸）の調査結果において、2024 年 2 月に 2.63（GL-m）の水位が確認されている地点（M-106（瑞浪市大湫町：共同井戸 井戸の深さ約 2.7m））があり、2024 年 3 月以降、水位の確認ができなくなった。（経緯、対応等については 3 章「3-4 瑞浪市大湫町における地下水位低下とこれに伴う地表面低下について」参照）

5-2 地盤沈下

中津川市山口における地点 01 において、地表面の沈下量は、2020 年度から変わらず初期値と比較して 5 mm であり、1 年を通して変化はなかった。

今後は非常口トンネル（斜坑）と計画路線（本坑）の交点部において本坑断面での掘削を行うことから、地質の状況に応じて適切な補助工法（フォアパイリング等）を採用するなど、慎重な施工管理を徹底する。計画路線（本坑）（名古屋方）について、トンネルの切羽が測定地点から一定の範囲内にある期間は月 1 回程度の計測を継続するとともに、掘削工事完了後に 1 回、地表面の沈下量の調査を実施する。

5-3 動物、生態系

オオタカ（千旦林南ペア）、ハチクマ（武並ペア）、オオタカ（武並ペア）、サシバ（美佐野東ペア）の工事中の生息状況を確認した。

オオタカ（千旦林南ペア）について、調査範囲内において繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。中津川市千旦林地内の工事については、2023 年度から引き続き、駒場トンネル（名古屋方）においては、本線トンネルの掘削工を進めており、中部総合車両基地ほかの工事施工ヤードにおいては、工事施工ヤード造成工、先行盛土工等を実施し、岐阜県駅（仮称）ほかにおいては、工事施工ヤード造成工（ヤード整備、工事用進入路造成等）及び高架橋工（下部工及び一部高架橋工）を実施した。工事の実施にあたっては、専門家等の助言を踏まえ、非営巣期から繁殖期にわたって継続した施工を実施した。以上より、工事の実施によるオオタカ（千旦林南ペア）への影響はなかったものとする。今後の繁殖期においても、引き続き営巣地周辺における生息状況を確認し、専門家等の助言を踏まえ、必要に応じ環境保全措置を実施し、事業による影響を低減するよう努める。

ハチクマ（武並ペア）について、調査範囲内において繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。

オオタカ（武並ペア）について、調査範囲内において繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。

恵那市武並地内の工事については、2023 年度から引き続き、長島トンネル（名古屋方）工事施工ヤードにおいて、本線トンネルの掘削工を実施し、日吉トンネル（武並区）においては藤川高架橋の高架橋工（下部工）に加え、上部工の施工を実施した。工事施工ヤードでは造成工（ヤード整備）を実施した。工事の実施にあたっては、専門家等の助言を踏まえ、非営巣期から繁殖期にわたって継続した施工を実施した。本線トンネルの掘削工及び藤川高架橋の高架橋工については、営巣地と工事施工ヤードに十分に距離があることを確認のうえ、着手している。以上のことから、工事の実施によるハチクマ（武並ペア）、オオタカ（武並ペア）への影響はなかったものとする。今後の繁殖期においても、引き続き営巣地周辺における生息状況を確認し、専門家等の助言を踏まえ必要に応じ環境保全措置を実施し、事業による影響を低減するよう努める。

サシバ（美佐野東ペア）について、新たな営巣地での繁殖を確認した。御嵩町美佐野地内の工事については、2020 年度から引き続き美佐野トンネルほかの工事施工ヤードにおいて、造成工（切土・盛土作業、道路改良、調整池）を実施した。工事の実施にあたっては、専門家等の助言を踏まえ、非営巣期から繁殖期にわたって継続した施工を実施した。以上より、工事の実施によるサシバ（美佐野東ペア）への影響はなかったものとする。今後の繁殖期においても、引き続き営巣地周辺における生息状況を確認し、専門家等の助言を踏まえ必要に応じ環境保全措置を実施し、事業による影響を低減するよう努める。

5-4 植物、生態系

2023 年度に移植したカザグルマ（中津川市駒場）について、2025 年度の調査結果において、3 個体（E1, E3, E4）の開花を確認でき、1 個体（E5）は開花跡を確認した。引き続き移植先における生育状況を確認する。

2020 年度に移植したエンシュウムヨウラン（可児市大森）について、2025 年度の調査結果において、残っていた 2 個体（A6、A7）を確認したところ、A6 で開花を確認したが、A7 では地上部が確認できなかった。また、移植地周辺では自生する複数の個体を確認した。必ずしも毎年地上部（花茎）が確認される植物ではないものの、移植地周辺に自生する複数の個体を確認していることから当該種は保全されているという専門家の技術的助言を踏まえて、2025 年度をもって調査を終了する。

2021 年度に移植したエンシュウムヨウラン（中津川市千旦林）について、2025 年度の調査結果において、1 個体（A1）で開花直前のつぼみ 4 個をつけた花茎 1 本を確認した。ほか 4 個体（A2～A5）は、地上部は確認できなかった。また、移植地周辺では自生する複数の個体を確認した。必ずしも毎年地上部（花茎）が確認される植物ではないものの、移植地周辺に自生する複数の個体を確認していることから当該種は保全されているという専門家の技術的助言を踏まえて、2025 年度をもって調査を終了する。

2023 年度に移植したサクラバハノキ（恵那市武並）について、2025 年度の調査結果において、1 個体（A1）が獣害により消失していることが確認された。ほか 2 個体（A2、A3）については、他の草本類の繁茂により活力の低下が見られたが、生育を確認した。引き続き移植先における生育状況を確認する。

2023 年度に移植したフモトミズナラ（恵那市武並）について、2025 年度の調査結果において、5 個体（B1～B4, B7）の消失を確認した。ほか 2 個体（B5、B6）については活着していることを確認した。引き続き移植先における生育状況を確認する。

2023 年度に移植したシデコブシ（恵那市武並）について、2025 年度の調査結果において、17 個体の活着が確認され、うち 7 個体については生育状況も良好であった。ほか 13 個体は消失が確認された。引き続き移植先における生育状況を確認する。

2023 年度に移植したカザグルマ（恵那市武並）について、2025 年度の調査結果において、34 個体の活着を確認した。ほか 18 個体は消失を確認し、1 個体は枯れた可能性がある。引き続き移植先における生育状況を確認する。

2023 年度に移植したヘビノボラズ（恵那市武並）について、2025 年度の調査結果において、12 個体が活着しており、うち 8 個体については生育状況も良好であった。ほか 5 個体は消失を確認した。引き続き移植先における生育状況を確認する。

2023 年度に移植したカキノハグサ（恵那市武並）について、2025 年度の調査結果において、14 個体の活着を確認し、いずれも生育は良好であった。ほか 11 個体は消失を確認した。引き続き移植先における生育状況を確認する。

2023 年度に移植したハナノキ（恵那市武並）について、2025 年度の調査結果において、11 個体は新葉の展開が確認され、1 個体の消失を確認した。引き続き移植先における生育状況を確認する。

2023 年度に移植したミカワバイケイソウ（恵那市武並）について、2025 年度の調査結果において、25 個体の生育が確認された。引き続き移植先における生育状況を確認する。

2023 年度に移植したヒメコヌカグサ（恵那市武並）について、2025 年度の調査結果において多数の出穂を確認しているが、個体数のカウントが難しい種のため個体数の把握ができていない。引き続き移植先における生育状況を確認する。

2024 年に移植したシデコブシ（中津川市千旦林）について、2025 年度の調査結果において、5 個体（A2, A4～A7）の展葉が確認され、1 個体（A1）は展葉開始前の状態を確認した。ほか 1 個体（A3）の消失を確認した。引き続き移植先における生育状況を確認する。

2024 年に移植したカラタチバナ（中津川市千旦林）について、2025 年度の調査結果において、移植地 A では、14 個体の活着が確認され、1 個体は枯死した可能性がある。（なお、イノシシによる掘り起こしが確認されている。）移植地 B では、29 個体の活着が確認され、6 個体が枯死した可能性がある。ほか 3 個体は葉がなく活力度の判定が不能であり、残り 2 個体の消失を確認した。移植地 C では、13 個体の活着が確認され、16 個体は葉がなく活力度の判定が不能であった。ほか 4 個体は枯死した可能性がある。引き続き移植先における生育状況を確認する。

2025 年に移植したシデコブシ（中津川市千旦林）について、2025 年度の調査結果において、12 個体が活着し、1 個体は展葉がなかった。3 個体の消失を確認した。引き続き移植先における生育状況を確認する。

2025 年に移植したカラタチバナ（中津川市千旦林）について、2025 年度の調査結果において、一部、動物による食害が見られていたが、全個体の活着が確認された。引き続き移植先における生育状況を確認する。

2025 年に移植したハナノキ（中津川市千旦林）について、2025 年度の調査結果において、全個体の生育が良好であった。引き続き移植先における生育状況を確認する。

2025 年に移植したムヨウラン（中津川市千旦林）について、2025 年度の調査結果において、いずれも芽生えを確認できなかった。引き続き移植先における生育状況を確認する。

2025 年に移植した *Lecanorchis* 属（ムヨウラン属）（中津川市千旦林）について、2025 年度の調査結果において、いずれも芽生えを確認できなかった。引き続き移植先における生育状況を確認する。

5-5 その他（発生土置き場等）

これまでに公表した発生土置き場等における調査及び影響検討において、事後調査の対象としたもののうち、2025 年度に調査を実施した項目はない。

第 6 章 調査結果の検討に基づき必要な措置を講じた場合にあっては、その措置の内容

2025年度の調査結果の検討に基づき必要となった措置はない。

本書で利用した地図は、注記があるものを除き、国土地理院発行の数値地図50000（地図画像）を加工して作成した。

本書は、再生紙を使用している。